

横浜市高齢者実態調査 報告書

資料編

単純集計表(事業所・従事者調査)



令和5年1月

横浜市健康福祉局

目次

	ページ
09 特別養護老人ホーム調査	1
10 介護老人保健施設調査	31
11 介護サービス事業所(居住系)調査	62
12 介護サービス事業所調査	92
13 居宅介護支援事業所調査	114
14 地域ケアプラザ等調査	121
15 認知症医療に関する調査	134
16 ケアマネジャー調査	139
17 訪問介護員(ヘルパー)調査	157
18 施設介護職員(ケアワーカー)調査	171
19 外国人介護職員調査	186

資料編の見方

- 調査票毎に、調査票および単純集計結果を表示している。
- 各ページは、ページ左に調査票、ページ右に集計結果(数表)を掲載している。
- 表中の「調査数」は、設問、選択肢への回答者数を表す。
- 集計結果(数表)の上段(度数)は「回答数」、下段(%)は「回答割合」を示している。
- 回答率(%)は、すべて小数点以下第二位を四捨五入し、小数第一位までを表示している。
したがって、その合計値が100.0%にならない場合がある。
- 複数回答の場合、その回答率(%)の合計が100.0%を超える場合がある。

特別養護老人ホーム調査

09

貴施設の概要についてお伺いします。

問1 施設名・記入者名等を教えてください。

施設名											
介護保険 事業所番号											
記入者名								電話番号			

問2 貴施設の定員をご記入ください。

		4人 部屋	3人 部屋	2人 部屋	従来型 個室	ユニット型 個室	その他
入所	入所（短期入所は除く）	人	人	人	人	人	人
	短期入所	人	人	人	人	人	人
通所介護							人

※空床は全て入所扱いとしてください

問3 認知症入所者のケアをするにあたり、フロアやユニットを分けて対応していますか。（〇はひとつ）

1. 分けている 2. 分けていない → [問4へ](#)

問3で「1. 分けている」と回答した方にお伺いします。

問3-1 分けているフロア・ユニットの数について記入してください。

認知症対応 ⇒ _____フロア・ユニット 全フロア・ユニット数 ⇒ _____

Q2. 入所(短期入所は除く)(1)4人部屋【クラス分け】												
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明	
100	5	0	0	0	0	4	2	3	13	12	4	57
100.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	2.0	3.0	13.0	12.0	4.0	57.0
Q2. 入所(短期入所は除く)(2)3人部屋【クラス分け】												
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明	
100	9	0	3	0	0	0	0	0	1	0	0	87
100.0	9.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	87.0
Q2. 入所(短期入所は除く)(3)2人部屋【クラス分け】												
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明	
100	4	0	8	8	8	7	1	4	2	1	57	
100.0	4.0	0.0	8.0	8.0	8.0	7.0	1.0	4.0	2.0	1.0	57.0	
Q2. 入所(短期入所は除く)(4)従来型個室【クラス分け】												
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明	
100	4	0	5	7	6	2	6	0	0	0	70	
100.0	4.0	0.0	5.0	7.0	6.0	2.0	6.0	0.0	0.0	0.0	70.0	
Q2. 入所(短期入所は除く)(5)ユニット型個室【クラス分け】												
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明	
100	7	0	0	0	0	1	2	0	12	36	42	
100.0	7.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	2.0	0.0	12.0	36.0	42.0	
Q2. 入所(短期入所は除く)(6)その他【クラス分け】												
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明	
100	10	0	1	0	1	0	0	0	0	0	88	
100.0	10.0	0.0	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	88.0	
Q2. 短期入所(1)4人部屋【クラス分け】												
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明	
100	5	1	12	6	3	0	0	0	0	0	73	
100.0	5.0	1.0	12.0	6.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	73.0	
Q2. 短期入所(2)3人部屋【クラス分け】												
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明	
100	10	0	1	0	0	0	0	0	0	0	89	
100.0	10.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	89.0	
Q2. 短期入所(3)2人部屋【クラス分け】												
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明	
100	6	1	14	3	4	1	0	0	0	0	71	
100.0	6.0	1.0	14.0	3.0	4.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	71.0	
Q2. 短期入所(4)従来型個室【クラス分け】												
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明	
100	6	4	12	5	5	0	1	0	0	0	67	
100.0	6.0	4.0	12.0	5.0	5.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	67.0	
Q2. 短期入所(5)ユニット型個室【クラス分け】												
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明	
100	7	0	3	1	25	18	0	0	0	1	45	
100.0	7.0	0.0	3.0	1.0	25.0	18.0	0.0	0.0	0.0	1.0	45.0	
Q2. 短期入所(6)その他【クラス分け】												
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明	
100	9	0	2	0	0	0	0	0	0	0	89	
100.0	9.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	89.0	
Q2. 入所(短期入所は除く)合計【クラス分け】												
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明	
100	0	0	0	1	1	4	3	6	31	51	3	
100.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	4.0	3.0	6.0	31.0	51.0	3.0	
Q2. 短期入所合計【クラス分け】												
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明	
100	1	0	18	13	38	23	1	0	0	1	5	
100.0	1.0	0.0	18.0	13.0	38.0	23.0	1.0	0.0	0.0	1.0	5.0	
Q2. 通所介護【クラス分け】												
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明	
100	9	0	0	0	8	7	9	1	0	0	66	
100.0	9.0	0.0	0.0	0.0	8.0	7.0	9.0	1.0	0.0	0.0	66.0	

Q3. 認知症入所者のケア

調査数	分けている	分けていない
100	27	73
100.0	27.0	73.0

Q3-1. フロア・ユニット数(1)認知症対応

調査数	平均	最小値	最大値
26	1.46	1.00	4.00
100.0			

Q3-1. フロア・ユニット数(2)全フロア・ユニット数

調査数	平均	最小値	最大値
19	5.95	2.00	16.00
100.0			

問4 下記の介護保険サービスのうち、貴施設（併設施設を含む）で実施しているものをお選びください。
（あてはまるものすべてに○）

1. 訪問介護	9. 介護予防訪問リハビリテーション	18. 夜間対応型訪問介護
2. 横浜市訪問介護相当サービス	10. 通所介護	19. 認知症対応型通所介護
3. 横浜市訪問型生活援助サービス	11. 地域密着型通所介護	20. 介護予防認知症対応型通所介護
4. 訪問入浴介護	12. 横浜市通所介護相当サービス	21. 小規模多機能型居宅介護
5. 介護予防訪問入浴介護	13. 通所リハビリテーション	22. 介護予防小規模多機能型居宅介護
6. 訪問看護	14. 介護予防通所リハビリテーション	23. 認知症対応型共同生活介護
7. 介護予防訪問看護	15. 福祉用具貸与	24. 看護小規模多機能型居宅介護
8. 訪問リハビリテーション	16. 特定福祉用具販売	25. 居宅介護支援、介護予防支援
	17. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	26. 1～25までのサービスは行っていない

職員、人材確保、処遇等についてお伺いします。

問5 令和4年10月1日時点の貴施設の職員数についてご記入ください。

職員数とは、貴施設が実施する全ての事業に従事する者（正規・非正規職員問わず）の在籍者総数です。括弧内には男性職員数を記入してください。また、職員の市内在住状況を教えてください。ただし、派遣労働者、委託業務従事者は含みません。該当者がいない場合は空白で結構です。

注1) 資格ではなく、従事している仕事(職種)に着目して入力してください。

なお、兼務している職員については、主として従事する仕事(職種)にのみ入力してください。

注2) 正規職員・非正規職員とは

正規職員(雇用している労働者で雇用期間の定めのない者)

非正規職員(正規職員以外の労働者(契約、嘱託、パートなど))

注3) PT(理学療法士)、OT(作業療法士)、ST(言語聴覚士)等の機能訓練指導員

()内は男性職員数

職種別(下記の職種のみ)(注1)	正規職員(注2)	非正規職員(注2)
①介護職員	人(人)	人(人)
②看護職員	人(人)	人(人)
③生活相談員	人(人)	人(人)
④PT・OT・ST等(注3)	人(人)	人(人)
⑤ケアマネジャー	人(人)	人(人)
⑥その他職員	人(人)	人(人)
職員総人数 正規職員 : 市内在住 ()人、市外在住 ()人 非正規職員: 市内在住 ()人、市外在住 ()人		

Q4. 実施している介護保険サービス

調査数	訪問介護	横浜市訪問介護相当サービス	横浜市訪問型生活援助サービス	訪問入浴介護	介護予防訪問入浴介護	訪問看護	介護予防訪問看護	訪問リハビリテーション
100 100.0	9 9.0	6 6.0	2 2.0	3 3.0	2 2.0	1 1.0	1 1.0	0 0.0
	介護予防訪問リハビリテーション	通所介護	地域密着型通所介護	横浜市通所介護相当サービス	通所リハビリテーション	介護予防通所リハビリテーション	福祉用具貸与	特定福祉用具販売
	0 0.0	24 24.0	12 12.0	20 20.0	0 0.0	0 0.0	1 1.0	1 1.0
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	夜間対応型訪問介護	認知症対応型通所介護	介護予防認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護	介護予防小規模多機能型居宅介護	認知症対応型共同生活介護	看護小規模多機能型居宅介護
	2 2.0	1 1.0	2 2.0	0 0.0	1 1.0	0 0.0	1 1.0	0 0.0
						居宅介護支援、介護予防支援	上記のサービスは行っていない	不明
						25 25.0	54 54.0	6 6.0

Q5. 介護職員(1)正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100 100.0	0 0.0	0 0.0	1 1.0	0 0.0	12 12.0	21 21.0	39 39.0	19 19.0	6 6.0	0 0.0	2 2.0

Q5. 介護職員(2)正規職員男性職員数【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100 100.0	0 0.0	0 0.0	3 3.0	16 16.0	39 39.0	25 25.0	11 11.0	1 1.0	0 0.0	0 0.0	5 5.0

Q5. 介護職員(3)非正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100 100.0	0 0.0	0 0.0	15 15.0	12 12.0	39 39.0	23 23.0	7 7.0	2 2.0	0 0.0	0 0.0	2 2.0

Q5. 介護職員(4)非正規職員男性職員数【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100 100.0	14 14.0	25 25.0	33 33.0	10 10.0	2 2.0	0 0.0	1 1.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	15 15.0

Q5. 看護職員(5)正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100 100.0	0 0.0	9 9.0	72 72.0	15 15.0	1 1.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 3.0

Q5. 看護職員(6)正規職員男性職員数【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100 100.0	44 44.0	16 16.0	5 5.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	35 35.0

Q5. 看護職員(7)非正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100 100.0	3 3.0	20 20.0	62 62.0	6 6.0	2 2.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 7.0

Q5. 看護職員(8)非正規職員男性職員数【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100 100.0	49 49.0	3 3.0	5 5.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	43 43.0

Q5. 生活相談員(9)正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100 100.0	0 0.0	25 25.0	73 73.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 2.0

Q5. 生活相談員(10)正規職員男性職員数【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100 100.0	11 11.0	44 44.0	32 32.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	13 13.0

Q5. 生活相談員(11)非正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100 100.0	41 41.0	13 13.0	2 2.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	44 44.0

Q5. 生活相談員(12)非正規職員男性職員数【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100 100.0	44 44.0	2 2.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	54 54.0

Q5. PT・OT・ST 等(13)正規職員【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100	0	23	35	17	0	0	0	0	0	0	25
100.0	0.0	23.0	35.0	17.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
Q5. PT・OT・ST 等(14)正規職員男性職員数【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100	0	28	24	7	0	0	0	0	0	0	41
100.0	0.0	28.0	24.0	7.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	41.0
Q5. PT・OT・ST 等(15)非正規職員【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100	0	34	15	4	0	0	0	0	0	0	47
100.0	0.0	34.0	15.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	47.0
Q5. PT・OT・ST 等(16)非正規職員男性職員数【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100	0	37	6	1	0	0	0	0	0	0	56
100.0	0.0	37.0	6.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	56.0
Q5. ケアマネジャー(17)正規職員【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100	0	4	44	44	0	0	0	0	0	0	8
100.0	0.0	4.0	44.0	44.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0
Q5. ケアマネジャー(18)正規職員男性職員数【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100	0	18	44	16	0	0	0	0	0	0	22
100.0	0.0	18.0	44.0	16.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.0
Q5. ケアマネジャー(19)非正規職員【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100	0	38	11	3	0	0	0	0	0	0	48
100.0	0.0	38.0	11.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	48.0
Q5. ケアマネジャー(20)非正規職員男性職員数【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100	0	44	1	0	0	0	0	0	0	0	55
100.0	0.0	44.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	55.0
Q5. その他職員(21)正規職員【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100	0	3	4	44	27	13	2	0	1	0	6
100.0	0.0	3.0	4.0	44.0	27.0	13.0	2.0	0.0	1.0	0.0	6.0
Q5. その他職員(22)正規職員男性職員数【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100	0	6	26	41	7	0	1	0	0	0	19
100.0	0.0	6.0	26.0	41.0	7.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	19.0
Q5. その他職員(23)非正規職員【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100	0	2	4	15	19	37	7	6	0	0	10
100.0	0.0	2.0	4.0	15.0	19.0	37.0	7.0	6.0	0.0	0.0	10.0
Q5. その他職員(24)非正規職員男性職員数【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100	0	3	5	35	26	10	0	0	0	0	21
100.0	0.0	3.0	5.0	35.0	26.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	21.0
Q5. 職員総人数正規職員(25)市内在住【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100	0	0	0	1	2	7	14	40	21	7	7
100.0	0.0	0.0	0.0	1.0	2.0	7.0	14.0	40.0	21.0	7.0	7.0
Q5. 職員総人数正規職員(26)市外在住【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100	0	1	7	25	24	26	4	5	1	0	7
100.0	0.0	1.0	7.0	25.0	24.0	26.0	4.0	5.0	1.0	0.0	7.0
Q5. 職員総人数非正規職員(27)市内在住【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100	0	0	0	3	7	22	27	23	9	2	7
100.0	0.0	0.0	0.0	3.0	7.0	22.0	27.0	23.0	9.0	2.0	7.0
Q5. 職員総人数非正規職員(28)市外在住【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100	0	15	17	34	6	7	5	0	0	0	16
100.0	0.0	15.0	17.0	34.0	6.0	7.0	5.0	0.0	0.0	0.0	16.0

問5-1 貴施設における外国人介護職員の採用人数についてご記入ください。
(令和4年10月1日現在、0人の場合は空白で結構です)

	採用人数 (人)									
	インドネシア	フィリピン	ベトナム	中国	ミャンマー	カンボジア	ネパール	モンゴル	タイ	その他
在留資格										
①『特定活動』(経済連携協定(EPA))										
②『介護』										
③『技能実習』(介護)										
④『特定技能1号』(介護)										
⑤『留学』										
⑥その他 (具体的に)										

	インドネシア		フィリピン		ベトナム		中国		ミャンマー		カンボジア		ネパール		モンゴル		タイ		その他	
	調査数	合計人数	調査数	合計人数	調査数	合計人数	調査数	合計人数	調査数	合計人数	調査数	合計人数	調査数	合計人数	調査数	合計人数	調査数	合計人数	調査数	合計人数
①特定活動	8	49	9	23	5	21														
②介護	5	10	5	19	4	8	6	10	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	1	1
③技能実習	4	16	0	0	12	60	10	19	14	40	1	3	1	2	0	0	0	0	2	11
④特定技能1号	10	29	4	7	17	44	4	8	5	8	1	3	1	5	1	3	0	0	0	0
⑤留学	1	1	0	0	3	12	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
⑥その他	3	4	8	11	2	2	7	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4

問6 貴施設では、従業員の職種別(注1)過不足の状況はいかがですか。(①~⑦それぞれで○はひとつ)
「不足」とは、募集を必要としていることを指します。

注1) 資格ではなく、従事している仕事(職種)に着目してください。

注2) PT(理学療法士)、OT(作業療法士)、ST(言語聴覚士)等の機能訓練指導員

職種別(注1)	大いに不足					当該職種はない
	不足	やや不足	適当	過剰		
①介護職員	1	2	3	4	5	6
②看護職員	1	2	3	4	5	6
③生活相談員	1	2	3	4	5	6
④PT・OT・ST等(注2)	1	2	3	4	5	6
⑤ケアマネジャー	1	2	3	4	5	6
⑥その他職員	1	2	3	4	5	6
⑦全体でみた場合(上記①~⑥について)	1	2	3	4	5	6

Q5-1. 合計①~⑥【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
100	1	15	28	19	7	3	1	0	0	0	26
100.0	1.0	15.0	28.0	19.0	7.0	3.0	1.0	0.0	0.0	0.0	26.0

Q6. 従業員の種別過不足状況(1)介護職員

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はない
100	15	31	42	11	1	0
100.0	15.0	31.0	42.0	11.0	1.0	0.0

Q6. 従業員の種別過不足状況(2)看護職員

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はない	不明
100	5	14	31	45	2	0	3
100.0	5.0	14.0	31.0	45.0	2.0	0.0	3.0

Q6. 従業員の種別過不足状況(3)生活相談員

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はない	不明
100	1	7	13	68	2	0	9
100.0	1.0	7.0	13.0	68.0	2.0	0.0	9.0

Q6. 従業員の種別過不足状況(4)PT・OT・ST等

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はない	不明
100	1	3	11	59	0	17	9
100.0	1.0	3.0	11.0	59.0	0.0	17.0	9.0

Q6. 従業員の種別過不足状況(5)ケアマネジャー

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はない	不明
100	1	4	20	69	1	0	5
100.0	1.0	4.0	20.0	69.0	1.0	0.0	5.0

Q6. 従業員の種別過不足状況(6)その他職員

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はない	不明
100	1	6	15	68	1	1	8
100.0	1.0	6.0	15.0	68.0	1.0	1.0	8.0

Q6. 従業員の種別過不足状況(7)全体でみた場合(上記全てについて)

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はない	不明
100	2	21	47	26	0	0	4
100.0	2.0	21.0	47.0	26.0	0.0	0.0	4.0

問6の⑦で1～3と回答した方にお伺いします。

問6-1 「⑦全体でみた場合」で、不足している理由はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 採用が困難である | 3. 事業拡大によって必要人数が増大した |
| 2. 離職率が高い(定着率が低い) | 4. その他(具体的に) |

問6-1で「1. 採用が困難である」を選択した方にお伺いします。

問6-2 職員の採用が困難な原因は何にあるとお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|---------------|
| 1. 他産業に比べて、労働要件が良くない | 4. その他(具体的に) |
| 2. 景気が良いため、介護業界へ人材が集まらない | 5. わからない |
| 3. 同業他社との人材獲得競争が厳しい | |

問7 令和3年度の人材確保の状況について、人材派遣会社または人材紹介会社の活用によって確保した人数は何名ですか。該当者がいない場合は空白で結構です。

	介護職員	看護職員	その他
① 正規職員	人	人	人
うち人材紹介会社の活用	人	人	人
② 非正規職員	人	人	人
うち人材紹介会社の活用	人	人	人
人材派遣会社の活用	人	人	人

問8 貴施設では職員の採用に際し、どのような工夫を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--|--------------------------------------|
| 1. ハローワークや福祉人材センターを頻繁に訪れている | 8. 新規卒業者や若手にこだわらないようにしている |
| 2. 求人の際に、仕事そのものの魅力や労働条件を掲載する等求人内容を工夫している | 9. 近隣の事業所と連携し、採用に関し情報交換をしている |
| 3. 職員や知人と連絡を密にとり、人材についての情報の提供を受けている | 10. 福祉系教育機関への働きかけを積極的に行っている |
| 4. 採用について、従来より多くコストをかけている | 11. 採用説明会や職場体験を実施している |
| 5. 自施設の理念やアピールポイントをHP等を介して対外的に発信している | 12. 内定後のフォローをしっかり行っている |
| 6. 介護資格や介護経験の有無にこだわらないようにしている | 13. くるみん認定など、国や地方自治体の認定等取得している |
| 7. 福祉系の教育機関出身者にこだわらないようにしている | 14. 子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等) |
| | 15. その他(具体的に) |
| | 16. 特に行っていない |

Q6-1.「全体でみた場合」で、不足している理由

調査数	採用が困難である	離職率が高い(定着率が低い)	事業拡大によって必要人数が増大した	その他
70	66	20	4	4
100.0	94.3	28.6	5.7	5.7

Q6-2. 職員の採用が困難な原因

調査数	他産業に比べて、労働要件が良くない	景気が良いため、介護業界へ人材が集まらない	同業他社との人材獲得競争が厳しい	その他	わからない
66	34	19	48	12	2
100.0	51.5	28.8	72.7	18.2	3.0

Q7. 人材確保状況①正規職員(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100	2	7	25	9	7	2	0	1	0	0	47
100.0	2.0	7.0	25.0	9.0	7.0	2.0	0.0	1.0	0.0	0.0	47.0

Q7. 人材確保状況①正規職員(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100	10	21	8	0	1	0	0	0	0	0	60
100.0	10.0	21.0	8.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0

Q7. 人材確保状況①正規職員(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100	8	13	11	2	1	0	0	0	0	0	65
100.0	8.0	13.0	11.0	2.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	65.0

Q7. 人材確保状況①うち人材紹介会社の活用(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100	8	12	19	5	2	0	1	0	0	0	53
100.0	8.0	12.0	19.0	5.0	2.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	53.0

Q7. 人材確保状況①うち人材紹介会社の活用(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100	14	14	4	1	0	0	0	0	0	0	67
100.0	14.0	14.0	4.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	67.0

Q7. 人材確保状況①うち人材紹介会社の活用(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100	14	11	6	0	0	0	0	0	0	0	69
100.0	14.0	11.0	6.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	69.0

Q7. 人材確保状況②非正規職員(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100	3	9	20	7	1	1	0	0	0	0	59
100.0	3.0	9.0	20.0	7.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	59.0

Q7. 人材確保状況②非正規職員(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100	11	11	8	0	0	0	0	0	0	0	70
100.0	11.0	11.0	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	70.0

Q7. 人材確保状況②非正規職員(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100	11	7	10	2	1	0	0	0	0	0	69
100.0	11.0	7.0	10.0	2.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	69.0

Q7. 人材確保状況②うち人材紹介会社の活用(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100	13	8	7	2	0	0	0	0	0	0	70
100.0	13.0	8.0	7.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	70.0

Q7. 人材確保状況②うち人材紹介会社の活用(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100	18	4	2	0	0	0	0	0	0	0	76
100.0	18.0	4.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	76.0

Q7. 人材確保状況②うち人材紹介会社の活用(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100	20	1	1	0	0	0	0	0	0	0	78
100.0	20.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	78.0

Q7. 人材確保状況人材派遣会社の活用(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100	11	7	15	7	9	0	1	0	0	1	49
100.0	11.0	7.0	15.0	7.0	9.0	0.0	1.0	0.0	0.0	1.0	49.0

Q7. 人材確保状況人材派遣会社の活用(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100	16	7	12	1	1	0	0	0	0	0	63
100.0	16.0	7.0	12.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	63.0

Q7. 人材確保状況人材派遣会社の活用(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100	21	0	1	0	0	0	0	0	0	0	78
100.0	21.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	78.0

Q7. 合計 介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100	1	7	24	14	10	10	3	0	0	2	29
100.0	1.0	7.0	24.0	14.0	10.0	10.0	3.0	0.0	0.0	2.0	29.0

Q7. 合計 看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100	8	16	24	4	2	0	0	0	0	0	46
100.0	8.0	16.0	24.0	4.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	46.0

Q7. 合計 その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100	9	9	14	5	2	1	0	0	0	0	60
100.0	9.0	9.0	14.0	5.0	2.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0

Q8. 職員採用の工夫

調査数	ハローワークや福祉人材センターを頻りに訪れている	求人之际、仕事そのものの魅力や労働条件を掲載する等求人内容を工夫している	職員や知人と連絡を密にとり、人材についての情報の提供を受けている	採用について、従来より多くコストをかけている	自施設の理念やアピールポイントをHP等を介して対外的に発信している	介護資格や介護経験の有無にこだわらないようにしている	福祉系の教育機関出身者にこだわらないようにしている	新規学卒者や若手にこだわらないようにしている
100	38	52	39	34	59	63	64	61
100.0	38.0	52.0	39.0	34.0	59.0	63.0	64.0	61.0
	近隣の事業所と連携し、採用に関し情報交換をしている	福祉系教育機関への働きかけを積極的に行っている	採用説明会や職場体験を実施している	内定後のフォローをしっかりと行っている	くるみん認定など、国や地方自治体の認定等を取得している	子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)	その他	特に行っていない
	6	28	29	39	4	13	2	0
	6.0	28.0	29.0	39.0	4.0	13.0	2.0	0.0

問9 貴施設において、過去3年間、介護職員の採用において利用した手段・媒体はどれですか。
(それぞれ○はひとつ)

	利用の有無	
	利用した	利用していない
①学校からの紹介	1	2
②ハローワーク	1	2
③広告(折込チラシ等含む)	1	2
④民間の職業紹介	1	2
⑤知人等からの紹介	1	2

問10 貴施設において、過去3年間、介護職員の採用において利用した手段・媒体に関し、次のような課題がありましたか。(あてはまるものすべてに○)

	課題について				
	手数料等の金額	希望する人材が紹介されない	すぐに辞めてしまうことが多い(6か月程度以内)	その他	課題は特になかった
①学校からの紹介		2	3	4	5
②ハローワーク		2	3	4	5
③広告(折込チラシ等含む)	1	2	3	4	5
④民間の職業紹介	1	2	3	4	5
⑤知人等からの紹介	1	2	3	4	5

問11 人材派遣会社や人材紹介会社を活用した場合と、それ以外の方法(ハローワークや求人広告等)の場合について、人材の確保にかかる費用は、年間どのくらいですか。令和3年度の実績をご記入ください。利用していない場合や不明の場合は、空白で結構です。

	(年額)		
	人材派遣会社を活用	人材紹介会社を活用	左記以外の方法
人材の確保にかかる年間の費用(令和3年度)	円	円	円

Q9. 介護職員の採用において利用した手段・媒体(1)学校からの紹介

調査数	利用した	利用していない	不明
100	45	47	8
100.0	45.0	47.0	8.0

Q9. 介護職員の採用において利用した手段・媒体(2)ハローワーク

調査数	利用した	利用していない	不明
100	89	8	3
100.0	89.0	8.0	3.0

Q9. 介護職員の採用において利用した手段・媒体(3)広告(折込チラシ等含む)

調査数	利用した	利用していない	不明
100	73	19	8
100.0	73.0	19.0	8.0

Q9. 介護職員の採用において利用した手段・媒体(4)民間の職業紹介

調査数	利用した	利用していない	不明
100	73	19	8
100.0	73.0	19.0	8.0

Q9. 介護職員の採用において利用した手段・媒体(5)知人等からの紹介

調査数	利用した	利用していない	不明
100	73	16	11
100.0	73.0	16.0	11.0

Q10. 介護職員の採用において利用した手段・媒体の課題(1)学校からの紹介

調査数	手数料等の金額	希望する人材が紹介されない	すぐに辞めてしまうことが多い(6か月程度以内)	その他	課題は特になかった	不明
100	0	13	5	7	36	39
100.0	0.0	13.0	5.0	7.0	36.0	39.0

Q10. 介護職員の採用において利用した手段・媒体の課題(2)ハローワーク

調査数	手数料等の金額	希望する人材が紹介されない	すぐに辞めてしまうことが多い(6か月程度以内)	その他	課題は特になかった	不明
100	0	47	21	7	26	13
100.0	0.0	47.0	21.0	7.0	26.0	13.0

Q10. 介護職員の採用において利用した手段・媒体の課題(3)広告(折込チラシ等含む)

調査数	手数料等の金額	希望する人材が紹介されない	すぐに辞めてしまうことが多い(6か月程度以内)	その他	課題は特になかった	不明
100	36	38	21	7	13	15
100.0	36.0	38.0	21.0	7.0	13.0	15.0

Q10. 介護職員の採用において利用した手段・媒体の課題(4)民間の職業紹介

調査数	手数料等の金額	希望する人材が紹介されない	すぐに辞めてしまうことが多い(6か月程度以内)	その他	課題は特になかった	不明
100	65	29	31	6	8	14
100.0	65.0	29.0	31.0	6.0	8.0	14.0

Q10. 介護職員の採用において利用した手段・媒体の課題(5)知人等からの紹介

調査数	手数料等の金額	希望する人材が紹介されない	すぐに辞めてしまうことが多い(6か月程度以内)	その他	課題は特になかった	不明
100	1	7	4	4	50	34
100.0	1.0	7.0	4.0	4.0	50.0	34.0

Q11. 人材の確保にかかる費用(1)人材派遣会社を活用【クラス分け】

調査数	0円	1~100万円未満	100~300万円未満	300~500万円未満	500~1000万円未満	1000~2000万円未満	2000万円以上	不明
100	13	3	3	2	6	8	15	50
100.0	13.0	3.0	3.0	2.0	6.0	8.0	15.0	50.0

Q11. 人材の確保にかかる費用(1)人材派遣会社を活用

調査数	平均
37	23,759,358
100.0	

Q11. 人材の確保にかかる費用(2)人材紹介会社を活用【クラス分け】

調査数	0円	1~100万円未満	100~300万円未満	300~500万円未満	500~1000万円未満	1000~2000万円未満	2000万円以上	不明
100	7	7	15	12	9	4	1	45
100.0	7.0	7.0	15.0	12.0	9.0	4.0	1.0	45.0

Q11. 人材の確保にかかる費用(2)人材紹介会社を活用

調査数	平均
48	4,227,414
100.0	

Q11. 人材の確保にかかる費用(3)左記以外の方法【クラス分け】

調査数	0円	1~100万円未満	100~300万円未満	300~500万円未満	500~1000万円未満	1000~2000万円未満	2000万円以上	不明
100	13	22	7	0	0	0	0	58
100.0	13.0	22.0	7.0	0.0	0.0	0.0	0.0	58.0

Q11. 人材の確保にかかる費用(3)左記以外の方法

調査数	平均
29	552,575
100.0	

問 12 介護職員の人材不足に対し、新たな人材の確保に向けた自治体の取組として、効果的と考えるものは次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 若い世代に向けた介護業界のイメージアップ	8. 潜在介護福祉士の（再）就職支援
2. 職場体験を実施する施設への支援	9. ロボット・ICT 活用による職員の負担軽減への支援
3. 新たに介護業界へ就職をする者が資格取得等に関する研修参加をする際の支援	10. 子育て世代が働きやすい環境の整備への支援
4. 多様な働き方（時短、夜間のみ、週休3日）の導入支援	11. 合同就職相談会の実施
5. 元気高齢者（ボランティア等）の受入れ支援	12. 介護福祉士養成施設に対する財政的支援
6. 介護助手の受入れ支援	13. その他（ ）
7. 外国人介護職員の受入れ支援	14. 自治体からの支援がなくても人材の確保ができています

問 13 介護職員の人材不足に対し、在職している職員の定着のための自治体の取組として、効果的と考えるものは次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

1. キャリアアップに資する研修の実施、参加への支援（初任者研修、実務者研修等含む）	6. 多様な働き方（時短、夜間のみ、週休3日）の導入支援
2. 参加しやすい研修の実施（出前研修、オンライン研修）	7. ロボット・ICT 等の導入支援による職員の負担軽減
3. 介護職員に対する悩み相談窓口の設置	8. 子育て世代が働きやすい環境の整備支援
4. 介護の職場におけるハラスメント対策（啓発・研修）の実施	9. その他（ ）
5. 若手職員等の交流の推進など、横のつながりの創出	10. 自治体からの支援がなくても定着を図ることができる

Q12.人材の確保に向けた自治体の取組として、効果的と考えるもの

調査数	若い世代に向けた介護業界のイメージアップ	職場体験を実施する施設への支援	新たに介護業界へ就職をする者が資格取得等に関する研修参加をする際の支援	多様な働き方（時短、夜間のみ、週休3日）の導入支援	元気高齢者（ボランティア等）の受入れ支援	介護助手の受入れ支援	外国人介護職員の受入れ支援	潜在介護福祉士の（再）就職支援
100 100.0	79 79.0	46 46.0	63 63.0	47 47.0	14 14.0	33 33.0	35 35.0	41 41.0
			ロボット・ICT 活用による職員の負担軽減への支援	子育て世代が働きやすい環境の整備への支援	合同就職相談会の実施	介護福祉士養成施設に対する財政的支援	その他	自治体からの支援がなくても人材の確保ができています
			57 57.0	59 59.0	29 29.0	45 45.0	3 3.0	2 2.0

Q13.在職している職員の定着のための自治体の取組として、効果的と考えるもの

調査数	キャリアアップに資する研修の実施、参加への支援（初任者研修、実務者研修等含む）	参加しやすい研修の実施（出前研修、オンライン研修）	介護職員に対する悩み相談窓口の設置	介護の職場におけるハラスメント対策（啓発・研修）の実施	若手職員等の交流の推進など、横のつながりの創出	多様な働き方（時短、夜間のみ、週休3日）の導入支援	ロボット・ICT 等の導入支援による職員の負担軽減	子育て世代が働きやすい環境の整備支援
100 100.0	74 74.0	53 53.0	39 39.0	33 33.0	33 33.0	49 49.0	61 61.0	65 65.0
							その他	自治体からの支援がなくても定着を図ることができる
							7 7.0	2 2.0

問 14 今後、外国人介護職員を受け入れる予定はありますか。受け入れる予定がある場合、どの在留資格でどの国からの受入れを考えていますか。(あてはまるものすべてに○)

在留資格	インドネシア	フィリピン	ベトナム	中国	ミャンマー	カンボジア	ネパール	モンゴル	タイ	国籍にこだわらない	その他
①『特定活動』(経済連携協定(EPA))	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
②『介護』	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
③『技能実習』(介護)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
④『特定技能1号』(介護)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
⑤『留学』	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
⑥在留資格にこだわらない	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
⑦その他(具体的に)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
⑧受け入れる予定はない	12										

問 15 外国人介護職員に対し、日本語の勉強のため、貴施設ではどのようなことに取り組んでいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 施設や法人で、日本人の職員が教えている	8. 勤務時間内に、勉強の時間を組み入れている
2. 日本語の先生等外部に委託し、施設や法人内で教えている	9. その他()
3. 施設や法人が金銭的負担をし、日本語学校等に通わせている	10. 特になし
4. 横浜市が委託して実施している研修事業(訪日後日本語等研修)に参加させている	11. 外国人介護職員がいない
5. ボランティアによる日本語教室等無料の教室・横浜市以外が実施する研修に参加させている	
6. 日本語のテキストを渡し、勉強させている	
7. 施設において、勉強の目標や計画を策定している	

Q14.在留資格で受入れる国(1)インドネシア

調査数	『特定活動』(経済連携協定(EPA))	『介護』	『技能実習』(介護)	『特定技能1号』(介護)	『留学』	在留資格にこだわらない	その他	不明
100	4	2	3	9	0	0	0	85
100.0	4.0	2.0	3.0	9.0	0.0	0.0	0.0	85.0

Q14.在留資格で受入れる国(2)フィリピン

調査数	『特定活動』(経済連携協定(EPA))	『介護』	『技能実習』(介護)	『特定技能1号』(介護)	『留学』	在留資格にこだわらない	その他	不明
100	3	2	0	2	0	0	0	94
100.0	3.0	2.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	94.0

Q14.在留資格で受入れる国(3)ベトナム

調査数	『特定活動』(経済連携協定(EPA))	『介護』	『技能実習』(介護)	『特定技能1号』(介護)	『留学』	在留資格にこだわらない	その他	不明
100	3	2	5	12	1	1	0	80
100.0	3.0	2.0	5.0	12.0	1.0	1.0	0.0	80.0

Q14.在留資格で受入れる国(4)中国

調査数	『特定活動』(経済連携協定(EPA))	『介護』	『技能実習』(介護)	『特定技能1号』(介護)	『留学』	在留資格にこだわらない	その他	不明
100	0	3	3	6	3	0	0	92
100.0	0.0	3.0	3.0	6.0	3.0	0.0	0.0	92.0

Q14.在留資格で受入れる国(5)ミャンマー

調査数	『特定活動』(経済連携協定(EPA))	『介護』	『技能実習』(介護)	『特定技能1号』(介護)	『留学』	在留資格にこだわらない	その他	不明
100	0	1	5	5	0	0	0	91
100.0	0.0	1.0	5.0	5.0	0.0	0.0	0.0	91.0

Q14.在留資格で受入れる国(6)カンボジア

調査数	『特定活動』(経済連携協定(EPA))	『介護』	『技能実習』(介護)	『特定技能1号』(介護)	『留学』	在留資格にこだわらない	その他	不明
100	1	0	0	1	0	0	0	98
100.0	1.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	98.0

Q14.在留資格で受入れる国(7)ネパール

調査数	『特定活動』(経済連携協定(EPA))	『介護』	『技能実習』(介護)	『特定技能1号』(介護)	『留学』	在留資格にこだわらない	その他	不明
100	0	0	0	1	0	1	0	98
100.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	1.0	0.0	98.0

Q14.在留資格で受入れる国(8)モンゴル

調査数	『特定活動』(経済連携協定(EPA))	『介護』	『技能実習』(介護)	『特定技能1号』(介護)	『留学』	在留資格にこだわらない	その他	不明
100	0	0	0	1	0	0	0	99
100.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	99.0

Q14.在留資格で受入れる国(9)タイ

調査数	『特定活動』(経済連携協定(EPA))	『介護』	『技能実習』(介護)	『特定技能1号』(介護)	『留学』	在留資格にこだわらない	その他	不明
100	0	0	0	0	0	0	0	100
100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

Q14.在留資格で受入れる国(10)国籍にこだわらない

調査数	『特定活動』(経済連携協定(EPA))	『介護』	『技能実習』(介護)	『特定技能1号』(介護)	『留学』	在留資格にこだわらない	その他	不明
100	2	6	5	6	5	6	1	87
100.0	2.0	6.0	5.0	6.0	5.0	6.0	1.0	87.0

Q14.在留資格で受入れる国(11)その他

調査数	『特定活動』(経済連携協定(EPA))	『介護』	『技能実習』(介護)	『特定技能1号』(介護)	『留学』	在留資格にこだわらない	その他	不明
100	2	3	2	3	2	2	2	96
100.0	2.0	3.0	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	96.0

Q14.在留資格で受入れる国(12)受け入れる予定はない

調査数	受け入れる予定はない	不明
100	36	64
100.0	36.0	64.0

問 16 外国人介護職員に対し、現場における介護技能の向上のため、貴施設ではどのようなことに取り組んでいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 施設における OJT を通して、日本人の職員が教えている	9. 施設や法人で介護福祉士試験の受験を見据えた対策講座などを行っている
2. 施設における OJT を通して、外国人の職員が教えている	10. 外部で行われている、介護福祉士試験の受験を見据えた対策講座などに参加させている。(有料無料問わない)
3. 講師等を外部に委託し、施設や法人内で教えている	11. その他 ()
4. 施設や法人が金銭的負担をし、専門学校等に通わせている	12. 特にない
5. 公的な機関が実施している研修事業に参加させている	13. 外国人介護職員がいない
6. 介護技能に関するテキストを渡し、勉強させている	
7. 施設において、勉強の目標や計画を策定している	
8. 勤務時間内に、勉強の時間を組み入れている	

問 17 外国人介護職員を、貴施設で受け入れるにあたり、自治体の取組として効果的と考えるものは次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 在留資格の違いや、受入れ手続きの流れ等を理解するための研修やセミナーの実施	6. 外国人介護職員に対する介護に関する研修や日本語研修などの支援
2. 受入れのための入管手続きなどの事務の支援(施設向け相談窓口の設置)	7. 介護福祉士試験合格のための支援
3. 受入れにあたり施設にかかる経費の補助等の経済的支援(住居費等) ※給与や紹介手数料は含まない	8. その他 ()
4. 外国人介護職員向け相談窓口等の生活支援	9. 自治体からの支援がなくても、十分受け入れができる
5. 受入れ施設の職員のための研修(教育方法や、文化等の理解、コミュニケーションの方法等)	

Q15.外国人介護職員に対し、日本語の勉強のための取り組み

調査数	施設や法人で、日本人の職員が教えている	日本語の先生等外部に委託し、施設や法人内で教えている	施設や法人が金銭的負担をし、日本語学校等に通わせている	横浜市が委託して実施している研修事業(訪日後日本語等研修)に参加させている	ボランティアによる日本語教室等無料の教室・横浜市以外が実施する研修に参加させている	日本語のテキストを渡し、勉強させている	施設において、勉強の目標や計画を策定している	勤務時間内に、勉強の時間を組み入れている
100	45	16	14	18	4	27	22	16
100.0	45.0	16.0	14.0	18.0	4.0	27.0	22.0	16.0
					その他	特にない	外国人介護職員がいない	不明
					1	10	19	5
					1.0	10.0	19.0	5.0

Q16.外国人介護職員に対し、現場における介護技能の向上のための取り組み

調査数	施設における OJT を通して、日本人の職員が教えている	施設における OJT を通して、外国人の職員が教えている	講師等を外部に委託し、施設や法人内で教えている	施設や法人が金銭的負担をし、専門学校等に通わせている	公的な機関が実施している研修事業に参加させている	介護技能に関するテキストを渡し、勉強させている	施設において、勉強の目標や計画を策定している	勤務時間内に、勉強の時間を組み入れている
100	71	17	5	1	10	24	28	16
100.0	71.0	17.0	5.0	1.0	10.0	24.0	28.0	16.0
			施設や法人で介護福祉士試験の受験を見据えた対策講座などを行っている	外部で行われている、介護福祉士試験の受験を見据えた対策講座などに参加させている。(有料無料問わない)	その他	特にない	外国人介護職員がいない	不明
			16	12	1	1	19	4
			16.0	12.0	1.0	1.0	19.0	4.0

Q17.外国人介護職員を、受け入れるにあたり、自治体の取組として効果的と考えるもの

調査数	在留資格の違いや、受入れ手続きの流れ等を理解するための研修やセミナーの実施	受入れのための入管手続きなどの事務の支援(施設向け相談窓口の設置)	受入れにあたり施設にかかる経費の補助等の経済的支援(住居費等) ※給与や紹介手数料は含まない	外国人介護職員向け相談窓口等の生活支援	受入れ施設の職員のための研修(教育方法や、文化等の理解、コミュニケーションの方法等)	外国人介護職員に対する介護に関する研修や日本語研修などの支援	介護福祉士試験合格のための支援	その他
100	34	40	64	41	36	63	46	2
100.0	34.0	40.0	64.0	41.0	36.0	63.0	46.0	2.0
							自治体からの支援がなくても、十分受け入れができる	不明
							6	7
							6.0	7.0

問 18 外国人介護職員に、どのような職員となることを期待しているか、最も当てはまるものを選んでください。(〇はひとつ)

- | | |
|----------------------------------|----------------------|
| 1. 基本的な業務については、一人で対応できるようになってほしい | 4. 外国人介護職員の採用は考えていない |
| 2. 他の外国人職員のリーダー的存在になってほしい | |
| 3. 日本人職員も含め、職員のリーダー的存在になってほしい | |

問 19 採用した外国人介護職員の介護福祉士の資格取得についての考え方として、最も当てはまるものを選んでください。(〇はひとつ)

- | | |
|---|--|
| 1. 施設・法人として介護福祉士の資格取得をしてほしいため、勉強や研修の参加の支援をしたい | 4. 介護福祉士の資格取得はしてほしいが、外国人が試験合格をすることは、現実的に難しいと思う |
| 2. 本人が介護福祉士の資格取得を希望するのであれば支援したい | 5. 外国人介護職員の介護福祉士資格の取得までは考えていない |
| 3. 施設・法人としてはどちらでもよい | 6. 外国人介護職員の採用は考えていない |

Q18.外国人介護職員に、どのような職員となることを期待しているか、最も当てはまるもの

調査数	基本的な業務については、一人で対応できるようにしてほしい	他の外国人職員のリーダー的存在になってほしい	日本人職員も含め、職員のリーダー的存在になってほしい	外国人介護職員の採用は考えていない	不明
100	57	15	15	11	2
100.0	57.0	15.0	15.0	11.0	2.0

Q19.採用した外国人介護職員の介護福祉士の資格取得についての考え方として、最も当てはまるもの

調査数	施設・法人として介護福祉士の資格取得をしてほしいため、勉強や研修の参加の支援をしたい	本人が介護福祉士の資格取得を希望するのであれば支援したい	施設・法人としてはどちらでもよい	介護福祉士の資格取得はしてほしいが、外国人が試験合格をすることは、現実的に難しいと思う	外国人介護職員の介護福祉士資格の取得までは考えていない	外国人介護職員の採用は考えていない	不明
100	27	51	0	4	3	13	2
100.0	27.0	51.0	0.0	4.0	3.0	13.0	2.0

問 20 職員の早期離職防止や定着促進を図るために、(1)実施しているものを教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

また、早期離職防止や定着促進に最も効果があった方策を(2)正規職員、(3)非正規職員ごとにそれぞれ1つ選んでください。(実施しているものの中から○は1つ)

	(1) 実施して いる	効果がある	
		(2) 正規職員	(3) 非正規職員
① 残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる	1	2	3
② 本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる	1	2	3
③ 賃金水準を向上させている	1	2	3
④ 能力や仕事を評価し、賃金などの処遇に反映している	1	2	3
⑤ 職員の仕事内容と必要な能力等を明示している	1	2	3
⑥ キャリアに応じた給与体系を整備している	1	2	3
⑦ 非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている	1	2	3
⑧ 新人の指導担当・アドバイザーを置いている	1	2	3
⑨ 能力開発を充実させている(社内研修実施、社外講習等の受講・支援等)	1	2	3
⑩ 管理者・リーダー層の部下育成や動機付け、能力向上に向けた教育研修に力を入れている	1	2	3
⑪ 仕事内容の希望を聞いて配置している	1	2	3
⑫ 悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている(メンタルヘルス対策を含む)	1	2	3
⑬ 健康対策や健康管理に力を入れている	1	2	3
⑭ 職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている(定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等)	1	2	3
⑮ 経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている	1	2	3
⑯ 業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れている	1	2	3
⑰ 介護ロボットやICT等の導入による働きやすい職場作りに力を入れている	1	2	3
⑱ 福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている(カラオケ、ボーリングなどの同好会、親睦会等の実施を含む)	1	2	3
⑲ 職場環境を整えている(休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等)	1	2	3
⑳ 子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)	1	2	3
㉑ その他(具体的に)	1	2	3
㉒ 特に方策はとっていない	4		

Q20.職員の早期離職防止や定着促進を図るため(1)実施している

調査数	残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる	本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる	賃金水準を向上させている	能力や仕事を評価し、賃金などの処遇に反映している	職員の仕事内容と必要な能力等を明示している	キャリアに応じた給与体系を整備している	非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている	新人の指導担当・アドバイザーを置いている
100 100.0	76 76.0	68 68.0	62 62.0	58 58.0	37 37.0	55 55.0	79 79.0	44 44.0
	能力開発を充実させている(社内研修実施、社外講習等の受講・支援等)	管理者・リーダー層の部下育成や動機付け、能力向上に向けた教育研修に力を入れている	仕事内容の希望を聞いて配置している	悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている(メンタルヘルス対策を含む)	健康対策や健康管理に力を入れている	職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている(定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等)	経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている	業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れている
	50 50.0	35 35.0	39 39.0	61 61.0	37 37.0	59 59.0	48 48.0	50 50.0
			介護ロボットやICT等の導入による働きやすい職場作りに力を入れている	福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている(カラオケ、ボーリングなどの同好会、親睦会等の実施を含む)	職場環境を整えている(休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等)	子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)	その他	特に方策はとっていない
			50 50.0	19 19.0	37 37.0	16 16.0	1 1.0	1 1.0

Q20.職員の早期離職防止や定着促進を図るため(2)効果がある:正規職員

調査数	残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる	本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる	賃金水準を向上させている	能力や仕事を評価し、賃金などの処遇に反映している	職員の仕事内容と必要な能力等を明示している	キャリアに応じた給与体系を整備している	非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている	新人の指導担当・アドバイザーを置いている
100 100.0	24 24.0	5 5.0	17 17.0	8 8.0	1 1.0	3 3.0	2 2.0	5 5.0
	能力開発を充実させている(社内研修実施、社外講習等の受講・支援等)	管理者・リーダー層の部下育成や動機付け、能力向上に向けた教育研修に力を入れている	仕事内容の希望を聞いて配置している	悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている(メンタルヘルス対策を含む)	健康対策や健康管理に力を入れている	職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている(定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等)	経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている	業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れている
	1 1.0	1 1.0	2 2.0	3 3.0	0 0.0	6 6.0	0 0.0	0 0.0
			介護ロボットやICT等の導入による働きやすい職場作りに力を入れている	福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている(カラオケ、ボーリングなどの同好会、親睦会等の実施を含む)	職場環境を整えている(休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等)	子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)	その他	不明
			3 3.0	0 0.0	1 1.0	0 0.0	1 1.0	17 17.0

問 21 貴施設における介護職員処遇改善加算（現行加算）、介護職員等特定処遇改善加算（特定加算）及び介護職員等ベースアップ等支援加算（ベースアップ等加算）の届出状況について、教えてください。（〇はひとつ）

1. 現行加算・特定加算・ベースアップ等加算全ての届出をしている（届出予定を含む）	} → 問 21-1、2へ
2. 現行加算と特定加算の届出をしている（届出予定を含む）	
3. 現行加算のみ届出をしている（届出予定を含む）	
4. どちらも届出をしていない → 問 21-3へ	

問 21 で「1. 現行加算・特定加算・ベースアップ等加算全ての届出をしている（届出予定を含む）」
「2. 現行加算と特定加算の届出をしている（届出予定を含む）」「3. 現行加算のみ届出をしている（届出予定を含む）」と回答した方にお伺いします。

問 21-1 貴施設では、どのように介護職員処遇改善計画書の周知を行っていますか。（あてはまるものすべてに〇）

1. 掲示板等への掲示	3. 面談・会議等での説明
2. メールや回覧形式等による通知	4. その他（具体的に

問 21-2 貴施設では、下記のような対応をしましたか。（あてはまるものすべてに〇）

1. 基本給の引上げ	5. 昇進・昇格要件の明確化
2. 諸手当の導入・引上げ	6. 非正規職員から正規職員への登用
3. 一時金の支給	7. その他
4. 教育研修の充実	（具体的に

Q20. 職員の早期離職防止や定着促進を図るため(3)効果がある:非正規職員

調査数	残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる	本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる	賃金水準を向上させている	能力や仕事ぶりを評価し、賃金などの処遇に反映している	職員の仕事内容と必要な能力等を明示している	キャリアに応じた給与体系を整備している	非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている	新人の指導担当・アドバイザーを置いている	
100 100.0	13 13.0	28 28.0	12 12.0	3 3.0	0 0.0	0 0.0	8 8.0	3 3.0	
	能力開発を充実させている（社内研修実施、社外講習等の受講・支援等）	管理者・リーダー層の部下育成や動機付け、能力向上に向けた教育研修に力を入れている	仕事内容の希望を聞いて配置している	悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている（メンタルヘルス対策を含む）	健康対策や健康管理に力を入れている	職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている（定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等）	経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている	業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れている	
	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 2.0	1 1.0	4 4.0	0 0.0	0 0.0	
				介護ロボットやICT等の導入による働きやすい職場作りに力を入れている	福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている（カラオケ、ボーリングなどの同好会、親睦会等の実施を含む）	職場環境を整えている（休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等）	子育て支援を行っている（子ども預かり所を設ける、保育費用支援等）	その他	不明
				1 1.0	1 1.0	1 1.0	2 2.0	1 1.0	20 20.0

Q21. 介護職員処遇改善加算（現行加算）、介護職員等特定処遇改善加算（特定加算）及び介護職員等ベースアップ等支援加算（ベースアップ等加算）の届出状況について

調査数	現行加算・特定加算・ベースアップ等加算全ての届出をしている（届出予定を含む）	現行加算と特定加算の届出をしている（届出予定を含む）	現行加算のみ届出をしている（届出予定を含む）	どちらも届出をしていない
100 100.0	97 97.0	3 3.0	0 0.0	0 0.0

Q21-1. 介護職員処遇改善計画書の周知

調査数	掲示板等への掲示	メールや回覧形式等による通知	面談・会議等での説明	その他
100 100.0	80 80.0	29 29.0	53 53.0	1 1.0

Q21-2. 介護職員処遇改善計画書の対応

調査数	基本給の引上げ	諸手当の導入・引上げ	一時金の支給	教育研修の充実	昇進・昇格要件の明確化	非正規職員から正規職員への登用	その他	不明
100 100.0	48 48.0	78 78.0	65 65.0	36 36.0	29 29.0	47 47.0	0 0.0	1 1.0

問 21 で「4. いずれも届出をしていない」と回答した方にお伺いします。

問 21-3 介護職員処遇改善加算（現行加算）、介護職員等特定処遇改善加算（特定加算）及び介護職員等ベースアップ等支援加算（ベースアップ等加算）の届出を行わない理由について、教えてください。（あてはまるものすべてに○）

1. 対象の制約のため困難	5. 非常勤職員等の処遇上の問題
2. 事務作業が煩雑	6. 賃金改善の必要性がない
3. 追加費用負担の発生	7. 算定要件を達成できない
4. 利用者負担の発生	8. その他 (具体的に)

問 22 令和3年度に離職（注1）した人数は何名ですか。

注1) 「離職者」とは、令和3年度中に施設を退職したり、解雇された者をいい、他企業への出向者・出向復帰者を含み、同一企業内での転出入者を除く。
注2) 正規職員・非正規職員とは
正規職員(雇用している労働者で雇用期間の定めのない者)
非正規職員(正規職員以外の労働者(契約、嘱託、パートなど))
常勤労働者(1週の所定労働時間が主たる正規職員と同じ者)
短時間労働者(1週の所定労働時間が主たる正規職員に比べ短い者)

	介護職員	看護職員	その他
①正規職員（注2）	人	人	人
②非正規職員（注2）	人	人	人
常勤労働者	人	人	人
短時間労働者	人	人	人

問 23 貴施設で、直近1年での離職者について、最も多かった離職理由を選択してください。（○はひとつ）

1. 法人の都合	8. 法人や事業所の理念や運営のあり方に不満があったため
2. 他に良い仕事・職場があったため	9. 家族の転職・転勤、又は事業所の移転のため
3. 新しい資格を取ったから	10. 定年・雇用契約の満了のため
4. 収入が少なかつたため	11. 病気・高齢のため
5. 自分（離職者）の将来の見込みが立たなかつたため	12. 結婚・出産・妊娠・育児のため
6. 自分（離職者）に向かない仕事だつたため	13. 家族の介護・看護のため
7. 職場の人間関係に問題があつたため	14. その他 (具体的に)

Q21-3.介護職員処遇改善加算（現行加算）、介護職員等特定処遇改善加算（特定加算）及び介護職員等ベースアップ等支援加算（ベースアップ等加算）の届出を行わない理由

調査数	対象の制約のため困難	事務作業が煩雑	追加費用負担の発生	利用者負担の発生	非常勤職員等の処遇上の問題	賃金改善の必要性がない	算定要件を達成できない	その他
0	0	0	0	0	0	0	0	0
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q22.離職人数別①正規職員(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	不明
100	2	10	48	20	11	2	7
100.0	2.0	10.0	48.0	20.0	11.0	2.0	7.0

調査数	平均
91	5.71
100.0	

Q22.離職人数別①正規職員(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	不明
100	20	29	13	0	1	0	37
100.0	20.0	29.0	13.0	0.0	1.0	0.0	37.0

調査数	平均
43	1.74
100.0	

Q22.離職人数別①正規職員(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	不明
100	12	18	20	4	0	0	46
100.0	12.0	18.0	20.0	4.0	0.0	0.0	46.0

調査数	平均
42	2.36
100.0	

Q22.離職人数別②非正規職員(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	不明
100	3	14	41	14	8	0	20
100.0	3.0	14.0	41.0	14.0	8.0	0.0	20.0

調査数	平均
77	4.65
100.0	

Q22.離職人数別②非正規職員(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	不明
100	15	26	10	1	0	0	48
100.0	15.0	26.0	10.0	1.0	0.0	0.0	48.0

調査数	平均
37	1.59
100.0	

Q22.離職人数別②非正規職員(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	不明
100	9	15	23	3	1	0	49
100.0	9.0	15.0	23.0	3.0	1.0	0.0	49.0

調査数	平均
42	2.90
100.0	

Q22.離職人数別②のうち常勤労働者(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	不明
100	18	14	14	6	0	0	48
100.0	18.0	14.0	14.0	6.0	0.0	0.0	48.0

調査数	平均
34	2.62
100.0	

Q22.離職人数別②のうち常勤労働者(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	不明
100	24	11	4	0	0	0	61
100.0	24.0	11.0	4.0	0.0	0.0	0.0	61.0

調査数	平均
15	1.33
100.0	

Q22.離職人数別②のうち常勤労働者(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	不明
100	24	4	5	0	0	0	67
100.0	24.0	4.0	5.0	0.0	0.0	0.0	67.0

調査数	平均
9	1.67
100.0	

Q22.離職人数別②のうち短時間労働者(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	不明
100	5	12	33	10	4	0	36
100.0	5.0	12.0	33.0	10.0	4.0	0.0	36.0

調査数	平均
59	4.15
100.0	

Q22.離職人数別②のうち短時間労働者(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	不明
100	17	16	4	1	0	0	62
100.0	17.0	16.0	4.0	1.0	0.0	0.0	62.0

調査数	平均
21	1.57
100.0	

Q22.離職人数別②のうち短時間労働者(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	不明
100	9	14	17	2	1	0	57
100.0	9.0	14.0	17.0	2.0	1.0	0.0	57.0

調査数	平均
34	2.85
100.0	

Q23.直近1年での離職者について、最も多かった離職理由

調査数	法人の都合	他に良い仕事・職場があつたため	新しい資格を取つたから	収入が少なかつたため	自分(離職者)の将来の見込みが立たなかつたため	自分(離職者)に向かない仕事だつたため	職場の人間関係に問題があつたため	法人や施設の理念や運営のあり方に不満があつたため
100	0	35	0	1	3	8	19	6
100.0	0.0	35.0	0.0	1.0	3.0	8.0	19.0	6.0
		家族の転職・転勤、又は事業所の移転のため	定年・雇用契約の満了のため	病気・高齢のため	結婚・出産・妊娠・育児のため	家族の介護・看護のため	その他	不明
		2	5	7	0	3	8	3
		2.0	5.0	7.0	0.0	3.0	8.0	3.0

入退所者についてお伺いします。

問 24 令和4年10月1日午前0時時点の入所者（一時入院や帰宅等の外泊で居室を確保している人も含む）、短期入所者の人数と、そのうち横浜市の被保険者の人数、横浜市以外の被保険者で住所地特例を受けている人数を記入してください。

また、医療処置が必要な方の人数を記入してください。

	入所（短期入所は除く）	短期入所
横浜市の被保険者の人数	人	人
横浜市以外の市町村の被保険者で住所地特例となっている被保険者数	人	
医療処置が必要な人数	人	人

問 25 問 24 の入所者、短期入所者について、日常生活自立度（ADL）別人数をご記入ください。

※参考資料を参照

	入所（短期入所は除く）	短期入所
①自立	人	人
②ランクJ	人	人
③ランクA	人	人
④ランクB	人	人
⑤ランクC	人	人

問 26 問 24 の入所者、短期入所者について、認知症ランク別人数をご記入ください。

※参考資料を参照

	入所（短期入所は除く）	短期入所
①正常	人	人
②ランクI	人	人
③ランクII	人	人
④ランクIII	人	人
⑤ランクIV	人	人
⑥ランクM	人	人

Q24 入所（短期入所は除く）(1)横浜市の被保険者の人数【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明	調査数	平均
100	0	1	0	1	0	1	3	9	47	26	12	88	92.17
100.0	0.0	1.0	0.0	1.0	0.0	1.0	3.0	9.0	47.0	26.0	12.0	100.0	

調査数	平均
88	92.17
100.0	

Q24 入所（短期入所は除く）(2)横浜市以外の市町村の被保険者で住所地特例となっている被保険者数【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明	調査数	平均
100	7	17	34	11	5	2	0	0	1	1	22	71	7.90
100.0	7.0	17.0	34.0	11.0	5.0	2.0	0.0	0.0	1.0	1.0	22.0	100.0	

調査数	平均
71	7.90
100.0	

Q24 入所（短期入所は除く）(3)医療処置が必要な人数【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明	調査数	平均
100	2	1	8	9	32	17	5	1	4	1	20	78	40.13
100.0	2.0	1.0	8.0	9.0	32.0	17.0	5.0	1.0	4.0	1.0	20.0	100.0	

調査数	平均
78	40.13
100.0	

Q24 短期入所 (1)横浜市の被保険者の人数【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明	調査数	平均
100	6	4	15	20	22	13	1	0	0	0	19	75	10.95
100.0	6.0	4.0	15.0	20.0	22.0	13.0	1.0	0.0	0.0	0.0	19.0	100.0	

調査数	平均
75	10.95
100.0	

Q24 短期入所 (3)医療処置が必要な人数【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明	調査数	平均
100	38	11	10	0	0	0	0	0	0	0	41	21	1.71
100.0	38.0	11.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	41.0	100.0	

調査数	平均
21	1.71
100.0	

Q25 日常生活自立度 (ADL) 別人数: 入所 (短期入所は除く) (1) 自立【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明	調査数	平均
100	30	5	0	1	1	0	1	0	0	0	62	62	62.0
100.0	30.0	5.0	0.0	1.0	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	62.0	100.0	

調査数	平均
62	62.0
100.0	

Q25 日常生活自立度 (ADL) 別人数: 入所 (短期入所は除く) (2) ランクJ【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明	調査数	平均
100	21	6	13	3	1	1	1	0	0	0	54	54	54.0
100.0	21.0	6.0	13.0	3.0	1.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	54.0	100.0	

調査数	平均
54	54.0
100.0	

Q25 日常生活自立度 (ADL) 別人数: 入所 (短期入所は除く) (3) ランクA【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明	調査数	平均
100	0	1	9	10	24	13	14	2	2	0	25	25	25.0
100.0	0.0	1.0	9.0	10.0	24.0	13.0	14.0	2.0	2.0	0.0	25.0	100.0	

調査数	平均
25	25.0
100.0	

Q25 日常生活自立度 (ADL) 別人数: 入所 (短期入所は除く) (4) ランクB【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明	調査数	平均
100	0	0	0	1	3	7	19	26	18	3	23	23	23.0
100.0	0.0	0.0	0.0	1.0	3.0	7.0	19.0	26.0	18.0	3.0	23.0	100.0	

調査数	平均
23	23.0
100.0	

Q25 日常生活自立度 (ADL) 別人数: 入所 (短期入所は除く) (5) ランクC【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明	調査数	平均
100	0	1	6	12	25	13	13	5	0	1	24	24	24.0
100.0	0.0	1.0	6.0	12.0	25.0	13.0	13.0	5.0	0.0	1.0	24.0	100.0	

調査数	平均
24	24.0
100.0	

Q25 日常生活自立度 (ADL) 別人数: 短期入所 (1) 自立【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明	調査数	平均
100	27	0	5	0	1	0	0	0	0	0	67	67	67.0
100.0	27.0	0.0	5.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	67.0	100.0	

調査数	平均
67	67.0
100.0	

Q25 日常生活自立度 (ADL) 別人数: 短期入所 (2) ランクJ【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明	調査数	平均
100	10	17	15	1	0	0	0	0	0	0	57	57	57.0
100.0	10.0	17.0	15.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	57.0	100.0	

調査数	平均
57	57.0
100.0	

Q25 日常生活自立度 (ADL) 別人数: 短期入所 (3) ランクA【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明	調査数	平均
100	5	6	29	9	9	1	0	0	0	0	41	41	41.0
100.0	5.0	6.0	29.0	9.0	9.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	41.0	100.0	

調査数	平均
41	41.0
100.0	

Q25 日常生活自立度 (ADL) 別人数: 短期入所 (4) ランクB【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明	調査数	平均
100	6	7	25	10	8	0	0	0	0	0	44	44	44.0
100.0	6.0	7.0	25.0	10.0	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	44.0	100.0	

調査数	平均
44	44.0
100.0	

Q25 日常生活自立度 (ADL) 別人数: 短期入所 (5) ランクC【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明	調査数	平均
100	13	10	15	6	0	0	0	0	0	0	56	56	56.0
100.0	13.0	10.0	15.0	6.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	56.0	100.0	

調査数	平均
56	56.0
100.0	

Q26 認知症ランク別人数：入所（短期入所は除く）(1)正常【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100	20	9	14	1	0	2	0	0	0	0	54
100.0	20.0	9.0	14.0	1.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	54.0

Q26 認知症ランク別人数：入所（短期入所は除く）(2)ランクⅠ【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100	12	10	22	9	7	1	0	0	0	0	39
100.0	12.0	10.0	22.0	9.0	7.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	39.0

Q26 認知症ランク別人数：入所（短期入所は除く）(3)ランクⅡ【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100	1	1	11	7	26	13	13	4	1	0	23
100.0	1.0	1.0	11.0	7.0	26.0	13.0	13.0	4.0	1.0	0.0	23.0

Q26 認知症ランク別人数：入所（短期入所は除く）(4)ランクⅢ【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100	0	0	0	1	7	6	28	24	10	1	23
100.0	0.0	0.0	0.0	1.0	7.0	6.0	28.0	24.0	10.0	1.0	23.0

Q26 認知症ランク別人数：入所（短期入所は除く）(5)ランクⅣ【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100	1	2	2	7	25	25	8	5	1	0	24
100.0	1.0	2.0	2.0	7.0	25.0	25.0	8.0	5.0	1.0	0.0	24.0

Q26 認知症ランク別人数：入所（短期入所は除く）(6)ランクM【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100	13	6	23	6	7	2	2	0	0	0	41
100.0	13.0	6.0	23.0	6.0	7.0	2.0	2.0	0.0	0.0	0.0	41.0

Q26 認知症ランク別人数：短期入所 (1)正常【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100	19	5	13	1	1	0	0	0	0	0	61
100.0	19.0	5.0	13.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	61.0

Q26 認知症ランク別人数：短期入所 (2)ランクⅠ【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100	11	12	22	4	0	0	0	0	0	0	51
100.0	11.0	12.0	22.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	51.0

Q26 認知症ランク別人数：短期入所 (3)ランクⅡ【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100	5	8	31	7	8	0	0	0	0	0	41
100.0	5.0	8.0	31.0	7.0	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	41.0

Q26 認知症ランク別人数：短期入所 (4)ランクⅢ【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100	7	9	25	11	7	0	0	0	0	0	41
100.0	7.0	9.0	25.0	11.0	7.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	41.0

Q26 認知症ランク別人数：短期入所 (5)ランクⅣ【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100	13	12	14	3	1	0	0	0	0	0	57
100.0	13.0	12.0	14.0	3.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	57.0

Q26 認知症ランク別人数：短期入所 (6)ランクM【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
100	23	4	0	1	0	0	0	0	0	0	72
100.0	23.0	4.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	72.0

問 27 現在、貴施設で行っている医療処置は次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 点滴の管理	9. 経管栄養
2. 中心静脈栄養	10. モニター測定 (血圧、心拍、酸素飽和度等)
3. 透析	11. 褥瘡 ^{じよくそう} の処置
4. ストーマ (人工肛門) の処置	12. カテーテル (コンドームカテーテル、留置カテーテル、ウロストーマ等)
5. 酸素療法	13. その他
6. レスピレーター (人工呼吸器)	(具体的に)
7. 気管切開の処置	14. 医療処置は行わない
8. 疼痛の看護	

問 28 貴施設では次のことを理由に、入所 (継続) を断ることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 医療処置	→ 問 28-1 へ	3. 医療処置及び認知症以外	→ 問 28-5 へ
2. 認知症	→ 問 28-3 へ	4. 断ることはない	→ 問 29 へ

問 28 で「1. 医療処置」と回答した方にお伺いします。

問 28-1 何の医療処置を理由に入所を断ることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 点滴の管理	9. 経管栄養
2. 中心静脈栄養	10. モニター測定 (血圧、心拍、酸素飽和度等)
3. 透析	11. 褥瘡 ^{じよくそう} の処置
4. ストーマ (人工肛門) の処置	12. カテーテル (コンドームカテーテル、留置カテーテル、ウロストーマ等)
5. 酸素療法	13. その他
6. レスピレーター (人工呼吸器)	(具体的に)
7. 気管切開の処置	
8. 疼痛の看護	

問 28-2 貴施設では、医療処置を理由に、入所 (継続) を断る場合、以下のいずれかの機関を紹介していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 介護老人保健施設	4. 一般病床
2. 介護療養型医療施設 (介護医療院)	5. どこも紹介していない
3. 医療療養型医療施設	6. その他
	(具体的に)

問 28 で「2. 認知症」と回答した方にお伺いします。

問 28-3 認知症状を理由に入所 (継続) を断る場合、その方の認知症高齢者の日常生活自立度はどの程度ですか。(○はひとつ)

1. II 以上	2. III 以上	3. IV 以上	4. M 以上	5. その他 (具体的に)
----------	-----------	----------	---------	----------------

Q27.行っている医療処置

調査数	点滴の管理	中心静脈栄養	透析	ストーマ(人工肛門)の処置	酸素療法	レスピレーター(人工呼吸器)	気管切開の処置	疼痛の看護
100	26	4	3	69	71	2	3	24
100.0	26.0	4.0	3.0	69.0	71.0	2.0	3.0	24.0
		経管栄養	モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和度等)	褥瘡(じよくそう)の処置	カテーテル(コンドームカテーテル、留置カテーテル、ウロストーマ等)	その他	医療処置は行わない	不明
		88	12	91	89	11	0	1
		88.0	12.0	91.0	89.0	11.0	0.0	1.0

Q28.入所(継続)を断る理由

調査数	医療処置	認知症	医療処置及び認知症以外	断ることはない	不明
100	84	30	17	9	2
100.0	84.0	30.0	17.0	9.0	2.0

Q28-1.何の医療処置を理由に入所を断ることがありますか

調査数	点滴の管理	中心静脈栄養	透析	ストーマ(人工肛門)の処置	酸素療法	レスピレーター(人工呼吸器)	気管切開の処置	疼痛の看護
84	58	77	59	2	11	71	66	24
100.0	69.0	91.7	70.2	2.4	13.1	84.5	78.6	28.6
		経管栄養	モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和度等)	褥瘡(じよくそう)の処置	カテーテル(コンドームカテーテル、留置カテーテル、ウロストーマ等)	その他		
		8	40	1	5	7		
		9.5	47.6	1.2	6.0	8.3		

Q28-2.医療処置を理由に、入所(継続)を断る場合、いずれかの機関を紹介していますか

調査数	介護老人保健施設	介護療養型医療施設(介護医療院)	医療療養型医療施設	一般病床	どこも紹介していない	その他
84	28	38	49	27	19	3
100.0	33.3	45.2	58.3	32.1	22.6	3.6

Q28-3.認知症状を理由に入所(継続)を断る場合、その方の認知症高齢者の日常生活自立度はどの程度ですか

調査数	II 以上	III 以上	IV 以上	M 以上	その他
30	1	1	3	14	11
100.0	3.3	3.3	10.0	46.7	36.7

問 28-4 認知症状を理由に入所（継続）を断る場合、断る理由となる具体的な症状はどのようなものですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 昼夜逆転がある	5. 収集癖がある
2. 大声を出す	6. 物や衣類を壊す
3. 介護に抵抗する	7. 他者に手を出す
4. 1人で出たがる	8. その他 (具体的に)

問 28 で「3. 医療処置及び認知症以外」と回答した方にお伺いします。

問 28-5 具体的にどのような理由でしょうか。

自由記載

問 29 貴施設では「身元保証人」がいないことを理由に、入所（継続）を断ることがありますか。

(○はひとつ)

1. はい	2. いいえ	3. その他 (具体的に)
-------	--------	----------------

問 29 で「1. はい」と回答した方にお伺いします。

問 29-1 入所（継続）を断る理由について記入してください。

自由記載

問 30 横浜市特別養護老人ホームへの入所の必要性を判断する上で、最も重視すべき点はどのようなことだと思いますか。(○はひとつ)

1. 要介護度	4. 認知症の状況	7. その他
2. 介護者の状況	5. 医療処置の必要性	(具体的に)
3. 在宅サービスの利用状況	6. 在宅の住居環境	

Q28-4 認知症状を理由に入所（継続）を断る場合、断る理由となる具体的な症状はどのようなものですか

調査数	昼夜逆転がある	大声を出す	介護に抵抗する	1人で出たがる	収集癖がある	物や衣類を壊す	他者に手を出す	その他
30	2	16	8	11	2	10	28	3
100.0	6.7	53.3	26.7	36.7	6.7	33.3	93.3	10.0

Q29 「身元保証人」がいないことを理由に、入所（継続）を断ることがありますか

調査数	はい	いいえ	その他	不明
100	19	55	18	8
100.0	19.0	55.0	18.0	8.0

Q30 横浜市特別養護老人ホームへの入所の必要性を判断する上で、最も重視すべき点

調査数	要介護度	介護者の状況	在宅サービスの利用状況	認知症の状況	医療処置の必要性	在宅の住居環境	その他	不明
100	13	58	2	5	10	5	6	1
100.0	13.0	58.0	2.0	5.0	10.0	5.0	6.0	1.0

問 31 令和3年4月1日～令和4年3月31日の1年間の入所者について、入所前の居所別の人数を記入してください（短期入所の場合は除いてください）。（あてはまるものに○と人数）

1. 特別養護老人ホーム	_____人	7. 住宅型有料老人ホーム	_____人
2. 介護老人保健施設	_____人	8. サービス付き高齢者向け住宅	_____人
3. 介護療養型医療施設（介護医療院）	_____人	9. その他の施設	_____人
4. 認知症高齢者グループホーム	_____人	10. 自宅等（親戚宅等を含む）	_____人
5. 特定施設（介護付有料老人ホーム・ケアハウス）	_____人	11. 小規模多機能型居宅介護の利用	_____人
6. 「3」以外の病院・診療所	_____人	12. 不明	_____人

問 32 令和3年4月1日～令和4年3月31日の1年間の退所者について、退所先別の人数を記入してください（短期入所の場合は除いてください）。（あてはまるものに○と人数）

1. 特別養護老人ホーム	_____人	7. 住宅型有料老人ホーム	_____人
2. 介護老人保健施設	_____人	8. サービス付き高齢者向け住宅	_____人
3. 介護療養型医療施設（介護医療院）	_____人	9. その他の施設	_____人
4. 認知症高齢者グループホーム	_____人	10. 自宅等（親戚宅等を含む）	_____人
5. 特定施設（介護付有料老人ホーム・ケアハウス）	_____人	11. 小規模多機能型居宅介護の利用	_____人
6. 「3」以外の病院・診療所	_____人	12. 死亡	_____人
		13. 不明	_____人

問 32で「10. 自宅等」に戻られた方がいる施設にお伺いします。

問 32-1 自宅に戻られた理由ごとに、人数をご記入ください。（あてはまるものに○と人数）

1. 本人の希望で	_____人	5. 理由不明	_____人
2. 自宅での介護が可能になった	_____人	6. その他	_____人
3. 経済的な理由（費用面など）で	_____人		
4. 期待していたサービスが受けられなかった	_____人		

Q31入所前の居所別

調査数	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	介護療養型医療施設（介護医療院）	認知症高齢者グループホーム	特定施設（介護付有料老人ホーム・ケアハウス）	「介護療養型医療施設（介護医療院）」以外の病院・診療所	住宅型有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	その他の施設	自宅等（親戚宅等を含む）
100	5	83	6	43	33	63	20	16	12	81
100.0	5.0	83.0	6.0	43.0	33.0	63.0	20.0	16.0	12.0	81.0
								小規模多機能型居宅介護の利用	不明	無回答
								10	3	15
								10.0	3.0	15.0

Q31入所前の居所別の人数(1)特別養護老人ホーム【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
23	18	4	0	0	1	0	0	0	0	0
100.0	78.3	17.4	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q31入所前の居所別の人数(2)介護老人保健施設【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
83	0	4	23	25	22	7	1	1	0	0
100.0	0.0	4.8	27.7	30.1	26.5	8.4	1.2	1.2	0.0	0.0

Q31入所前の居所別の人数(3)介護療養型医療施設（介護医療院）【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
20	14	4	2	0	0	0	0	0	0	0
100.0	70.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q31入所前の居所別の人数(4)認知症高齢者グループホーム【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
47	4	19	23	0	1	0	0	0	0	0
100.0	8.5	40.4	48.9	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q31入所前の居所別の人数(5)特定施設（介護付有料老人ホーム・ケアハウス）【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
42	9	12	18	1	2	0	0	0	0	0
100.0	21.4	28.6	42.9	2.4	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q31入所前の居所別の人数(6)「介護療養型医療施設（介護医療院）」以外の病院・診療所【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
66	3	7	29	18	9	0	0	0	0	0
100.0	4.5	10.6	43.9	27.3	13.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q31入所前の居所別の人数(7)住宅型有料老人ホーム【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
32	12	5	15	0	0	0	0	0	0	0
100.0	37.5	15.6	46.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q31入所前の居所別の人数(8)サービス付き高齢者向け住宅【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
28	12	10	6	0	0	0	0	0	0	0
100.0	42.9	35.7	21.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q31入所前の居所別の人数(9)その他の施設【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
25	13	3	8	0	1	0	0	0	0	0
100.0	52.0	12.0	32.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q31入所前の居所別の人数(10)自宅等（親戚宅等を含む）【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
81	0	1	14	18	38	5	4	0	1	0
100.0	0.0	1.2	17.3	22.2	46.9	6.2	4.9	0.0	1.2	0.0

Q31入所前の居所別の人数(11)小規模多機能型居宅介護の利用【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
25	15	8	2	0	0	0	0	0	0	0
100.0	60.0	32.0	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q31入所前の居所別の人数(12)不明【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
19	16	0	1	0	0	1	1	0	0	0
100.0	84.2	0.0	5.3	0.0	0.0	5.3	5.3	0.0	0.0	0.0

Q32:退所先別

調査数	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	介護療養型医療施設(介護医療院)	認知症高齢者グループホーム	特定施設(介護付有料老人ホーム・ケアハウス)	「介護療養型医療施設(介護医療院)以外の病院・診療所	住宅型有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	その他の施設	自宅等(親戚宅等を含む)
100	8	5	22	2	8	60	2	2	1	17
100.0	8.0	5.0	22.0	2.0	8.0	60.0	2.0	2.0	1.0	17.0
							小規模多機能型居宅介護の利用	死亡	不明	無回答
							0	79	2	12
							0.0	79.0	2.0	12.0

Q32:退所先別の人数(1)特別養護老人ホーム【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
18	10	6	0	0	1	1	0	0	0	0
100.0	55.6	33.3	0.0	0.0	5.6	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0

Q32:退所先別の人数(2)介護老人保健施設【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
16	11	5	0	0	0	0	0	0	0	0
100.0	68.8	31.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q32:退所先別の人数(3)介護療養型医療施設(介護医療院)【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
31	9	4	9	9	0	0	0	0	0	0
100.0	29.0	12.9	29.0	29.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q32:退所先別の人数(4)認知症高齢者グループホーム【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
14	12	2	0	0	0	0	0	0	0	0
100.0	85.7	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q32:退所先別の人数(5)特定施設(介護付有料老人ホーム・ケアハウス)【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
18	10	5	3	0	0	0	0	0	0	0
100.0	55.6	27.8	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q32:退所先別の人数(6)「介護療養型医療施設(介護医療院)」以外の病院・診療所【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
62	2	6	20	18	13	3	0	0	0	0
100.0	3.2	9.7	32.3	29.0	21.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0

Q32:退所先別の人数(7)住宅型有料老人ホーム【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
13	11	2	0	0	0	0	0	0	0	0
100.0	84.6	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q32:退所先別の人数(8)サービス付き高齢者向け住宅【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
14	12	2	0	0	0	0	0	0	0	0
100.0	85.7	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q32:退所先別の人数(9)その他の施設【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
13	12	0	1	0	0	0	0	0	0	0
100.0	92.3	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q32:退所先別の人数(10)自宅等(親戚宅等を含む)【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
24	7	14	3	0	0	0	0	0	0	0
100.0	29.2	58.3	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q32:退所先別の人数(11)小規模多機能型居宅介護の利用【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
12	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q32:退所先別の人数(12)死亡【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
79	0	1	1	5	32	26	10	4	0	0
100.0	0.0	1.3	1.3	6.3	40.5	32.9	12.7	5.1	0.0	0.0

Q32:退所先別の人数(13)不明【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
15	13	0	0	1	0	0	1	0	0	0
100.0	86.7	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0

Q32-1.自宅に戻られた理由

調査数	本人の希望で	自宅での介護 が可能になっ た	経済的な理由 (費用面など) で	期待していた サービスが受 けられなかった	理由不明	その他	無回答
100	3	8	0	0	0	7	83
100.0	3.0	8.0	0.0	0.0	0.0	7.0	83.0

Q32-1.自宅に戻られた理由ごとの人数(1)本人の希望で【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
6	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0
100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q32-1.自宅に戻られた理由ごとの人数(2)自宅での介護が可能になった【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
9	1	7	1	0	0	0	0	0	0	0
100.0	11.1	77.8	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q32-1.自宅に戻られた理由ごとの人数(3)経済的な理由(費用面など)で【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q32-1.自宅に戻られた理由ごとの人数(4)期待していたサービスが受けられなかった【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q32-1.自宅に戻られた理由ごとの人数(5)理由不明【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q32-1.自宅に戻られた理由ごとの人数(6)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
8	1	6	1	0	0	0	0	0	0	0
100.0	12.5	75.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

令和3年3月末日までに開所した施設にお伺いします。

問 33 令和3年4月1日～令和4年3月31日の1年間の退所者について、入所期間別の人数を記入してください。（短期入所の方は除いてください）

1年間の退所者の入所期間	人 数
①3か月未満	人
②3か月～6か月未満	人
③6か月～1年未満	人
④1年～1年半未満	人
⑤1年半～2年未満	人
⑥2年～2年半未満	人
⑦2年半～3年未満	人
⑧3年以上	人

問 33-1 問 33 で回答した1年間の退所者全体の平均入所日数を記入してください。

	日
--	---

施設のサービスや運営、取組状況についてお伺いします。

問 34 貴施設ではショートステイの利用申込は、通常、入所日の何日くらい前なら希望の日程で対応できますか。（〇はひとつ）

1. 前日	4. 2週間から1か月前	7. ショートステイを実施していない→ 問 36 へ
2. 2日前から1週間前	5. 1か月から2か月前	
3. 1週間から2週間前	6. 2か月以上前	

問 35 ショートステイの利用申込みについて受入れできない場合、どのようなことが理由になっていますか。（あてはまるものすべてに〇）

1. 利用希望日が満床だった	3. 重度の人への対応が困難であった
2. 医療処置の対応が困難であった	4. その他（具体的に）
	5. 受入れできないことがない

問 36 貴施設では、入所者が亡くなる際に施設内で看取りを行っていますか。（〇はひとつ）

1. 希望者全ての看取りを行っている	4. 施設内では看取りは行わず、医療機関に移ってもらっている
2. 特定の条件がそろった一部の入所者のみ看取りを行っている	5. その他
3. 看取りを行う用意はあるが、希望者がいない	（具体的に）

Q33.入所期間別の人数(1)3か月未満【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	不 明
100	2	20	32	0	1	0	0	45
100.0	2.0	20.0	32.0	0.0	1.0	0.0	0.0	45.0

Q33.入所期間別の人数(2)3か月～6か月未満【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	不 明
100	5	13	33	6	3	0	0	40
100.0	5.0	13.0	33.0	6.0	3.0	0.0	0.0	40.0

Q33.入所期間別の人数(3)6か月～1年未満【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	不 明
100	1	19	40	7	4	0	0	29
100.0	1.0	19.0	40.0	7.0	4.0	0.0	0.0	29.0

Q33.入所期間別の人数(4)1年～1年半未満【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	不 明
100	2	12	34	11	4	1	0	36
100.0	2.0	12.0	34.0	11.0	4.0	1.0	0.0	36.0

Q33.入所期間別の人数(5)1年半～2年未満【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	不 明
100	3	11	41	8	1	0	0	36
100.0	3.0	11.0	41.0	8.0	1.0	0.0	0.0	36.0

Q33.入所期間別の人数(6)2年～2年半未満【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	不 明
100	4	25	25	6	3	0	0	37
100.0	4.0	25.0	25.0	6.0	3.0	0.0	0.0	37.0

Q33.入所期間別の人数(7)2年半～3年未満【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	不 明
100	5	19	32	3	0	0	0	41
100.0	5.0	19.0	32.0	3.0	0.0	0.0	0.0	41.0

Q33.入所期間別の人数(8)3年以上【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	不 明
100	3	1	9	12	32	7	3	33
100.0	3.0	1.0	9.0	12.0	32.0	7.0	3.0	33.0

Q33-1.1年間の退所者全体の平均入所日数

調査数	平 均	最小値	最大値
70	986.06	20.30	2053.00
100.0			

Q34.ショートステイの利用申込は、入所日の何日くらい前なら希望の日程で対応できますか

調査数	前日	2日前から1週間前	1週間から2週間前	2週間から1か月前	1か月から2か月前	2か月以上前	ショートステイを実施していない	不 明
100	8	11	9	13	18	36	3	2
100.0	8.0	11.0	9.0	13.0	18.0	36.0	3.0	2.0

Q35.ショートステイの利用申込みについて受入れできない場合の理由

調査数	利用希望日が満床だった	医療処置の対応が困難であった	重度の人への対応が困難であった	その他	受入れできないことがない
95	89	78	34	10	1
100.0	93.7	82.1	35.8	10.5	1.1

Q36.入所者が亡くなる際に施設内で看取りを行っていますか

調査数	希望者全ての看取りを行っている	特定の条件がそろった一部の入所者のみ看取りを行っている	看取りを行う用意はあるが、希望者がいない	施設内では看取りは行わず、医療機関に移ってもらっている	その他	不 明
100	61	31	0	6	1	1
100.0	61.0	31.0	0.0	6.0	1.0	1.0

問 36-1 看取り介護加算を算定していますか。(○はひとつ)

1. 算定している → 問 37 へ	2. 算定していない
--------------------	------------

問 36-1で「2. 算定していない」と回答した方にお伺いします。

問 36-2 看取り加算を算定していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 配置医の協力が得られない	4. 加算となる体制が取れない
2. 夜間の看護師を確保できない	5. その他(具体的に)
3. 介護職員の負担が大きい	6. 看取りの対象となった人がいない

問 37 利用者や家族の要望を積極的に取り入れるため、次の取組を行っていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 利用者に施設サービス計画を説明し要望を聞く機会を設けている
2. 家族に施設サービス計画を説明し要望を聞く機会を設けている
3. 利用者・家族と話し合いの機会を定期的に設けている
4. 利用者の生活状況を記録し家族に連絡している
5. 利用者・家族を対象に相談・苦情窓口を設けている
6. 家族会を設置している
7. その他(具体的に)
8. 特に行っていない

問 38 サービスの質の向上のために、次の取組を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 管理者が直接サービス提供の状況を確認し指導している
2. サービス提供のガイドライン、マニュアルを作成している
3. 多問題事例等に関するケース検討会を行っている
4. 事故防止のためにヒヤリハット事例の収集・共有を図っている
5. 利用者や家族に対し満足度調査を行っている
6. 外部評価を受けている(介護サービス情報の公表を除く)
7. ユニットケアを実施している
8. 施設を開放し、ボランティア団体や保育園・幼稚園、小学校など地域との交流を行っている
9. 利用者が地域活動に出向くなど、地域の一員として暮らせるような工夫をしている
10. その他(具体的に)
11. 特に行っていない

Q36-1.看取り介護加算を算定していますか

調査数	算定している	算定していない	不明
100	74	25	1
100.0	74.0	25.0	1.0

Q36-2.看取り加算を算定していない理由

調査数	配置医の協力が得られない	夜間の看護師を確保できない	介護職員の負担が大きい	加算となる体制が取れない	その他	看取りの対象となった人がいない
25	5	7	3	18	2	1
100.0	20.0	28.0	12.0	72.0	8.0	4.0

Q37.利用者や家族の要望を積極的に取り入れるための取組

調査数	利用者に施設サービス計画を説明し要望を聞く機会を設けている	家族に施設サービス計画を説明し要望を聞く機会を設けている	利用者・家族と話し合いの機会を定期的に設けている	利用者の生活状況を記録し家族に連絡している	利用者・家族を対象に相談・苦情窓口を設けている	家族会を設置している	その他	特に行っていない
100	69	82	35	70	77	18	4	0
100.0	69.0	82.0	35.0	70.0	77.0	18.0	4.0	0.0

Q38.サービスの質の向上のための取組

調査数	管理者が直接サービス提供の状況を確認し指導している	サービス提供のガイドライン、マニュアルを作成している	多問題事例等に関するケース検討会を行っている	事故防止のためにヒヤリハット事例の収集・共有を図っている	利用者や家族に対し満足度調査を行っている	外部評価を受けている(介護サービス情報の公表を除く)	ユニットケアを実施している	施設を開放し、ボランティア団体や保育園・幼稚園、小学校など地域との交流を行っている
100	52	70	54	96	29	21	49	31
100.0	52.0	70.0	54.0	96.0	29.0	21.0	49.0	31.0
						利用者が地域活動に出向くなど、地域の一員として暮らせるような工夫をしている	その他	特に行っていない
						9	2	0
						9.0	2.0	0.0

問 39 職員の研修や資格取得について、次の取組を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自施設で研修を実施している	4. 外部の研修への参加費(自己負担)の補助を行っている
2. 外部の研修機関に委託して実施している (費用は施設負担)	5. その他
3. 外部の研修への参加を奨励している (費用は施設負担)	6. 特に行っていない (具体的に)

問 40 貴施設の運営やサービス向上のために、どのような情報や支援が必要ですか。次のうち必要と考えられる情報・支援を3つまでお選びください。(○は3つまで)

1. 介護保険制度・介護報酬等に関する情報	11. 定員の空き状況、空室・空床に関する情報
2. 介護保険以外の保健・福祉サービスに関する情報	12. 緊急時ショートステイや入院などの受入れ先情報
3. 情報提供・相談等の窓口	13. 事業者連絡会等に関する運営サポート、バックアップ
4. 介護技術・方法に関する情報	14. ケアカンファレンス等の運営サポート、バックアップ
5. 認知症ケアに関する情報	15. サービス展開のための土地・建物に関する情報
6. 医療処置を必要とする場合のケアに関する情報	16. その他 (具体的に)
7. 困難事例、多問題事例に関するケース情報提供、助言	17. 特に必要な情報・支援はない
8. 介護予防に関する情報	
9. 研修・講座等に関する情報	
10. 周辺事業所や医療機関に関する情報	

問 41 他の介護事業者とどのように連携していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 勉強会、ケース検討会の共同開催	5. 技術的に対応できない場合の紹介・連携
2. 事業環境などの情報交換	6. その他
3. 交換研修の実施	7. 特に連携していない (具体的に)
4. 定員オーバーや空きがある場合の紹介・連携	

問 42 地域のどのような組織と連携をとっていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自治会・町内会	5. 企業
2. ボランティアグループ	6. 民生委員・児童委員
3. 家族会	7. その他(具体的に)
4. 学校関係	8. 連携をとっていない → 問 43 へ

Q39.職員の研修や資格取得についての取組

調査数	自施設で研修を実施している	外部の研修機関に委託して実施している(費用は施設負担)	外部の研修への参加を奨励している(費用は施設負担)	外部の研修への参加費(自己負担)の補助を行っている	その他	特に行ってない
100	90	38	76	36	1	0
100.0	90.0	38.0	76.0	36.0	1.0	0.0

Q40.運営やサービス向上のために、必要と考えられる情報・支援

調査数	介護保険制度・介護報酬等に関する情報	介護保険以外の保健・福祉サービスに関する情報	情報提供・相談等の窓口	介護技術・方法に関する情報	認知症ケアに関する情報	医療処置を必要とする場合のケアに関する情報	困難事例、多問題事例に関するケース情報提供、助言	介護予防に関する情報
100	63	16	21	39	28	12	36	3
100.0	63.0	16.0	21.0	39.0	28.0	12.0	36.0	3.0
調査数	研修・講座等に関する情報	周辺事業所や医療機関に関する情報	定員の空き状況、空室・空床に関する情報	緊急時ショートステイや入院などの受入れ先情報	事業者連絡会等に関する運営サポート、バックアップ	ケアカンファレンス等の運営サポート、バックアップ	サービス展開のための土地・建物に関する情報	その他
	33	13	6	5	2	4	0	0
	33.0	13.0	6.0	5.0	2.0	4.0	0.0	0.0
							特に必要な情報・支援はない	不明
							1	1
							1.0	1.0

Q41.他の介護事業者とどのように連携していますか

調査数	勉強会、ケース検討会の共同開催	事業環境などの情報交換	交換研修の実施	定員オーバーや空きがある場合の紹介・連携	技術的に対応できない場合の紹介・連携	その他	特に連携していない	不明
100	21	46	5	20	4	2	32	2
100.0	21.0	46.0	5.0	20.0	4.0	2.0	32.0	2.0

Q42.地域のどのような組織と連携をとっていますか

調査数	自治会・町内会	ボランティアグループ	家族会	学校関係	企業	民生委員・児童委員	その他	連携をとっていない	不明
100	81	46	16	45	5	27	6	5	1
100.0	81.0	46.0	16.0	45.0	5.0	27.0	6.0	5.0	1.0

問 42 で 1～6 と回答した方にお伺いします。

問 42-1 地域とどのような内容で連携をとっていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 地域の行事への参加	5. 地元商店街や企業からの商品等購入
2. 講師として指導してもらう	6. 認知症サポーター養成講座の開催
3. 施設イベントへの招待	7. 災害対策・避難訓練
4. 小学校・中学校の体験学習	8. その他(具体的に)

問 43 医療機関とどのように連携していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 入居者の健康管理や処置について助言を受けている	5. 認知症の周辺症状について助言を受けている
2. 往診をしてくれる医師・医療機関がある	6. その他
3. 急変時の受入れを依頼できる病院を確保している	(具体的に)
4. 提携病院があり、一般的な入院を受け入れてもらっている	7. 連携していない

問 44 介護職員の身体的負担軽減や腰痛の予防、緩和等に効果があると思われるものについて(1)欄に○をしてください。また、貴施設で導入している介護福祉機器について(2)欄に○をしてください。(あてはまるものすべてに○)

介護福祉機器	(1) 介護職員にとって効果がある	(2) 導入している
①移動用リフト(立位補助機(スタンディングマシーン)を含む)	1	2
②自動車用車いすリフト(福祉車両の場合は、車両本体を除いたリフト部分のみ)	1	2
③ベッド(傾斜角度、高さが調整できるもの。マットレスは除く)	1	2
④座面昇降機能付車いす	1	2
⑤特殊浴槽(移動用リフトと共に稼動するもの、側面が開閉可能なもの)	1	2
⑥ストレッチャー(入浴用に使用するものを含む)	1	2
⑦シャワーキャリー	1	2
⑧昇降装置(人の移動に使用するものに限る)	1	2
⑨車いす体重計	1	2
⑩その他介護福祉機器(具体的な名称:)	1	2
⑪いずれも導入していない	3	

Q42-1.地域とどのような内容で連携をとっていますか

調査数	地域の行事への参加	講師として指導してもらう	施設イベントへの招待	小学校・中学校の体験学習	地元商店街や企業からの商品等購入	認知症サポーター養成講座の開催	災害対策・避難訓練	その他	不明
89	65	4	37	36	10	2	50	6	1
100.0	73.0	4.5	41.6	40.4	11.2	2.2	56.2	6.7	1.1

Q43.医療機関とどのように連携していますか

調査数	入居者の健康管理や処置について助言を受けている	往診をしてくれる医師・医療機関がある	急変時の受入れを依頼できる病院を確保している	提携病院があり、一般的な入院を受け入れてもらっている	認知症の周辺症状について助言を受けている	その他	連携していない
100	76	89	48	71	28	0	1
100.0	76.0	89.0	48.0	71.0	28.0	0.0	1.0

Q44.介護職員の身体的負担軽減や腰痛の予防、緩和等(1)介護職員にとって効果がある

調査数	移動用リフト(立位補助機(スタンディングマシーン)を含む)	自動車用車いすリフト(福祉車両の場合は、車両本体を除いたリフト部分のみ)	ベッド(傾斜角度、高さが調整できるもの。マットレスは除く)	座面昇降機能付車いす	特殊浴槽(移動用リフトと共に稼動するもの、側面が開閉可能なもの)	ストレッチャー(入浴用に使用するものを含む)	シャワーキャリー	昇降装置(人の移動に使用するものに限る)
100	41	58	76	22	77	77	54	23
100.0	41.0	58.0	76.0	22.0	77.0	77.0	54.0	23.0
					車いす体重計	その他介護福祉機器	いずれも導入していない	不明
					78	11	0	6
					78.0	11.0	0.0	6.0

Q44.介護職員の身体的負担軽減や腰痛の予防、緩和等(2)導入している

調査数	移動用リフト(立位補助機(スタンディングマシーン)を含む)	自動車用車いすリフト(福祉車両の場合は、車両本体を除いたリフト部分のみ)	ベッド(傾斜角度、高さが調整できるもの。マットレスは除く)	座面昇降機能付車いす	特殊浴槽(移動用リフトと共に稼動するもの、側面が開閉可能なもの)	ストレッチャー(入浴用に使用するものを含む)	シャワーキャリー	昇降装置(人の移動に使用するものに限る)
100	21	58	85	5	75	86	58	8
100.0	21.0	58.0	85.0	5.0	75.0	86.0	58.0	8.0
					車いす体重計	その他介護福祉機器	いずれも導入していない	不明
					91	12	0	6
					91.0	12.0	0.0	6.0

問 45 問 44 を除いて次のような介護ロボットを導入していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 移乗介助(装着型)	7. 見守り支援
2. 移乗介助(非装着型)	8. コミュニケーションロボット
3. 移動支援(屋外型)	9. 食事支援
4. 移動支援(屋内型)	10. 服薬支援
5. 排泄支援	11. その他の介護支援
6. 入浴支援	12. いずれも導入していない → 問 46 へ

問 45 で 1～11 と回答した方にお伺いします。

問 45-1 最初に導入した時期を教えてください。(○はひとつ)

1. 平成 18 年以前	4. 平成 29 年～令和元年
2. 平成 19 年～平成 23 年	5. 令和 2 年～令和 3 年
3. 平成 24 年～平成 28 年	6. 令和 4 年以降(予定含む)

問 46 次のような ICT 機器等を活用した取組をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 記録から介護保険請求システムまで一気通貫するシステムの利用	6. 情報共有システムを用いた他の事業者との連携
2. 給与計算、シフト管理、勤怠管理を一元化したシステムの利用	7. 他の事業者とのデータ連携によりケアプランやサービス提供票等を作りとりするシステムの利用
3. グループウェア等のシステムによる報告・連絡・相談	8. その他()
4. 利用者情報(ケアプラン、介護記録等)の PC による共有	9. いずれもしていない
5. 利用者情報(ケアプラン、介護記録等)のタブレットによる共有	

問 47 介護ロボット等、ICT 機器の導入や利用についてどのような課題・問題があるとお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 導入コストが高い	7. 清掃や消耗品管理などの維持管理が大変である
2. どのような介護ロボットや ICT 機器があるかわからない	8. 投資に見合うだけの効果がない
3. ケアに介護ロボットを活用することに違和感を覚える	9. 介護現場の実態に合う介護ロボットや ICT 機器がない、現場の役に立つ介護ロボットや ICT 機器がない
4. 技術的に使いこなせるか心配である	10. その他(具体的に)
5. 誤作動の不安がある	11. 課題・問題は特にない
6. 設置や保管等に場所をとられてしまう	

Q45.問44を除いて介護ロボットの導入

調査数	移乗介助(装着型)	移乗介助(非装着型)	移動支援(屋外型)	移動支援(屋内型)	排泄支援	入浴支援	見守り支援	コミュニケーションロボット	
100	7	5	2	1	1	4	50	3	
100.0	7.0	5.0	2.0	1.0	1.0	4.0	50.0	3.0	
					食事支援	服薬支援	その他の介護支援	いずれも導入していない	不明
					0	0	3	42	2
					0.0	0.0	3.0	42.0	2.0

Q45-1.最初に導入した時期

調査数	平成18年以前	平成19年～平成23年	平成24年～平成28年	平成29年～令和元年	令和2年～令和3年	令和4年以降(予定含む)	不明
56	2	4	11	12	17	1	9
100.0	3.6	7.1	19.6	21.4	30.4	1.8	16.1

Q46.ICT機器等を活用した取組

調査数	記録から介護保険請求システムまで一気通貫するシステムの利用	給与計算、シフト管理、勤怠管理を一元化したシステムの利用	グループウェア等のシステムによる報告・連絡・相談	利用者情報(ケアプラン、介護記録等)の PC による共有	利用者情報(ケアプラン、介護記録等)のタブレットによる共有	情報共有システムを用いた他の事業者との連携	他の事業者とのデータ連携によりケアプランやサービス提供票等を作りとりするシステムの利用	その他
100	60	26	13	83	47	8	4	0
100.0	60.0	26.0	13.0	83.0	47.0	8.0	4.0	0.0
							いずれもしていない	不明
							7	2
							7.0	2.0

Q47.介護ロボット等、ICT機器の導入や利用についての課題・問題

調査数	導入コストが高い	どのような介護ロボットや ICT 機器があるかわからない	ケアに介護ロボットを活用することに違和感を覚える	技術的に使いこなせるか心配である	誤作動の不安がある	設置や保管等に場所をとられてしまう	清掃や消耗品管理などの維持管理が大変である	投資に見合うだけの効果がない
100	79	10	8	50	26	28	37	35
100.0	79.0	10.0	8.0	50.0	26.0	28.0	37.0	35.0
						介護現場の実態に合う介護ロボットや ICT 機器がない、現場の役に立つ介護ロボットや ICT 機器がない	課題・問題は特にない	不明
						その他		
						17	3	2
						17.0	3.0	2.0
								3
								3.0

問 48 職員による利用者への虐待やハラスメントを防止するため、どのような工夫を行っていますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 研修などへの参加を促すとともに、研修内容を全職員に展開している
2. ミーティング時に虐待防止マニュアル等を全職員で確認している
3. 講師を招いて、研修を行うなど全職員への啓発活動をおこなっている
4. 他施設での事例等を全職員間で分析し、要因について共有する研修を行っている
5. 全職員のストレス状況を把握し、未然防止に役立っている
6. 気軽に相談ができる窓口を整えている
7. その他
(具体的に)
8. 特に行っていない

問 49 利用者による職員への暴力やハラスメントを防止するため、どのような工夫を行っていますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 契約条項などにハラスメントに対する対処方法を明記・説明し、未然防止に努めている
2. 複数人対応を基本としている
3. 日々の声かけなど小さな変化をとらえ情報を共有できる環境を整えている
4. 非常通報機能を有するベルや笛等、周囲に知らせる機器等を携行している
5. 暴力やハラスメントがあった場合は、施設として対応できる環境を整えている
6. 気軽に相談できる窓口を整えている
7. その他 (具体的に)
8. 特に行っていない

問 50 『介護助手』を知っていますか。(○はひとつ)

1. 名称も、どのようなものかも知っている
2. どのようなものかは、なんとなくだが知っている
3. 名称は聞いたことがあるが、どのようなものか知らない
4. 聞いたことがない

問 50 で 1～3 と回答した方にお伺いします。

問 50-1 『介護助手』の受入れについてどのように考えていますか。(○はひとつ)

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| 1. すでに受け入れている | 4. 必要だと思うが、具体的な検討などはしていない |
| 2. 受け入れる準備をしている | 5. 必要ではない |
| 3. 受け入れるかの検討をしている | 6. わからない |

Q48.職員による利用者への虐待やハラスメントを防止するための工夫

調査数	研修などへの参加を促すとともに、研修内容を全職員に展開している	ミーティング時に虐待防止マニュアル等を全職員で確認している	講師を招いて、研修を行うなど全職員への啓発活動をおこなっている	他施設での事例等を全職員間で分析し、要因について共有する研修を行っている	全職員のストレス状況を把握し、未然防止に役立っている	気軽に相談ができる窓口を整えている	その他	特に行っていない	不明
100	85	37	16	14	56	48	2	1	1
100.0	85.0	37.0	16.0	14.0	56.0	48.0	2.0	1.0	1.0

Q49.利用者による職員への暴力やハラスメントを防止するための工夫

調査数	契約条項などにハラスメントに対する対処方法を明記・説明し、未然防止に努めている	複数人対応を基本としている	日々の声かけなど小さな変化をとらえ情報を共有できる環境を整えている	非常通報機能を有するベルや笛等、周囲に知らせる機器等を携行している	暴力やハラスメントがあった場合は、施設として対応できる環境を整えている	気軽に相談できる窓口を整えている	その他	特に行っていない	不明
100	51	28	62	3	63	52	1	0	2
100.0	51.0	28.0	62.0	3.0	63.0	52.0	1.0	0.0	2.0

Q50.『介護助手』認知

調査数	名称も、どのようなものかも知っている	どのようなものかは、なんとなくだが知っている	名称は聞いたことがあるが、どのようなものか知らない	聞いたことがない
100	81	13	6	0
100.0	81.0	13.0	6.0	0.0

Q50-1.『介護助手』の受入れについて

調査数	すでに受け入れている	受け入れる準備をしている	受け入れるかの検討をしている	必要だと思うが、具体的な検討などはしていない	必要ではない	わからない
100	50	7	7	19	12	5
100.0	50.0	7.0	7.0	19.0	12.0	5.0

問 51 ボランティアの受入れ頻度とよこはまシニアボランティアポイント事業の実施状況について教えてください。(1)、(2)それぞれあてはまるものすべてに○)

受入れ頻度	(1) よこはまシニアボランティアポイント事業 (以下、ポイント事業)	(2) 左記以外
①ほぼ毎日	1	2
②週1日程度	1	2
③月2回程度	1	2
④月1回程度	1	2
⑤その他	1	2
⑥受け入れていない	3 → 問52へ	

問 51-1 施設で受け入れているボランティアの活動内容をお選びください。(1)、(2)それぞれあてはまるものすべてに○)

活動内容	(1) ポイント事業	(2) 左記以外
①レクリエーションなどの指導、参加支援 (音楽の演奏・踊り等も含む)	1	2
②お茶出しや食堂内での配膳、下膳などの補助	1	2
③食事介助の補助	1	2
④散歩、外出、館内移動の補助	1	2
⑤施設関係行事の手伝い	1	2
⑥話し相手	1	2
⑦洗濯物の整理や衣類の縫製	1	2
⑧入浴後の整髪、ドライヤーかけ、からだ拭き等	1	2
⑨施設への利用者の送迎	1	2
⑩その他 (具体的に書きください)	()	()

Q51.実施状況 (1)よこはまシニアボランティアポイント事業

調査数	ほぼ毎日	週1日程度	月2回程度	月1回程度	その他	受け入れていない	不明
100	4	4	4	3	25	49	11
100.0	4.0	4.0	4.0	3.0	25.0	49.0	11.0

Q51.実施状況 (2)左記以外

調査数	ほぼ毎日	週1日程度	月2回程度	月1回程度	その他	受け入れていない	不明
100	3	3	2	4	12	36	40
100.0	3.0	3.0	2.0	4.0	12.0	36.0	40.0

Q51-1.ボランティアの活動内容 (1)よこはまシニアボランティアポイント事業

調査数	レクリエーションなどの指導、参加支援 (音楽の演奏・踊り等も含む)	お茶出しや食堂内での配膳、下膳などの補助	食事介助の補助	散歩、外出、館内移動の補助	施設関係行事の手伝い	話し相手	洗濯物の整理や衣類の縫製	入浴後の整髪、ドライヤーかけ、からだ拭き等	施設への利用者の送迎		
									話し相手	洗濯物の整理や衣類の縫製	入浴後の整髪、ドライヤーかけ、からだ拭き等
40	23	5	1	4	8	11	9	4	11	9	4
100.0	57.5	12.5	2.5	10.0	20.0	27.5	22.5	10.0	27.5	22.5	10.0
									施設への利用者の送迎	その他	不明
									0	8	8
									0.0	20.0	20.0

Q51-1.ボランティアの活動内容 (2)左記以外

調査数	レクリエーションなどの指導、参加支援 (音楽の演奏・踊り等も含む)	お茶出しや食堂内での配膳、下膳などの補助	食事介助の補助	散歩、外出、館内移動の補助	施設関係行事の手伝い	話し相手	洗濯物の整理や衣類の縫製	入浴後の整髪、ドライヤーかけ、からだ拭き等	施設への利用者の送迎		
									話し相手	洗濯物の整理や衣類の縫製	入浴後の整髪、ドライヤーかけ、からだ拭き等
24	12	2	1	2	4	4	1	1	4	1	1
100.0	50.0	8.3	4.2	8.3	16.7	16.7	4.2	4.2	16.7	4.2	4.2
									施設への利用者の送迎	その他	不明
									2	6	4
									8.3	25.0	16.7

問 52 貴施設を運営する上での問題点はどれですか。(〇は3つまで)

1. 今の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない
2. 経営(収支)が苦しく、労働条件や労働環境改善をしたくても出来ない
3. 良質な人材の確保が難しい
4. 新規利用者の確保が難しい
5. 介護従事者の介護業務に関する知識や技術が不足している
6. 介護従事者の介護業務に臨む意欲や姿勢に問題がある
7. 管理者の指導・管理能力が不足している
8. 教育・研修の時間が十分に取れない
9. 介護従事者間のコミュニケーションが不足している
10. 経営者・管理者と職員間のコミュニケーションが不足している
11. 利用者や利用者の家族の介護サービスに対する理解が不足している
12. 介護保険の改正等についての的確な情報や説明が得られない
13. 指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われている
14. 雇用管理等についての情報や指導が不足している
15. その他(具体的に)
16. 特に問題はない

今後の予定や市の事業等についてお伺いします。

問 53 横浜市各区が派遣する介護相談員の受入状況についてお伺いします。(〇はひとつ)

令和2年2月21日以降、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため施設派遣を中止しております。

以下の設問は施設派遣が再開された場合を想定しご回答ください。

介護相談員派遣事業は、介護相談員が利用者や利用者家族の日常的な不満などを聴き、その声を事業者へと伝える橋渡しを行うことで、苦情を未然に防ぎ、事業者が提供するサービスの質の向上に役立てることを目的に平成16年度から実施しています。

1. 施設派遣を中止する以前、介護相談員を受け入れていた	→ 問 53-1 ^
2. 介護相談員を受け入れていないが、今後受け入れたい	
3. 当分、介護相談員を受け入れることが難しい(※新型コロナウイルス感染症拡大防止以外の理由) 理由: 具体的に []	→ 最後 ^

Q52.施設を運営する上での問題点

調査数	今の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない	経営(収支)が苦しく、労働条件や労働環境改善をしたくても出来ない	良質な人材の確保が難しい	新規利用者の確保が難しい	介護従事者の介護業務に関する知識や技術が不足している	介護従事者の介護業務に臨む意欲や姿勢に問題がある	管理者の指導・管理能力が不足している	教育・研修の時間が十分に取れない
100 100.0	42 42.0	27 27.0	75 75.0	42 42.0	13 13.0	9 9.0	4 4.0	31 31.0
調査数	介護従事者間のコミュニケーションが不足している	経営者・管理者と職員間のコミュニケーションが不足している	利用者や利用者の家族の介護サービスに対する理解が不足している	介護保険の改正等についての的確な情報や説明が得られない	指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われている	雇用管理等についての情報や指導が不足している	その他	特に問題はない
	9 9.0	5 5.0	6 6.0	0 0.0	15 15.0	0 0.0	4 4.0	0 0.0

Q53.横浜市各区が派遣する介護相談員の受入状況

調査数	施設派遣を中止する以前、介護相談員を受け入れていた	介護相談員を受け入れていないが、今後受け入れたい	当分、介護相談員を受け入れることが難しい(※新型コロナウイルス感染症拡大防止以外の理由)	不明
100 100.0	68 68.0	26 26.0	4 4.0	2 2.0

介護老人保健施設調査

10

貴施設の概要についてお伺いします。

問1 施設名・記入者名等を教えてください。

施設名											
介護保険事業所番号											
記入者名								電話番号			

問2 貴施設の定員をご記入ください。

		4人部屋	3人部屋	2人部屋	従来型個室	ユニット型個室	その他
入所	入所（短期入所は除く）	人	人	人	人	人	人
	短期入所	人	人	人	人	人	人
通所介護							人

※空床利用については全て入所扱いとしてください

問3 下記の介護保険サービスのうち、貴施設（併設施設を含む）で実施しているものはどれですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 訪問介護	10. 通所介護	20. 介護予防認知症対応型通所介護
2. 横浜市訪問介護相当サービス	11. 地域密着型通所介護	21. 小規模多機能型居宅介護
3. 横浜市訪問型生活援助サービス	12. 横浜市通所介護相当サービス	22. 介護予防小規模多機能型居宅介護
4. 訪問入浴介護	13. 通所リハビリテーション	23. 認知症対応型共同生活介護
5. 介護予防訪問入浴介護	14. 介護予防通所リハビリテーション	24. 看護小規模多機能型居宅介護
6. 訪問看護	15. 福祉用具貸与	25. 居宅介護支援、介護予防支援
7. 介護予防訪問看護	16. 特定福祉用具販売	26. 1～25 までのサービスは行っていない
8. 訪問リハビリテーション	17. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	
9. 介護予防訪問リハビリテーション	18. 夜間対応型訪問介護	
	19. 認知症対応型通所介護	

Q2. 入所(短期入所は除く) (1)4人部屋【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	1	0	0	0	2	7	2	4	11	10	8
100.0	2.2	0.0	0.0	0.0	4.4	15.6	4.4	8.9	24.4	22.2	17.8

Q2. 入所(短期入所は除く) (2)3人部屋【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	10	1	0	2	0	0	0	1	0	0	31
100.0	22.2	2.2	0.0	4.4	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	68.9

Q2. 入所(短期入所は除く) (3)2人部屋【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	2	0	11	4	4	1	1	0	0	0	22
100.0	4.4	0.0	24.4	8.9	8.9	2.2	2.2	0.0	0.0	0.0	48.9

Q2. 入所(短期入所は除く) (4)従来型個室【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	1	1	5	6	13	6	3	1	1	0	8
100.0	2.2	2.2	11.1	13.3	28.9	13.3	6.7	2.2	2.2	0.0	17.8

Q2. 入所(短期入所は除く) (5)ユニット型個室【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	6	0	0	0	0	0	2	1	1	3	32
100.0	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.4	2.2	2.2	6.7	71.1

Q2. 入所(短期入所は除く) (6)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	7	0	0	0	0	1	0	0	0	0	37
100.0	15.6	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	82.2

Q2. 短期入所 (1)4人部屋【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	4	0	2	0	0	0	0	1	0	0	38
100.0	8.9	0.0	4.4	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	84.4

Q2. 短期入所 (2)3人部屋【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	6	0	1	0	0	0	0	0	0	0	38
100.0	13.3	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	84.4

Q2. 短期入所 (3)2人部屋【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	40
100.0	8.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	88.9

Q2. 短期入所 (4)従来型個室【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	3	0	3	0	1	0	0	0	0	0	38
100.0	6.7	0.0	6.7	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	84.4

Q2. 短期入所 (5)ユニット型個室【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	6	1	1	0	0	0	0	0	0	0	37
100.0	13.3	2.2	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	82.2

Q2. 短期入所 (6)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40
100.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	88.9

Q2. 通所介護【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	2	0	0	0	1	7	20	3	0	0	12
100.0	4.4	0.0	0.0	0.0	2.2	15.6	44.4	6.7	0.0	0.0	26.7

Q3. 実施している介護保険サービス

調査数	訪問介護	横浜市訪問介護相当サービス	横浜市訪問型生活援助サービス	訪問入浴介護	介護予防訪問入浴介護	訪問看護	介護予防訪問看護	訪問リハビリテーション
45	1	0	0	0	0	4	3	18
100.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	8.9	6.7	40.0
	介護予防訪問リハビリテーション	通所介護	地域密着型通所介護	横浜市通所介護相当サービス	通所リハビリテーション	介護予防通所リハビリテーション	福祉用具貸与	特定福祉用具販売
	15	0	0	0	41	34	0	0
	33.3	0.0	0.0	0.0	91.1	75.6	0.0	0.0
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	夜間対応型訪問介護	認知症対応型通所介護	介護予防認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護	介護予防小規模多機能型居宅介護	認知症対応型共同生活介護	看護小規模多機能型居宅介護
	0	0	0	0	0	0	1	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0
						居宅介護支援、介護予防支援	上記のサービスは行っていない	不明
						7	2	2
						15.6	4.4	4.4

職員、人材確保、処遇等についてお伺いします。

問4 令和4年10月1日時点の貴施設の職員数についてご記入ください。

職員数とは、貴施設が実施する全ての事業に従事する者（正規・非正規職員問わず）の在籍者総数です。括弧内には男性職員数を記入してください。また、職員の市内在住状況を教えてください。ただし、派遣労働者、委託業務従事者は含みません。該当者がいない場合は空白で結構です。

- 注1) 資格ではなく、従事している仕事（職種）に着目して入力してください。
 なお、兼務している職員については、主として従事する仕事（職種）にのみ入力してください。
 注2) 正規職員・非正規職員とは
 正規職員（雇用している労働者で雇用期間の定めのない者）
 非正規職員（正規職員以外の労働者（契約、嘱託、パートなど））
 注3) PT（理学療法士）、OT（作業療法士）、ST（言語聴覚士）等の機能訓練指導員

()内は男性職員数

職種別（下記の職種のみ）（注1）	正規職員（注2）	非正規職員（注2）
①介護職員	人(人)	人(人)
②看護職員	人(人)	人(人)
③生活相談員	人(人)	人(人)
④PT・OT・ST等（注3）	人(人)	人(人)
⑤ケアマネジャー	人(人)	人(人)
⑥その他職員	人(人)	人(人)
職員総人数 正規職員：市内在住（ ）人、市外在住（ ）人 非正規職員：市内在住（ ）人、市外在住（ ）人		

問4-1 貴施設における外国人介護職員の採用人数についてご記入ください。

（令和4年10月1日現在、0人の場合は空白で結構です）

	採用人数 (人)									
	インドネシア	フィリピン	ベトナム	中国	ミャンマー	カンボジア	ネパール	モンゴル	タイ	その他
在留資格										
①『特定活動』（経済連携協定(EPA)）										
②『介護』										
③『技能実習』（介護）										
④『特定技能1号』（介護）										
⑤『留学』										
⑥その他 （具体的に)										

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
Q4. 介護職員(1)正規職員【クラス分け】	45	0	0	0	1	3	16	23	1	0	1
	100.0	0.0	0.0	0.0	2.2	6.7	35.6	51.1	2.2	0.0	2.2
Q4. 介護職員(2)正規職員男性職員数【クラス分け】	45	0	0	2	6	27	6	0	0	0	4
	100.0	0.0	0.0	4.4	13.3	60.0	13.3	0.0	0.0	0.0	8.9
Q4. 介護職員(3)非正規職員【クラス分け】	45	0	2	7	8	20	4	3	0	0	1
	100.0	0.0	4.4	15.6	17.8	44.4	8.9	6.7	0.0	0.0	2.2
Q4. 介護職員(4)非正規職員男性職員数【クラス分け】	45	12	6	14	2	1	0	0	0	0	10
	100.0	26.7	13.3	31.1	4.4	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2
Q4. 看護職員(5)正規職員【クラス分け】	45	0	2	5	22	15	0	0	0	0	1
	100.0	0.0	4.4	11.1	48.9	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2
Q4. 看護職員(6)正規職員男性職員数【クラス分け】	45	17	10	11	0	0	0	0	0	0	7
	100.0	37.8	22.2	24.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.6
Q4. 看護職員(7)非正規職員【クラス分け】	45	1	1	14	8	14	3	0	0	0	4
	100.0	2.2	2.2	31.1	17.8	31.1	6.7	0.0	0.0	0.0	8.9
Q4. 看護職員(8)非正規職員男性職員数【クラス分け】	45	22	7	4	0	0	0	0	0	0	12
	100.0	48.9	15.6	8.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	26.7
Q4. 生活相談員(9)正規職員【クラス分け】	45	1	3	38	1	0	0	0	0	0	2
	100.0	2.2	6.7	84.4	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.4
Q4. 生活相談員(10)正規職員男性職員数【クラス分け】	45	12	17	9	0	0	0	0	0	0	7
	100.0	26.7	37.8	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.6
Q4. 生活相談員(11)非正規職員【クラス分け】	45	26	3	0	0	0	0	0	0	0	16
	100.0	57.8	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	35.6
Q4. 生活相談員(12)非正規職員男性職員数【クラス分け】	45	27	0	0	0	0	0	0	0	0	18
	100.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0
Q4. PT・OT・ST等(13)正規職員【クラス分け】	45	0	0	14	20	9	1	0	0	0	1
	100.0	0.0	0.0	31.1	44.4	20.0	2.2	0.0	0.0	0.0	2.2
Q4. PT・OT・ST等(14)正規職員男性職員数【クラス分け】	45	2	9	25	5	0	0	0	0	0	4
	100.0	4.4	20.0	55.6	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.9
Q4. PT・OT・ST等(15)非正規職員【クラス分け】	45	3	11	19	5	1	0	0	0	0	6
	100.0	6.7	24.4	42.2	11.1	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	13.3
Q4. PT・OT・ST等(16)非正規職員男性職員数【クラス分け】	45	19	7	8	0	0	0	0	0	0	11
	100.0	42.2	15.6	17.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	24.4

Q4. ケアマネジャー(17)正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	0	1	15	28	0	0	0	0	0	0	1
100.0	0.0	2.2	33.3	62.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2

Q4. ケアマネジャー(18)正規職員男性職員数【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	0	13	17	4	0	0	0	0	0	0	11
100.0	0.0	28.9	37.8	8.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	24.4

Q4. ケアマネジャー(19)非正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	0	22	6	2	0	0	0	0	0	0	15
100.0	0.0	48.9	13.3	4.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3

Q4. ケアマネジャー(20)非正規職員男性職員数【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	0	23	2	0	0	0	0	0	0	0	20
100.0	0.0	51.1	4.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	44.4

Q4. その他職員(21)正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	0	2	0	16	17	6	2	0	0	0	2
100.0	0.0	4.4	0.0	35.6	37.8	13.3	4.4	0.0	0.0	0.0	4.4

Q4. その他職員(22)正規職員男性職員数【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	0	3	4	28	1	1	0	0	0	0	8
100.0	0.0	6.7	8.9	62.2	2.2	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	17.8

Q4. その他職員(23)非正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	0	0	2	10	11	13	5	1	0	0	3
100.0	0.0	0.0	4.4	22.2	24.4	28.9	11.1	2.2	0.0	0.0	6.7

Q4. その他職員(24)非正規職員男性職員数【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	0	2	4	13	7	11	0	0	0	0	8
100.0	0.0	4.4	8.9	28.9	15.6	24.4	0.0	0.0	0.0	0.0	17.8

Q4. 職員総人数正規職員(25)市内在住【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	0	0	0	0	1	5	16	12	5	0	6
100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	11.1	35.6	26.7	11.1	0.0	13.3

Q4. 職員総人数正規職員(26)市外在住【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	0	0	0	8	11	12	4	4	0	0	6
100.0	0.0	0.0	0.0	17.8	24.4	26.7	8.9	8.9	0.0	0.0	13.3

Q4. 職員総人数非正規職員(27)市内在住【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	0	0	0	1	2	10	11	13	1	1	6
100.0	0.0	0.0	0.0	2.2	4.4	22.2	24.4	28.9	2.2	2.2	13.3

Q4. 職員総人数非正規職員(28)市外在住【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	0	4	4	14	11	4	1	0	0	0	7
100.0	0.0	8.9	8.9	31.1	24.4	8.9	2.2	0.0	0.0	0.0	15.6

Q4-1

	インドネシア		フィリピン		ベトナム		中国		ミャンマー		カンボジア		ネパール		モンゴル		タイ		その他		
	調査数	合計人数	調査数	合計人数	調査数	合計人数	調査数	合計人数	調査数	合計人数	調査数	合計人数	調査数	合計人数	調査数	合計人数	調査数	合計人数	調査数	合計人数	
①特定活動	3	9	1	1	2	14															
②介護	3	6	4	4	3	6	4	7	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2	0	0	0
③技能実習	1	5	1	3	2	6	0	0	2	4	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
④特定技能1号	3	9	2	9	5	13	1	1	0	0	0	0	1	2	0	0	1	1	0	0	0
⑤留学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑥その他	0	0	5	16	1	1	2	3	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	1

問5 貴施設では、従業員の職種別(注1)過不足の状況はいかがですか。(①～⑦それぞれで○はひとつ)

「不足」とは、募集を必要としていることを指します。

注1) 資格ではなく、従事している仕事(職種)に着目してください。

注2) PT(理学療法士)、OT(作業療法士)、ST(言語聴覚士)等の機能訓練指導員

職種別(注1)	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はいない
①介護職員	1	2	3	4	5	6
②看護職員	1	2	3	4	5	6
③支援相談員	1	2	3	4	5	6
④PT・OT・ST等(注2)	1	2	3	4	5	6
⑤ケアマネジャー	1	2	3	4	5	6
⑥その他職員	1	2	3	4	5	6
⑦全体でみた場合(上記①～⑥について)	1	2	3	4	5	6

問5の⑦で1～3と回答した方にお伺いします。

問5-1 「⑦全体でみた場合」で、不足している理由はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 採用が困難である	3. 事業拡大によって必要人数が増大した
2. 離職率が高い(定着率が低い)	4. その他(具体的に)

問5-1で「1. 採用が困難である」を選択した方にお伺いします。

問5-2 職員の採用が困難な原因は何にあるとお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 他産業に比べて、労働要件が良くない	4. その他(具体的に)
2. 景気が良いため、介護業界へ人材が集まらない	5. わからない
3. 同業他社との人材獲得競争が厳しい	

Q5. 従業員の種別過不足状況(1)介護職員

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はいない	不明
45	6	17	15	5	0	0	2
100.0	13.3	37.8	33.3	11.1	0.0	0.0	4.4

Q5. 従業員の種別過不足状況(2)看護職員

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はいない	不明
45	4	11	15	13	0	0	2
100.0	8.9	24.4	33.3	28.9	0.0	0.0	4.4

Q5. 従業員の種別過不足状況(3)支援相談員

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はいない	不明
45	1	7	14	20	0	0	3
100.0	2.2	15.6	31.1	44.4	0.0	0.0	6.7

Q5. 従業員の種別過不足状況(4)PT・OT・ST等

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はいない	不明
45	2	4	15	21	0	0	3
100.0	4.4	8.9	33.3	46.7	0.0	0.0	6.7

Q5. 従業員の種別過不足状況(5)ケアマネジャー

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はいない	不明
45	2	3	8	29	1	0	2
100.0	4.4	6.7	17.8	64.4	2.2	0.0	4.4

Q5. 従業員の種別過不足状況(6)その他職員

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はいない	不明
45	0	1	12	29	0	1	2
100.0	0.0	2.2	26.7	64.4	0.0	2.2	4.4

Q5. 従業員の種別過不足状況(7)全体でみた場合(上記全てについて)

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はいない	不明
45	1	11	18	11	0	1	3
100.0	2.2	24.4	40.0	24.4	0.0	2.2	6.7

Q5-1. 「全体でみた場合」で、不足している理由

調査数	採用が困難である	離職率が高い(定着率が低い)	事業拡大によって必要人数が増大した	その他
30	29	9	3	1
100.0	96.7	30.0	10.0	3.3

Q5-2. 職員の採用が困難な原因

調査数	他産業に比べて、労働要件が良くない	景気が良いため、介護業界へ人材が集まらない	同業他社との人材獲得競争が厳しい	その他	わからない
29	16	5	19	4	0
100.0	55.2	17.2	65.5	13.8	0.0

問6 令和3年度の人材確保の状況について、人材派遣会社または人材紹介会社の活用によって確保した人数は何名ですか。該当者がいない場合は空白で結構です。

	介護職員	看護職員	その他
① 正規職員	人	人	人
うち人材紹介会社の活用	人	人	人
② 非正規職員	人	人	人
うち人材紹介会社の活用	人	人	人
人材派遣会社の活用	人	人	人

問7 貴施設では職員の採用に際し、どのような工夫を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. ハローワークや福祉人材センターを頻繁に訪れている	8. 新規卒業者や若手にこだわらないようにしている
2. 求人の際に、仕事そのものの魅力や労働条件を掲載する等求人内容を工夫している	9. 近隣の事業所と連携し、採用に関し情報交換をしている
3. 職員や知人と連絡を密にとり、人材についての情報の提供を受けている	10. 福祉系教育機関への働きかけを積極的に行っている
4. 採用について、従来より多くコストをかけている	11. 採用説明会や職場体験を実施している
5. 自施設の理念やアピールポイントをHP等を介して対外的に発信している	12. 内定後のフォローをしっかり行っている
6. 介護資格や介護経験の有無にこだわらないようにしている	13. くるみん認定など、国や地方自治体の認定等を取っている
7. 福祉系の教育機関出身者にこだわらないようにしている	14. 子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)
	15. その他(具体的に)
	16. 特に行っていない

問8 貴施設において、過去3年間、介護職員の採用において利用した手段・媒体はどれですか。(それぞれ○はひとつ)

	利用の有無	
	利用した	利用していない
①学校からの紹介	1	2
②ハローワーク	1	2
③広告(折込チラシ等含む)	1	2
④民間の職業紹介	1	2
⑤知人等からの紹介	1	2

Q6. 人材確保状況①正規職員(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明
45	3	1	13	6	3	2	0	17
100.0	6.7	2.2	28.9	13.3	6.7	4.4	0.0	37.8

Q6. 人材確保状況①正規職員(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明
45	7	11	7	1	0	0	0	19
100.0	15.6	24.4	15.6	2.2	0.0	0.0	0.0	42.2

Q6. 人材確保状況①正規職員(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明
45	7	4	11	2	1	0	2	18
100.0	15.6	8.9	24.4	4.4	2.2	0.0	4.4	40.0

Q6. 人材確保状況①うち人材紹介会社の活用(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明
45	4	1	11	4	1	0	0	24
100.0	8.9	2.2	24.4	8.9	2.2	0.0	0.0	53.3

Q6. 人材確保状況①うち人材紹介会社の活用(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明
45	8	7	7	0	0	0	0	23
100.0	17.8	15.6	15.6	0.0	0.0	0.0	0.0	51.1

Q6. 人材確保状況①うち人材紹介会社の活用(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明
45	6	6	11	0	0	0	0	22
100.0	13.3	13.3	24.4	0.0	0.0	0.0	0.0	48.9

Q6. 人材確保状況②非正規職員(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明
45	8	4	5	4	0	0	0	24
100.0	17.8	8.9	11.1	8.9	0.0	0.0	0.0	53.3

Q6. 人材確保状況②非正規職員(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明
45	8	7	5	0	0	3	0	22
100.0	17.8	15.6	11.1	0.0	0.0	6.7	0.0	48.9

Q6. 人材確保状況②非正規職員(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明
45	5	2	9	0	0	0	0	29
100.0	11.1	4.4	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	64.4

Q6. 人材確保状況②うち人材紹介会社の活用(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明
45	12	2	2	0	0	0	0	29
100.0	26.7	4.4	4.4	0.0	0.0	0.0	0.0	64.4

Q6. 人材確保状況②うち人材紹介会社の活用(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明
45	9	4	4	0	0	1	0	27
100.0	20.0	8.9	8.9	0.0	0.0	2.2	0.0	60.0

Q6. 人材確保状況②うち人材紹介会社の活用(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明
45	7	5	1	0	0	0	0	32
100.0	15.6	11.1	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	71.1

Q6. 人材確保状況人材派遣会社の活用(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明
45	6	4	4	6	3	0	0	22
100.0	13.3	8.9	8.9	13.3	6.7	0.0	0.0	48.9

Q6. 人材確保状況人材派遣会社の活用(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明
45	14	1	3	1	0	0	0	26
100.0	31.1	2.2	6.7	2.2	0.0	0.0	0.0	57.8

Q6. 人材確保状況人材派遣会社の活用(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明
45	14	0	0	0	0	0	0	31
100.0	31.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	68.9

Q6. 合計 介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明
45	3	2	11	8	4	3	2	12
100.0	6.7	4.4	24.4	17.8	8.9	6.7	4.4	26.7

Q6. 合計 看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明
45	5	7	10	4	0	3	0	16
100.0	11.1	15.6	22.2	8.9	0.0	6.7	0.0	35.6

Q6. 合計 その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明
45	6	4	12	1	3	0	2	17
100.0	13.3	8.9	26.7	2.2	6.7	0.0	4.4	37.8

Q7. 職員採用の工夫

調査数	ハローワークや福祉人材センターを頻繁に訪れている	求人に対し、仕事そのものの魅力や労働条件を掲載する等求人内容を工夫している	職員や知人と連絡を密にとり、人材についての情報の提供を受けている	採用について、従来より多くコストをかけている	自施設の理念やアピールポイントをHP等を介して対外的に発信している	介護資格や介護経験の有無にこだわらないようにしている	福祉系の教育機関出身者にこだわらないようにしている	新規卒者や若手にこだわらないようにしている
45 100.0	18 40.0	26 57.8	16 35.6	16 35.6	22 48.9	22 48.9	21 46.7	26 57.8
	近隣の事業所と連携し、採用に関し情報交換をしている	福祉系教育機関への働きかけを積極的に行っている	採用説明会や職場体験を実施している	内定後のフォローをしっかりと行っている	くるみん認定など、国や地方自治体の認定等を取得している	子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)	その他	特に行っていない
	1 2.2	12 26.7	7 15.6	15 33.3	1 2.2	12 26.7	2 4.4	0 0.0

Q8. 介護職員の採用において利用した手段・媒体 (1)学校からの紹介

調査数	利用した	利用していない	不明
45 100.0	24 53.3	18 40.0	3 6.7

Q8. 介護職員の採用において利用した手段・媒体 (2)ハローワーク

調査数	利用した	利用していない	不明
45 100.0	38 84.4	5 11.1	2 4.4

Q8. 介護職員の採用において利用した手段・媒体 (3)広告(折込チラシ等含む)

調査数	利用した	利用していない	不明
45 100.0	27 60.0	14 31.1	4 8.9

Q8. 介護職員の採用において利用した手段・媒体 (4)民間の職業紹介

調査数	利用した	利用していない
45 100.0	40 88.9	5 11.1

Q8. 介護職員の採用において利用した手段・媒体 (5)知人等からの紹介

調査数	利用した	利用していない	不明
45 100.0	41 91.1	2 4.4	2 4.4

問9 貴施設において、過去3年間、介護職員の採用において利用した手段・媒体に関し、次のような課題がありましたか。(あてはまるものすべてに○)

	課題について				
	手数料等の金額	希望する人材が紹介されない	すぐに辞めてしまうことが多い(6か月程度以内)	その他	課題は特になかった
①学校からの紹介		2	3	4	5
②ハローワーク		2	3	4	5
③広告(折込チラシ等含む)	1	2	3	4	5
④民間の職業紹介	1	2	3	4	5
⑤知人等からの紹介	1	2	3	4	5

問10 人材派遣会社や人材紹介会社を活用した場合と、それ以外の方法(ハローワークや求人広告等)の場合について、人材の確保にかかる費用は、年間どのくらいですか。令和3年度の実績をご記入してください。利用していない場合や不明の場合は、空白で結構です。

	(年額)		
	人材派遣会社を活用	人材紹介会社を活用	左記以外の方法
人材の確保にかかる年間の費用(令和3年度)	円	円	円

問11 介護職員の人材不足に対し、新たな人材の確保に向けた自治体の取組として、効果的と考えるものは次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 若い世代に向けた介護業界のイメージアップ	8. 潜在介護福祉士の(再)就職支援
2. 職場体験を実施する施設への支援	9. ロボット・ICT活用による職員の負担軽減への支援
3. 新たに介護業界へ就職をする者が資格取得等に関する研修参加をする際の支援	10. 子育て世代が働きやすい環境の整備への支援
4. 多様な働き方(時短、夜間のみ、週休3日)の導入支援	11. 合同就職相談会の実施
5. 元気高齢者(ボランティア等)の受入れ支援	12. 介護福祉士養成施設に対する財政的支援
6. 介護助手の受入れ支援	13. その他()
7. 外国人介護職員の受入れ支援	14. 自治体からの支援がなくても人材の確保ができています

Q9. 介護職員の採用において利用した手段・媒体の課題(1)学校からの紹介

調査数	手数料等の金額	希望する人材が紹介されない	すぐに辞めてしまうことが多い(6か月程度以内)	その他	課題は特になかった	不明
45	0	7	3	3	17	16
100.0	0.0	15.6	6.7	6.7	37.8	35.6

Q9. 介護職員の採用において利用した手段・媒体の課題(2)ハローワーク

調査数	手数料等の金額	希望する人材が紹介されない	すぐに辞めてしまうことが多い(6か月程度以内)	その他	課題は特になかった	不明
45	0	17	5	3	12	10
100.0	0.0	37.8	11.1	6.7	26.7	22.2

Q9. 介護職員の採用において利用した手段・媒体の課題(3)広告(折込チラシ等含む)

調査数	手数料等の金額	希望する人材が紹介されない	すぐに辞めてしまうことが多い(6か月程度以内)	その他	課題は特になかった	不明
45	14	11	3	5	7	10
100.0	31.1	24.4	6.7	11.1	15.6	22.2

Q9. 介護職員の採用において利用した手段・媒体の課題(4)民間の職業紹介

調査数	手数料等の金額	希望する人材が紹介されない	すぐに辞めてしまうことが多い(6か月程度以内)	その他	課題は特になかった	不明
45	32	10	12	1	4	3
100.0	71.1	22.2	26.7	2.2	8.9	6.7

Q9. 介護職員の採用において利用した手段・媒体の課題(5)知人等からの紹介

調査数	手数料等の金額	希望する人材が紹介されない	すぐに辞めてしまうことが多い(6か月程度以内)	その他	課題は特になかった	不明
45	1	3	3	2	23	13
100.0	2.2	6.7	6.7	4.4	51.1	28.9

Q10. 人材の確保にかかる費用(1)人材派遣会社を活用【クラス分け】

調査数	0円	1~100万円未満	100~300万円未満	300~500万円未満	500~1000万円未満	1000~2000万円未満	2000万円以上	不明
45	7	0	2	4	1	2	5	24
100.0	15.6	0.0	4.4	8.9	2.2	4.4	11.1	53.3

調査数	平均
14	14,560,718
100.0	

Q10. 人材の確保にかかる費用(2)人材紹介会社を活用【クラス分け】

調査数	0円	1~100万円未満	100~300万円未満	300~500万円未満	500~1000万円未満	1000~2000万円未満	2000万円以上	不明
45	2	3	5	9	4	3	0	19
100.0	4.4	6.7	11.1	20.0	8.9	6.7	0.0	42.2

調査数	平均
24	4,274,136
100.0	

Q10. 人材の確保にかかる費用(3)左記以外の方法【クラス分け】

調査数	0円	1~100万円未満	100~300万円未満	300~500万円未満	500~1000万円未満	1000~2000万円未満	2000万円以上	不明
45	5	3	5	2	0	0	0	30
100.0	11.1	6.7	11.1	4.4	0.0	0.0	0.0	66.7

調査数	平均
10	1,256,000
100.0	

Q11. 人材の確保に向けた自治体の取組として、効果的と考えるもの

調査数	若い世代に向けた介護業界のイメージアップ	職場体験を実施する施設への支援	新たに介護業界へ就職をする者が資格取得等に関する研修参加をする際の支援	多様な働き方(時短、夜間のみ、週休3日)の導入支援	元気高齢者(ボランティア等)の受入れ支援	介護助手の受入れ支援	外国人介護職員の受入れ支援	潜在介護福祉士の(再)就職支援
45	33	14	24	18	15	14	17	17
100.0	73.3	31.1	53.3	40.0	33.3	31.1	37.8	37.8
18	24	5	15	15	1	1	1	1
40.0	53.3	11.1	33.3	33.3	2.2	2.2	2.2	2.2

問 12 介護職員の人材不足に対し、在職している職員の定着のための自治体の取組として、効果的と考えるものは次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

1. キャリアアップに資する研修の実施、参加への支援（初任者研修、実務者研修等含む）	6. 多様な働き方（時短、夜間のみ、週休3日）の導入支援
2. 参加しやすい研修の実施（出前研修、オンライン研修）	7. ロボット・ICT等の導入支援による職員の負担軽減
3. 介護職員に対する悩み相談窓口の設置	8. 子育て世代が働きやすい環境の整備支援
4. 介護の職場におけるハラスメント対策（啓発・研修）の実施	9. その他（ ）
5. 若手職員等の交流の推進など、横のつながりの創出	10. 自治体からの支援がなくても定着を図ることができる

問 13 今後、外国人介護職員を受け入れる予定はありますか。受け入れる予定がある場合、どの在留資格でどの国からの受入れを考えていますか。（あてはまるものすべてに○）

在留資格	インドネシア	フィリピン	ベトナム	中国	ミャンマー	カンボジア	ネパール	モンゴル	タイ	国籍にこだわらない	その他
①『特定活動』（経済連携協定(EPA)）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
②『介護』	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
③『技能実習』（介護）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
④『特定技能1号』（介護）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
⑤『留学』	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
⑥在留資格にこだわらない	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
⑦その他（具体的に ）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
⑧受け入れる予定はない	12										

Q12.在職している職員の定着のための自治体の取組として、効果的と考えるもの

調査数	キャリアアップに資する研修の実施、参加への支援（初任者研修、実務者研修等含む）	参加しやすい研修の実施（出前研修、オンライン研修）	介護職員に対する悩み相談窓口の設置	介護の職場におけるハラスメント対策（啓発・研修）の実施	若手職員等の交流の推進など、横のつながりの創出	多様な働き方（時短、夜間のみ、週休3日）の導入支援	ロボット・ICT等の導入支援による職員の負担軽減	子育て世代が働きやすい環境の整備支援
45	28	20	8	8	9	22	19	26
100.0	62.2	44.4	17.8	17.8	20.0	48.9	42.2	57.8
					その他	自治体からの支援がなくても定着を図ることができる	不明	
					4	1	1	
					8.9	2.2	2.2	

Q13.在留資格で受入れる国(1)インドネシア

調査数	『特定活動』（経済連携協定(EPA)）	『介護』	『技能実習』（介護）	『特定技能1号』（介護）	『留学』	在留資格にこだわらない	その他
45	1	1	2	2	0	0	0
100.0	2.2	2.2	4.4	4.4	0.0	0.0	0.0

Q13.在留資格で受入れる国(2)フィリピン

調査数	『特定活動』（経済連携協定(EPA)）	『介護』	『技能実習』（介護）	『特定技能1号』（介護）	『留学』	在留資格にこだわらない	その他
45	0	0	1	0	0	0	0
100.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0

Q13.在留資格で受入れる国(3)ベトナム

調査数	『特定活動』（経済連携協定(EPA)）	『介護』	『技能実習』（介護）	『特定技能1号』（介護）	『留学』	在留資格にこだわらない	その他
45	1	1	3	1	0	0	0
100.0	2.2	2.2	6.7	2.2	0.0	0.0	0.0

Q13.在留資格で受入れる国(4)中国

調査数	『特定活動』（経済連携協定(EPA)）	『介護』	『技能実習』（介護）	『特定技能1号』（介護）	『留学』	在留資格にこだわらない	その他
45	0	0	0	1	0	0	0
100.0	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0

Q13.在留資格で受入れる国(5)ミャンマー

調査数	『特定活動』（経済連携協定(EPA)）	『介護』	『技能実習』（介護）	『特定技能1号』（介護）	『留学』	在留資格にこだわらない	その他
45	0	0	1	0	0	0	0
100.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0

Q13.在留資格で受入れる国(6)カンボジア

調査数	『特定活動』（経済連携協定(EPA)）	『介護』	『技能実習』（介護）	『特定技能1号』（介護）	『留学』	在留資格にこだわらない	その他
45	0	0	0	0	0	0	0
100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q13.在留資格で受入れる国(7)ネパール

調査数	『特定活動』（経済連携協定(EPA)）	『介護』	『技能実習』（介護）	『特定技能1号』（介護）	『留学』	在留資格にこだわらない	その他
45	0	0	0	0	0	0	0
100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q13.在留資格で受入れる国(8)モンゴル

調査数	『特定活動』（経済連携協定(EPA)）	『介護』	『技能実習』（介護）	『特定技能1号』（介護）	『留学』	在留資格にこだわらない	その他
45	0	0	0	1	0	0	0
100.0	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0

Q13.在留資格で受入れる国(9)タイ

調査数	『特定活動』（経済連携協定(EPA)）	『介護』	『技能実習』（介護）	『特定技能1号』（介護）	『留学』	在留資格にこだわらない	その他
45	0	0	1	0	0	0	0
100.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0

Q13.在留資格で受入れる国(10)国籍にこだわらない

調査数	『特定活動』（経済連携協定(EPA)）	『介護』	『技能実習』（介護）	『特定技能1号』（介護）	『留学』	在留資格にこだわらない	その他
45	1	2	0	1	0	1	1
100.0	2.2	4.4	0.0	2.2	0.0	2.2	2.2

Q13.在留資格で受入れる国(11)その他

調査数	『特定活動』（経済連携協定(EPA)）	『介護』	『技能実習』（介護）	『特定技能1号』（介護）	『留学』	在留資格にこだわらない	その他
45	1	1	1	1	1	1	1
100.0	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2

Q13.在留資格で受入れる国(12)受け入れる予定はない

調査数	受け入れる予定はない	不明
45	21	24
100.0	46.7	53.3

問 14 外国人介護職員に対し、日本語の勉強のため、貴施設ではどのようなことに取り組んでいますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 施設や法人で、日本人の職員が教えている	8. 勤務時間内に、勉強の時間を組み入れている
2. 日本語の先生等外部に委託し、施設や法人内で教えている	9. その他 ()
3. 施設や法人が金銭的負担をし、日本語学校等に通わせている	10. 特にない
4. 横浜市が委託して実施している研修事業(訪日後日本語等研修)に参加させている	11. 外国人介護職員がいない
5. ボランティアによる日本語教室等無料の教室・横浜市以外が実施する研修に参加させている	
6. 日本語のテキストを渡し、勉強させている	
7. 施設において、勉強の目標や計画を策定している	

問 15 外国人介護職員に対し、現場における介護技能の向上のため、貴施設ではどのようなことに取り組んでいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 施設におけるOJTを通して、日本人の職員が教えている	9. 施設や法人で介護福祉士試験の受験を見据えた対策講座などを行っている
2. 施設におけるOJTを通して、外国人の職員が教えている	10. 外部で行われている、介護福祉士試験の受験を見据えた対策講座などに参加させている。(有料無料問わない)
3. 講師等を外部に委託し、施設や法人内で教えている	11. その他 ()
4. 施設や法人が金銭的負担をし、専門学校等に通わせている	12. 特にない
5. 公的な機関が実施している研修事業に参加させている	13. 外国人介護職員がいない
6. 介護技能に関するテキストを渡し、勉強させている	
7. 施設において、勉強の目標や計画を策定している	
8. 勤務時間内に、勉強の時間を組み入れている	

Q14.外国人介護職員に対し、日本語の勉強のための取り組み

調査数	施設や法人で、日本人の職員が教えている	日本語の先生等外部に委託し、施設や法人内で教えている	施設や法人が金銭的負担をし、日本語学校等に通わせている	横浜市が委託して実施している研修事業(訪日後日本語等研修)に参加させている	ボランティアによる日本語教室等無料の教室・横浜市以外が実施する研修に参加させている	日本語のテキストを渡し、勉強させている	施設において、勉強の目標や計画を策定している	勤務時間内に、勉強の時間を組み入れている
45 100.0	13 28.9	4 8.9	1 2.2	2 4.4	0 0.0	3 6.7	5 11.1	6 13.3
					その他	特にない	外国人介護職員がいない	不明
					1 2.2	9 20.0	17 37.8	4 8.9

Q15.外国人介護職員に対し、現場における介護技能の向上のための取り組み

調査数	施設におけるOJTを通して、日本人の職員が教えている	施設におけるOJTを通して、外国人の職員が教えている	講師等を外部に委託し、施設や法人内で教えている	施設や法人が金銭的負担をし、専門学校等に通わせている	公的な機関が実施している研修事業に参加させている	介護技能に関するテキストを渡し、勉強させている	施設において、勉強の目標や計画を策定している	勤務時間内に、勉強の時間を組み入れている
45 100.0	17 37.8	4 8.9	2 4.4	4 8.9	3 6.7	4 8.9	7 15.6	6 13.3
			施設や法人で介護福祉士試験の受験を見据えた対策講座などを行っている	外部で行われている、介護福祉士試験の受験を見据えた対策講座などに参加させている。(有料無料問わない)	その他	特にない	外国人介護職員がいない	不明
			4 8.9	3 6.7	1 2.2	3 6.7	18 40.0	4 8.9

問 16 外国人介護職員を、貴施設で受け入れるにあたり、自治体の取組として効果的と考えるものは次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 在留資格の違いや、受入れ手続きの流れ等を理解するための研修やセミナーの実施	6. 外国人介護職員に対する介護に関する研修や日本語研修などの支援
2. 受入れのための入管手続きなどの事務の支援（施設向け相談窓口の設置）	7. 介護福祉士試験合格のための支援
3. 受入れにあたり施設にかかる経費の補助等の経済的支援（住居費等）※給与や紹介手数料は含まない	8. その他（ ）
4. 外国人介護職員向け相談窓口等の生活支援	9. 自治体からの支援がなくても、十分受入れができる
5. 受入れ施設の職員のための研修（教育方法や、文化等の理解、コミュニケーションの方法等）	

問 17 外国人介護職員に、どのような職員となることを期待しているか、最も当てはまるものを選んでください。（○はひとつ）

1. 基本的な業務については、一人で対応できるようになってほしい	4. 外国人介護職員の採用は考えていない
2. 他の外国人職員のリーダー的存在になってほしい	
3. 日本人職員も含め、職員のリーダー的存在になってほしい	

問 18 採用した外国人介護職員の介護福祉士の資格取得についての考え方として、最も当てはまるものを選んでください。（○はひとつ）

1. 施設・法人として介護福祉士の資格取得をしてほしいため、勉強や研修の参加の支援をしたい	4. 介護福祉士の資格取得はしてほしいが、外国人が試験合格をすることは、現実的に難しいと思う
2. 本人が介護福祉士の資格取得を希望するのであれば支援したい	5. 外国人介護職員の介護福祉士資格の取得までは考えていない
3. 施設・法人としてはどちらでもよい	6. 外国人介護職員の採用は考えていない

Q16.外国人介護職員を、受け入れるにあたり、自治体の取組として効果的と考えるもの

調査数	在留資格の違いや、受入れ手続きの流れ等を理解するための研修やセミナーの実施	受入れのための入管手続きなどの事務の支援（施設向け相談窓口の設置）	受入れにあたり施設にかかる経費の補助等の経済的支援（住居費等）※給与や紹介手数料は含まない	外国人介護職員向け相談窓口等の生活支援	受入れ施設の職員のための研修（教育方法や、文化等の理解、コミュニケーションの方法等）	外国人介護職員に対する介護に関する研修や日本語研修などの支援	介護福祉士試験合格のための支援	その他
45 100.0	14 31.1	16 35.6	26 57.8	17 37.8	17 37.8	27 60.0	16 35.6	1 2.2
							自治体からの支援がなくても、十分受入れができる	不明
							3 6.7	4 8.9

Q17.外国人介護職員に、どのような職員となることを期待しているか、最も当てはまるもの

調査数	基本的な業務については、一人で対応できるようになってほしい	他の外国人職員のリーダー的存在になってほしい	日本人職員も含め、職員のリーダー的存在になってほしい	外国人介護職員の採用は考えていない	不明
45 100.0	24 53.3	2 4.4	6 13.3	9 20.0	4 8.9

Q18.採用した外国人介護職員の介護福祉士の資格取得についての考え方として、最も当てはまるもの

調査数	施設・法人として介護福祉士の資格取得をしてほしいため、勉強や研修の参加の支援をしたい	本人が介護福祉士の資格取得を希望するのであれば支援したい	施設・法人としてはどちらでもよい	介護福祉士の資格取得はしてほしいが、外国人が試験合格をすることは、現実的に難しいと思う	外国人介護職員の介護福祉士資格の取得までは考えていない	外国人介護職員の採用は考えていない	不明
45 100.0	12 26.7	13 28.9	2 4.4	1 2.2	2 4.4	11 24.4	4 8.9

問 19 職員の早期離職防止や定着促進を図るために、(1)実施しているものを教えてください。
(あてはまるものすべてに○)

また、早期離職防止や定着促進に最も効果があった方策を(2)正規職員、(3)非正規職員ごとにそれぞれ1つ選んでください。(実施しているものの中から○は1つ)

	(1) 実施して いる	効果がある	
		(2) 正規職員	(3) 非正規職員
① 残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる	1	2	3
② 本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる	1	2	3
③ 賃金水準を向上させている	1	2	3
④ 能力や仕事を評価し、賃金などの処遇に反映している	1	2	3
⑤ 職員の仕事内容と必要な能力等を明示している	1	2	3
⑥ キャリアに応じた給与体系を整備している	1	2	3
⑦ 非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている	1	2	3
⑧ 新人の指導担当・アドバイザーを置いている	1	2	3
⑨ 能力開発を充実させている(社内研修実施、社外講習等の受講・支援等)	1	2	3
⑩ 管理者・リーダー層の部下育成や動機付け、能力向上に向けた教育研修に力を入れている	1	2	3
⑪ 仕事内容の希望を聞いて配置している	1	2	3
⑫ 悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている(メンタルヘルス対策を含む)	1	2	3
⑬ 健康対策や健康管理に力を入れている	1	2	3
⑭ 職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている(定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等)	1	2	3
⑮ 経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている	1	2	3
⑯ 業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れている	1	2	3
⑰ 介護ロボットやICT等の導入による働きやすい職場作りに力を入れている	1	2	3
⑱ 福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている(カラオケ、ボーリングなどの同好会、親睦会等の実施を含む)	1	2	3
⑲ 職場環境を整えている(休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等)	1	2	3
⑳ 子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)	1	2	3
㉑ その他(具体的に)	1	2	3
㉒ 特に方策はとっていない	4		

Q19.職員の早期離職防止や定着促進を図るため(1)実施している

調査数	残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる	本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる	賃金水準を向上させている	能力や仕事を評価し、賃金などの処遇に反映している	職員の仕事内容と必要な能力等を明示している	キャリアに応じた給与体系を整備している	非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている	新人の指導担当・アドバイザーを置いている
45 100.0	36 80.0	28 62.2	25 55.6	19 42.2	15 33.3	23 51.1	31 68.9	23 51.1
	能力開発を充実させている(社内研修実施、社外講習等の受講・支援等)	管理者・リーダー層の部下育成や動機付け、能力向上に向けた教育研修に力を入れている	仕事内容の希望を聞いて配置している	悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている(メンタルヘルス対策を含む)	健康対策や健康管理に力を入れている	職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている(定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等)	経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている	業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れている
	19 42.2	17 37.8	14 31.1	26 57.8	15 33.3	22 48.9	13 28.9	18 40.0
		介護ロボットやICT等の導入による働きやすい職場作りに力を入れている	福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている(カラオケ、ボーリングなどの同好会、親睦会等の実施を含む)	職場環境を整えている(休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等)	子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)	その他	特に方策はとっていない	不明
		8 17.8	10 22.2	15 33.3	12 26.7	0 0.0	2 4.4	1 2.2

Q19.職員の早期離職防止や定着促進を図るため(2)効果がある:正規職員

調査数	残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる	本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる	賃金水準を向上させている	能力や仕事を評価し、賃金などの処遇に反映している	職員の仕事内容と必要な能力等を明示している	キャリアに応じた給与体系を整備している	非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている	新人の指導担当・アドバイザーを置いている
45 100.0	20 44.4	3 6.7	5 11.1	1 2.2	0 0.0	0 0.0	1 2.2	3 6.7
	能力開発を充実させている(社内研修実施、社外講習等の受講・支援等)	管理者・リーダー層の部下育成や動機付け、能力向上に向けた教育研修に力を入れている	仕事内容の希望を聞いて配置している	悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている(メンタルヘルス対策を含む)	健康対策や健康管理に力を入れている	職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている(定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等)	経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている	業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れている
	1 2.2	1 2.2	1 2.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
		介護ロボットやICT等の導入による働きやすい職場作りに力を入れている	福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている(カラオケ、ボーリングなどの同好会、親睦会等の実施を含む)	職場環境を整えている(休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等)	子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)	その他		不明
		0 0.0	0 0.0	1 2.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8 17.8

Q19.職員の早期離職防止や定着促進を図るため(3)効果がある:非正規職員

調査数	残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる	本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる	賃金水準を向上させている	能力や仕事ぶりを評価し、賃金などの処遇に反映している	職員の仕事内容と必要な能力等を明示している	キャリアに応じた給与体系を整備している	非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている	新人の指導担当・アドバイザーを置いている
45 100.0	10 22.2	13 28.9	1 2.2	1 2.2	0 0.0	0 0.0	4 8.9	1 2.2
	能力開発を充実させている(社内研修実施、社外講習等の受講・支援等)	管理者・リーダー層の部下育成や動機付け、能力向上に向けた教育研修に力を入れている	仕事内容の希望を聞いて配置している	悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている(メンタルヘルス対策を含む)	健康対策や健康管理に力を入れている	職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている(定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等)	経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている	業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れている
	0 0.0	0 0.0	2 4.4	1 2.2	0 0.0	1 2.2	0 0.0	0 0.0
			介護ロボットやICT等の導入による働きやすい職場作りに力を入れている	福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている(カラオケ、ボーリングなどの同好会、親睦会等の実施を含む)	職場環境を整えている(休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等)	子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)	その他	不明
	0 0.0	0 0.0		0 0.0	1 2.2	1 2.2	0 0.0	9 20.0

問 20 貴施設における介護職員処遇改善加算（現行加算）、介護職員等特定処遇改善加算（特定加算）及び介護職員等ベースアップ等支援加算（ベースアップ等加算）の届出状況について、教えてください。（〇はひとつ）

1. 現行加算・特定加算・ベースアップ等加算全ての届出をしている（届出予定を含む）	→ 問 20-1、2へ
2. 現行加算と特定加算を届出している（届出予定を含む）	
3. 現行加算のみ届出をしている（届出予定を含む）	
4. いずれも届出をしていない → 問 20-3へ	

問 20 で「1. 現行加算・特定加算・ベースアップ等加算全ての届出をしている（届出予定を含む）」
「2. 現行加算と特定加算を届出をしている（届出予定を含む）」「3. 現行加算のみ届出をしている（届出予定を含む）」と回答した方にお伺いします。

問 20-1 貴施設では、どのように介護職員処遇改善計画書の周知を行っていますか。（あてはまるものすべてに〇）

1. 掲示板等への掲示	3. 面談・会議等での説明
2. メールや回覧形式等による通知	4. その他（具体的に）

問 20-2 貴施設では、下記のような対応をしましたか。（あてはまるものすべてに〇）

1. 基本給の引上げ	5. 昇進・昇格要件の明確化
2. 諸手当の導入・引上げ	6. 非正規職員から正規職員への登用
3. 一時金の支給	7. その他
4. 教育研修の充実	（具体的に）

問 20 で「4. いずれも届出をしていない」と回答した方にお伺いします。

問 20-3 介護職員処遇改善加算（現行加算）、介護職員等特定処遇改善加算（特定加算）及び介護職員等ベースアップ等支援加算（ベースアップ等加算）の届出を行わない理由について、教えてください。（あてはまるものすべてに〇）

1. 対象の制約のため困難	5. 非常勤職員等の処遇上の問題
2. 事務作業が煩雑	6. 賃金改善の必要性がない
3. 追加費用負担の発生	7. 算定要件を達成できない
4. 利用者負担の発生	8. その他
	（具体的に）

Q20.介護職員処遇改善加算（現行加算）、介護職員等特定処遇改善加算（特定加算）及び介護職員等ベースアップ等支援加算（ベースアップ等加算）の届出状況について

調査数	現行加算・特定加算・ベースアップ等加算全ての届出をしている（届出予定を含む）	現行加算と特定加算の届出をしている（届出予定を含む）	現行加算のみ届出をしている（届出予定を含む）	いずれも届出をしていない
45	39	5	1	0
100.0	86.7	11.1	2.2	0.0

Q20-1.介護職員処遇改善計画書の周知

調査数	掲示板等への掲示	メールや回覧形式等による通知	面談・会議等での説明	その他
45	34	11	15	4
100.0	75.6	24.4	33.3	8.9

Q20-2.介護職員処遇改善計画書の対応

調査数	基本給の引上げ	諸手当の導入・引上げ	一時金の支給	教育研修の充実	昇進・昇格要件の明確化	非正規職員から正規職員への登用	その他
45	20	29	25	12	9	14	0
100.0	44.4	64.4	55.6	26.7	20.0	31.1	0.0

Q20-3.介護職員処遇改善加算（現行加算）、介護職員等特定処遇改善加算（特定加算）及び介護職員等ベースアップ等支援加算（ベースアップ等加算）の届出を行わない理由

調査数	対象の制約のため困難	事務作業が煩雑	追加費用負担の発生	利用者負担の発生	非常勤職員等の処遇上の問題	賃金改善の必要性がない	算定要件を達成できない	その他
0	0	0	0	0	0	0	0	0
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 21 令和3年度に離職(注1)した人数は何名ですか。

注1)「離職者」とは、令和3年度中に施設を退職したり、解雇された者をいい、他企業への出向者・出向復帰者を
含み、同一企業内での転出入者を除く。

注2) 正規職員・非正規職員とは

正規職員(雇用している労働者で雇用期間の定めのない者)

非正規職員(正規職員以外の労働者(契約、嘱託、パートなど))

常勤労働者(1週の所定労働時間が主たる正規職員と同じ者)

短時間労働者(1週の所定労働時間が主たる正規職員に比べ短い者)

	介護職員	看護職員	その他
①正規職員(注2)	人	人	人
②非正規職員(注2)	人	人	人
常勤労働者	人	人	人
短時間労働者	人	人	人

問 22 貴施設で、直近1年での離職者について、最も多かった離職理由を選択してください。(〇はひとつ)

1. 法人の都合	8. 法人や事業所の理念や運営のあり方に不満があったため
2. 他に良い仕事・職場があったため	9. 家族の転職・転勤、又は事業所の移転のため
3. 新しい資格を取ったから	10. 定年・雇用契約の満了のため
4. 収入が少なかったため	11. 病気・高齢のため
5. 自分(離職者)の将来の見込みが立たなかったため	12. 結婚・出産・妊娠・育児のため
6. 自分(離職者)に向かない仕事だったため	13. 家族の介護・看護のため
7. 職場の人間関係に問題があったため	14. その他 (具体的に)

Q21.離職人数別①正規職員(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明
45	1	6	19	6	6	0	0	7
100.0	2.2	13.3	42.2	13.3	13.3	0.0	0.0	15.6

Q21.離職人数別①正規職員(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明
45	3	12	12	3	0	0	0	15
100.0	6.7	26.7	26.7	6.7	0.0	0.0	0.0	33.3

Q21.離職人数別①正規職員(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明
45	1	7	17	2	2	0	0	16
100.0	2.2	15.6	37.8	4.4	4.4	0.0	0.0	35.6

Q21.離職人数別②非正規職員(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明
45	2	9	17	0	1	0	0	16
100.0	4.4	20.0	37.8	0.0	2.2	0.0	0.0	35.6

Q21.離職人数別②非正規職員(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明
45	5	7	12	0	0	0	0	21
100.0	11.1	15.6	26.7	0.0	0.0	0.0	0.0	46.7

Q21.離職人数別②非正規職員(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明
45	4	6	12	2	0	0	0	21
100.0	8.9	13.3	26.7	4.4	0.0	0.0	0.0	46.7

Q21.離職人数別②のうち常勤労働者(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明
45	11	3	2	1	0	0	0	28
100.0	24.4	6.7	4.4	2.2	0.0	0.0	0.0	62.2

Q21.離職人数別②のうち常勤労働者(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明
45	11	3	2	0	0	0	0	29
100.0	24.4	6.7	4.4	0.0	0.0	0.0	0.0	64.4

Q21.離職人数別②のうち常勤労働者(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明
45	8	6	2	0	0	0	0	29
100.0	17.8	13.3	4.4	0.0	0.0	0.0	0.0	64.4

Q21.離職人数別②のうち短時間労働者(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明
45	2	7	15	0	1	0	0	20
100.0	4.4	15.6	33.3	0.0	2.2	0.0	0.0	44.4

Q21.離職人数別②のうち短時間労働者(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明
45	5	7	10	0	0	0	0	23
100.0	11.1	15.6	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	51.1

Q21.離職人数別②のうち短時間労働者(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明
45	3	5	14	1	0	0	0	22
100.0	6.7	11.1	31.1	2.2	0.0	0.0	0.0	48.9

Q21.合計【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明
45	0	1	10	8	16	5	2	3
100.0	0.0	2.2	22.2	17.8	35.6	11.1	4.4	6.7

Q22.直近1年での離職者について、最も多かった離職理由

調査数	法人の都合	他に良い仕事・職場があったため	新しい資格を取ったから	収入が少なかったため	自分(離職者)の将来の見込みが立たなかったため	自分(離職者)に向かない仕事だったため	職場の人間関係に問題があったため	法人や事業所の理念や運営のあり方に不満があったため
45	0	20	1	3	1	1	6	3
100.0	0.0	44.4	2.2	6.7	2.2	2.2	13.3	6.7
		家族の転職・転勤、又は事業所の移転のため	定年・雇用契約の満了のため	病気・高齢のため	結婚・出産・妊娠・育児のため	家族の介護・看護のため	その他	不明
		0	0	3	0	0	5	2
		0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	11.1	4.4

入退所者についてお伺いします。

問 23 令和4年10月1日午前0時時点の入所者（一時入院や帰宅等の外泊で居室を確保している人も含む）、短期入所者の人数と、そのうち横浜市の被保険者の人数、横浜市以外の被保険者で住所地特例を受けている人数を記入してください。

また、医療処置が必要な方の人数を記入してください。

	入所（短期入所は除く）	短期入所
横浜市の被保険者の人数	人	人
横浜市以外の市町村の被保険者で住所地特例となっている被保険者数	人	
医療処置が必要な人数	人	人

問 24 問 23 の入所者、短期入所者について、日常生活自立度（ADL）別人数をご記入ください。

※参考資料を参照

	入所（短期入所は除く）	短期入所
①自立	人	人
②ランクJ	人	人
③ランクA	人	人
④ランクB	人	人
⑤ランクC	人	人

問 25 問 24 の入所者、短期入所者について、認知症ランク別人数をご記入ください。

※参考資料を参照

	入所（短期入所は除く）	短期入所
①正常	人	人
②ランクI	人	人
③ランクII	人	人
④ランクIII	人	人
⑤ランクIV	人	人
⑥ランクM	人	人

Q23 医療処置が必要な方：入所（短期入所は除く）(1)横浜市の被保険者の人数【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	0	0	0	1	1	1	2	5	13	13	9
100.0	0.0	0.0	0.0	2.2	2.2	2.2	4.4	11.1	28.9	28.9	20.0

Q23 医療処置が必要な方：入所（短期入所は除く）(2)横浜市以外の市町村の被保険者で住所地特例となっている被保険者数【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	7	2	5	4	5	3	2	0	0	0	17
100.0	15.6	4.4	11.1	8.9	11.1	6.7	4.4	0.0	0.0	0.0	37.8

Q23 医療処置が必要な方：入所（短期入所は除く）(3)医療処置が必要な人数【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	2	0	6	8	4	2	4	0	0	0	19
100.0	4.4	0.0	13.3	17.8	8.9	4.4	8.9	0.0	0.0	0.0	42.2

Q23 医療処置が必要な方：短期入所 (1)横浜市の被保険者の人数【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	3	9	11	3	2	0	0	0	0	0	17
100.0	6.7	20.0	24.4	6.7	4.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37.8

Q23 医療処置が必要な方：短期入所 (3)医療処置が必要な人数【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	14	2	1	0	0	0	0	0	0	0	28
100.0	31.1	4.4	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	62.2

Q24 日常生活自立度（ADL）別人数：入所（短期入所は除く）(1)自立【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	19	1	4	0	1	0	0	0	0	0	20
100.0	42.2	2.2	8.9	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	44.4

Q24 日常生活自立度（ADL）別人数：入所（短期入所は除く）(2)ランクJ【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	8	5	11	2	1	2	0	0	0	0	16
100.0	17.8	11.1	24.4	4.4	2.2	4.4	0.0	0.0	0.0	0.0	35.6

Q24 日常生活自立度（ADL）別人数：入所（短期入所は除く）(3)ランクA【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	0	1	0	1	9	10	10	2	0	1	11
100.0	0.0	2.2	0.0	2.2	20.0	22.2	22.2	4.4	0.0	2.2	24.4

Q24 日常生活自立度（ADL）別人数：入所（短期入所は除く）(4)ランクB【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	0	0	0	1	3	4	11	10	5	0	11
100.0	0.0	0.0	0.0	2.2	6.7	8.9	24.4	22.2	11.1	0.0	24.4

Q24 日常生活自立度（ADL）別人数：入所（短期入所は除く）(5)ランクC【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	1	1	4	9	12	5	1	0	0	0	12
100.0	2.2	2.2	8.9	20.0	26.7	11.1	2.2	0.0	0.0	0.0	26.7

Q24 日常生活自立度（ADL）別人数：短期入所 (1)自立【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	13	0	2	0	0	0	0	0	0	0	30
100.0	28.9	0.0	4.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7

Q24 日常生活自立度（ADL）別人数：短期入所 (2)ランクJ【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	11	4	1	1	0	0	0	0	0	0	28
100.0	24.4	8.9	2.2	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	62.2

Q24 日常生活自立度（ADL）別人数：短期入所 (3)ランクA【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	7	9	7	0	0	0	0	0	0	0	22
100.0	15.6	20.0	15.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	48.9

Q24 日常生活自立度（ADL）別人数：短期入所 (4)ランクB【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	5	4	7	0	1	0	0	0	0	0	28
100.0	11.1	8.9	15.6	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	62.2

Q24 日常生活自立度（ADL）別人数：短期入所 (5)ランクC【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	12	0	3	0	0	0	0	0	0	0	30
100.0	26.7	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7

Q25 認知症ランク別人数：入所（短期入所は除く）(1)正常【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	8	4	11	3	2	0	1	0	0	0	16
100.0	17.8	8.9	24.4	6.7	4.4	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	35.6

Q25 認知症ランク別人数：入所（短期入所は除く）(2)ランクⅠ【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	2	0	6	6	11	5	1	0	0	0	14
100.0	4.4	0.0	13.3	13.3	24.4	11.1	2.2	0.0	0.0	0.0	31.1

Q25 認知症ランク別人数：入所（短期入所は除く）(3)ランクⅡ【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	0	0	0	3	6	7	14	2	1	0	12
100.0	0.0	0.0	0.0	6.7	13.3	15.6	31.1	4.4	2.2	0.0	26.7

Q25 認知症ランク別人数：入所（短期入所は除く）(4)ランクⅢ【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	0	1	0	2	6	6	10	7	1	0	12
100.0	0.0	2.2	0.0	4.4	13.3	13.3	22.2	15.6	2.2	0.0	26.7

Q25 認知症ランク別人数：入所（短期入所は除く）(5)ランクⅣ【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	3	2	8	5	10	2	1	0	0	0	14
100.0	6.7	4.4	17.8	11.1	22.2	4.4	2.2	0.0	0.0	0.0	31.1

Q25 認知症ランク別人数：入所（短期入所は除く）(6)ランクM【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	12	5	5	1	2	1	0	0	0	0	19
100.0	26.7	11.1	11.1	2.2	4.4	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	42.2

Q25 認知症ランク別人数：短期入所 (1)正常【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	12	2	1	0	0	0	0	0	0	0	30
100.0	26.7	4.4	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7

Q25 認知症ランク別人数：短期入所 (2)ランクⅠ【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	7	6	3	2	0	0	0	0	0	0	27
100.0	15.6	13.3	6.7	4.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0

Q25 認知症ランク別人数：短期入所 (3)ランクⅡ【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	3	11	5	0	1	0	0	0	0	0	25
100.0	6.7	24.4	11.1	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	55.6

Q25 認知症ランク別人数：短期入所 (4)ランクⅢ【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	9	8	4	0	0	0	0	0	0	0	24
100.0	20.0	17.8	8.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	53.3

Q25 認知症ランク別人数：短期入所 (5)ランクⅣ【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	13	1	0	0	0	0	0	0	0	0	31
100.0	28.9	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	68.9

Q25 認知症ランク別人数：短期入所 (6)ランクM【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
45	13	1	0	0	0	0	0	0	0	0	31
100.0	28.9	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	68.9

問 26 現在、貴施設で行っている医療処置は次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 点滴の管理	9. 経管栄養
2. 中心静脈栄養	10. モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和度等)
3. 透析	11. 褥瘡 ^{じよくそう} の処置
4. ストーマ(人工肛門)の処置	12. カテーテル(コンドームカテーテル、留置カテーテル、ウロストーマ等)
5. 酸素療法	13. その他
6. レスピレーター(人工呼吸器)	(具体的に)
7. 気管切開の処置	14. 医療処置は行わない
8. 疼痛の看護	

問 27 貴施設では次のことを理由に、入所(継続)を断ることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 医療処置	→ 問 27-1 へ	3. 医療処置及び認知症以外	→ 問 27-5 へ
2. 認知症	→ 問 27-3 へ	4. 断ることはない	→ 問 28 へ

問 27 で「1. 医療処置」と回答した方にお伺いします。

問 27-1 何の医療処置を理由に入所を断ることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 点滴の管理	9. 経管栄養
2. 中心静脈栄養	10. モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和度等)
3. 透析	11. 褥瘡 ^{じよくそう} の処置
4. ストーマ(人工肛門)の処置	12. カテーテル(コンドームカテーテル、留置カテーテル、ウロストーマ等)
5. 酸素療法	13. その他
6. レスピレーター(人工呼吸器)	(具体的に)
7. 気管切開の処置	
8. 疼痛の看護	

問 27-2 貴施設では、医療処置を理由に、入所(継続)を断る場合、次のいずれかの機関を紹介していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 介護療養型医療施設(介護医療院)	4. どこも紹介していない
2. 医療療養型医療施設	5. その他
3. 一般病床	(具体的に)

問 27 で「2. 認知症」と回答した方にお伺いします。

問 27-3 認知症状を理由に入所(継続)を断る場合、その方の認知症高齢者の日常生活自立度はどの程度ですか。(○はひとつ)

1. II 以上	2. III 以上	3. IV 以上	4. M 以上	5. その他(具体的に)
----------	-----------	----------	---------	---------------

Q26.行っている医療処置

調査数	点滴の管理	中心静脈栄養	透析	ストーマ(人工肛門)の処置	酸素療法	レスピレーター(人工呼吸器)	気管切開の処置	疼痛の看護
45	26	1	3	25	22	0	1	9
100.0	57.8	2.2	6.7	55.6	48.9	0.0	2.2	20.0
		経管栄養	モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和度等)	褥瘡(じよくそう)の処置	カテーテル(コンドームカテーテル、留置カテーテル、ウロストーマ等)	その他	医療処置は行わない	不明
		38	18	40	33	7	0	1
		84.4	40.0	88.9	73.3	15.6	0.0	2.2

Q27.入所(継続)を断る理由

調査数	医療処置	認知症	医療処置及び認知症以外	断ることはない	不明
45	41	17	8	3	1
100.0	91.1	37.8	17.8	6.7	2.2

Q27-1.何の医療処置を理由に入所を断ることがありますか

調査数	点滴の管理	中心静脈栄養	透析	ストーマ(人工肛門)の処置	酸素療法	レスピレーター(人工呼吸器)	気管切開の処置	疼痛の看護
41	16	33	32	2	20	36	26	13
100.0	39.0	80.5	78.0	4.9	48.8	87.8	63.4	31.7
		経管栄養	モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和度等)	褥瘡(じよくそう)の処置	カテーテル(コンドームカテーテル、留置カテーテル、ウロストーマ等)	その他		
		2	15	1	6	4		
		4.9	36.6	2.4	14.6	9.8		

Q27-2.医療処置を理由に、入所(継続)を断る場合、いずれかの機関を紹介していますか

調査数	介護療養型医療施設(介護医療院)	医療療養型医療施設	一般病床	どこも紹介していない	その他
41	20	25	12	5	10
100.0	48.8	61.0	29.3	12.2	24.4

Q27-3.認知症状を理由に入所(継続)を断る場合、その方の認知症高齢者の日常生活自立度はどの程度ですか

調査数	II 以上	III 以上	IV 以上	M 以上	その他
17	0	1	4	6	6
100.0	0.0	5.9	23.5	35.3	35.3

問 27-4 認知症状を理由に入所（継続）を断る場合、断る理由となる具体的な症状はどのようなものですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 昼夜逆転がある	5. 収集癖がある
2. 大声を出す	6. 物や衣類を壊す
3. 介護に抵抗する	7. 他者に手を出す
4. 1人で出たがる	8. その他
（具体的に _____ ）	

問 27 で「3. 医療処置及び認知症以外」と回答した方にお伺いします。

問 27-5 具体的にどのような理由でしょうか。

自由記載

問 28 貴施設では「身元保証人」がいないことを理由に、入所（継続）を断ることがありますか。

（○はひとつ）

1. はい 2. いいえ 3. その他（具体的に _____ ）

問 28 で「1. はい」と回答した方にお伺いします。

問 28-1 入所（継続）を断る理由について記入してください。

自由記載

問 29 令和3年4月1日～令和4年3月31日の1年間の入所者について、入所前の居所別の人数を記入してください（短期入所の場合は除いてください）。（あてはまるものに○と人数）

1. 特別養護老人ホーム _____ 人	7. 住宅型有料老人ホーム _____ 人
2. 介護老人保健施設 _____ 人	8. サービス付き高齢者向け住宅 _____ 人
3. 介護療養型医療施設（介護医療院） _____ 人	9. その他の施設 _____ 人
4. 認知症高齢者グループホーム _____ 人	10. 自宅等（親戚宅等を含む） _____ 人
5. 特定施設（介護付有料老人ホーム・ケアハウス） _____ 人	11. 小規模多機能型居宅介護の利用 _____ 人
6. 「3」以外の病院・診療所 _____ 人	12. 不明 _____ 人

Q27-4.認知症状を理由に入所（継続）を断る場合、断る理由となる具体的な症状はどのようなものですか

調査数	昼夜逆転がある	大声を出す	介護に抵抗する	1人で出たがる	収集癖がある	物や衣類を壊す	他者に手を出す	その他
17	1	12	5	8	1	7	17	2
100.0	5.9	70.6	29.4	47.1	5.9	41.2	100.0	11.8

Q28「身元保証人」がいないことを理由に、入所（継続）を断ることがありますか

調査数	はい	いいえ	その他
45	22	22	1
100.0	48.9	48.9	2.2

Q29.入所前の居所別

調査数	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	介護療養型医療施設（介護医療院）	認知症高齢者グループホーム	特定施設（介護付有料老人ホーム・ケアハウス）	「介護療養型医療施設（介護医療院）」以外の病院・診療所	住宅型有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	その他の施設	自宅等（親戚宅等を含む）
45	9	22	1	5	7	32	7	7	2	35
100.0	20.0	48.9	2.2	11.1	15.6	71.1	15.6	15.6	4.4	77.8
								小規模多機能型居宅介護の利用	不明	無回答
								2	3	10
								4.4	6.7	22.2

Q29.入所前の居所別の人数(1)特別養護老人ホーム【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
15	6	5	3	0	1	0	0	0	0	0
100.0	40.0	33.3	20.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q29.入所前の居所別の人数(2)介護老人保健施設【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
26	4	7	10	4	1	0	0	0	0	0
100.0	15.4	26.9	38.5	15.4	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q29.入所前の居所別の人数(3)介護療養型医療施設（介護医療院）【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
9	8	0	1	0	0	0	0	0	0	0
100.0	88.9	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q29.入所前の居所別の人数(4)認知症高齢者グループホーム【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
13	8	1	4	0	0	0	0	0	0	0
100.0	61.5	7.7	30.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q29.入所前の居所別の人数(5)特定施設（介護付有料老人ホーム・ケアハウス）【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
12	5	4	2	1	0	0	0	0	0	0
100.0	41.7	33.3	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q29.入所前の居所別の人数(6)「介護療養型医療施設（介護医療院）」以外の病院・診療所【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
32	0	1	0	0	2	1	4	8	10	6
100.0	0.0	3.1	0.0	0.0	6.3	3.1	12.5	25.0	31.3	18.8

Q29.入所前の居所別の人数(7)住宅型有料老人ホーム【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
14	7	1	6	0	0	0	0	0	0	0
100.0	50.0	7.1	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q29.入所前の居所別の人数(8)サービス付き高齢者向け住宅【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
14	7	5	1	1	0	0	0	0	0	0
100.0	50.0	35.7	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q29.入所前の居所別の人数(9)その他の施設【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
10	8	0	2	0	0	0	0	0	0	0
100.0	80.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q29.入所前の居所別の人数(10)自宅等（親戚宅等を含む）【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
35	0	1	2	2	10	9	8	1	2	0
100.0	0.0	2.9	5.7	5.7	28.6	25.7	22.9	2.9	5.7	0.0

Q29.入所前の居所別の人数(11)小規模多機能型居宅介護の利用【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
10	8	1	1	0	0	0	0	0	0	0
100.0	80.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q29.入所前の居所別の人数(12)不明【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
10	7	1	1	0	0	1	0	0	0	0
100.0	70.0	10.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 30 令和3年4月1日～令和4年3月31日の1年間の退所者について、退所先別の人数を記入してください（短期入所の場合は除いてください）。（あてはまるものに○と人数）

1. 特別養護老人ホーム	_____人	7. 住宅型有料老人ホーム	_____人
2. 介護老人保健施設	_____人	8. サービス付き高齢者向け住宅	_____人
3. 介護療養型医療施設（介護医療院）	_____人	9. その他の施設	_____人
4. 認知症高齢者グループホーム	_____人	10. 自宅等（親戚宅等を含む）	_____人
5. 特定施設（介護付有料老人ホーム・ケアハウス）	_____人	11. 小規模多機能型居宅介護の利用	_____人
6. 「3」以外の病院・診療所	_____人	12. 死亡	_____人
		13. 不明	_____人

問 30で「10. 自宅等」に戻られた方がいる施設にお伺いします。

問 30-1 自宅に戻られた理由ごとに、人数をご記入ください。（あてはまるものに○と人数）

1. 本人の希望で	_____人	5. 理由不明	_____人
2. 自宅での介護が可能になった	_____人	6. その他	_____人
3. 経済的な理由（費用面など）で	_____人		
4. 期待していたサービスが受けられなかった	_____人		

問 30-2 「10. 自宅等」に戻られた方の平均入所日数を記入してください。
 日

問 30-3 在宅復帰・在宅支援を促進するために、次の取組を行っていますか。
 （あてはまるものすべてに○）

1. 在宅復帰を検討する専門の委員会を設置している	_____人
2. 3か月ごとに行う継続判定会議において在宅復帰の可能性について検討している	_____人
3. 本人の在宅復帰の意向を聞きだすアンケートを行っている	_____人
4. 家族の在宅復帰の意向を聞きだすアンケートを行っている	_____人
5. 本人の医療状態・ADLの状況をふまえた在宅復帰の可能性について説明している	_____人
6. 在宅復帰をふまえた外出・外泊をすすめている	_____人
7. 居宅を訪問し、居住環境について把握している	_____人
8. その他（具体的に _____）	_____人
9. 特に行っていない	_____人

Q30:退所先別

調査数	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	介護療養型医療施設（介護医療院）	認知症高齢者グループホーム	特定施設（介護付有料老人ホーム・ケアハウス）	「介護療養型医療施設（介護医療院）」以外の病院・診療所	住宅型有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	その他の施設	自宅等（親戚宅等を含む）
45	35	19	6	11	14	30	9	7	7	34
100.0	77.8	42.2	13.3	24.4	31.1	66.7	20.0	15.6	15.6	75.6
							小規模多機能型居宅介護の利用	死亡	不明	無回答
							4	23	1	10
							8.9	51.1	2.2	22.2

Q30:退所先別の人数(1)特別養護老人ホーム【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
35	0	0	5	4	13	10	1	1	1	0
100.0	0.0	0.0	14.3	11.4	37.1	28.6	2.9	2.9	2.9	0.0

Q30:退所先別の人数(2)介護老人保健施設【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
23	4	11	7	1	0	0	0	0	0	0
100.0	17.4	47.8	30.4	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q30:退所先別の人数(3)介護療養型医療施設（介護医療院）【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
13	7	2	1	1	1	0	0	0	1	0
100.0	53.8	15.4	7.7	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0

Q30:退所先別の人数(4)認知症高齢者グループホーム【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
16	5	2	7	2	0	0	0	0	0	0
100.0	31.3	12.5	43.8	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q30:退所先別の人数(5)特定施設（介護付有料老人ホーム・ケアハウス）【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
17	3	3	7	2	2	0	0	0	0	0
100.0	17.6	17.6	41.2	11.8	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q30:退所先別の人数(6)「介護療養型医療施設（介護医療院）」以外の病院・診療所【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
31	1	0	1	1	5	6	7	8	2	0
100.0	3.2	0.0	3.2	3.2	16.1	19.4	22.6	25.8	6.5	0.0

Q30:退所先別の人数(7)住宅型有料老人ホーム【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
15	6	7	2	0	0	0	0	0	0	0
100.0	40.0	46.7	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q30:退所先別の人数(8)サービス付き高齢者向け住宅【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
14	7	3	4	0	0	0	0	0	0	0
100.0	50.0	21.4	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q30:退所先別の人数(9)その他の施設【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
12	5	1	4	1	1	0	0	0	0	0
100.0	41.7	8.3	33.3	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q30:退所先別の人数(10)自宅等（親戚宅等を含む）【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
34	0	1	0	5	11	5	7	3	1	1
100.0	0.0	2.9	0.0	14.7	32.4	14.7	20.6	8.8	2.9	2.9

Q30:退所先別の人数(11)小規模多機能型居宅介護の利用【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
10	6	2	2	0	0	0	0	0	0	0
100.0	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q30:退所先別の人数(12)死亡【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
25	2	1	5	1	10	3	2	1	0	0
100.0	8.0	4.0	20.0	4.0	40.0	12.0	8.0	4.0	0.0	0.0

Q30:退所先別の人数(13)不明【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
7	6	0	0	1	0	0	0	0	0	0
100.0	85.7	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q30-1.自宅に戻られた理由

調査数	本人の希望で	自宅での介護 が可能になった	経済的な理由 (費用面など) で	期待していた サービスが受 けられなかった	理由不明	その他	無回答
45	31	19	4	3	0	3	11
100.0	68.9	42.2	8.9	6.7	0.0	6.7	24.4

Q30-1.自宅に戻られた理由ごとの人数(1)本人の希望で【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
31	0	1	2	7	11	6	3	0	0	1
100.0	0.0	3.2	6.5	22.6	35.5	19.4	9.7	0.0	0.0	3.2

Q30-1.自宅に戻られた理由ごとの人数(2)自宅での介護が可能になった【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
20	1	0	5	2	4	2	4	2	0	0
100.0	5.0	0.0	25.0	10.0	20.0	10.0	20.0	10.0	0.0	0.0

Q30-1.自宅に戻られた理由ごとの人数(3)経済的な理由(費用面など)で【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
9	5	2	1	0	1	0	0	0	0	0
100.0	55.6	22.2	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q30-1.自宅に戻られた理由ごとの人数(4)期待していたサービスが受けられなかった【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
10	7	2	1	0	0	0	0	0	0	0
100.0	70.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q30-1.自宅に戻られた理由ごとの人数(5)理由不明【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q30-1.自宅に戻られた理由ごとの人数(6)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
9	6	0	2	0	1	0	0	0	0	0
100.0	66.7	0.0	22.2	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q30-2.「自宅等」に戻られた方の平均入所日数

調査数	平均
30	145.04
100.0	

Q30-3.在宅復帰・在宅支援を促進するための取組

調査数	在宅復帰を検討する専門の委員会を設置している	3か月ごとに行う継続判定会議において在宅復帰の可能性について検討している	本人の在宅復帰の意向を聞きだすアンケートを行っている	家族の在宅復帰の意向を聞きだすアンケートを行っている	本人の医療状態・ADLの状況をふまえた在宅復帰の可能性について説明している	在宅復帰をふまえた外出・外泊をすすめている	居宅を訪問し、居住環境について把握している	その他	特に行っていない
34	10	31	7	11	25	8	34	1	0
100.0	29.4	91.2	20.6	32.4	73.5	23.5	100.0	2.9	0.0

問 30-4 入所者の在宅復帰率が向上しない要因をどのようにお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 本人が在宅に戻りたくないという意向をもっている
2. 家族が本人を在宅に戻りたくないという意向をもっている
3. 本人の介護ニーズが高い
4. 本人の要介護度が高く、特養に入所する利用者が多い
5. 本人の医療ニーズが高い
6. 本人の医療度が高く、病院等へ入所する人が多い
7. 居宅で介護ができる家族がいない
8. 居宅で介護できる住宅設備が十分でない
9. 地域の居宅サービスが十分でない
10. 人員が不足しており、十分に本人や家族へのアプローチができない
11. 在宅復帰率を上げようとする意識が低い、または、必要性を感じない
12. 在宅復帰率を上げると経営状況が厳しくなる
13. 在宅復帰率を上げるノウハウや方法がわからない
14. その他(具体的に)

Q30-4.入所者の在宅復帰率が向上しない要因

調査数	本人が在宅に戻りたくないという意向をもっている	家族が本人を在宅に戻りたくないという意向をもっている	本人の介護ニーズが高い	本人の要介護度が高く、特養に入所する利用者が多い	本人の医療ニーズが高い	本人の医療度が高く、病院等へ入所する人が多い	居宅で介護ができる家族がいない	居宅で介護できる住宅設備が十分でない
34	8	30	18	19	7	11	29	13
100.0	23.5	88.2	52.9	55.9	20.6	32.4	85.3	38.2
			地域の居宅サービスが十分でない	人員が不足しており、十分に本人や家族へのアプローチができない	在宅復帰率を上げようとする意識が低い、または、必要性を感じない	在宅復帰率を上げると経営状況が厳しくなる	在宅復帰率を上げるノウハウや方法がわからない	その他
			2	2	1	4	1	1
			5.9	5.9	2.9	11.8	2.9	2.9

問 30-5 問 30 で回答した1年間の退所者の入所期間別の人数をご記入ください。
(短期入所の方は除いてください。)

1年間の退所者の入所期間	人数
①3か月未満	人
②3か月～6か月未満	人
③6か月～1年未満	人
④1年～1年半未満	人
⑤1年半～2年未満	人
⑥2年～2年半未満	人
⑦2年半～3年未満	人
⑧3年以上	人

問 30-6 問 30 で回答した1年間の退所者全体の平均入所日数を記入してください。

	日
--	---

Q30-5.1年間の退所者の入所期間別の人数(1)3か月未満【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
34	0	1	2	2	7	5	8	5	0	0	4
100.0	0.0	2.9	5.9	5.9	20.6	14.7	23.5	14.7	0.0	0.0	11.8

Q30-5.1年間の退所者の入所期間別の人数(2)3か月～6か月未満【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
34	0	0	4	4	10	7	3	2	0	1	3
100.0	0.0	0.0	11.8	11.8	29.4	20.6	8.8	5.9	0.0	2.9	8.8

Q30-5.1年間の退所者の入所期間別の人数(3)6か月～1年未満【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
34	0	1	3	3	11	8	3	1	0	0	4
100.0	0.0	2.9	8.8	8.8	32.4	23.5	8.8	2.9	0.0	0.0	11.8

Q30-5.1年間の退所者の入所期間別の人数(4)1年～1年半未満【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
34	0	2	6	12	9	0	0	1	0	0	4
100.0	0.0	5.9	17.6	35.3	26.5	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	11.8

Q30-5.1年間の退所者の入所期間別の人数(5)1年半～2年未満【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
34	1	3	11	7	8	0	0	0	0	0	4
100.0	2.9	8.8	32.4	20.6	23.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8

Q30-5.1年間の退所者の入所期間別の人数(6)2年～2年半未満【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
34	1	8	11	8	1	0	0	0	0	0	5
100.0	2.9	23.5	32.4	23.5	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.7

Q30-5.1年間の退所者の入所期間別の人数(7)2年半～3年未満【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
34	4	3	15	4	1	0	0	0	0	0	7
100.0	11.8	8.8	44.1	11.8	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.6

Q30-5.1年間の退所者の入所期間別の人数(8)3年以上【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
34	2	2	10	9	4	1	0	0	0	0	6
100.0	5.9	5.9	29.4	26.5	11.8	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	17.6

Q30-6.1年間の退所者全体の平均入所日数

調査数	平均
28	343.58
100.0	

施設のサービスや運営、取組状況についてお伺いします。

問 31 貴施設ではショートステイの利用申込は、通常、入所日の何日くらい前なら希望の日程で対応できますか。(〇はひとつ)

1. 前日	4. 2週間から1か月前	7. ショートステイを実施していない→ 問 33 へ
2. 2日前から1週間前	5. 1か月から2か月前	
3. 1週間から2週間前	6. 2か月以上前	

問 32 ショートステイの利用申込みについて受入れできない場合、どのようなことが理由になっていますか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 利用希望日が満床だった	3. 重度の人への対応が困難であった
2. 医療処置の対応が困難であった	4. その他(具体的に)
	5. 受入れできないことがない

問 33 令和4年10月1日時点の貴施設の入所者に対するリハビリテーションの実施状況についてお伺いします。

リハビリ実施人数(実人数)と、うち個別リハビリ実施人数(実人数)を記入してください。
(複数種類のリハビリを行っている場合は、それぞれのメニューに重複して計上してください)

	リハビリ実施人数(実人数)	
	リハビリ実施人数(実人数)	うち個別リハビリ実施人数(実人数)
①理学療法	人	人
②作業療法	人	人
③言語療法	人	人

問 34 貴施設では、入所者が亡くなる際に施設内で看取りを行っていますか。(〇はひとつ)

1. 希望者全ての看取りを行っている	4. 施設内では看取りは行わず、医療機関に移ってもらっている
2. 特定の条件がそろった一部の入所者のみ看取りを行っている	5. その他
3. 看取りを行う用意はあるが、希望者がいない	(具体的に)

Q31.ショートステイの利用申込は、入所日の何日くらい前なら希望の日程で対応できますか

調査数	前日	2日前から1週間前	1週間から2週間前	2週間から1か月前	1か月から2か月前	2か月以上前	ショートステイを実施していない
45	2	6	16	6	9	6	0
100.0	4.4	13.3	35.6	13.3	20.0	13.3	0.0

Q32.ショートステイの利用申込みについて受入れできない場合の理由

調査数	利用希望日が満床だった	医療処置の対応が困難であった	重度の人への対応が困難であった	その他	受入れできないことがない
45	30	24	10	4	3
100.0	66.7	53.3	22.2	8.9	6.7

Q33.理学療法(1)リハビリ実施人数(実人数)【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
45	2	0	0	4	1	3	4	8	6	5	12
100.0	4.4	0.0	0.0	8.9	2.2	6.7	8.9	17.8	13.3	11.1	26.7

Q33.理学療法(2)うち個別リハビリ実施人数(実人数)【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
45	2	1	3	2	5	3	4	6	4	3	12
100.0	4.4	2.2	6.7	4.4	11.1	6.7	8.9	13.3	8.9	6.7	26.7

Q33.作業療法(1)リハビリ実施人数(実人数)【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
45	1	0	3	2	6	5	6	2	4	2	14
100.0	2.2	0.0	6.7	4.4	13.3	11.1	13.3	4.4	8.9	4.4	31.1

Q33.作業療法(2)うち個別リハビリ実施人数(実人数)【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
45	1	1	4	2	8	2	6	3	2	0	16
100.0	2.2	2.2	8.9	4.4	17.8	4.4	13.3	6.7	4.4	0.0	35.6

Q33.言語療法(1)リハビリ実施人数(実人数)【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
45	5	0	5	3	5	2	1	0	1	1	22
100.0	11.1	0.0	11.1	6.7	11.1	4.4	2.2	0.0	2.2	2.2	48.9

Q33.言語療法(2)うち個別リハビリ実施人数(実人数)【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
45	6	1	5	3	4	2	1	0	1	0	22
100.0	13.3	2.2	11.1	6.7	8.9	4.4	2.2	0.0	2.2	0.0	48.9

Q34.入所者が亡くなる際に施設内で看取りを行っていますか

調査数	希望者全ての看取りを行っている	特定の条件がそろった一部の入所者のみ看取りを行っている	看取りを行う用意はあるが、希望者がいない	施設内では看取りは行わず、医療機関に移ってもらっている	その他
45	20	14	1	10	0
100.0	44.4	31.1	2.2	22.2	0.0

問 35 利用者や家族の要望を積極的に取り入れるため、次の取組を行っていますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 利用者に施設サービス計画を説明し要望を聞く機会を設けている
2. 家族に施設サービス計画を説明し要望を聞く機会を設けている
3. 利用者・家族と話し合いの機会を定期的に設けている
4. 利用者の生活状況を記録し家族に連絡している
5. 利用者・家族を対象に相談・苦情窓口を設けている
6. 家族会を設置している
7. その他 (具体的に)
8. 特に行っていない

問 36 サービスの質の向上のために、次の取組を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 管理者が直接サービス提供の状況を確認し指導している
2. サービス提供のガイドライン、マニュアルを作成している
3. 多問題事例等に関するケース検討会を行っている
4. 事故防止のためにヒヤリハット事例の収集・共有を図っている
5. 利用者や家族に対し満足度調査を行っている
6. 外部評価を受けている (介護サービス情報の公表を除く)
7. ユニットケアを実施している
8. 施設を開放し、ボランティア団体や保育園・幼稚園、小学校など地域との交流を行っている
9. 利用者が地域活動に出向くなど、地域の一員として暮らせるような工夫をしている
10. その他 (具体的に)
11. 特に行っていない

問 37 職員の研修や資格取得について、次の取組を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自施設で研修を実施している
2. 外部の研修機関に委託して実施している (費用は施設負担)
3. 外部の研修への参加を奨励している (費用は施設負担)
4. 外部の研修への参加費 (自己負担) の補助を行っている
5. その他 (具体的に)
6. 特に行っていない

Q35.利用者や家族の要望を積極的に取り入れるための取組

調査数	利用者に施設サービス計画を説明し要望を聞く機会を設けている	家族に施設サービス計画を説明し要望を聞く機会を設けている	利用者・家族と話し合いの機会を定期的に設けている	利用者の生活状況を記録し家族に連絡している	利用者・家族を対象に相談・苦情窓口を設けている	家族会を設置している	その他	特に行っていない	不明
45 100.0	27 60.0	38 84.4	15 33.3	32 71.1	32 71.1	4 8.9	1 2.2	0 0.0	1 2.2

Q36.サービスの質の向上のための取組

調査数	管理者が直接サービス提供の状況を確認し指導している	サービス提供のガイドライン、マニュアルを作成している	多問題事例等に関するケース検討会を行っている	事故防止のためにヒヤリハット事例の収集・共有を図っている	利用者や家族に対し満足度調査を行っている	外部評価を受けている(介護サービス情報の公表を除く)	ユニットケアを実施している	施設を開放し、ボランティア団体や保育園・幼稚園、小学校など地域との交流を行っている
45 100.0	17 37.8	25 55.6	24 53.3	42 93.3	14 31.1	3 6.7	8 17.8	6 13.3
					利用者が地域活動に出向くなど、地域の一員として暮らせるような工夫をしている	その他	特に行っていない	不明
					3 6.7	1 2.2	0 0.0	1 2.2

Q37.職員の研修や資格取得についての取組

調査数	自施設で研修を実施している	外部の研修機関に委託して実施している (費用は施設負担)	外部の研修への参加を奨励している (費用は施設負担)	外部の研修への参加費(自己負担)の補助を行っている	その他	特に行っていない
45 100.0	41 91.1	15 33.3	27 60.0	14 31.1	3 6.7	1 2.2

問 38 貴施設の運営やサービス向上のために、どのような情報や支援が必要ですか。次のうち必要と考えられる情報・支援を3つまでお選びください。(○は3つまで)

1. 介護保険制度・介護報酬等に関する情報	11. 定員の空き状況、空室・空床に関する情報
2. 介護保険以外の保健・福祉サービスに関する情報	12. 緊急時ショートステイや入院などの受入れ先情報
3. 情報提供・相談等の窓口	13. 事業者連絡会等に関する運営サポート、バックアップ
4. 介護技術・方法に関する情報	14. ケアカンファレンス等の運営サポート、バックアップ
5. 認知症ケアに関する情報	15. サービス展開のための土地・建物に関する情報
6. 医療処置を必要とする場合のケアに関する情報	16. その他
7. 困難事例、多問題事例に関するケース情報提供、助言	17. 特に必要な情報・支援はない
8. 介護予防に関する情報	
9. 研修・講座等に関する情報	(具体的に)
10. 周辺事業所や医療機関に関する情報	

問 39 他の介護事業者とどのように連携していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 勉強会、ケース検討会の共同開催	5. 技術的に対応できない場合の紹介・連携
2. 事業環境などの情報交換	6. その他
3. 交換研修の実施	(具体的に)
4. 定員オーバーや空きがある場合の紹介・連携	7. 特に連携していない

問 40 地域のどのような組織と連携をとっていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自治会・町内会	5. 企業
2. ボランティアグループ	6. 民生委員・児童委員
3. 家族会	7. その他 (具体的に)
4. 学校関係	8. 連携をとっていない → 問 41 ↑

問 40 で 1～6 と回答した方にお伺いします。

問 40-1 地域とどのような内容で連携をとっていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 地域の行事への参加	5. 地元商店街や企業からの商品等購入
2. 講師として指導してもらう	6. 認知症サポーター養成講座の開催
3. 施設イベントへの招待	7. 災害対策・避難訓練
4. 小学校・中学校の体験学習	8. その他 (具体的に)

Q38.運営やサービス向上のために、必要と考えられる情報・支援

調査数	介護保険制度・介護報酬等に関する情報	介護保険以外の保健・福祉サービスに関する情報	情報提供・相談等の窓口	介護技術・方法に関する情報	認知症ケアに関する情報	医療処置を必要とする場合のケアに関する情報	困難事例、多問題事例に関するケース情報提供、助言	介護予防に関する情報
45 100.0	30 66.7	4 8.9	6 13.3	12 26.7	17 37.8	6 13.3	16 35.6	0 0.0
	研修・講座等に関する情報	周辺事業所や医療機関に関する情報	定員の空き状況、空室・空床に関する情報	緊急時ショートステイや入院などの受入れ先情報	事業者連絡会等に関する運営サポート、バックアップ	ケアカンファレンス等の運営サポート、バックアップ	サービス展開のための土地・建物に関する情報	その他
	12 26.7	7 15.6	4 8.9	2 4.4	2 4.4	1 2.2	0 0.0	0 0.0
							特に必要な情報・支援はない	不明
							1 2.2	2 4.4

Q39.他の介護事業者とどのように連携していますか

調査数	勉強会、ケース検討会の共同開催	事業環境などの情報交換	交換研修の実施	定員オーバーや空きがある場合の紹介・連携	技術的に対応できない場合の紹介・連携	その他	特に連携していない	不明
45 100.0	9 20.0	24 53.3	2 4.4	13 28.9	5 11.1	2 4.4	12 26.7	1 2.2

Q40.地域のどのような組織と連携をとっていますか

調査数	自治会・町内会	ボランティアグループ	家族会	学校関係	企業	民生委員・児童委員	その他	連携をとっていない	不明
45 100.0	31 68.9	17 37.8	2 4.4	10 22.2	3 6.7	11 24.4	4 8.9	7 15.6	1 2.2

Q40-1.地域とどのような内容で連携をとっていますか

調査数	地域の行事への参加	講師として指導してもらう	施設イベントへの招待	小学校・中学校の体験学習	地元商店街や企業からの商品等購入	認知症サポーター養成講座の開催	災害対策・避難訓練	その他	不明
35 100.0	28 80.0	3 8.6	16 45.7	9 25.7	3 8.6	1 2.9	15 42.9	3 8.6	1 2.9

問 41 医療機関とどのように連携していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 入居者の健康管理や処置について助言を受けている	5. 認知症の周辺症状について助言を受けている
2. 往診をしてくれる医師・医療機関がある	6. その他
3. 急変時の受け入れを依頼できる病院を確保している	(具体的に)
4. 提携病院があり、一般的な入院を受け入れてもらっている	7. 連携していない

問 42 介護職員の身体的負担軽減や腰痛の予防、緩和等に効果があると思われるものについて(1)欄に○をしてください。また、貴施設で導入している介護福祉機器について(2)欄に○をしてください。(あてはまるものすべてに○)

介護福祉機器	(1) 介護職員にとって効果がある	(2) 導入している
①移動用リフト(立位補助機(スタンディングマシン)を含む)	1	2
②自動車用車いすリフト(福祉車両の場合は、車両本体を除いたリフト部分のみ)	1	2
③ベッド(傾斜角度、高さが調整できるもの。マットレスは除く)	1	2
④座面昇降機能付車いす	1	2
⑤特殊浴槽(移動用リフトと共に稼動するもの、側面が開閉可能なもの)	1	2
⑥ストレッチャー(入浴用に使用するものを含む)	1	2
⑦シャワーキャリー	1	2
⑧昇降装置(人の移動に使用するものに限る)	1	2
⑨車いす体重計	1	2
⑩その他介護福祉機器(具体的な名称:)	1	2
⑪いずれも導入していない	3	

問 43 問 42 を除いて次のような介護ロボットを導入していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 移乗介助(装着型)	7. 見守り支援
2. 移乗介助(非装着型)	8. コミュニケーションロボット
3. 移動支援(屋外型)	9. 食事支援
4. 移動支援(屋内型)	10. 服薬支援
5. 排泄支援	11. その他の介護支援
6. 入浴支援	12. いずれも導入していない → 問 44 へ

Q41.医療機関とどのように連携していますか

調査数	入居者の健康管理や処置について助言を受けている	往診をしてくれる医師・医療機関がある	急変時の受け入れを依頼できる病院を確保している	提携病院があり、一般的な入院を受け入れてもらっている	認知症の周辺症状について助言を受けている	その他	連携していない	不明
45	19	12	25	31	2	1	0	1
100.0	42.2	26.7	55.6	68.9	4.4	2.2	0.0	2.2

Q42.介護職員の身体的負担軽減や腰痛の予防、緩和等(1)介護職員にとって効果がある

調査数	移動用リフト(立位補助機(スタンディングマシン)を含む)	自動車用車いすリフト(福祉車両の場合は、車両本体を除いたリフト部分のみ)	ベッド(傾斜角度、高さが調整できるもの。マットレスは除く)	座面昇降機能付車いす	特殊浴槽(移動用リフトと共に稼動するもの、側面が開閉可能なもの)	ストレッチャー(入浴用に使用するものを含む)	シャワーキャリー	昇降装置(人の移動に使用するものに限る)
45	17	21	35	10	34	32	24	13
100.0	37.8	46.7	77.8	22.2	75.6	71.1	53.3	28.9
					車いす体重計	その他介護福祉機器	いずれも導入していない	不明
					34	0	0	4
					75.6	0.0	0.0	8.9

Q42.介護職員の身体的負担軽減や腰痛の予防、緩和等(2)導入している

調査数	移動用リフト(立位補助機(スタンディングマシン)を含む)	自動車用車いすリフト(福祉車両の場合は、車両本体を除いたリフト部分のみ)	ベッド(傾斜角度、高さが調整できるもの。マットレスは除く)	座面昇降機能付車いす	特殊浴槽(移動用リフトと共に稼動するもの、側面が開閉可能なもの)	ストレッチャー(入浴用に使用するものを含む)	シャワーキャリー	昇降装置(人の移動に使用するものに限る)
45	5	21	37	1	35	32	22	3
100.0	11.1	46.7	82.2	2.2	77.8	71.1	48.9	6.7
					車いす体重計	その他介護福祉機器	いずれも導入していない	不明
					39	0	0	4
					86.7	0.0	0.0	8.9

Q43.問42を除いて介護ロボットの導入

調査数	移乗介助(装着型)	移乗介助(非装着型)	移動支援(屋外型)	移動支援(屋内型)	排泄支援	入浴支援	見守り支援	コミュニケーションロボット
45	3	3	0	0	2	3	13	1
100.0	6.7	6.7	0.0	0.0	4.4	6.7	28.9	2.2
					食事支援	服薬支援	その他の介護支援	いずれも導入していない
					0	1	3	23
					0.0	2.2	6.7	51.1
								2
								4.4

問 46 職員による利用者への虐待やハラスメントを防止するため、どのような工夫を行っていますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 研修などへの参加を促すとともに、研修内容を全職員に展開している
2. ミーティング時に虐待防止マニュアル等を全職員で確認している
3. 講師を招いて、研修を行うなど全職員への啓発活動をおこなっている
4. 他施設での事例等を全職員間で分析し、要因について共有する研修を行っている
5. 全職員のストレス状況を把握し、未然防止に役立っている
6. 気軽に相談ができる窓口を整えている
7. その他
(具体的に)
8. 特に行っていない

問 47 利用者による職員への暴力やハラスメントを防止するため、どのような工夫を行っていますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 契約条項などにハラスメントに対する対処方法を明記・説明し、未然防止に努めている
2. 複数人対応を基本としている
3. 日々の声かけなど小さな変化をとらえ情報を共有できる環境を整えている
4. 非常通報機能を有するベルや笛等、周囲に知らせる機器等を携行している
5. 暴力やハラスメントがあった場合は、施設として対応できる環境を整えている
6. 気軽に相談できる窓口を整えている
7. その他
(具体的に)
8. 特に行っていない

問 48 『介護助手』を知っていますか。(○はひとつ)

1. 名称も、どのようなものかも知っている
2. どのようなものかは、なんとなくだが知っている
3. 名称は聞いたことがあるが、どのようなものか知らない
4. 聞いたことがない

問 48 で 1～3 と回答した方にお伺いします。

問 48-1 『介護助手』の受入れについてどのように考えていますか。(○はひとつ)

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| 1. すでに受け入れている | 4. 必要だと思うが、具体的な検討などはしていない |
| 2. 受け入れる準備をしている | 5. 必要ではない |
| 3. 受け入れるかの検討をしている | 6. わからない |

Q46.職員による利用者への虐待やハラスメントを防止するための工夫

調査数	研修などへの参加を促すとともに、研修内容を全職員に展開している	ミーティング時に虐待防止マニュアル等を全職員で確認している	講師を招いて、研修を行うなど全職員への啓発活動をおこなっている	他施設での事例等を全職員間で分析し、要因について共有する研修を行っている	全職員のストレス状況を把握し、未然防止に役立っている	気軽に相談ができる窓口を整えている	その他	特に行っていない	不明
45 100.0	32 71.1	15 33.3	6 13.3	5 11.1	23 51.1	20 44.4	3 6.7	1 2.2	1 2.2

Q47.利用者による職員への暴力やハラスメントを防止するための工夫

調査数	契約条項などにハラスメントに対する対処方法を明記・説明し、未然防止に努めている	複数人対応を基本としている	日々の声かけなど小さな変化をとらえ情報を共有できる環境を整えている	非常通報機能を有するベルや笛等、周囲に知らせる機器等を携行している	暴力やハラスメントがあった場合は、施設として対応できる環境を整えている	気軽に相談できる窓口を整えている	その他	特に行っていない	不明
45 100.0	23 51.1	12 26.7	25 55.6	0 0.0	28 62.2	23 51.1	1 2.2	2 4.4	1 2.2

Q48.『介護助手』認知

調査数	名称も、どのようなものかも知っている	どのようなものかは、なんとなくだが知っている	名称は聞いたことがあるが、どのようなものか知らない	聞いたことがない
45 100.0	38 84.4	4 8.9	3 6.7	0 0.0

Q48-1.『介護助手』の受入れについて

調査数	すでに受け入れている	受け入れる準備をしている	受け入れるかの検討をしている	必要だと思うが、具体的な検討などはしていない	必要ではない	わからない
45 100.0	28 62.2	0 0.0	3 6.7	10 22.2	3 6.7	1 2.2

問 49 ボランティアの受け入れ頻度とよこはまシニアボランティアポイント事業の実施状況について教えてください。(1)、(2)それぞれあてはまるものすべてに○)

受け入れ頻度	(1) よこはまシニアボランティアポイント事業 (以下、ポイント事業)	(2) 左記以外
①ほぼ毎日	1	2
②週1日程度	1	2
③月2回程度	1	2
④月1回程度	1	2
⑤その他	1	2
⑥受け入れていない	3 → 問50へ	

問 49-1 施設で受け入れているボランティアの活動内容をお選びください。(1)、(2)それぞれあてはまるものすべてに○)

活動内容	(1) ポイント事業	(2) 左記以外
①レクリエーションなどの指導、参加支援 (音楽の演奏・踊り等も含む)	1	2
②お茶出しや食堂内での配膳、下膳などの補助	1	2
③食事介助の補助	1	2
④散歩、外出、館内移動の補助	1	2
⑤施設関係行事の手伝い	1	2
⑥話し相手	1	2
⑦洗濯物の整理や衣類の縫製	1	2
⑧入浴後の整髪、ドライヤーかけ、からだ拭き等	1	2
⑨施設への利用者の送迎	1	2
⑩その他 (具体的にお書きください)	()	()

Q49.ボランティアの受け入れ頻度(1)よこはまシニアボランティアポイント事業

調査数	ほぼ毎日	週1日程度	月2回程度	月1回程度	その他	受け入れていない	不明
45	1	6	2	3	9	21	3
100.0	2.2	13.3	4.4	6.7	20.0	46.7	6.7

Q49.ボランティアの受け入れ頻度(2)左記以外

調査数	ほぼ毎日	週1日程度	月2回程度	月1回程度	その他	受け入れていない	不明
45	2	1	2	1	7	11	21
100.0	4.4	2.2	4.4	2.2	15.6	24.4	46.7

Q49-1.ボランティアの活動内容(1)よこはまシニアボランティアポイント事業

調査数	レクリエーションなどの指導、参加支援 (音楽の演奏・踊り等も含む)	お茶出しや食堂内での配膳、下膳などの補助	食事介助の補助	散歩、外出、館内移動の補助	施設関係行事の手伝い	話し相手	洗濯物の整理や衣類の縫製	入浴後の整髪、ドライヤーかけ、からだ拭き等
21	13	4	0	1	6	8	2	4
100.0	61.9	19.0	0.0	4.8	28.6	38.1	9.5	19.0
							施設への利用者の送迎	その他
							1	12
							4.8	57.1

Q49-1.ボランティアの活動内容(2)左記以外

調査数	レクリエーションなどの指導、参加支援 (音楽の演奏・踊り等も含む)	お茶出しや食堂内での配膳、下膳などの補助	食事介助の補助	散歩、外出、館内移動の補助	施設関係行事の手伝い	話し相手	洗濯物の整理や衣類の縫製	入浴後の整髪、ドライヤーかけ、からだ拭き等
13	8	2	1	2	4	4	3	4
100.0	61.5	15.4	7.7	15.4	30.8	30.8	23.1	30.8
							施設への利用者の送迎	その他
							0	4
							0.0	30.8
								不明
								2
								15.4

問 50 貴施設を運営する上での問題点はどれですか。(〇は3つまで)

1. 今の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない
2. 経営（収支）が苦しく、労働条件や労働環境改善をしたくても出来ない
3. 良質な人材の確保が難しい
4. 新規利用者の確保が難しい
5. 介護従事者の介護業務に関する知識や技術が不足している
6. 介護従事者の介護業務に臨む意欲や姿勢に問題がある
7. 管理者の指導・管理能力が不足している
8. 教育・研修の時間が十分に取れない
9. 介護従事者間のコミュニケーションが不足している
10. 経営者・管理者と職員間のコミュニケーションが不足している
11. 利用者や利用者の家族の介護サービスに対する理解が不足している
12. 介護保険の改正等についての的確な情報や説明が得られない
13. 指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われている
14. 雇用管理等についての情報や指導が不足している
15. その他（具体的に)
16. 特に問題はない

Q50.施設を運営する上での問題点

調査数	今の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない	経営（収支）が苦しく、労働条件や労働環境改善をしたくても出来ない	良質な人材の確保が難しい	新規利用者の確保が難しい	介護従事者の介護業務に関する知識や技術が不足している	介護従事者の介護業務に臨む意欲や姿勢に問題がある	管理者の指導・管理能力が不足している	教育・研修の時間が十分に取れない
45 100.0	18 40.0	17 37.8	29 64.4	17 37.8	8 17.8	2 4.4	3 6.7	8 17.8
	介護従事者間のコミュニケーションが不足している	経営者・管理者と職員間のコミュニケーションが不足している	利用者や利用者の家族の介護サービスに対する理解が不足している	介護保険の改正等についての的確な情報や説明が得られない	指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われている	雇用管理等についての情報や指導が不足している	その他	特に問題はない
	2 4.4	2 4.4	3 6.7	1 2.2	5 11.1	1 2.2	2 4.4	1 2.2

今後の予定や市の事業等についてお伺いします。

問 51 横浜市各区が派遣する介護相談員の受入状況についてお伺いします。(〇はひとつ)

令和2年2月21日以降、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため施設派遣を中止しております。

以下の設問は施設派遣が再開された場合を想定しご回答ください。

介護相談員派遣事業は、介護相談員が利用者や利用者家族の日常的な不満などを聴き、その声を事業者へと伝える橋渡しを行うことで、苦情を未然に防ぎ、事業者が提供するサービスの質の向上に役立てることを目的に平成16年度から実施しています。

1. 施設派遣を中止する以前、介護相談員を受け入れていた → [問 51-1](#)へ

2. 介護相談員を受け入れていないが、今後受け入れたい

3. 当分、介護相談員を受け入れることが難しい(※新型コロナウイルス感染症拡大防止以外の理由)
理由：具体的に → [最後](#)へ

問 51 で「1」、「2」と回答した方にお伺いします。

問 51-1 横浜市介護相談員派遣事業について、施設での活用方法や受入れによる効果について、お伺いします。(あてはまるものすべてに〇)

(介護相談員を受け入れることで)

- 利用者からの不安や不満、疑問などを知る機会として役立てる
- 利用者家族からの不安や不満、疑問などを知る機会として役立てる
- 介護担当職員からの意見や考えを知る機会として役立てる
- 利用者ケア計画の見直しなどの際に活用する
- 施設での接遇研修などの際に活用する
- 地域や地域住民との交流を図るきっかけとなる
- ボランティアを受け入れるきっかけとなる
- 活用方法がわからず、役立てることが難しい
- その他(具体的に)

Q51.横浜市各区が派遣する介護相談員の受入状況

調査数	施設派遣を中止する以前、介護相談員を受け入れていた	介護相談員を受け入れていないが、今後受け入れたい	当分、介護相談員を受け入れることが難しい(※新型コロナウイルス感染症拡大防止以外の理由)	不明
45	28	8	7	2
100.0	62.2	17.8	15.6	4.4

Q51-1.横浜市介護相談員派遣事業について、事業所での活用方法や受入れによる効果

調査数	利用者からの不安や不満、疑問などを知る機会として役立てる	利用者家族からの不安や不満、疑問などを知る機会として役立てる	介護担当職員からの意見や考えを知る機会として役立てる	利用者ケア計画の見直しなどの際に活用する	施設での接遇研修などの際に活用する	地域や地域住民との交流を図るきっかけとなる	ボランティアを受け入れるきっかけとなる	活用方法がわからず、役立てることが難しい
36	29	10	14	8	8	7	5	2
100.0	80.6	27.8	38.9	22.2	22.2	19.4	13.9	5.6
							その他	不明
							2	1
							5.6	2.8

施設種別

調査数	介護老人保健施設・ユニット型	介護老人保健施設・従来型
45	7	38
100.0	15.6	84.4

所在地

調査数	青葉区	旭区	泉区	磯子区	神奈川区	金沢区	港南区	港北区
45	5	5	4	2	2	2	2	4
100.0	11.1	11.1	8.9	4.4	4.4	4.4	4.4	8.9
	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区	戸塚区	中区	西区	保土ヶ谷区
	3	3	1	0	5	0	0	4
	6.7	6.7	2.2	0.0	11.1	0.0	0.0	8.9
							緑区	南区
							3	0
							6.7	0.0

事業継続年月

調査数	3年未満	3年以上
45	1	44
100.0	2.2	97.8

介護サービス事業所（居住系）調査

11

貴事業所の概要についてお伺いします。

問1 事業所名・記入者名等を教えてください。

事業所名									
介護保険 事業所番号									
記入者名					電話番号				

グループホームの事業所の方にお伺いします。

問2 貴事業所（グループホーム）のユニット数とユニット毎の定員をご記入ください。

ユニット数		1ユニット	2ユニット	3ユニット	4ユニット
ユニット	ユニット毎の定員	人	人	人	人

問2-1 貴事業所での共用型認知症対応型通所介護の状況についてお選びください。（○はひとつ）

1. 実施している 2. 実施していたが取り下げた 3. 実施していないが今後実施予定 ⇒実施予定時期 令和____年頃 ・不明 4. 実施する予定はない
--

グループホーム以外の事業所の方にお伺いします。

問3 認知症入居者のケアをするにあたり、フロアやユニットを分けて対応していますか。（○はひとつ）

1. 分けている	2. 分けていない
----------	-----------

問3で「1. 分けている」と回答した方にお伺いします。

問3-1 分けているフロア・ユニットの数についてご記入ください。

認知症対応 ⇒ _____フロア	全フロア ⇒ _____フロア
_____ユニット	全ユニット数 ⇒ _____ユニット

Q2. 事業所（グループホーム）の定員数

調査数	1ユニット	2ユニット	3ユニット	4ユニット	不明
335	43	114	29	4	145
100.0	12.8	34.0	8.7	1.2	43.3

Q2. 事業所（グループホーム）の定員数 (2)1ユニット【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
187	0	0	2	160	14	4	2	3	2	0
100.0	0.0	0.0	1.1	85.6	7.5	2.1	1.1	1.6	1.1	0.0

Q2. 事業所（グループホーム）の定員数 (3)2ユニット【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
147	0	0	0	132	6	6	3	0	0	0
100.0	0.0	0.0	0.0	89.8	4.1	4.1	2.0	0.0	0.0	0.0

Q2. 事業所（グループホーム）の定員数 (4)3ユニット【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
33	0	0	0	23	2	5	3	0	0	0
100.0	0.0	0.0	0.0	69.7	6.1	15.2	9.1	0.0	0.0	0.0

Q2. 事業所（グループホーム）の定員数 (5)4ユニット【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
5	1	0	0	1	1	2	0	0	0	0
100.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q2-1. 共用型認知症対応型通所介護の状況

調査数	実施している	実施していたが取り下げた	実施していないが今後実施予定⇒実施予定時期 令和____年頃(※不明の場合は未記入)	実施する予定はない	不明
335	12	1	5	226	91
100.0	3.6	0.3	1.5	67.5	27.2

Q3. フロアやユニットを分けて対応

調査数	分けている	分けていない	不明
335	75	175	85
100.0	22.4	52.2	25.4

Q3-1. フロア・ユニット数 (1)フロア・ユニット

調査数	平均	最小値	最大値
61	2.28	1.00	18.00
100.0			

Q3-1. フロア・ユニット数 (2)全フロア・ユニット数

調査数	平均	最小値	最大値
73	2.59	1.00	22.00
100.0			

すべての事業所の方にお伺いします。

問4 下記の介護保険サービスのうち、貴事業所（併設施設を含む）で実施しているものはどれですか。
（あてはまるものすべてに○）

1. 訪問介護	10. 通所介護	20. 介護予防認知症対応型通所介護
2. 横浜市訪問介護相当サービス	11. 地域密着型通所介護	21. 小規模多機能型居宅介護
3. 横浜市訪問型生活援助サービス	12. 横浜市通所介護相当サービス	22. 介護予防小規模多機能型居宅介護
4. 訪問入浴介護	13. 通所リハビリテーション	23. 認知症対応型共同生活介護
5. 介護予防訪問入浴介護	14. 介護予防通所リハビリテーション	24. 特定施設入居者生活介護
6. 訪問看護	15. 福祉用具貸与	25. 地域密着型特定施設入居者生活介護
7. 介護予防訪問看護	16. 特定福祉用具販売	26. 介護予防認知症対応型共同生活介護
8. 訪問リハビリテーション	17. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	27. 看護小規模多機能型居宅介護
9. 介護予防訪問リハビリテーション	18. 夜間対応型訪問介護	28. 居宅介護支援、介護予防支援
	19. 認知症対応型通所介護	29. 1～28までのサービスは行っていない

Q4. 実施している介護保険サービス

調査数	訪問介護	横浜市訪問介護相当サービス	横浜市訪問型生活援助サービス	訪問入浴介護	介護予防訪問入浴介護	訪問看護	介護予防訪問看護	訪問リハビリテーション
335 100.0	55 16.4	17 5.1	4 1.2	3 0.9	1 0.3	17 5.1	3 0.9	6 1.8
	介護予防訪問リハビリテーション	通所介護	地域密着型通所介護	横浜市通所介護相当サービス	通所リハビリテーション	介護予防通所リハビリテーション	福祉用具貸与	特定福祉用具販売
	4 1.2	23 6.9	8 2.4	7 2.1	3 0.9	3 0.9	5 1.5	1 0.3
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	夜間対応型訪問介護	認知症対応型通所介護	介護予防認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護	介護予防小規模多機能型居宅介護	認知症対応型共同生活介護	特定施設入居者生活介護
	2 0.6	2 0.6	8 2.4	4 1.2	17 5.1	6 1.8	143 42.7	85 25.4
			地域密着型特定施設入居者生活介護	介護予防認知症対応型共同生活介護	看護小規模多機能型居宅介護	居宅介護支援、介護予防支援	1～28のサービスは行っていない	不明
			0 0.0	44 13.1	3 0.9	15 4.5	29 8.7	7 2.1

職員、人材確保、処遇等についてお伺いします。

問5 令和4年10月1日時点の貴事業所の職員数についてご記入ください。

職員数とは、貴事業所が実施する全ての事業に従事する者（正規・非正規職員問わず）の在籍者総数です。括弧内には男性職員数を記入してください。また、職員の市内在住状況を教えてください。ただし、派遣労働者、委託業務従事者は含みません。該当者がいない場合は空白で結構です。

注1) 資格ではなく、従事している仕事(職種)に着目して入力してください。

なお、兼務している職員については、主として従事する仕事(職種)のみ入力してください。

注2) 正規職員・非正規職員とは

正規職員(雇用している労働者で雇用期間の定めのない者)

非正規職員(正規職員以外の労働者(契約、嘱託、パートなど))

注3) PT(理学療法士)、OT(作業療法士)、ST(言語聴覚士)等の機能訓練指導員

()内は男性職員数

職種別(下記の職種のみ)(注1)	正規職員(注2)	非正規職員(注2)
①介護職員	人(人)	人(人)
②看護職員	人(人)	人(人)
③生活相談員	人(人)	人(人)
④PT・OT・ST等(注3)	人(人)	人(人)
⑤ケアマネジャー	人(人)	人(人)
⑥その他職員	人(人)	人(人)
職員総人数	正規職員:市内在住()人、市外在住()人	非正規職員:市内在住()人、市外在住()人

問5-1 貴事業所における外国人介護職員の採用人数についてご記入ください。

(令和4年10月1日現在、0人の場合は空白で結構です)

在留資格	採用人数(人)									
	インドネシア	フィリピン	ベトナム	中国	ミャンマー	カンボジア	ネパール	モンゴル	タイ	その他
①『特定活動』(経済連携協定(EPA))										
②『介護』										
③『技能実習』(介護)										
④『特定技能1号』(介護)										
⑤『留学』										
⑥その他(具体的に)										

Q5. 介護職員(1)正規職員【クラス分け】	調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
	335	2	15	91	99	78	24	2	2	0	0	22
	100.0	0.6	4.5	27.2	29.6	23.3	7.2	0.6	0.6	0.0	0.0	6.6
Q5. 介護職員(2)正規職員男性職員数【クラス分け】	調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
	335	20	58	160	41	14	2	0	0	0	0	40
	100.0	6.0	17.3	47.8	12.2	4.2	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	11.9
Q5. 介護職員(3)非正規職員【クラス分け】	調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
	335	1	12	55	83	108	27	5	1	0	0	43
	100.0	0.3	3.6	16.4	24.8	32.2	8.1	1.5	0.3	0.0	0.0	12.8
Q5. 介護職員(4)非正規職員男性職員数【クラス分け】	調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
	335	66	76	108	11	5	1	0	0	0	0	68
	100.0	19.7	22.7	32.2	3.3	1.5	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	20.3
Q5. 看護職員(5)正規職員【クラス分け】	調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
	335	34	34	72	10	1	0	0	0	0	0	184
	100.0	10.1	10.1	21.5	3.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	54.9
Q5. 看護職員(6)正規職員男性職員数【クラス分け】	調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
	335	92	11	3	0	0	0	0	0	0	0	229
	100.0	27.5	3.3	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	68.4
Q5. 看護職員(7)非正規職員【クラス分け】	調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
	335	33	59	60	8	5	0	0	0	0	0	170
	100.0	9.9	17.6	17.9	2.4	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.7
Q5. 看護職員(8)非正規職員男性職員数【クラス分け】	調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
	335	96	12	4	0	0	0	0	0	0	0	223
	100.0	28.7	3.6	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.6
Q5. 生活相談員(9)正規職員【クラス分け】	調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
	335	38	75	33	1	0	1	0	0	0	0	187
	100.0	11.3	22.4	9.9	0.3	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	55.8
Q5. 生活相談員(10)正規職員男性職員数【クラス分け】	調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
	335	72	46	6	0	0	0	0	0	0	0	211
	100.0	21.5	13.7	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	63.0
Q5. 生活相談員(11)非正規職員【クラス分け】	調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
	335	83	14	9	2	0	0	0	0	0	0	227
	100.0	24.8	4.2	2.7	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	67.8
Q5. 生活相談員(12)非正規職員男性職員数【クラス分け】	調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
	335	94	6	0	0	0	0	0	0	0	0	235
	100.0	28.1	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	70.1
Q5. PT・OT・ST等(13)正規職員【クラス分け】	調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
	335	67	38	13	0	0	0	0	0	0	0	217
	100.0	20.0	11.3	3.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	64.8
Q5. PT・OT・ST等(14)正規職員男性職員数【クラス分け】	調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
	335	75	25	4	0	0	0	0	0	0	0	231
	100.0	22.4	7.5	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	69.0
Q5. PT・OT・ST等(15)非正規職員【クラス分け】	調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
	335	82	11	8	0	0	0	0	0	0	0	234
	100.0	24.5	3.3	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	69.9
Q5. PT・OT・ST等(16)非正規職員男性職員数【クラス分け】	調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
	335	88	9	1	0	0	0	0	0	0	0	237
	100.0	26.3	2.7	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	70.7
Q5. ケアマネジャー(17)正規職員【クラス分け】	調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
	335	27	132	34	0	0	0	0	0	0	0	142
	100.0	8.1	39.4	10.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.4
Q5. ケアマネジャー(18)正規職員男性職員数	調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
	335	87	43	4	0	0	0	0	0	0	0	201
	100.0	26.0	12.8	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0
Q5. ケアマネジャー(19)非正規職員【クラス分け】	調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
	335	78	59	9	0	0	0	0	0	0	0	189
	100.0	23.3	17.6	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	56.4
Q5. ケアマネジャー(20)非正規職員男性職員数【クラス分け】	調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
	335	96	8	1	0	0	0	0	0	0	0	230
	100.0	28.7	2.4	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	68.7

Q5. その他職員(21)正規職員【クラス分け】												
調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明	
335	0	33	55	60	16	6	0	0	0	0	165	
100.0	0.0	9.9	16.4	17.9	4.8	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	49.3	
Q5. その他職員(22)正規職員男性職員数【クラス分け】												
調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明	
335	0	54	53	28	3	0	0	0	0	0	197	
100.0	0.0	16.1	15.8	8.4	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	58.8	
Q5. その他職員(23)非正規職員【クラス分け】												
調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明	
335	0	24	25	49	34	26	1	2	0	0	174	
100.0	0.0	7.2	7.5	14.6	10.1	7.8	0.3	0.6	0.0	0.0	51.9	
Q5. その他職員(24)非正規職員男性職員数【クラス分け】												
調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明	
335	0	48	43	44	4	0	0	0	0	0	196	
100.0	0.0	14.3	12.8	13.1	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	58.5	
Q5. 職員総人数正規職員(25)市内在住【クラス分け】												
調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明	
335	1	28	105	76	64	34	7	0	1	0	19	
100.0	0.3	8.4	31.3	22.7	19.1	10.1	2.1	0.0	0.3	0.0	5.7	
Q5. 職員総人数正規職員(26)市外在住【クラス分け】												
調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明	
335	28	80	105	28	11	0	2	0	0	0	81	
100.0	8.4	23.9	31.3	8.4	3.3	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	24.2	
Q5. 職員総人数非正規職員(27)市内在住【クラス分け】												
調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明	
335	2	8	51	77	102	37	13	1	0	0	44	
100.0	0.6	2.4	15.2	23.0	30.4	11.0	3.9	0.3	0.0	0.0	13.1	
Q5. 職員総人数非正規職員(28)市外在住【クラス分け】												
調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明	
335	68	52	85	4	7	3	0	0	0	0	116	
100.0	20.3	15.5	25.4	1.2	2.1	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	34.6	

Q5-1

	インドネシア		フィリピン		ベトナム		中国		ミャンマー		カンボジア		ネパール		モンゴル		タイ		その他	
	調査数	合計人数	調査数	合計人数	調査数	合計人数	調査数	合計人数	調査数	合計人数	調査数	合計人数	調査数	合計人数	調査数	合計人数	調査数	合計人数	調査数	合計人数
①特定活動	1	1	3	4	4	8														
②介護	5	7	13	32	5	11	8	13	4	5	0	0	2	2	0	0	1	1	4	4
③技能実習	4	7	2	2	17	29	2	2	7	17	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3
④特定技能1号	2	7	0	0	26	66	2	2	6	14	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0
⑤留学	0	0	0	0	4	5	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑥その他	1	1	16	29	3	4	5	6	0	0	0	0	1	1	0	0	2	3	6	6

問6 貴事業所では、従業員の職種別（注1）過不足の状況はいかがですか。

（①～⑦それぞれで○はひとつ）

「不足」とは、募集を必要としていることを指します。

注1) 資格ではなく、従事している仕事（職種）に着目してください。

注2) PT(理学療法士)、OT(作業療法士)、ST(言語聴覚士)等の機能訓練指導員

職種別(注1)	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はいない
①介護職員	1	2	3	4	5	6
②看護職員	1	2	3	4	5	6
③生活相談員	1	2	3	4	5	6
④PT・OT・ST 等(注2)	1	2	3	4	5	6
⑤ケアマネジャー	1	2	3	4	5	6
⑥その他職員	1	2	3	4	5	6
⑦全体でみた場合(上記①～⑥について)	1	2	3	4	5	6

問6の⑦で1～3と回答した方にお伺いします。

問6-1 「⑦全体でみた場合」で、不足している理由はどれですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 採用が困難である	3. 事業拡大によって必要人数が増大した
2. 離職率が高い(定着率が低い)	4. その他(具体的に)

問6-1で「1. 採用が困難である」を選択した方にお伺いします。

問6-2 職員の採用が困難な原因は何にあるとお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 他産業に比べて、労働要件が良くない	4. その他(具体的に)
2. 景気が良いため、介護業界へ人材が集まらない	5. わからない
3. 同業他社との人材獲得競争が厳しい	

Q6. 従業員の種別過不足状況(1)介護職員

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はいない	不明
335	47	79	103	74	4	7	21
100.0	14.0	23.6	30.7	22.1	1.2	2.1	6.3

Q6. 従業員の種別過不足状況(2)看護職員

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はいない	不明
335	9	12	30	103	4	67	110
100.0	2.7	3.6	9.0	30.7	1.2	20.0	32.8

Q6. 従業員の種別過不足状況(3)生活相談員

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はいない	不明
335	0	5	10	98	2	90	130
100.0	0.0	1.5	3.0	29.3	0.6	26.9	38.8

Q6. 従業員の種別過不足状況(4)PT・OT・ST等

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はいない	不明
335	5	4	8	54	2	124	138
100.0	1.5	1.2	2.4	16.1	0.6	37.0	41.2

Q6. 従業員の種別過不足状況(5)ケアマネジャー

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はいない	不明
335	4	7	23	154	1	37	109
100.0	1.2	2.1	6.9	46.0	0.3	11.0	32.5

Q6. 従業員の種別過不足状況(6)その他職員

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はいない	不明
335	2	7	29	127	5	51	114
100.0	0.6	2.1	8.7	37.9	1.5	15.2	34.0

Q6. 従業員の種別過不足状況(7)全体でみた場合(上記全てについて)

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はいない	不明
335	14	46	74	93	2	9	97
100.0	4.2	13.7	22.1	27.8	0.6	2.7	29.0

Q6-1. 「全体でみた場合」で、不足している理由

調査数	採用が困難である	離職率が高い(定着率が低い)	事業拡大によって必要人数が増大した	その他	不明
134	111	44	11	24	1
100.0	82.8	32.8	8.2	17.9	0.7

Q6-2. 職員の採用が困難な原因

調査数	他産業に比べて、労働要件が良くない	景気が良いため、介護業界へ人材が集まらない	同業他社との人材獲得競争が厳しい	その他	わからない
111	57	31	73	24	5
100.0	51.4	27.9	65.8	21.6	4.5

問7 令和3年度の人材確保の状況について、人材派遣会社または人材紹介会社の活用によって確保した人数は何名ですか。該当者がいない場合は空白で結構です。

	介護職員	看護職員	その他
① 正規職員	人	人	人
うち人材紹介会社の活用	人	人	人
② 非正規職員	人	人	人
うち人材紹介会社の活用	人	人	人
人材派遣会社の活用	人	人	人

問8 貴事業所では職員の採用に際し、どのような工夫を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--|--------------------------------------|
| 1. ハローワークや福祉人材センターを頻繁に訪れている | 8. 新規学卒者や若手にこだわらないようにしている |
| 2. 求人の際し、仕事そのものの魅力や労働条件を掲載する等求人内容を工夫している | 9. 近隣の事業所と連携し、採用に関し情報交換をしている |
| 3. 職員や知人と連絡を密にとり、人材についての情報の提供を受けている | 10. 福祉系教育機関への働きかけを積極的に行っている |
| 4. 採用について、従来より多くコストをかけている | 11. 採用説明会や職場体験を実施している |
| 5. 自事業所の理念やアピールポイントをHP等を介して対外的に発信している | 12. 内定後のフォローをしっかり行っている |
| 6. 介護資格や介護経験の有無にこだわらないようにしている | 13. くるみん認定など、国や地方自治体の認定等取得している |
| 7. 福祉系の教育機関出身者にこだわらないようにしている | 14. 子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等) |
| | 15. その他(具体的に) |
| | 16. 特に行っていない |

Q7. 人材確保状況①正規職員(1)介護職員【クラス分け】									
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明	
335	12	26	48	8	5	0	0	236	
100.0	3.6	7.8	14.3	2.4	1.5	0.0	0.0	70.4	
Q7. 人材確保状況①正規職員(2)看護職員【クラス分け】									
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明	
335	20	8	10	0	0	0	0	297	
100.0	6.0	2.4	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	88.7	
Q7. 人材確保状況①正規職員(3)その他【クラス分け】									
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明	
335	21	11	3	0	1	0	0	299	
100.0	6.3	3.3	0.9	0.0	0.3	0.0	0.0	89.3	
Q7. 人材確保状況①うち人材紹介会社の活用(1)介護職員【クラス分け】									
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明	
335	17	26	29	5	0	0	0	258	
100.0	5.1	7.8	8.7	1.5	0.0	0.0	0.0	77.0	
Q7. 人材確保状況①うち人材紹介会社の活用(2)看護職員【クラス分け】									
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明	
335	18	6	5	0	0	0	0	306	
100.0	5.4	1.8	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	91.3	
Q7. 人材確保状況①うち人材紹介会社の活用(3)その他【クラス分け】									
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明	
335	21	7	1	0	0	0	0	306	
100.0	6.3	2.1	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	91.3	
Q7. 人材確保状況②非正規職員(1)介護職員【クラス分け】									
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明	
335	14	25	41	5	12	0	0	238	
100.0	4.2	7.5	12.2	1.5	3.6	0.0	0.0	71.0	
Q7. 人材確保状況②非正規職員(2)看護職員【クラス分け】									
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明	
335	18	5	13	0	0	0	0	299	
100.0	5.4	1.5	3.9	0.0	0.0	0.0	0.0	89.3	
Q7. 人材確保状況②非正規職員(3)その他【クラス分け】									
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明	
335	21	10	2	1	1	0	0	300	
100.0	6.3	3.0	0.6	0.3	0.3	0.0	0.0	89.6	
Q7. 人材確保状況②うち人材紹介会社の活用(1)介護職員【クラス分け】									
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明	
335	21	24	19	4	1	0	0	266	
100.0	6.3	7.2	5.7	1.2	0.3	0.0	0.0	79.4	
Q7. 人材確保状況②うち人材紹介会社の活用(2)看護職員【クラス分け】									
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明	
335	20	4	5	0	0	0	0	306	
100.0	6.0	1.2	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	91.3	
Q7. 人材確保状況②うち人材紹介会社の活用(3)その他【クラス分け】									
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明	
335	22	2	0	0	0	0	0	311	
100.0	6.6	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	92.8	
Q7. 人材確保状況③人材派遣会社の活用(1)介護職員【クラス分け】									
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明	
335	18	17	34	9	9	3	0	245	
100.0	5.4	5.1	10.1	2.7	2.7	0.9	0.0	73.1	
Q7. 人材確保状況③人材派遣会社の活用(2)看護職員【クラス分け】									
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明	
335	15	8	8	2	1	0	1	300	
100.0	4.5	2.4	2.4	0.6	0.3	0.0	0.3	89.6	
Q7. 人材確保状況③人材派遣会社の活用(3)その他【クラス分け】									
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明	
335	19	2	0	0	0	0	0	314	
100.0	5.7	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	93.7	
Q7. 合計 介護職員【クラス分け】									
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明	
335	7	30	71	23	16	11	3	174	
100.0	2.1	9.0	21.2	6.9	4.8	3.3	0.9	51.9	
Q7. 合計 看護職員【クラス分け】									
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明	
335	15	13	14	8	2	0	1	282	
100.0	4.5	3.9	4.2	2.4	0.6	0.0	0.3	84.2	
Q7. 合計 その他【クラス分け】									
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明	
335	21	14	7	1	2	0	0	290	
100.0	6.3	4.2	2.1	0.3	0.6	0.0	0.0	86.6	

問9 貴事業所において、過去3年間、介護職員の採用において利用した手段・媒体はどれですか。
(それぞれ○はひとつ)

	利用の有無	
	利用した	利用していない
①学校からの紹介	1	2
②ハローワーク	1	2
③広告(折込チラシ等含む)	1	2
④民間の職業紹介	1	2
⑤知人等からの紹介	1	2

問10 貴事業所において、過去3年間、介護職員の採用において利用した手段・媒体に関し、次のような課題がありましたか。(あてはまるものすべてに○)

	課題について				
	手数料等の金額	希望する人材が紹介されない	すぐに辞めてしまうことが多い(6か月程度以内)	その他	課題は特になかった
①学校からの紹介		2	3	4	5
②ハローワーク		2	3	4	5
③広告(折込チラシ等含む)	1	2	3	4	5
④民間の職業紹介	1	2	3	4	5
⑤知人等からの紹介	1	2	3	4	5

問11 人材派遣会社や人材紹介会社を活用した場合と、それ以外の方法(ハローワークや求人広告等)の場合について、人材の確保にかかる費用は、年間どのくらいですか。令和3年度の実績をご記入してください。利用していない場合や不明の場合は、空白で結構です。

	(年額)		
	人材派遣会社を活用	人材紹介会社を活用	左記以外の方法
人材の確保にかかる年間の費用(令和3年度)	円	円	円

Q8. 職員採用の工夫

調査数	ハローワークや福祉人材センターを頻りに訪れている	求人に対し、仕事そのものの魅力や労働条件を掲載する等求人内容を工夫している	職員や知人と連絡を密にとり、人材についての情報の提供を受けている	採用について、従来より多くのコストをかけている	自事業所の理念やアピールポイントをHP等を介して対外的に発信している	介護資格や介護経験の有無にこだわらないようにしている	福祉系の教育機関出身者にこだわらないようにしている	新規卒業者や若手にこだわらないようにしている
335 100.0	102 30.4	164 49.0	150 44.8	85 25.4	103 30.7	187 55.8	140 41.8	147 43.9
	近隣の事業所と連携し、採用に関し情報交換をしている	福祉系教育機関への働きかけを積極的に行っている	採用説明会や職場体験を実施している	内定後のフォローをしっかりと行っている	くろみん認定など、国や地方自治体の認定等を取っている	子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)	その他	特に行っていない
	60 17.9	22 6.6	42 12.5	108 32.2	6 1.8	16 4.8	22 6.6	13 3.9
								不明 7 2.1

Q9. 介護職員の採用において利用した手段・媒体(1)学校からの紹介

調査数	利用した	利用していない	不明
335 100.0	59 17.6	185 55.2	91 27.2

Q9. 介護職員の採用において利用した手段・媒体(2)ハローワーク

調査数	利用した	利用していない	不明
335 100.0	214 63.9	69 20.6	52 15.5

Q9. 介護職員の採用において利用した手段・媒体(3)広告(折込チラシ等含む)

調査数	利用した	利用していない	不明
335 100.0	198 59.1	79 23.6	58 17.3

Q9. 介護職員の採用において利用した手段・媒体(4)民間の職業紹介

調査数	利用した	利用していない	不明
335 100.0	179 53.4	90 26.9	66 19.7

Q9. 介護職員の採用において利用した手段・媒体(5)知人等からの紹介

調査数	利用した	利用していない	不明
335 100.0	238 71.0	54 16.1	43 12.8

Q10. 介護職員の採用において利用した手段・媒体の課題(1)学校からの紹介

調査数	手数料等の金額	希望する人材が紹介されない	すぐに辞めてしまうことが多い(6か月程度以内)	その他	課題は特になかった	不明
335 100.0	0 0.0	21 6.3	10 3.0	7 2.1	77 23.0	221 66.0

Q10. 介護職員の採用において利用した手段・媒体の課題(2)ハローワーク

調査数	手数料等の金額	希望する人材が紹介されない	すぐに辞めてしまうことが多い(6か月程度以内)	その他	課題は特になかった	不明
335 100.0	0 0.0	93 27.8	48 14.3	14 4.2	62 18.5	138 41.2

Q10. 介護職員の採用において利用した手段・媒体の課題(3)広告(折込チラシ等含む)

調査数	手数料等の金額	希望する人材が紹介されない	すぐに辞めてしまうことが多い(6か月程度以内)	その他	課題は特になかった	不明
335 100.0	80 23.9	61 18.2	68 20.3	13 3.9	49 14.6	121 36.1

Q10. 介護職員の採用において利用した手段・媒体の課題(4)民間の職業紹介

調査数	手数料等の金額	希望する人材が紹介されない	すぐに辞めてしまうことが多い(6か月程度以内)	その他	課題は特になかった	不明
335 100.0	123 36.7	57 17.0	71 21.2	8 2.4	38 11.3	131 39.1

Q10. 介護職員の採用において利用した手段・媒体の課題(5)知人等からの紹介

調査数	手数料等の金額	希望する人材が紹介されない	すぐに辞めてしまうことが多い(6か月程度以内)	その他	課題は特になかった	不明
335 100.0	4 1.2	17 5.1	12 3.6	12 3.6	148 44.2	143 42.7

Q11. 人材の確保にかかる費用(1)人材派遣会社を活用【クラス分け】

調査数	0円	1~100万円未満	100~300万円未満	300~500万円未満	500~1000万円未満	1000~2000万円未満	2000万円以上	不明
335 100.0	19 5.7	13 3.9	9 2.7	12 3.6	9 2.7	3 0.9	5 1.5	265 79.1

調査数	平均
51 100.0	7,488,196

Q11. 人材の確保にかかる費用(2)人材紹介会社を活用【クラス分け】

調査数	0円	1~100万円未満	100~300万円未満	300~500万円未満	500~1000万円未満	1000~2000万円未満	2000万円以上	不明
335 100.0	15 4.5	24 7.2	30 9.0	5 1.5	6 1.8	1 0.3	0 0.0	254 75.8

調査数	平均
66 100.0	1,846,193

Q11. 人材の確保にかかる費用(3)左記以外の方法【クラス分け】

調査数	0円	1~100万円未満	100~300万円未満	300~500万円未満	500~1000万円未満	1000~2000万円未満	2000万円以上	不明
335 100.0	11 3.3	42 12.5	12 3.6	1 0.3	1 0.3	0 0.0	0 0.0	268 80.0

調査数	平均
56 100.0	697,060

問 12 介護職員の人材不足に対し、新たな人材の確保に向けた自治体の取組として、効果的と考えるものは次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 若い世代に向けた介護業界のイメージアップ	8. 潜在介護福祉士の（再）就職支援
2. 職場体験を実施する事業所への支援	9. ロボット・ICT 活用による職員の負担軽減への支援
3. 新たに介護業界へ就職をする者が資格取得等に関する研修参加をする際の支援	10. 子育て世代が働きやすい環境の整備への支援
4. 多様な働き方（時短、夜間のみ、週休3日）の導入支援	11. 合同就職相談会の実施
5. 元気高齢者（ボランティア等）の受入れ支援	12. 介護福祉士養成施設に対する財政的支援
6. 介護助手の受入れ支援	13. その他（ ）
7. 外国人介護職員の受入れ支援	14. 自治体からの支援がなくても人材の確保ができています

問 13 介護職員の人材不足に対し、在職している職員の定着のための自治体の取組として、効果的と考えるものは次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

1. キャリアアップに資する研修の実施、参加への支援（初任者研修、実務者研修等含む）	6. 多様な働き方（時短、夜間のみ、週休3日）の導入支援
2. 参加しやすい研修の実施（出前研修、オンライン研修）	7. ロボット・ICT 等の導入支援による職員の負担軽減
3. 介護職員に対する悩み相談窓口の設置	8. 子育て世代が働きやすい環境の整備支援
4. 介護の職場におけるハラスメント対策（啓発・研修）の実施	9. その他（ ）
5. 若手職員等の交流の推進など、横のつながりの創出	10. 自治体からの支援がなくても定着を図ることができる

Q12.人材の確保に向けた自治体の取組として、効果的と考えるもの

調査数	若い世代に向けた介護業界のイメージアップ	職場体験を実施する事業所への支援	新たに介護業界へ就職をする者が資格取得等に関する研修参加をする際の支援	多様な働き方（時短、夜間のみ、週休3日）の導入支援	元気高齢者（ボランティア等）の受入れ支援	介護助手の受入れ支援	外国人介護職員の受入れ支援	潜在介護福祉士の（再）就職支援
335 100.0	232 69.3	118 35.2	167 49.9	186 55.5	92 27.5	60 17.9	94 28.1	76 22.7
		ロボット・ICT 活用による職員の負担軽減への支援	子育て世代が働きやすい環境の整備への支援	合同就職相談会の実施	介護福祉士養成施設に対する財政的支援	その他	自治体からの支援がなくても人材の確保ができています	不明
		98 29.3	157 46.9	27 8.1	72 21.5	22 6.6	4 1.2	11 3.3

Q13.在職している職員の定着のための自治体の取組として、効果的と考えるもの

調査数	キャリアアップに資する研修の実施、参加への支援（初任者研修、実務者研修等含む）	参加しやすい研修の実施（出前研修、オンライン研修）	介護職員に対する悩み相談窓口の設置	介護の職場におけるハラスメント対策（啓発・研修）の実施	若手職員等の交流の推進など、横のつながりの創出	多様な働き方（時短、夜間のみ、週休3日）の導入支援	ロボット・ICT 等の導入支援による職員の負担軽減	子育て世代が働きやすい環境の整備支援
335 100.0	212 63.3	183 54.6	127 37.9	103 30.7	108 32.2	168 50.1	96 28.7	164 49.0
						その他	自治体からの支援がなくても定着を図ることができる	不明
						27 8.1	3 0.9	15 4.5

問 14 今後、外国人介護職員を受け入れる予定はありますか。受け入れる予定がある場合、どの在留資格でどの国からの受入れを考えていますか。(あてはまるものすべてに○)

在留資格	インドネシア	フィリピン	ベトナム	中国	ミャンマー	カンボジア	ネパール	モンゴル	タイ	国籍にこだわらない	その他
①『特定活動』(経済連携協定(EPA))	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
②『介護』	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
③『技能実習』(介護)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
④『特定技能1号』(介護)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
⑤『留学』	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
⑥在留資格にこだわらない	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
⑦その他(具体的に)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
⑧受け入れる予定はない	12										

問 15 外国人介護職員に対し、日本語の勉強のため、貴事業所ではどのようなことに取り組んでいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 事業所や法人で、日本人の職員が教えている	8. 勤務時間内に、勉強の時間を組み入れている
2. 日本語の先生等外部に委託し、事業所や法人内で教えている	9. その他()
3. 事業所や法人が金銭的負担をし、日本語学校等に通わせている	10. 特になし
4. 横浜市が委託して実施している研修事業(訪日後日本語等研修)に参加させている	11. 外国人介護職員がいない
5. ボランティアによる日本語教室等無料の教室・横浜市以外が実施する研修に参加させている	
6. 日本語のテキストを渡し、勉強させている	
7. 事業所において、勉強の目標や計画を策定している	

Q14.在留資格で受入れる国(1)インドネシア

調査数	『特定活動』(経済連携協定(EPA))	『介護』	『技能実習』(介護)	『特定技能1号』(介護)	『留学』	在留資格にこだわらない	その他	不明
335	2	0	3	7	0	4	1	322
100.0	0.6	0.0	0.9	2.1	0.0	1.2	0.3	96.1

Q14.在留資格で受入れる国(2)フィリピン

調査数	『特定活動』(経済連携協定(EPA))	『介護』	『技能実習』(介護)	『特定技能1号』(介護)	『留学』	在留資格にこだわらない	その他	不明
335	1	2	1	3	0	3	1	326
100.0	0.3	0.6	0.3	0.9	0.0	0.9	0.3	97.3

Q14.在留資格で受入れる国(3)ベトナム

調査数	『特定活動』(経済連携協定(EPA))	『介護』	『技能実習』(介護)	『特定技能1号』(介護)	『留学』	在留資格にこだわらない	その他	不明
335	2	3	10	20	2	3	1	304
100.0	0.6	0.9	3.0	6.0	0.6	0.9	0.3	90.7

Q14.在留資格で受入れる国(4)中国

調査数	『特定活動』(経済連携協定(EPA))	『介護』	『技能実習』(介護)	『特定技能1号』(介護)	『留学』	在留資格にこだわらない	その他	不明
335	0	1	0	1	0	2	1	330
100.0	0.0	0.3	0.0	0.3	0.0	0.6	0.3	98.5

Q14.在留資格で受入れる国(5)ミャンマー

調査数	『特定活動』(経済連携協定(EPA))	『介護』	『技能実習』(介護)	『特定技能1号』(介護)	『留学』	在留資格にこだわらない	その他	不明
335	2	2	7	5	0	3	1	320
100.0	0.6	0.6	2.1	1.5	0.0	0.9	0.3	95.5

Q14.在留資格で受入れる国(6)カンボジア

調査数	『特定活動』(経済連携協定(EPA))	『介護』	『技能実習』(介護)	『特定技能1号』(介護)	『留学』	在留資格にこだわらない	その他	不明
335	0	0	0	1	0	2	1	331
100.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.6	0.3	98.8

Q14.在留資格で受入れる国(7)ネパール

調査数	『特定活動』(経済連携協定(EPA))	『介護』	『技能実習』(介護)	『特定技能1号』(介護)	『留学』	在留資格にこだわらない	その他	不明
335	0	0	0	1	0	2	1	331
100.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.6	0.3	98.8

Q14.在留資格で受入れる国(8)モンゴル

調査数	『特定活動』(経済連携協定(EPA))	『介護』	『技能実習』(介護)	『特定技能1号』(介護)	『留学』	在留資格にこだわらない	その他	不明
335	0	0	0	0	0	2	1	332
100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.3	99.1

Q14.在留資格で受入れる国(9)タイ

調査数	『特定活動』(経済連携協定(EPA))	『介護』	『技能実習』(介護)	『特定技能1号』(介護)	『留学』	在留資格にこだわらない	その他	不明
335	0	0	0	0	0	2	1	332
100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.3	99.1

Q14.在留資格で受入れる国(10)国籍にこだわらない

調査数	『特定活動』(経済連携協定(EPA))	『介護』	『技能実習』(介護)	『特定技能1号』(介護)	『留学』	在留資格にこだわらない	その他	不明
335	12	28	15	15	8	10	8	292
100.0	3.6	8.4	4.5	4.5	2.4	3.0	2.4	87.2

Q14.在留資格で受入れる国(11)その他

調査数	『特定活動』(経済連携協定(EPA))	『介護』	『技能実習』(介護)	『特定技能1号』(介護)	『留学』	在留資格にこだわらない	その他	不明
335	1	2	1	0	1	3	2	330
100.0	0.3	0.6	0.3	0.0	0.3	0.9	0.6	98.5

Q14.在留資格で受入れる国(12)受け入れる予定はない

調査数	受け入れる予定はない	不明
335	149	186
100.0	44.5	55.5

問 16 外国人介護職員に対し、現場における介護技能の向上のため、貴事業所ではどのようなことに取り組んでいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 事業所におけるOJTを通して、日本人の職員が教えている	9. 事業所や法人で介護福祉士試験の受験を見据えた対策講座などを行っている
2. 事業所におけるOJTを通して、外国人の職員が教えている	10. 外部で行われている、介護福祉士試験の受験を見据えた対策講座などに参加させている。(有料無料問わない)
3. 講師等を外部に委託し、事業所や法人内で教えている	11. その他 ()
4. 事業所や法人が金銭的負担をし、専門学校等に通わせている	12. 特にない
5. 公的な機関が実施している研修事業に参加させている	13. 外国人介護職員がいない
6. 介護技能に関するテキストを渡し、勉強させている	
7. 事業所において、勉強の目標や計画を策定している	
8. 勤務時間内に、勉強の時間を組み入れている	

問 17 外国人介護職員を、貴事業所で受け入れるにあたり、自治体の取組として効果的と考えるものは次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 在留資格の違いや、受入れ手続きの流れ等を理解するための研修やセミナーの実施	6. 外国人介護職員に対する介護に関する研修や日本語研修などの支援
2. 受入れのための入管手続きなどの事務の支援(事業所向け相談窓口の設置)	7. 介護福祉士試験合格のための支援
3. 受入れにあたり事業所にかかる経費の補助等の経済的支援(住居費等) ※給与や紹介手数料は含まない	8. その他 ()
4. 外国人介護職員向け相談窓口等の生活支援	9. 自治体からの支援がなくても、十分受入れができる
5. 受入れ事業所の職員のための研修(教育方法や、文化等の理解、コミュニケーションの方法等)	

Q15.外国人介護職員に対し、日本語の勉強のための取り組み

調査数	事業所や法人で、日本人の職員が教えている	日本語の先生等外部に委託し、事業所や法人内で教えている	事業所や法人が金銭的負担をし、日本語学校等に通わせている	横浜市が委託して実施している研修事業(訪日後日本語等研修)に参加させている	ボランティアによる日本語教室等無料の教室・横浜市以外が実施する研修に参加させている	日本語のテキストを渡し、勉強させている	事業所において、勉強の目標や計画を策定している	勤務時間内に、勉強の時間を組み入れている
335 100.0	73 21.8	4 1.2	5 1.5	6 1.8	2 0.6	24 7.2	29 8.7	15 4.5
					その他	特にない	外国人介護職員がいない	不明
					11 3.3	46 13.7	158 47.2	41 12.2

Q16.外国人介護職員に対し、現場における介護技能の向上のための取り組み

調査数	事業所におけるOJTを通して、日本人の職員が教えている	事業所におけるOJTを通して、外国人の職員が教えている	講師等を外部に委託し、事業所や法人内で教えている	事業所や法人が金銭的負担をし、専門学校等に通わせている	公的な機関が実施している研修事業に参加させている	介護技能に関するテキストを渡し、勉強させている	事業所において、勉強の目標や計画を策定している	勤務時間内に、勉強の時間を組み入れている
335 100.0	93 27.8	17 5.1	3 0.9	6 1.8	6 1.8	23 6.9	32 9.6	21 6.3
			事業所や法人で介護福祉士試験の受験を見据えた対策講座などを行っている	外部で行われている、介護福祉士試験の受験を見据えた対策講座などに参加させている。(有料無料問わない)	その他	特にない	外国人介護職員がいない	不明
			11 3.3	3 0.9	7 2.1	25 7.5	165 49.3	39 11.6

Q17.外国人介護職員を、受け入れるにあたり、自治体の取組として効果的と考えるもの

調査数	在留資格の違いや、受入れ手続きの流れ等を理解するための研修やセミナーの実施	受入れのための入管手続きなどの事務の支援(事業所向け相談窓口の設置)	受入れにあたり事業所にかかる経費の補助等の経済的支援(住居費等) ※給与や紹介手数料は含まない	外国人介護職員向け相談窓口等の生活支援	受入れ事業所の職員のための研修(教育方法や、文化等の理解、コミュニケーションの方法等)	外国人介護職員に対する介護に関する研修や日本語研修などの支援	介護福祉士試験合格のための支援	その他
335 100.0	94 28.1	112 33.4	140 41.8	112 33.4	135 40.3	168 50.1	105 31.3	10 3.0
							自治体からの支援がなくても、十分受入れができる	不明
							8 2.4	71 21.2

問 18 外国人介護職員に、どのような職員となることを期待しているか、最も当てはまるものを選んでください。(〇はひとつ)

1. 基本的な業務については、一人で対応できるようになってほしい	4. 外国人介護職員の採用は考えていない
2. 他の外国人職員のリーダー的存在になってほしい	
3. 日本人職員も含め、職員のリーダー的存在になってほしい	

問 19 採用した外国人介護職員の介護福祉士の資格取得についての考え方として、最も当てはまるものを選んでください。(〇はひとつ)

1. 事業所・法人として介護福祉士の資格取得をしてほしいため、勉強や研修の参加の支援をしたい	4. 介護福祉士の資格取得はしてほしいが、外国人が試験合格をすることは、現実的に難しいと思う
2. 本人が介護福祉士の資格取得を希望するのであれば支援したい	5. 外国人介護職員の介護福祉士資格の取得までは考えていない
3. 事業所・法人としてはどちらでもよい	6. 外国人介護職員の採用は考えていない

Q18.外国人介護職員に、どのような職員となることを期待しているか、最も当てはまるもの

調査数	基本的な業務については、一人で対応できるようになってほしい	他の外国人職員のリーダー的存在になってほしい	日本人職員も含め、職員のリーダー的存在になってほしい	外国人介護職員の採用は考えていない	不明
335	161	27	26	86	35
100.0	48.1	8.1	7.8	25.7	10.4

Q19.採用した外国人介護職員の介護福祉士の資格取得についての考え方として、最も当てはまるもの

調査数	事業所・法人として介護福祉士の資格取得をしてほしいため、勉強や研修の参加の支援をしたい	本人が介護福祉士の資格取得を希望するのであれば支援したい	事業所・法人としてはどちらでもよい	介護福祉士の資格取得はしてほしいが、外国人が試験合格をすることは、現実的に難しいと思う	外国人介護職員の介護福祉士資格の取得までは考えていない	外国人介護職員の採用は考えていない	不明
335	45	115	15	19	7	92	42
100.0	13.4	34.3	4.5	5.7	2.1	27.5	12.5

問 20 職員の早期離職防止や定着促進を図るために、(1)実施しているものを教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

また、早期離職防止や定着促進に最も効果があった方策を(2)正規職員、(3)非正規職員ごとにそれぞれ1つ選んでください。(実施しているものの中から○は1つまで)

	(1) 実施して いる	効果がある	
		(2) 正規職員	(3) 非正規職員
① 残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる	1	2	3
② 本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる	1	2	3
③ 賃金水準を向上させている	1	2	3
④ 能力や仕事を評価し、賃金などの処遇に反映している	1	2	3
⑤ 職員の仕事内容と必要な能力等を明示している	1	2	3
⑥ キャリアに応じた給与体系を整備している	1	2	3
⑦ 非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている	1	2	3
⑧ 新人の指導担当・アドバイザーを置いている	1	2	3
⑨ 能力開発を充実させている(社内研修実施、社外講習等の受講・支援等)	1	2	3
⑩ 管理者・リーダー層の部下育成や動機付け、能力向上に向けた教育研修に力を入れている	1	2	3
⑪ 仕事内容の希望を聞いて配置している	1	2	3
⑫ 悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている(メンタルヘルス対策を含む)	1	2	3
⑬ 健康対策や健康管理に力を入れている	1	2	3
⑭ 職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている(定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等)	1	2	3
⑮ 経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている	1	2	3
⑯ 業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れている	1	2	3
⑰ 介護ロボットやICT等の導入による働きやすい職場作りに力を入れている	1	2	3
⑱ 福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている(カラオケ、ボーリングなどの同好会、親睦会等の実施を含む)	1	2	3
⑲ 職場環境を整えている(休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等)	1	2	3
⑳ 子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)	1	2	3
㉑ その他(具体的に)	1	2	3
㉒ 特に方策はとっていない	4		

Q20.職員の早期離職防止や定着促進を図るため(1)実施している

調査数	残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる	本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる	賃金水準を向上させている	能力や仕事を評価し、賃金などの処遇に反映している	職員の仕事内容と必要な能力等を明示している	キャリアに応じた給与体系を整備している	非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている	新人の指導担当・アドバイザーを置いている
335 100.0	254 75.8	256 76.4	153 45.7	157 46.9	113 33.7	138 41.2	222 66.3	98 29.3
	能力開発を充実させている(社内研修実施、社外講習等の受講・支援等)	管理者・リーダー層の部下育成や動機付け、能力向上に向けた教育研修に力を入れている	仕事内容の希望を聞いて配置している	悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている(メンタルヘルス対策を含む)	健康対策や健康管理に力を入れている	職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている(定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等)	経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている	業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れている
	128 38.2	102 30.4	130 38.8	154 46.0	109 32.5	210 62.7	135 40.3	162 48.4
		介護ロボットやICT等の導入による働きやすい職場作りに力を入れている	福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている(カラオケ、ボーリングなどの同好会、親睦会等の実施を含む)	職場環境を整えている(休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等)	子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)	その他	特に方策はとっていない	不明
		45 13.4	41 12.2	112 33.4	26 7.8	3 0.9	8 2.4	6 1.8

Q20.職員の早期離職防止や定着促進を図るため(2)効果がある:正規職員

調査数	残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる	本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる	賃金水準を向上させている	能力や仕事を評価し、賃金などの処遇に反映している	職員の仕事内容と必要な能力等を明示している	キャリアに応じた給与体系を整備している	非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている	新人の指導担当・アドバイザーを置いている
335 100.0	85 25.4	47 14.0	26 7.8	12 3.6	5 1.5	15 4.5	2 0.6	2 0.6
	能力開発を充実させている(社内研修実施、社外講習等の受講・支援等)	管理者・リーダー層の部下育成や動機付け、能力向上に向けた教育研修に力を入れている	仕事内容の希望を聞いて配置している	悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている(メンタルヘルス対策を含む)	健康対策や健康管理に力を入れている	職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている(定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等)	経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている	業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れている
	5 1.5	7 2.1	2 0.6	2 0.6	0 0.0	21 6.3	3 0.9	7 2.1
		介護ロボットやICT等の導入による働きやすい職場作りに力を入れている	福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている(カラオケ、ボーリングなどの同好会、親睦会等の実施を含む)	職場環境を整えている(休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等)	子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)	その他	特に方策はとっていない	不明
		2 0.6	3 0.9	6 1.8	2 0.6	2 0.6	9 2.7	70 20.9

問 21 貴事業所における介護職員処遇改善加算（現行加算）、介護職員等特定処遇改善加算（特定加算）及び介護職員等ベースアップ等支援加算（ベースアップ等加算）の届出状況について、教えてください。（〇はひとつ）

1. 現行加算・特定加算・ベースアップ等加算全ての届出をしている（届出予定を含む）	} 問 21-1、2へ
2. 現行加算と特定加算を届出している（届出予定を含む）	
3. 現行加算のみ届出をしている（届出予定を含む）	
4. いずれも届出をしていない → 問 21-3へ	
5. 対象外である → 問 22へ	

問 21 で「1. 現行加算・特定加算・ベースアップ等加算全ての届出をしている（届出予定を含む）」
「2. 現行加算と特定加算の届出をしている（届出予定を含む）」「3. 現行加算のみ届出をしている（届出予定を含む）」と回答した方にお伺いします。

問 21-1 貴事業所では、どのように介護職員処遇改善計画書の周知を行っていますか。（あてはまるものすべてに〇）

1. 掲示板等への掲示	3. 面談・会議等での説明
2. メールや回覧形式等による通知	4. その他（具体的に

問 21-2 貴事業所では、下記のような対応をしましたか。（あてはまるものすべてに〇）

1. 基本給の引上げ	5. 昇進・昇格要件の明確化
2. 諸手当の導入・引上げ	6. 非正規職員から正規職員への登用
3. 一時金の支給	7. その他
4. 教育研修の充実	（具体的に

問 21 で「4. いずれも届出をしていない」と回答した方にお伺いします。

問 21-3 介護職員処遇改善加算（現行加算）、介護職員等特定処遇改善加算（特定加算）及び介護職員等ベースアップ等支援加算（ベースアップ等加算）の届出を行わない理由について、教えてください。（あてはまるものすべてに〇）

1. 対象の制約のため困難	5. 非常勤職員等の処遇上の問題
2. 事務作業が煩雑	6. 賃金改善の必要性がない
3. 追加費用負担の発生	7. 算定要件を達成できない
4. 利用者負担の発生	8. その他
	（具体的に

Q20 職員の早期離職防止や定着促進を図るため(3)効果がある:非正規職員

調査数	残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる	本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる	賃金水準を向上させている	能力や仕事ぶりを評価し、賃金などの処遇に反映している	職員の仕事内容と必要な能力等を明示している	キャリアに応じた給与体系を整備している	非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている	新人の指導担当・アドバイザーを置いている
335 100.0	44 13.1	91 27.2	22 6.6	7 2.1	1 0.3	2 0.6	16 4.8	1 0.3
	能力開発を充実させている（社内研修実施、社外講習等の受講・支援等）	管理者・リーダー層の部下育成や動機付け、能力向上に向けた教育研修に力を入れている	仕事内容の希望を聞いて配置している	悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている（メンタルヘルス対策を含む）	健康対策や健康管理に力を入れている	職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている（定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等）	経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている	業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れている
	2 0.6	1 0.3	9 2.7	7 2.1	1 0.3	15 4.5	2 0.6	6 1.8
	介護ロボットやICT等の導入による働きやすい職場作りに力を入れている	福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている（カラオケ、ボーリングなどの同好会、親睦会等の実施を含む）	職場環境を整えている（休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等）	子育て支援を行っている（子ども預かり所を設ける、保育費用支援等）	その他	特に方策はとっていない	不明	
	0 0.0	2 0.6	5 1.5	2 0.6	2 0.6	9 2.7	88 26.3	

Q21 介護職員処遇改善加算（現行加算）、介護職員等特定処遇改善加算（特定加算）及び介護職員等ベースアップ等支援加算（ベースアップ等加算）の届出状況について

調査数	現行加算・特定加算・ベースアップ等加算全ての届出をしている（届出予定を含む）	現行加算と特定加算を届出している（届出予定を含む）	現行加算のみ届出をしている（届出予定を含む）	いずれも届出をしていない	対象外である	不明
335 100.0	245 73.1	23 6.9	12 3.6	7 2.1	33 9.9	15 4.5

Q21-1 介護職員処遇改善計画書の周知

調査数	掲示板等への掲示	メールや回覧形式等による通知	面談・会議等での説明	その他	不明
280 100.0	180 64.3	93 33.2	110 39.3	11 3.9	5 1.8

Q21-2 介護職員処遇改善計画書の対応

調査数	基本給の引上げ	諸手当の導入・引上げ	一時金の支給	教育研修の充実	昇進・昇格要件の明確化	非正規職員から正規職員への登用	その他	不明
280 100.0	120 42.9	181 64.6	136 48.6	69 24.6	45 16.1	62 22.1	1 0.4	11 3.9

Q21-3 介護職員処遇改善加算（現行加算）、介護職員等特定処遇改善加算（特定加算）及び介護職員等ベースアップ等支援加算（ベースアップ等加算）の届出を

調査数	対象の制約のため困難	事務作業が煩雑	追加費用負担の発生	利用者負担の発生	非常勤職員等の処遇上の問題	賃金改善の必要性がない	算定要件を達成できない	その他	不明
7 100.0	1 14.3	2 28.6	2 28.6	1 14.3	1 14.3	0 0.0	1 14.3	3 42.9	1 14.3

問 22 令和3年度の離職（注1）した人数は何名ですか。

注1)「離職者」とは、令和3年度中に事業所を退職したり、解雇された者をいい、他企業への出向者・出向復帰者を
含み、同一企業内での転出入者を除く。

注2) 正規職員・非正規職員とは

正規職員(雇用している労働者で雇用期間の定めのない者)

非正規職員(正規職員以外の労働者(契約、嘱託、パートなど))

常勤労働者(1週の所定労働時間が主たる正規職員と同じ者)

短時間労働者(1週の所定労働時間が主たる正規職員に比べ短い者)

	介護職員	看護職員	その他
①正規職員(注2)	人	人	人
②非正規職員(注2)	人	人	人
常勤労働者	人	人	人
短時間労働者	人	人	人

問 23 貴事業所で、直近1年での離職者について、最も多かった離職理由を選択してください。(〇はひとつ)

1. 法人の都合	8. 法人や事業所の理念や運営のあり方に不満があったため
2. 他に良い仕事・職場があったため	9. 家族の転職・転勤、又は事業所の移転のため
3. 新しい資格を取ったから	10. 定年・雇用契約の満了のため
4. 収入が少なかったため	11. 病気・高齢のため
5. 自分(離職者)の将来の見込みが立たなかったため	12. 結婚・出産・妊娠・育児のため
6. 自分(離職者)に向かない仕事だったため	13. 家族の介護・看護のため
7. 職場の人間関係に問題があったため	14. その他 (具体的に)

Q22.離職人数別①正規職員(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
335	40	51	93	8	5	0	0	1	0	0	137
100.0	11.9	15.2	27.8	2.4	1.5	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	40.9

Q22.離職人数別①正規職員(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
335	43	26	19	0	0	0	0	0	0	0	247
100.0	12.8	7.8	5.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	73.7

Q22.離職人数別①正規職員(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
335	43	19	9	0	0	0	0	0	0	0	264
100.0	12.8	5.7	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	78.8

Q22.離職人数別②非正規職員(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
335	23	56	111	16	5	2	0	0	0	0	122
100.0	6.9	16.7	33.1	4.8	1.5	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	36.4

Q22.離職人数別②非正規職員(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
335	34	22	16	0	1	0	1	0	0	0	261
100.0	10.1	6.6	4.8	0.0	0.3	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	77.9

Q22.離職人数別②非正規職員(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
335	36	15	16	0	4	0	0	0	0	0	264
100.0	10.7	4.5	4.8	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	78.8

Q22.離職人数別②のうち常勤労働者(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
335	37	31	48	1	0	0	0	0	0	0	218
100.0	11.0	9.3	14.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	65.1

Q22.離職人数別②のうち常勤労働者(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
335	38	12	6	0	0	0	0	0	0	0	279
100.0	11.3	3.6	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	83.3

Q22.離職人数別②のうち常勤労働者(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
335	37	8	2	0	1	0	0	0	0	0	287
100.0	11.0	2.4	0.6	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	85.7

Q22.離職人数別②のうち短時間労働者(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
335	19	33	67	11	3	1	0	0	0	0	201
100.0	5.7	9.9	20.0	3.3	0.9	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0

Q22.離職人数別②のうち短時間労働者(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
335	33	14	7	0	1	0	1	0	0	0	279
100.0	9.9	4.2	2.1	0.0	0.3	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	83.3

Q22.離職人数別②のうち短時間労働者(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
335	31	12	9	0	2	0	0	0	0	0	281
100.0	9.3	3.6	2.7	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	83.9

Q22.合計 介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
335	18	42	139	32	22	1	1	1	0	0	79
100.0	5.4	12.5	41.5	9.6	6.6	0.3	0.3	0.3	0.0	0.0	23.6

Q22.合計 看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
335	36	24	37	0	1	0	1	0	0	0	236
100.0	10.7	7.2	11.0	0.0	0.3	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	70.4

Q22.合計 その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
335	36	23	23	1	4	0	0	0	0	0	248
100.0	10.7	6.9	6.9	0.3	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	74.0

Q23.直近1年での離職者について、最も多かった離職理由

調査数	法人の都合	他に良い仕事・職場があったため	新しい資格を取ったから	収入が少なかったため	自分(離職者)の将来の見込みが立たなかったため	自分(離職者)に向かない仕事だったため	職場の人間関係に問題があったため	法人や事業所の理念や運営のあり方に不満があったため
335	0	61	3	12	7	31	45	11
100.0	0.0	18.2	0.9	3.6	2.1	9.3	13.4	3.3

調査数	家族の転職・転勤、又は事業所の移転のため	定年・雇用契約の満了のため	病気・高齢のため	結婚・出産・妊娠・育児のため	家族の介護・看護のため	その他	不明
335	14	7	44	4	24	23	49
100.0	4.2	2.1	13.1	1.2	7.2	6.9	14.6

入居者の状況についてお伺いします。

問 24 令和4年10月1日午前0時時点の入居者（一時入院や帰宅等の外泊で居室を確保している人も含む）と、そのうち横浜市の被保険者の人数、横浜市以外の被保険者で住所地特例を受けている人数を記入してください。

また、医療処置が必要な方の人数を記入してください。

	特定施設	グループホーム	住宅型 有料老人ホーム	サービス付き 高齢者向け住宅
	入居 (自立の入居者 等も含む)	入居 (短期利用共同生活 介護は除く)	入居 (自立の入居者 等も含む)	入居 (自立の入居者 等も含む)
横浜市の 被保険者の人数	人	人	人	人
横浜市以外の被保険者で 住所地特例を受けている人数	人		人	人
医療処置が必要な人数	人	人	人	人

問 25 問 24 の入居者について、日常生活自立度（ADL）別人数をご記入ください。

※参考資料を参照

	特定施設	グループホーム	住宅型 有料老人ホーム	サービス付き 高齢者向け住宅
	入居	入居 (短期利用共同生活介 護は除く)	入居	入居
①自立	人	人	人	人
②ランクJ	人	人	人	人
③ランクA	人	人	人	人
④ランクB	人	人	人	人
⑤ランクC	人	人	人	人

Q24.横浜市の被保険者の人数(1)【特定施設】入居(自立の入居者等も含む)【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
335	3	0	0	5	3	15	32	17	9	2
100.0	0.9	0.0	0.0	1.5	0.9	4.5	9.6	5.1	2.7	0.6

Q24.横浜市の被保険者の人数(2)【グループホーム】入居(短期利用共同生活介護は除く)【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
335	8	0	3	26	100	19	1	0	0	0
100.0	2.4	0.0	0.9	7.8	29.9	5.7	0.3	0.0	0.0	0.0

Q24.横浜市の被保険者の人数(3)【住宅型有料老人ホーム】入居(自立の入居者等も含む)【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
335	8	0	5	5	16	6	7	2	3	2
100.0	2.4	0.0	1.5	1.5	4.8	1.8	2.1	0.6	0.9	0.6

Q24.横浜市の被保険者の人数(4)【サービス付き高齢者向け住宅】入居(自立の入居者等も含む)【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
335	7	0	1	0	7	8	8	4	2	0
100.0	2.1	0.0	0.3	0.0	2.1	2.4	2.4	1.2	0.6	0.0

Q24.横浜市以外の被保険者で住所地特例を受けている人数(1)【特定施設】入居(自立の入居者等も含む)【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
335	3	1	27	13	23	5	5	0	2	1
100.0	0.9	0.3	8.1	3.9	6.9	1.5	1.5	0.0	0.6	0.3

Q24.横浜市以外の被保険者で住所地特例を受けている人数(3)【住宅型有料老人ホーム】入居(自立の入居者等も含む)【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
335	10	10	11	4	2	2	1	0	1	1
100.0	3.0	3.0	3.3	1.2	0.6	0.6	0.3	0.0	0.3	0.3

Q24.横浜市以外の被保険者で住所地特例を受けている人数(4)【サービス付き高齢者向け住宅】入居(自立の入居者等も含む)【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
335	9	7	10	3	2	1	1	0	0	0
100.0	2.7	2.1	3.0	0.9	0.6	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0

Q24.医療処置が必要な人数(1)【特定施設】入居(自立の入居者等も含む)【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
335	17	4	23	11	9	5	4	1	3	0
100.0	5.1	1.2	6.9	3.3	2.7	1.5	1.2	0.3	0.9	0.0

Q24.医療処置が必要な人数(2)【グループホーム】入居(短期利用共同生活介護は除く)【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
335	60	5	8	1	1	0	0	0	0	0
100.0	17.9	1.5	2.4	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q24.医療処置が必要な人数(3)【住宅型有料老人ホーム】入居(自立の入居者等も含む)【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
335	18	3	8	1	2	2	2	0	0	0
100.0	5.4	0.9	2.4	0.3	0.6	0.6	0.6	0.0	0.0	0.0

Q24.医療処置が必要な人数(4)【サービス付き高齢者向け住宅】入居(自立の入居者等も含む)【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
335	17	1	2	2	0	0	1	0	0	0
100.0	5.1	0.3	0.6	0.6	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0

Q25.日常生活自立度別人数①自立(1)【特定施設】入居【クラス分け】【施設区分別】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
52	28	8	7	2	4	0	0	0	2	1
100.0	53.8	15.4	13.5	3.8	7.7	0.0	0.0	0.0	3.8	1.9

Q25.日常生活自立度別人数①自立(2)【グループホーム】入居(短期利用共同生活介護は除く)【クラス分け】【施設区分別】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
58	23	7	16	6	5	1	0	0	0	0
100.0	39.7	12.1	27.6	10.3	8.6	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0

Q25.日常生活自立度別人数①自立(3)【住宅型有料老人ホーム】入居【クラス分け】【施設区分別】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
19	6	4	4	1	2	0	0	0	0	2
100.0	31.6	21.1	21.1	5.3	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	10.5

Q25.日常生活自立度別人数①自立(4)【サービス付き高齢者向け住宅】入居【クラス分け】【施設区分別】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
29	2	2	7	3	5	3	3	3	1	0
100.0	6.9	6.9	24.1	10.3	17.2	10.3	10.3	10.3	3.4	0.0

Q25.日常生活自立度別人数②ランクJ(1)【特定施設】入居【クラス分け】【施設区分別】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
57	5	4	18	14	11	2	2	1	0	0
100.0	8.8	7.0	31.6	24.6	19.3	3.5	3.5	1.8	0.0	0.0

Q25.日常生活自立度別人数②ランクJ(2)【グループホーム】入居(短期利用共同生活介護は除く)【クラス分け】【施設区分別】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
90	14	20	44	9	2	1	0	0	0	0
100.0	15.6	22.2	48.9	10.0	2.2	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0

Q25.日常生活自立度別人数②ランクJ(3)【住宅型有料老人ホーム】入居【クラス分け】【施設区分別】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
26	2	7	7	3	6	0	0	1	0	0
100.0	7.7	26.9	26.9	11.5	23.1	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0

Q25.日常生活自立度別人数②ランクJ(4)【サービス付き高齢者向け住宅】入居【クラス分け】【施設区分別】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
26	2	2	7	3	6	2	4	0	0	0
100.0	7.7	7.7	26.9	11.5	23.1	7.7	15.4	0.0	0.0	0.0

Q25.日常生活自立度別人数③ランクA(1)【特定施設】入居【クラス分け】【施設区分別】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
69	0	2	3	3	19	18	20	2	1	1
100.0	0.0	2.9	4.3	4.3	27.5	26.1	29.0	2.9	1.4	1.4

Q25.日常生活自立度別人数③ランクA(2)【グループホーム】入居(短期利用共同生活介護は除く)【クラス分け】【施設区分別】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
145	0	6	45	35	56	2	1	0	0	0
100.0	0.0	4.1	31.0	24.1	38.6	1.4	0.7	0.0	0.0	0.0

Q25.日常生活自立度別人数③ランクA(3)【住宅型有料老人ホーム】入居【クラス分け】【施設区分別】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
34	0	2	19	3	7	2	1	0	0	0
100.0	0.0	5.9	55.9	8.8	20.6	5.9	2.9	0.0	0.0	0.0

Q25.日常生活自立度別人数③ランクA(4)【サービス付き高齢者向け住宅】入居【クラス分け】【施設区分別】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
24	2	2	3	5	10	0	1	0	0	1
100.0	8.3	8.3	12.5	20.8	41.7	0.0	4.2	0.0	0.0	4.2

Q25.日常生活自立度別人数④ランクB(1)【特定施設】入居【クラス分け】【施設区分別】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
70	0	1	8	11	23	16	8	3	0	0
100.0	0.0	1.4	11.4	15.7	32.9	22.9	11.4	4.3	0.0	0.0

Q25.日常生活自立度別人数④ランクB(2)【グループホーム】入居(短期利用共同生活介護は除く)【クラス分け】【施設区分別】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
129	0	19	60	40	10	0	0	0	0	0
100.0	0.0	14.7	46.5	31.0	7.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q25.日常生活自立度別人数④ランクB(3)【住宅型有料老人ホーム】入居【クラス分け】【施設区分別】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
35	0	1	21	5	8	0	0	0	0	0
100.0	0.0	2.9	60.0	14.3	22.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q25.日常生活自立度別人数④ランクB(4)【サービス付き高齢者向け住宅】入居【クラス分け】【施設区分別】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
19	3	2	8	2	3	1	0	0	0	0
100.0	15.8	10.5	42.1	10.5	15.8	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0

Q25.日常生活自立度別人数⑤ランクC(1)【特定施設】入居【クラス分け】【施設区分別】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
67	3	9	22	10	17	4	2	0	0	0
100.0	4.5	13.4	32.8	14.9	25.4	6.0	3.0	0.0	0.0	0.0

Q25.日常生活自立度別人数⑤ランクC(2)【グループホーム】入居(短期利用共同生活介護は除く)【クラス分け】【施設区分別】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
85	5	27	49	4	0	0	0	0	0	0
100.0	5.9	31.8	57.6	4.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q25.日常生活自立度別人数⑤ランクC(3)【住宅型有料老人ホーム】入居【クラス分け】【施設区分別】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
28	4	3	11	3	6	0	1	0	0	0
100.0	14.3	10.7	39.3	10.7	21.4	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0

Q25.日常生活自立度別人数⑤ランクC(4)【サービス付き高齢者向け住宅】入居【クラス分け】【施設区分別】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
17	4	1	8	4	0	0	0	0	0	0
100.0	23.5	5.9	47.1	23.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 26 問 24 の入居者について、認知症ランク別人数をご記入ください。

※参考資料を参照

	特定施設	グループホーム	住宅型 有料老人ホーム	サービス付き 高齢者向け住宅
	入居	入居 (短期利用共同生活 介護は除く)	入居	入居
①正 常	人		人	人
②ランクⅠ	人	人	人	人
③ランクⅡ	人	人	人	人
④ランクⅢ	人	人	人	人
⑤ランクⅣ	人	人	人	人
⑥ランクⅤ	人	人	人	人

問 27 入居にかかる利用者の負担額（平均）をご記入ください。

※ 新たに入居される方へ、貴事業所が説明されている金額をご記入ください。

(1か月あたりの金額を記載してください。月により金額が異なる場合は平均値を記載してください。)

①介護保険自己負担分	円/月
②食 費 (食材料費)	円/月
③家賃相当分	円/月
④管理費	円/月
⑤光熱水費	円/月
⑥その他の日常生活費 (理美容・行事等)	円/月
うち おむつ代	円/月

敷金・前払金・入居一時金	円
生活保護法指定介護機関の指定の有無 (○はひとつ)	1. 指定を受けている 2. 指定を受けていない

【以下は特定施設の方のみ、ご記入ください】

個別的な選択による介護サービス利用料	円/月
外出介助	円/月
買物等の代行	円/月
標準的な回数を超えた入浴での介助	円/月

Q26 認知症ランク別人数①正常 (1)【特定施設】入居【クラス分け】【施設区分別】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
56	13	7	17	7	8	1	1	0	1	1
100.0	23.2	12.5	30.4	12.5	14.3	1.8	1.8	0.0	1.8	1.8

Q26 認知症ランク別人数①正常 (2)【グループホーム】入居(短期利用共同生活介護は除く)【クラス分け】【施設区分別】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q26 認知症ランク別人数①正常 (3)【住宅型有料老人ホーム】入居【クラス分け】【施設区分別】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
25	5	6	8	2	1	1	0	0	0	2
100.0	20.0	24.0	32.0	8.0	4.0	4.0	0.0	0.0	0.0	8.0

Q26 認知症ランク別人数①正常 (4)【サービス付き高齢者向け住宅】入居【クラス分け】【施設区分別】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
25	3	1	2	4	6	3	2	2	2	0
100.0	12.0	4.0	8.0	16.0	24.0	12.0	8.0	8.0	8.0	0.0

Q26 認知症ランク別人数②ランクⅠ (1)【特定施設】入居【クラス分け】【施設区分別】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
65	3	2	21	15	19	3	2	0	0	0
100.0	4.6	3.1	32.3	23.1	29.2	4.6	3.1	0.0	0.0	0.0

Q26 認知症ランク別人数②ランクⅠ (2)【グループホーム】入居(短期利用共同生活介護は除く)【クラス分け】【施設区分別】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
65	14	12	29	6	3	1	0	0	0	0
100.0	21.5	18.5	44.6	9.2	4.6	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0

Q26 認知症ランク別人数②ランクⅠ (3)【住宅型有料老人ホーム】入居【クラス分け】【施設区分別】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
26	0	5	11	4	5	1	0	0	0	0
100.0	0.0	19.2	42.3	15.4	19.2	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0

Q26 認知症ランク別人数②ランクⅠ (4)【サービス付き高齢者向け住宅】入居【クラス分け】【施設区分別】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
24	1	1	9	4	7	2	0	0	0	0
100.0	4.2	4.2	37.5	16.7	29.2	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0

Q26 認知症ランク別人数③ランクⅡ (1)【特定施設】入居【クラス分け】【施設区分別】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
66	1	1	6	9	23	16	7	2	1	0
100.0	1.5	1.5	9.1	13.6	34.8	24.2	10.6	3.0	1.5	0.0

Q26 認知症ランク別人数③ランクⅡ (2)【グループホーム】入居(短期利用共同生活介護は除く)【クラス分け】【施設区分別】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
127	1	11	71	25	18	1	0	0	0	0
100.0	0.8	8.7	55.9	19.7	14.2	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0

Q26 認知症ランク別人数③ランクⅡ (3)【住宅型有料老人ホーム】入居【クラス分け】【施設区分別】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
34	1	6	13	5	7	2	0	0	0	0
100.0	2.9	17.6	38.2	14.7	20.6	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0

Q26 認知症ランク別人数③ランクⅡ (4)【サービス付き高齢者向け住宅】入居【クラス分け】【施設区分別】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
20	1	1	9	6	2	1	0	0	0	0
100.0	5.0	5.0	45.0	30.0	10.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q26 認知症ランク別人数④ランクⅢ (1)【特定施設】入居【クラス分け】【施設区分別】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
66	0	1	8	7	30	15	4	1	0	0
100.0	0.0	1.5	12.1	10.6	45.5	22.7	6.1	1.5	0.0	0.0

Q26 認知症ランク別人数④ランクⅢ (2)【グループホーム】入居(短期利用共同生活介護は除く)【クラス分け】【施設区分別】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
140	0	4	59	30	46	1	0	0	0	0
100.0	0.0	2.9	42.1	21.4	32.9	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0

Q26 認知症ランク別人数④ランクⅢ (3)【住宅型有料老人ホーム】入居【クラス分け】【施設区分別】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
32	0	1	22	3	5	1	0	0	0	0
100.0	0.0	3.1	68.8	9.4	15.6	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0

Q26 認知症ランク別人数④ランクⅢ (4)【サービス付き高齢者向け住宅】入居【クラス分け】【施設区分別】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
16	1	3	6	3	2	0	1	0	0	0
100.0	6.3	18.8	37.5	18.8	12.5	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0

Q26 認知症ランク別人数⑤ランクⅣ(1)【特定施設】入居【クラス分け】【施設区分別】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
62	2	6	24	16	8	6	0	0	0	0
100.0	3.2	9.7	38.7	25.8	12.9	9.7	0.0	0.0	0.0	0.0

Q26 認知症ランク別人数⑤ランクⅣ(2)【グループホーム】入居(短期利用共同生活介護は除く)【クラス分け】【施設区分別】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
119	0	12	83	15	9	0	0	0	0	0
100.0	0.0	10.1	69.7	12.6	7.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q26 認知症ランク別人数⑤ランクⅣ(3)【住宅型有料老人ホーム】入居【クラス分け】【施設区分別】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
24	1	17	3	2	0	0	0	0	0	0
100.0	4.2	4.2	70.8	12.5	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q26 認知症ランク別人数⑤ランクⅣ(4)【サービス付き高齢者向け住宅】入居【クラス分け】【施設区分別】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
10	1	2	7	0	0	0	0	0	0	0
100.0	10.0	20.0	70.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q26 認知症ランク別人数(1)【特定施設】入居【クラス分け】【施設区分別】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
45	17	9	14	2	2	1	0	0	0	0
100.0	37.8	20.0	31.1	4.4	4.4	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0

Q26 認知症ランク別人数(2)【グループホーム】入居(短期利用共同生活介護は除く)【クラス分け】【施設区分別】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
66	8	27	30	1	0	0	0	0	0	0
100.0	12.1	40.9	45.5	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q26 認知症ランク別人数(3)【住宅型有料老人ホーム】入居【クラス分け】【施設区分別】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
19	4	3	7	4	0	1	0	0	0	0
100.0	21.1	15.8	36.8	21.1	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0

Q26 認知症ランク別人数(4)【サービス付き高齢者向け住宅】入居【クラス分け】【施設区分別】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
8	2	0	4	1	1	0	0	0	0	0
100.0	25.0	0.0	50.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q27.入居負担額(1)①介護保険自己負担分

調査数	平均
221	27,809
100.0	

Q27.入居負担額(2)②食費(食材料費)

調査数	平均
298	43,091
100.0	

Q27.入居負担額(3)③家賃相当分

調査数	平均
294	81,613
100.0	

Q27.入居負担額(4)④管理費

調査数	平均
290	42,235
100.0	

Q27.入居負担額(5)⑤光熱水費

調査数	平均
218	19,093
100.0	

Q27.入居負担額(6)⑥その他の日常生活費(理美容・行事等)

調査数	平均
217	10,241
100.0	

Q27.入居負担額(7)⑥のうちおむつ代

調査数	平均
188	7,299
100.0	

Q27.入居負担額:敷金・前払金・入居一時金

調査数	平均
224	1,603,959
100.0	

Q27.生活保護法指定介護機関の指定の有無(1つ選択)

調査数	指定を受けている	指定を受けていない	不明
335	140	144	51
100.0	41.8	43.0	15.2

Q27.特定施設入居負担額(1)①個別的な選択による介護サービス利用料

調査数	平均
53	10,884
100.0	

Q27.特定施設入居負担額(2)①のうち 外出介助

調査数	平均
41	4,115
100.0	

Q27.特定施設入居負担額(3)①のうち 買物等の代行

調査数	平均
29	6,113
100.0	

Q27.特定施設入居負担額(4)①のうち 標準的な回数を超えた入浴での介助

調査数	平均
38	5,026
100.0	

令和3年3月末日までに開所したすべての事業所にお伺いします。

問 28 令和3年4月1日～令和4年3月31日の1年間の入居者について、入居前の居所別の人数を記入してください（短期入居の場合は除いてください）。（あてはまるものに○と人数）

1. 特別養護老人ホーム	_____人	7. 住宅型有料老人ホーム	_____人
2. 介護老人保健施設	_____人	8. サービス付き高齢者向け住宅	_____人
3. 介護療養型医療施設（介護医療院）	_____人	9. その他の施設	_____人
4. 認知症高齢者グループホーム	_____人	10. 自宅等（親戚宅等を含む）	_____人
5. 特定施設（介護付有料老人ホーム・ケアハウス）	_____人	11. 小規模多機能型居宅介護の利用	_____人
6. 「3」以外の病院・診療所	_____人	12. 不明	_____人

問 29 令和3年4月1日～令和4年3月31日の1年間の退居者について、退居先別の人数を記入してください（短期入居の場合は除いてください）。（あてはまるものに○と人数）

1. 特別養護老人ホーム	_____人	7. 住宅型有料老人ホーム	_____人
2. 介護老人保健施設	_____人	8. サービス付き高齢者向け住宅	_____人
3. 介護療養型医療施設（介護医療院）	_____人	9. その他の施設	_____人
4. 認知症高齢者グループホーム	_____人	10. 自宅等（親戚宅等を含む）	_____人
5. 特定施設（介護付有料老人ホーム・ケアハウス）	_____人	11. 小規模多機能型居宅介護の利用	_____人
6. 「3」以外の病院・診療所	_____人	12. 死亡	_____人
		13. 不明	_____人

問 29 で「10. 自宅等」に戻られた方がいる事業所にお伺いします。

問 29-1 自宅に戻られた理由ごとに、人数をご記入ください。（あてはまるものに○と人数）

1. 本人の希望	_____人	5. 理由不明	_____人
2. 自宅での介護が可能になった	_____人	6. その他	_____人
3. 経済的な理由（費用面など）	_____人		
4. 期待していたサービスが受けられなかった	_____人		

Q28 入所前の居所別

調査数	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	介護療養型医療施設（介護医療院）	認知症高齢者グループホーム	特定施設（介護付有料老人ホーム・ケアハウス）	「介護療養型医療施設（介護医療院）」以外の病院・診療所	住宅型有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	その他の施設	自宅等（親戚宅等を含む）
335 100.0	15 4.5	94 28.1	7 2.1	50 14.9	51 15.2	97 29.0	29 8.7	57 17.0	29 8.7	215 64.2
								小規模多機能型居宅介護の利用	不明	無回答
								35 10.4	9 2.7	47 14.0

Q28 入所前の居所別の人数(1)特別養護老人ホーム【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
16 100.0	1 6.3	10 62.5	5 31.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

Q28 入所前の居所別の人数(2)介護老人保健施設【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
95 100.0	1 1.1	33 34.7	50 52.6	6 6.3	3 3.2	2 2.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

Q28 入所前の居所別の人数(3)介護療養型医療施設（介護医療院）【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
8 100.0	1 12.5	4 50.0	2 25.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

Q28 入所前の居所別の人数(4)認知症高齢者グループホーム【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
51 100.0	1 2.0	19 37.3	10 19.6	4 7.8	14 27.5	2 3.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.0

Q28 入所前の居所別の人数(5)特定施設（介護付有料老人ホーム・ケアハウス）【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
52 100.0	1 1.9	25 48.1	16 30.8	4 7.7	2 3.8	1 1.9	1 1.9	1 1.9	1 1.9	0 0.0

Q28 入所前の居所別の人数(6)「介護療養型医療施設（介護医療院）」以外の病院・診療所【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
97 100.0	0 0.0	22 22.7	38 39.2	12 12.4	14 14.4	6 6.2	5 5.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0

Q28 入所前の居所別の人数(7)住宅型有料老人ホーム【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
30 100.0	1 3.3	9 30.0	14 46.7	1 3.3	2 6.7	1 3.3	0 0.0	0 0.0	1 3.3	1 3.3

Q28 入所前の居所別の人数(8)サービス付き高齢者向け住宅【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
58 100.0	1 1.7	34 58.6	16 27.6	2 3.4	2 3.4	2 3.4	0 0.0	1 1.7	0 0.0	0 0.0

Q28 入所前の居所別の人数(9)その他の施設【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
30 100.0	1 3.3	17 56.7	4 13.3	1 3.3	4 13.3	3 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

Q28 入所前の居所別の人数(10)自宅等（親戚宅等を含む）【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
215 100.0	0 0.0	34 15.8	92 42.8	25 11.6	40 18.6	10 4.7	9 4.2	2 0.9	3 1.4	0 0.0

Q28 入所前の居所別の人数(11)小規模多機能型居宅介護の利用【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
36 100.0	1 2.8	22 61.1	12 33.3	1 2.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

Q28 入所前の居所別の人数(12)不明【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上
10 100.0	1 10.0	5 50.0	4 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

Q29:退所先別

調査数	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	介護療養型医療施設(介護医療院)	認知症高齢者グループホーム	特定施設(介護付有料老人ホーム・ケアハウス)	「介護療養型医療施設(介護医療院)以外の病院・診療所	住宅型有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	その他の施設	自宅等(親戚宅等を含む)
335	109	21	24	30	43	85	24	17	21	51
100.0	32.5	6.3	7.2	9.0	12.8	25.4	7.2	5.1	6.3	15.2
							小規模多機能型居宅介護の利用	死亡	不明	無回答
							3	211	3	51
							0.9	63.0	0.9	15.2

Q29:退所先別の人数(1)特別養護老人ホーム【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
110	1	49	57	2	0	1	0	0	0	0
100.0	0.9	44.5	51.8	1.8	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0

Q29:退所先別の人数(2)介護老人保健施設【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
22	1	15	4	1	1	0	0	0	0	0
100.0	4.5	68.2	18.2	4.5	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q29:退所先別の人数(3)介護療養型医療施設(介護医療院)【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
25	1	13	11	0	0	0	0	0	0	0
100.0	4.0	52.0	44.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q29:退所先別の人数(4)認知症高齢者グループホーム【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
31	1	17	9	1	3	0	0	0	0	0
100.0	3.2	54.8	29.0	3.2	9.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q29:退所先別の人数(5)特定施設(介護付有料老人ホーム・ケアハウス)【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
44	1	20	19	1	3	0	0	0	0	0
100.0	2.3	45.5	43.2	2.3	6.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q29:退所先別の人数(6)「介護療養型医療施設(介護医療院)以外の病院・診療所」【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
86	1	32	45	6	2	0	0	0	0	0
100.0	1.2	37.2	52.3	7.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q29:退所先別の人数(7)住宅型有料老人ホーム【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
25	1	16	6	1	1	0	0	0	0	0
100.0	4.0	64.0	24.0	4.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q29:退所先別の人数(8)サービス付き高齢者向け住宅【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
18	1	7	6	1	3	0	0	0	0	0
100.0	5.6	38.9	33.3	5.6	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q29:退所先別の人数(9)その他の施設【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
22	1	11	7	2	1	0	0	0	0	0
100.0	4.5	50.0	31.8	9.1	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q29:退所先別の人数(10)自宅等(親戚宅等を含む)【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
52	1	36	15	0	0	0	0	0	0	0
100.0	1.9	69.2	28.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q29:退所先別の人数(11)小規模多機能型居宅介護の利用【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
4	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0
100.0	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q29:退所先別の人数(12)死亡【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
211	0	40	97	32	30	6	5	1	0	0
100.0	0.0	19.0	46.0	15.2	14.2	2.8	2.4	0.5	0.0	0.0

Q29:退所先別の人数(13)不明【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
4	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0
100.0	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q29-1.自宅に戻られた理由

調査数	本人の希望で	自宅での介護 が可能になった	経済的な理由 (費用面など) で	期待していた サービスが受 けられなかった	理由不明	その他	無回答
335	32	15	10	0	1	2	285
100.0	9.6	4.5	3.0	0.0	0.3	0.6	85.1

Q29-1.自宅に戻られた理由ごとの人数(1)本人の希望で【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
32	0	27	5	0	0	0	0	0	0	0
100.0	0.0	84.4	15.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q29-1.自宅に戻られた理由ごとの人数(2)自宅での介護が可能になった【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
15	0	9	6	0	0	0	0	0	0	0
100.0	0.0	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q29-1.自宅に戻られた理由ごとの人数(3)経済的な理由(費用面など)で【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
10	0	9	1	0	0	0	0	0	0	0
100.0	0.0	90.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q29-1.自宅に戻られた理由ごとの人数(5)理由不明【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q29-1.自宅に戻られた理由ごとの人数(6)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

令和3年3月末日までに開所したグループホームの事業所の方にお伺いします。

問30 令和3年4月1日～令和4年3月31日の1年間の入居者について、入居前の住所地の人数をご記入ください。

入居前所在地が市内の方	人
入居前所在地が市外の方	人

令和3年3月末日までに開所したすべての事業所にお伺いします。

問31 令和3年4月1日～令和4年3月31日の1年間の退居者の入居期間について、人数をご記入ください。（短期入居の方は除いてください。）

1年間の退居者の入居期間	人数
①3か月未満	人
②3か月～6か月未満	人
③6か月～1年未満	人
④1年～1年半未満	人
⑤1年半～2年未満	人
⑥2年～2年半未満	人
⑦2年半～3年未満	人
⑧3年以上	人

問31-1 問31で回答した1年間の退居者全体の平均入居日数を記入してください。

	日
--	---

すべての事業所にお伺いします。

問32 令和4年10月1日現在で把握している入居申込者数（待ち人数）を記入してください。

	人
--	---

事業所のサービスや運営、取組状況についてお伺いします。

問33 入居者が亡くなる際に事業所内で看取りを行っていますか。（〇はひとつ）

1. 希望者全ての看取りを行っている	4. 事業所内では看取りは行わず、医療機関に移ってもらっている
2. 特定の条件がそろった一部の入居者のみ看取りを行っている	5. その他
3. 看取りを行う用意はあるが、希望者がいない	(具体的に)

Q30.(1)入居前所在地が市内の方【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人
126	1	13	54	17	33	8	0
100.0	0.8	10.3	42.9	13.5	26.2	6.3	0.0

Q30.(2)入居前所在地が市外の方【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人
31	9	15	6	0	0	0	1
100.0	29.0	48.4	19.4	0.0	0.0	0.0	3.2

Q31.入所期間別の人数(1)3か月未満【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	不明
335	7	35	24	5	4	3	0	0	257
100.0	2.1	10.4	7.2	1.5	1.2	0.9	0.0	0.0	76.7

Q31.入所期間別の人数(2)3か月～6か月未満【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	不明
335	4	26	38	3	4	0	0	0	260
100.0	1.2	7.8	11.3	0.9	1.2	0.0	0.0	0.0	77.6

Q31.入所期間別の人数(3)6か月～1年未満【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	不明
335	4	42	43	3	3	0	1	0	239
100.0	1.2	12.5	12.8	0.9	0.9	0.0	0.3	0.0	71.3

Q31.入所期間別の人数(4)1年～1年半未満【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	不明
335	6	24	41	5	4	0	0	0	255
100.0	1.8	7.2	12.2	1.5	1.2	0.0	0.0	0.0	76.1

Q31.入所期間別の人数(5)1年半～2年未満【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	不明
335	4	51	35	2	3	1	0	0	239
100.0	1.2	15.2	10.4	0.6	0.9	0.3	0.0	0.0	71.3

Q31.入所期間別の人数(6)2年～2年半未満【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	不明
335	4	40	29	3	1	0	0	0	258
100.0	1.2	11.9	8.7	0.9	0.3	0.0	0.0	0.0	77.0

Q31.入所期間別の人数(7)2年半～3年未満【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	不明
335	6	40	33	0	3	0	0	0	253
100.0	1.8	11.9	9.9	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	75.5

Q31.入所期間別の人数(8)3年以上【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	不明
335	2	36	92	18	17	3	1	1	165
100.0	0.6	10.7	27.5	5.4	5.1	0.9	0.3	0.3	49.3

Q31-1.1年間の退所者全体の平均入所日数

調査数	平均
144	1017.24
100.0	

Q32.令和4年10月1日現在で把握している入居申込者数(待ち人数)【クラス分け】

調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
335	89	45	124	14	9	1	2	2	1	1	47
100.0	26.6	13.4	37.0	4.2	2.7	0.3	0.6	0.6	0.3	0.3	14.0

Q33.入所者が亡くなる際に施設内で看取りを行っていますか

調査数	希望者全ての看取りを行っている	特定の条件がそろった一部の入居者のみ看取りを行っている	看取りを行う用意はあるが、希望者がいない	事業所内では看取りは行わず、医療機関に移ってもらっている	その他	不明
335	178	111	6	24	8	8
100.0	53.1	33.1	1.8	7.2	2.4	2.4

問 33-1 看取り介護加算を算定していますか。(〇はひとつ)

1. 算定している → [問 34 へ](#) 2. 算定していない

問 33-1 で「2. 算定していない」と回答した方にお伺いします。

問 33-2 看取り加算を算定していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 配置医の協力が得られない 4. 加算となる体制が取れない
 2. 夜間の看護師を確保できない 5. その他(具体的に)
 3. 介護職員の負担が大きい 6. 看取りの対象者がいない

問 34 利用者や家族の要望を積極的に取り入れるため、次の取組を行っていますか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 利用者にサービス計画を説明し要望を聞く機会を設けている
 2. 家族にサービス計画を説明し要望を聞く機会を設けている
 3. 利用者・家族と話し合いの機会を定期的に設けている
 4. 利用者の生活状況を記録し家族に連絡している
 5. 利用者・家族を対象に相談・苦情窓口を設けている
 6. 家族会を設置している
 7. その他(具体的に)
 8. 特に行っていない

問 35 サービスの質の向上のために、次の取組を行っていますか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 管理者が直接サービス提供の状況を確認し指導している
 2. サービス提供のガイドライン、マニュアルを作成している
 3. 多問題事例等に関するケース検討会を行っている
 4. 事故防止のためにヒヤリハット事例の収集・共有を図っている
 5. 利用者や家族に対し満足度調査を行っている
 6. 外部評価を受けている(介護サービス情報の公表を除く)
 7. ユニットケアを実施している
 8. 事業所を開放し、ボランティア団体や保育園・幼稚園、小学校など地域との交流を行っている
 9. 利用者が地域活動に出向くなど、地域の一員として暮らせるような工夫をしている
 10. その他(具体的に)
 11. 特に行っていない

Q33-1.看取り介護加算を算定していますか

調査数	算定している	算定していない	不明
335	173	145	17
100.0	51.6	43.3	5.1

Q33-2.看取り加算を算定していない理由

調査数	配置医の協力が得られない	夜間の看護師を確保できない	介護職員の負担が大きい	加算となる体制が取れない	その他	看取りの対象者がいない	不明
145	10	37	29	53	26	22	12
100.0	6.9	25.5	20.0	36.6	17.9	15.2	8.3

Q34.利用者や家族の要望を積極的に取り入れるための取組

調査数	利用者にサービス計画を説明し要望を聞く機会を設けている	家族にサービス計画を説明し要望を聞く機会を設けている	利用者・家族と話し合いの機会を定期的に設けている	利用者の生活状況を記録し家族に連絡している	利用者・家族を対象に相談・苦情窓口を設けている	家族会を設置している	その他	特に行っていない	不明
335	212	248	133	234	253	57	15	4	10
100.0	63.3	74.0	39.7	69.9	75.5	17.0	4.5	1.2	3.0

Q35.サービスの質の向上のための取組

調査数	管理者が直接サービス提供の状況を確認し指導している	サービス提供のガイドライン、マニュアルを作成している	多問題事例等に関するケース検討会を行っている	事故防止のためにヒヤリハット事例の収集・共有を図っている	利用者や家族に対し満足度調査を行っている	外部評価を受けている(介護サービス情報の公表を除く)	ユニットケアを実施している	事業所を開放し、ボランティア団体や保育園・幼稚園、小学校など地域との交流を行っている
335	241	196	140	270	138	152	109	57
100.0	71.9	58.5	41.8	80.6	41.2	45.4	32.5	17.0
					利用者が地域活動に出向くなど、地域の一員として暮らせるような工夫をしている	その他	特に行っていない	不明
					52	5	4	9
					15.5	1.5	1.2	2.7

問 36 介護職員の研修や資格取得について、次の取組を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自事業所で研修を実施している	4. 外部の研修への参加費(自己負担)の補助を行っている
2. 外部の研修機関に委託して実施している (費用は事業所負担)	5. その他
3. 外部の研修への参加を奨励している (費用は事業所負担)	6. 特に行っていない (具体的に)

問 37 貴事業所の運営やサービス向上のために、どのような情報や支援が必要ですか。次のうち必要と考えられる情報・支援を3つまでお選びください。(○は3つまで)

1. 介護保険制度・介護報酬等に関する情報	11. 定員の空き状況、空室・空床に関する情報
2. 介護保険以外の保健・福祉サービスに関する情報	12. 緊急時ショートステイや入院などの受入れ先情報
3. 情報提供・相談等の窓口	13. 事業者連絡会等に関する運営サポート、バックアップ
4. 介護技術・方法に関する情報	14. ケアカンファレンス等の運営サポート、バックアップ
5. 認知症ケアに関する情報	15. サービス展開のための土地・建物に関する情報
6. 医療処置を必要とする場合のケアに関する情報	16. その他
7. 困難事例、多問題事例に関するケース情報提供、助言	17. 特に必要な情報・支援はない (具体的に)
8. 介護予防に関する情報	
9. 研修・講座等に関する情報	
10. 周辺事業所や医療機関に関する情報	

問 38 他の介護事業者とどのように連携していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 勉強会、ケース検討会の共同開催	5. 技術的に対応できない場合の紹介・連携
2. 事業環境などの情報交換	6. その他
3. 交換研修の実施	7. 特に連携していない (具体的に)
4. 定員オーバーや空きがある場合の紹介・連携	

問 39 地域のどのような組織と連携をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自治会・町内会	5. 企業
2. ボランティアグループ	6. 民生委員・児童委員
3. 家族会	7. その他(具体的に)
4. 学校関係	8. 連携をとっていない → 問 40 へ

Q36.職員の研修や資格取得についての取組

調査数	自事業所で研修を実施している	外部の研修機関に委託して実施している(費用は事業所負担)	外部の研修への参加を奨励している(費用は事業所負担)	外部の研修への参加費(自己負担)の補助を行っている	その他	特に行っていない	不明
335	268	66	150	88	15	10	14
100.0	80.0	19.7	44.8	26.3	4.5	3.0	4.2

Q37.運営やサービス向上のために、必要と考えられる情報・支援

調査数	介護保険制度・介護報酬等に関する情報	介護保険以外の保健・福祉サービスに関する情報	情報提供・相談等の窓口	介護技術・方法に関する情報	認知症ケアに関する情報	医療処置を必要とする場合のケアに関する情報	困難事例、多問題事例に関するケース情報提供、助言	介護予防に関する情報
335	136	61	45	102	162	58	104	17
100.0	40.6	18.2	13.4	30.4	48.4	17.3	31.0	5.1
	研修・講座等に関する情報	周辺事業所や医療機関に関する情報	定員の空き状況、空室・空床に関する情報	緊急時ショートステイや入院などの受入れ先情報	事業者連絡会等に関する運営サポート、バックアップ	ケアカンファレンス等の運営サポート、バックアップ	サービス展開のための土地・建物に関する情報	その他
	79	41	29	15	14	10	5	3
	23.6	12.2	8.7	4.5	4.2	3.0	1.5	0.9
							特に必要な情報・支援はない	不明
							5	14
							1.5	4.2

Q38.他の介護事業者とどのように連携していますか

調査数	勉強会、ケース検討会の共同開催	事業環境などの情報交換	交換研修の実施	定員オーバーや空きがある場合の紹介・連携	技術的に対応できない場合の紹介・連携	その他	特に連携していない	不明
335	79	101	31	99	30	16	98	20
100.0	23.6	30.1	9.3	29.6	9.0	4.8	29.3	6.0

Q39.地域のどのような組織と連携をとっていますか

調査数	自治会・町内会	ボランティアグループ	家族会	学校関係	企業	民生委員・児童委員	その他	連携をとっていない	不明
335	232	85	39	59	21	100	18	46	15
100.0	69.3	25.4	11.6	17.6	6.3	29.9	5.4	13.7	4.5

問 39 で 1～6 と回答した方にお伺いします。

問 39-1 地域とどのような内容で連携をとっていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 地域の行事への参加	5. 地元商店街や企業からの商品等購入
2. 講師として指導してもらう	6. 認知症サポーター養成講座の開催
3. 事業所イベントへの招待	7. 災害対策・避難訓練
4. 小学校・中学校の体験学習	8. その他(具体的に)

問 40 医療機関とどのように連携していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 入居者の健康管理や処置について助言を受けている	5. 認知症の周辺症状について助言を受けている
2. 往診してくれる医師・医療機関がある	6. その他
3. 急変時の受け入れを依頼できる病院を確保している	(具体的に)
4. 提携病院があり、一般的な入院を受け入れてもらっている	7. 連携していない

問 41 職員による利用者への虐待やハラスメントを防止するため、どのような工夫を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 研修などへの参加を促すとともに、研修内容を全職員に展開している	
2. ミーティング時に虐待防止マニュアル等を全職員で確認している	
3. 講師を招いて、研修を行うなど全職員への啓発活動をおこなっている	
4. 他事業所での事例等を全職員間で分析し、要因について共有する研修を行っている	
5. 全職員のストレス状況を把握し、未然防止に役立っている	
6. 気軽に相談ができる窓口を整えている	
7. その他(具体的に)	
8. 特に行っていない	

問 42 利用者による職員への暴力やハラスメントを防止するため、どのような工夫を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 契約条項などにハラスメントに対する対処方法を明記・説明し、未然防止に努めている	
2. 複数人対応を基本としている	
3. 日々の声かけなど小さな変化をとらえ情報を共有できる環境を整えている	
4. 非常通報機能を有するベルや笛等、周囲に知らせる機器等を携行している	
5. 暴力やハラスメントがあった場合は、事業所として対応できる環境を整えている	
6. 気軽に相談できる窓口を整えている	
7. その他(具体的に)	
8. 特に行っていない	

Q39-1.地域とどのような内容で連携をとっていますか

調査数	地域の行事への参加	講師として指導してもらう	事業所イベントへの招待	小学校・中学校の体験学習	地元商店街や企業からの商品等購入	認知症サポーター養成講座の開催	災害対策・避難訓練	その他	不明
267	200	11	90	45	25	22	125	15	17
100.0	74.9	4.1	33.7	16.9	9.4	8.2	46.8	5.6	6.4

Q40.医療機関とどのように連携していますか

調査数	入居者の健康管理や処置について助言を受けている	往診してくれる医師・医療機関がある	急変時の受け入れを依頼できる病院を確保している	提携病院があり、一般的な入院を受け入れてもらっている	認知症の周辺症状について助言を受けている	その他	連携していない	不明
335	263	314	104	118	94	5	5	6
100.0	78.5	93.7	31.0	35.2	28.1	1.5	1.5	1.8

Q41.職員による利用者への虐待やハラスメントを防止するための工夫

調査数	研修などへの参加を促すとともに、研修内容を全職員に展開している	ミーティング時に虐待防止マニュアル等を全職員で確認している	講師を招いて、研修を行うなど全職員への啓発活動をおこなっている	他事業所での事例等を全職員間で分析し、要因について共有する研修を行っている	全職員のストレス状況を把握し、未然防止に役立っている	気軽に相談ができる窓口を整えている	その他	特に行っていない	不明
335	269	230	33	52	151	144	9	4	6
100.0	80.3	68.7	9.9	15.5	45.1	43.0	2.7	1.2	1.8

Q42.利用者による職員への暴力やハラスメントを防止するための工夫

調査数	契約条項などにハラスメントに対する対処方法を明記・説明し、未然防止に努めている	複数人対応を基本としている	日々の声かけなど小さな変化をとらえ情報を共有できる環境を整えている	非常通報機能を有するベルや笛等、周囲に知らせる機器等を携行している	暴力やハラスメントがあった場合は、事業所として対応できる環境を整えている	気軽に相談できる窓口を整えている	その他	特に行っていない	不明
335	178	99	242	16	157	161	5	5	9
100.0	53.1	29.6	72.2	4.8	46.9	48.1	1.5	1.5	2.7

問 43 『介護助手』を知っていますか。(○はひとつ)

1. 名称も、どのようなものかも知っている
2. どのようなものかは、なんとなくだが知っている
3. 名称は聞いたことがあるが、どのようなものか知らない
4. 聞いたことがない

問 43 で 1～3 と回答した方にお伺いします。

問 43-1 『介護助手』の受入れについてどのように考えていますか。(○はひとつ)

1. すでに受け入れている	4. 必要だと思うが、具体的な検討などはしていない
2. 受け入れる準備をしている	5. 必要ではない
3. 受け入れるかの検討をしている	6. わからない

特定施設、グループホームの事業所の方にお伺いします

問 44 介護職員の身体的負担軽減や腰痛の予防、緩和等に効果があると思われるものについて(1)欄に○をしてください。また、貴事業所で導入している介護福祉機器について(2)欄に○をしてください。(あてはまるものすべてに○)

介護福祉機器	(1) 介護職員に とって効果がある	(2) 導入している
①移動用リフト(立位補助機(スタンディングマシン)を含む)	1	2
②自動車用車いすリフト (福祉車両の場合は、車両本体を除いたリフト部分のみ)	1	2
③ベッド(傾斜角度、高さが調整できるもの。マットレスは除く)	1	2
④座面昇降機能付車いす	1	2
⑤特殊浴槽(移動用リフトと共に稼動するもの、側面が開閉可能なもの)	1	2
⑥ストレッチャー(入浴用に使用するものを含む)	1	2
⑦シャワーキャリー	1	2
⑧昇降装置(人の移動に使用するものに限る)	1	2
⑨車いす体重計	1	2
⑩その他介護福祉機器(具体的名称:)	1	2
⑪いずれも導入していない	3	

Q43『介護助手』認知

調査数	名称も、どのようなものかも知っている	どのようなものかは、なんとなくだが知っている	名称は聞いたことがあるが、どのようなものか知らない	聞いたことがない	不明
335	112	85	85	44	9
100.0	33.4	25.4	25.4	13.1	2.7

Q43-1『介護助手』の受入れについて

調査数	すでに受け入れている	受け入れる準備をしている	受け入れるかの検討をしている	必要だと思うが、具体的な検討などはしていない	必要ではない	わからない	不明
282	40	7	11	95	54	72	3
100.0	14.2	2.5	3.9	33.7	19.1	25.5	1.1

Q44.介護職員の身体的負担軽減や腰痛の予防、緩和(1)介護職員にとって効果がある

調査数	移動用リフト(立位補助機(スタンディングマシン)を含む)	自動車用車いすリフト(福祉車両の場合は、車両本体を除いたリフト部分のみ)	ベッド(傾斜角度、高さが調整できるもの。マットレスは除く)	座面昇降機能付車いす	特殊浴槽(移動用リフトと共に稼動するもの、側面が開閉可能なもの)	ストレッチャー(入浴用に使用するものを含む)	シャワーキャリー	昇降装置(人の移動に使用するものに限る)
335	110	134	218	81	157	119	161	90
100.0	32.8	40.0	65.1	24.2	46.9	35.5	48.1	26.9
					車いす体重計	その他介護福祉機器	いずれも導入していない	不明
					186	4	0	70
					55.5	1.2	0.0	20.9

Q44.介護職員の身体的負担軽減や腰痛の予防、緩和(2)導入している

調査数	移動用リフト(立位補助機(スタンディングマシン)を含む)	自動車用車いすリフト(福祉車両の場合は、車両本体を除いたリフト部分のみ)	ベッド(傾斜角度、高さが調整できるもの。マットレスは除く)	座面昇降機能付車いす	特殊浴槽(移動用リフトと共に稼動するもの、側面が開閉可能なもの)	ストレッチャー(入浴用に使用するものを含む)	シャワーキャリー	昇降装置(人の移動に使用するものに限る)
335	6	90	229	11	82	80	142	26
100.0	1.8	26.9	68.4	3.3	24.5	23.9	42.4	7.8
					車いす体重計	その他介護福祉機器	いずれも導入していない	不明
					146	2	11	68
					43.6	0.6	3.3	20.3

問 45 問 44 を除いて次のような介護ロボットを導入していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 移乗介助(装着型)	7. 見守り支援
2. 移乗介助(非装着型)	8. コミュニケーションロボット
3. 移動支援(屋外型)	9. 食事支援
4. 移動支援(屋内型)	10. 服薬支援
5. 排泄支援	11. その他の介護支援
6. 入浴支援	12. いずれも導入していない → 問 46 へ

問 45 で 1～11 と回答した方にお伺いします。

問 45-1 最初に導入した時期を教えてください。(○はひとつ)

1. 平成 18 年以前	4. 平成 29 年～令和元年
2. 平成 19 年～平成 23 年	5. 令和 2 年～令和 3 年
3. 平成 24 年～平成 28 年	6. 令和 4 年以降(予定含む)

問 46 次のような ICT 機器等を活用した取組をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 記録から介護保険請求システムまで一貫するシステムの利用	6. 情報共有システムを用いた他の事業者との連携
2. 給与計算、シフト管理、勤怠管理を一元化したシステムの利用	7. 他の事業者とのデータ連携によりケアプランやサービス提供票等をやりとりするシステムの利用
3. グループウェア等のシステムによる報告・連絡・相談	8. その他()
4. 利用者情報(ケアプラン、介護記録等)の PC による共有	9. いずれも活用していない
5. 利用者情報(ケアプラン、介護記録等)のタブレットによる共有	

問 47 介護ロボット等、ICT 機器の導入や利用についてどのような課題・問題があるとお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 導入コストが高い	7. 清掃や消耗品管理などの維持管理が大変である
2. どのような介護ロボットや ICT 機器があるかわからない	8. 投資に見合うだけの効果がない
3. ケアに介護ロボットを活用することに違和感を覚える	9. 介護現場の実態に合う介護ロボットや ICT 機器がない、現場の役に立つ介護ロボットや ICT 機器がない
4. 技術的に使いこなせるか心配である	10. その他(具体的に)
5. 誤作動の不安がある	11. 課題・問題は特にない
6. 設置や保管等に場所をとられてしまう	

Q45.問44を除いて介護ロボット導入

調査数	移乗介助(装着型)	移乗介助(非装着型)	移動支援(屋外型)	移動支援(屋内型)	排泄支援	入浴支援	見守り支援	コミュニケーションロボット
335	4	1	1	0	0	1	11	6
100.0	1.2	0.3	0.3	0.0	0.0	0.3	3.3	1.8
				食事支援	服薬支援	その他の介護支援	いずれも導入していない	不明
				0	9	3	265	42
				0.0	2.7	0.9	79.1	12.5

Q45-1.導入した時期

調査数	平成18年以前	平成19年～平成23年	平成24年～平成28年	平成29年～令和元年	令和2年～令和3年	令和4年以降(予定含む)
28	2	1	2	2	13	8
100.0	7.1	3.6	7.1	7.1	46.4	28.6

Q46.ICT機器等を活用した取組

調査数	記録から介護保険請求システムまで一貫するシステムの利用	給与計算、シフト管理、勤怠管理を一元化したシステムの利用	グループウェア等のシステムによる報告・連絡・相談	利用者情報(ケアプラン、介護記録等)のPCによる共有	利用者情報(ケアプラン、介護記録等)のタブレットによる共有	情報共有システムを用いた他の事業者との連携	他の事業者とのデータ連携によりケアプランやサービス提供票等をやりとりするシステムの利用	その他
335	88	87	50	143	94	34	13	4
100.0	26.3	26.0	14.9	42.7	28.1	10.1	3.9	1.2
							いずれも活用していない	不明
							93	26
							27.8	7.8

Q47.介護ロボット等、ICT機器の導入や利用についての課題・問題

調査数	導入コストが高い	どのような介護ロボットやICT機器があるかわからない	ケアに介護ロボットを活用することに違和感を覚える	技術的に使いこなせるか心配である	誤作動の不安がある	設置や保管等に場所をとられてしまう	清掃や消耗品管理などの維持管理が大変である	投資に見合うだけの効果がない
335	206	64	58	146	76	83	80	59
100.0	61.5	19.1	17.3	43.6	22.7	24.8	23.9	17.6
					介護現場の実態に合う介護ロボットやICT機器がない、現場の役に立つ介護ロボットやICT機器がない	その他	課題・問題は特にない	不明
					33	10	23	37
					9.9	3.0	6.9	11.0

問 48 ボランティアの受入れ頻度とよこはまシニアボランティアポイント事業の実施状況について教えてください。(1)、(2)それぞれあてはまるものすべてに○)

受入れ頻度	(1) よこはまシニアボランティアポイント事業 (以下、ポイント事業)	(2) 左記以外
①ほぼ毎日	1	2
②週1日程度	1	2
③月2回程度	1	2
④月1回程度	1	2
⑤その他	1	2
⑥受け入れていない	3	→ 問 49 へ

問 48-1 事業所で受け入れているボランティアの活動内容をお選びください。(1)、(2)それぞれあてはまるものすべてに○)

活動内容	(1) ポイント事業	(2) 左記以外
①レクリエーションなどの指導、参加支援 (音楽の演奏・踊り等も含む)	1	2
②お茶出しや食堂内での配膳、下膳などの補助	1	2
③食事介助の補助	1	2
④散歩、外出、館内移動の補助	1	2
⑤事業所関係行事の手伝い	1	2
⑥話し相手	1	2
⑦洗濯物の整理や衣類の縫製	1	2
⑧入浴後の整髪、ドライヤーかけ、からだ拭き等	1	2
⑨事業所への利用者の送迎	1	2
⑩その他 (具体的にお書きください)	()	()

Q48.実施状況 (1)よこはまシニアボランティアポイント事業

調査数	ほぼ毎日	週1日程度	月2回程度	月1回程度	その他	受け入れていない	不明
335	0	6	1	1	24	250	53
100.0	0.0	1.8	0.3	0.3	7.2	74.6	15.8

Q48.実施状況 (2)左記以外

調査数	ほぼ毎日	週1日程度	月2回程度	月1回程度	その他	受け入れていない	不明
335	0	3	7	18	33	131	143
100.0	0.0	0.9	2.1	5.4	9.9	39.1	42.7

Q48-1.ボランティアの活動内容 (1)よこはまシニアボランティアポイント事業

調査数	レクリエーションなどの指導、参加支援 (音楽の演奏・踊り等も含む)	お茶出しや食堂内での配膳、下膳などの補助	食事介助の補助	散歩、外出、館内移動の補助	事業所関係行事の手伝い	話し相手	洗濯物の整理や衣類の縫製	入浴後の整髪、ドライヤーかけ、からだ拭き等
32	19	3	1	7	3	13	2	2
100.0	59.4	9.4	3.1	21.9	9.4	40.6	6.3	6.3
						事業所への利用者の送迎	その他	不明
						0	4	4
						0.0	12.5	12.5

Q48-1.ボランティアの活動内容 (2)左記以外

調査数	レクリエーションなどの指導、参加支援 (音楽の演奏・踊り等も含む)	お茶出しや食堂内での配膳、下膳などの補助	食事介助の補助	散歩、外出、館内移動の補助	事業所関係行事の手伝い	話し相手	洗濯物の整理や衣類の縫製	入浴後の整髪、ドライヤーかけ、からだ拭き等
61	45	4	0	2	2	12	2	0
100.0	73.8	6.6	0.0	3.3	3.3	19.7	3.3	0.0
						事業所への利用者の送迎	その他	不明
						0	7	7
						0.0	11.5	11.5

問 49 貴事業所を運営する上での問題点はどれですか。(〇は3つまで)

1. 今の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない
2. 経営（収支）が苦しく、労働条件や労働環境改善をしたくても出来ない
3. 良質な人材の確保が難しい
4. 新規利用者の確保が難しい
5. 介護従事者の介護業務に関する知識や技術が不足している
6. 介護従事者の介護業務に臨む意欲や姿勢に問題がある
7. 管理者の指導・管理能力が不足している
8. 教育・研修の時間が十分に取れない
9. 介護従事者間のコミュニケーションが不足している
10. 経営者・管理者と職員間のコミュニケーションが不足している
11. 利用者や利用者の家族の介護サービスに対する理解が不足している
12. 介護保険の改正等についての的確な情報や説明が得られない
13. 指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われている
14. 雇用管理等についての情報や指導が不足している
15. その他（具体的に _____）
16. 特に問題はない

今後の予定や市の事業等についてお伺いします。

グループホームの事業所の方にお伺いします。

問 50 横浜市各区が派遣する介護相談員の受入状況についてお伺いします。(〇はひとつ)

令和2年2月21日以降、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため施設派遣を中止しております。

以下の設問は施設派遣が再開された場合を想定しご回答ください。

介護相談員派遣事業は、介護相談員が利用者や利用者家族の日常的な不満などを聴き、その声を事業者へと伝える橋渡しを行うことで、苦情を未然に防ぎ、事業者が提供するサービスの質の向上に役立てることを目的に平成16年度から実施しています。

1. 施設派遣を中止する以前、介護相談員を受け入れていた → [問 50-1](#)
2. 介護相談員を受け入れていないが、今後受け入れたい
3. 当分、介護相談員を受け入れることが難しい（※新型コロナウイルス感染症拡大防止以外の理由）
理由：具体的に _____ → [最後](#)

Q49.施設を運営する上での問題点

調査数	今の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない	経営（収支）が苦しく、労働条件や労働環境改善をしたくても出来ない	良質な人材の確保が難しい	新規利用者の確保が難しい	介護従事者の介護業務に関する知識や技術が不足している	介護従事者の介護業務に臨む意欲や姿勢に問題がある	管理者の指導・管理能力が不足している	教育・研修の時間が十分に取れない
335 100.0	107 31.9	50 14.9	209 62.4	67 20.0	74 22.1	44 13.1	21 6.3	90 26.9
	介護従事者間のコミュニケーションが不足している	経営者・管理者と職員間のコミュニケーションが不足している	利用者や利用者の家族の介護サービスに対する理解が不足している	介護保険の改正等についての的確な情報や説明が得られない	指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われている	雇用管理等についての情報や指導が不足している	その他	特に問題はない
	16 4.8	11 3.3	26 7.8	8 2.4	34 10.1	4 1.2	8 2.4	13 3.9
								不明
								16 4.8

Q50.横浜市各区が派遣する介護相談員の受入状況

調査数	施設派遣を中止する以前、介護相談員を受け入れていた	介護相談員を受け入れていないが、今後受け入れたい	当分、介護相談員を受け入れることが難しい（※新型コロナウイルス感染症拡大防止以外の理由）	不明
335 100.0	28 8.4	110 32.8	62 18.5	135 40.3

問 50 で「1」、「2」と回答した方にお伺いします。

問 50-1 横浜市介護相談員派遣事業について、事業所での活用方法や受入れによる効果について、お伺いします。(あてはまるものすべてに○)

- (介護相談員を受け入れることで)
- 利用者からの不安や不満、疑問などを知る機会として役立てる
 - 利用者家族からの不安や不満、疑問などを知る機会として役立てる
 - 介護担当職員からの意見や考えを知る機会として役立てる
 - 利用者ケア計画の見直しなどの際に活用する
 - 事業所での接遇研修などの際に活用する
 - 地域や地域住民との交流を図るきっかけとなる
 - ボランティアを受け入れるきっかけとなる
 - 活用方法がわからず、役立てることが難しい
 - その他(具体的に)

すべての事業所にお伺いします。

最後に、介護保険制度に対する要望・ご意見など、テーマを設定いただき、ご自由にご記入ください。

[] について]

ご協力ありがとうございました。

Q50-1 横浜市介護相談員派遣事業について、事業所での活用方法や受入れによる効果

調査数	利用者からの不安や不満、疑問などを知る機会として役立てる	利用者家族からの不安や不満、疑問などを知る機会として役立てる	介護担当職員からの意見や考えを知る機会として役立てる	利用者ケア計画の見直しなどの際に活用する	事業所での接遇研修などの際に活用する	地域や地域住民との交流を図るきっかけとなる	ボランティアを受け入れるきっかけとなる	活用方法がわからず、役立てることが難しい
138	85	65	54	34	35	42	40	9
100.0	61.6	47.1	39.1	24.6	25.4	30.4	29.0	6.5
							その他	不明
							1	7
							0.7	5.1

施設種別

調査数	認知症高齢者グループホーム	住宅型有料老人ホーム	介護付有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅
335	161	46	89	39
100.0	48.1	13.7	26.6	11.6

所在地

	調査数	青葉区	旭区	泉区	磯子区	神奈川区	金沢区
全体	335	32	27	21	17	16	8
	100.0	9.6	8.1	6.3	5.1	4.8	2.4
施設種別	認知症高齢者グループホーム	161	14	18	18	7	5
		100.0	8.7	11.2	11.2	4.3	3.1
	住宅型有料老人ホーム	46	2	2	0	4	2
		100.0	4.3	4.3	0.0	8.7	4.3
介護付有料老人ホーム	89	12	5	3	5	4	3
	100.0	13.5	5.6	3.4	5.6	4.5	3.4
サービス付き高齢者向け住宅	39	4	2	0	1	5	1
	100.0	10.3	5.1	0.0	2.6	12.8	2.6

	調査数	港南区	港北区	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区
全体	335	23	23	11	17	28	17
	100.0	6.9	6.9	3.3	5.1	8.4	5.1
施設種別	認知症高齢者グループホーム	161	9	9	3	11	15
		100.0	5.6	5.6	1.9	6.8	9.3
	住宅型有料老人ホーム	46	4	4	3	3	3
		100.0	8.7	8.7	6.5	6.5	6.5
介護付有料老人ホーム	89	7	5	3	2	6	4
	100.0	7.9	5.6	3.4	2.2	6.7	4.5
サービス付き高齢者向け住宅	39	3	5	2	1	4	3
	100.0	7.7	12.8	5.1	2.6	10.3	7.7

	調査数	戸塚区	中区	西区	保土ヶ谷区	緑区	南区
全体	335	33	10	2	15	23	12
	100.0	9.9	3.0	0.6	4.5	6.9	3.6
施設種別	認知症高齢者グループホーム	161	16	2	1	7	9
		100.0	9.9	1.2	0.6	4.3	5.6
	住宅型有料老人ホーム	46	4	3	0	2	4
		100.0	8.7	6.5	0.0	4.3	8.7
介護付有料老人ホーム	89	10	5	1	5	7	2
	100.0	11.2	5.6	1.1	5.6	7.9	2.2
サービス付き高齢者向け住宅	39	3	0	0	1	3	1
	100.0	7.7	0.0	0.0	2.6	7.7	2.6

事業継続年月

	調査数	3年未満	3年以上
全体	335	28	307
	100.0	8.4	91.6
施設種別	認知症高齢者グループホーム	161	9
		100.0	5.6
	住宅型有料老人ホーム	46	9
		100.0	19.6
介護付有料老人ホーム	89	6	83
	100.0	6.7	93.3
サービス付き高齢者向け住宅	39	4	35
	100.0	10.3	89.7

介護サービス事業所（訪問・通所系）調査

12

貴事業所の概要についてお伺いします。

問1 貴事業所のお名前、介護保険事業所番号等をご記入ください。

※ 封筒の宛名記載の事業所名をご記入ください。

事業所名		介護保険事業所番号																		
記入者職氏名		電話番号																		

問2 市内で現在提供しているサービス等について、あてはまる番号に○をつけてください。（それぞれあてはまるものに○）

区分	現在実施しているサービス	区分	現在実施しているサービス
居宅介護支援	1	福祉用具貸与	1
介護予防支援	1	介護予防福祉用具貸与	1
訪問介護	1	特定福祉用具販売	1
横浜市訪問介護相当サービス	1	特定介護予防福祉用具販売	1
横浜市訪問型生活援助サービス	1	特定施設入居者生活介護	1
訪問入浴介護	1	介護予防特定施設入居者生活介護	1
介護予防訪問入浴介護	1	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1
訪問看護	1	地域密着型通所介護	1
介護予防訪問看護	1	夜間対応型訪問介護	1
訪問リハビリテーション	1	認知症対応型通所介護	1
介護予防訪問リハビリテーション	1	介護予防認知症対応型通所介護	1
居宅療養管理指導	1	小規模多機能型居宅介護	1
介護予防居宅療養管理指導	1	介護予防小規模多機能型居宅介護	1
通所介護	1	看護小規模多機能型居宅介護	1
横浜市通所介護相当サービス	1	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	1
通所リハビリテーション	1	介護予防認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	1

次ページに続きます

Q2. 市内で現在提供しているサービス(1)現在実施しているサービス

調査数	居宅介護支援	介護予防支援	訪問介護	横浜市訪問介護相当サービス	横浜市訪問型生活援助サービス	訪問入浴介護	介護予防訪問入浴介護	訪問看護
1487 100.0	206 13.9	125 8.4	432 29.1	229 15.4	76 5.1	23 1.5	20 1.3	243 16.3
	介護予防訪問看護	訪問リハビリテーション	介護予防訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	介護予防居宅療養管理指導	通所介護	横浜市通所介護相当サービス	通所リハビリテーション
	162 10.9	79 5.3	61 4.1	9 0.6	6 0.4	274 18.4	302 20.3	77 5.2
	介護予防通所リハビリテーション	短期入所生活介護	介護予防短期入所生活介護	短期入所療養介護	介護予防短期入所療養介護	住宅改修	福祉用具貸与	介護予防福祉用具貸与
	61 4.1	17 1.1	9 0.6	30 2.0	25 1.7	4 0.3	17 1.1	11 0.7
	特定福祉用具販売	特定介護予防福祉用具販売	特定施設入居者生活介護	介護予防特定施設入居者生活介護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	地域密着型通所介護	夜間対応型訪問介護	認知症対応型通所介護
	12 0.8	10 0.7	2 0.1	0 0.0	32 2.2	320 21.5	27 1.8	88 5.9
	介護予防認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護	介護予防小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	介護予防認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	地域密着型特定施設入居者生活介護	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
	24 1.6	81 5.4	49 3.3	9 0.6	20 1.3	12 0.8	0 0.0	0 0.0
						介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設（介護医療院）
						13 0.9	28 1.9	0 0.0

区 分	現在実施しているサービス	区 分	現在実施しているサービス
介護予防通所リハビリテーション	1	地域密着型特定施設入居者生活介護	1
短期入所生活介護	1	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1
介護予防短期入所生活介護	1	介護老人福祉施設	1
短期入所療養介護	1	介護老人保健施設	1
介護予防短期入所療養介護	1	介護療養型医療施設（介護医療院）	1
住宅改修	1		

問3 貴事業所の横浜市内でのサービス提供地域をお選びください。（あてはまるものすべてに○）

1. 青葉区	6. 金沢区	11. 都筑区	16. 保土ヶ谷区
2. 旭区	7. 港南区	12. 鶴見区	17. 緑区
3. 泉区	8. 港北区	13. 戸塚区	18. 南区
4. 磯子区	9. 栄区	14. 中区	
5. 神奈川区	10. 瀬谷区	15. 西区	

問4 貴事業所の介護サービス事業について今後どのような方向性をお考えですか。

定員数（利用者数）、職員数のそれぞれについてお答えください。

（それぞれ該当する番号1つに○）

	増やす (拡大する)	減らす (縮小する)	わからない ・変化なし
① 定員数（利用者数）	1	2	3
② 職員数	1	2	3

Q3. サービス提供地域

調査数	青葉区	旭区	泉区	磯子区	神奈川区	金沢区	港南区	港北区	
1487	196	241	171	177	210	126	201	194	
100.0	13.2	16.2	11.5	11.9	14.1	8.5	13.5	13.0	
	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区	戸塚区	中区	西区	保土ヶ谷区	
	131	141	166	180	229	168	152	228	
	8.8	9.5	11.2	12.1	15.4	11.3	10.2	15.3	
	緑区	南区	不明						
	172	201	13						
	11.6	13.5	0.9						

Q4. 介護サービス事業について今後の方向性(1)定員数(利用者数)

調査数	増やす(拡大する)	減らす(縮小する)	わからない・変化なし	不明
1487	519	37	919	12
100.0	34.9	2.5	61.8	0.8

Q4. 介護サービス事業について今後の方向性(2)職員数

調査数	増やす(拡大する)	減らす(縮小する)	わからない・変化なし	不明
1487	676	27	746	38
100.0	45.5	1.8	50.2	2.6

職員、人材確保、処遇等についてお伺いします。

問5 令和4年10月1日時点の貴事業所の職員数についてご記入ください。

職員数とは、貴事業所が実施する全てのサービスに従事する者（正規・非正規職員問わず）の総数です。括弧内には男性職員数を記入してください。また、職員の市内在住状況を教えてください。ただし、派遣労働者、委託業務従事者は含みません。該当者がいない場合は空白で結構です。

- 注1) 資格ではなく、従事している仕事(職種)に着目して入力してください。
 なお、兼務している職員については、主として従事する仕事(職種)にのみ入力してください。
 注2) 正規職員・非正規職員とは
 正規職員(雇用している労働者で雇用期間の定めのない者)
 非正規職員(正規職員以外の労働者(契約、嘱託、パートなど))
 注3) PT(理学療法士)、OT(作業療法士)、ST(言語聴覚士)等の機能訓練指導員

()内は男性職員数

職種別(下記の職種のみ)(注1)	正規職員(注2)	非正規職員(注2)
①介護職員	人(人)	人(人)
②看護職員	人(人)	人(人)
③生活相談員	人(人)	人(人)
④PT・OT・ST等(注3)	人(人)	人(人)
⑤ケアマネジャー	人(人)	人(人)
⑥その他職員	人(人)	人(人)
職員総人数 正規職員 : 市内在住 ()人、市外在住 ()人 非正規職員: 市内在住 ()人、市外在住 ()人		

問5-1 貴事業所における外国人介護職員の採用人数についてご記入ください。

(令和4年10月1日現在、0人の場合は空白で結構です)

	採用人数 (人)									
	インドネシア	フィリピン	ベトナム	中国	ミャンマー	カンボジア	ネパール	モンゴル	タイ	その他
在留資格										
①『特定活動』(経済連携協定(EPA))										
②『介護』										
③『技能実習』(介護)										
④『特定技能1号』(介護)										
⑤『留学』										
⑥その他 (具体的に)										

Q5. 介護職員(1)正規職員【クラス分け】	調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
	1487	43	222	655	132	63	9	19	2	0	0	342
	100.0	2.9	14.9	44.0	8.9	4.2	0.6	1.3	0.1	0.0	0.0	23.0
Q5. 介護職員(2)正規職員男性職員数【クラス分け】	調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
	1487	157	277	278	29	23	3	0	0	0	0	720
	100.0	10.6	18.6	18.7	2.0	1.5	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	48.4
Q5. 介護職員(3)非正規職員【クラス分け】	調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
	1487	29	70	360	319	253	55	39	11	8	1	342
	100.0	2.0	4.7	24.2	21.5	17.0	3.7	2.6	0.7	0.5	0.1	23.0
Q5. 介護職員(4)非正規職員男性職員数【クラス分け】	調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
	1487	210	231	241	26	17	2	2	1	0	0	757
	100.0	14.1	15.5	16.2	1.7	1.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	50.9
Q5. 看護職員(5)正規職員【クラス分け】	調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
	1487	131	165	197	60	27	1	0	0	0	0	906
	100.0	8.8	11.1	13.2	4.0	1.8	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	60.9
Q5. 看護職員(6)正規職員男性職員数【クラス分け】	調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
	1487	238	55	31	2	0	0	0	0	0	0	1161
	100.0	16.0	3.7	2.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	78.1
Q5. 看護職員(7)非正規職員【クラス分け】	調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
	1487	57	176	474	75	26	2	0	0	0	0	677
	100.0	3.8	11.8	31.9	5.0	1.7	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	45.5
Q5. 看護職員(8)非正規職員男性職員数【クラス分け】	調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
	1487	289	36	34	4	1	0	0	0	0	0	1123
	100.0	19.4	2.4	2.3	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.5
Q5. 生活相談員(9)正規職員【クラス分け】	調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
	1487	68	299	320	9	0	0	0	0	0	0	791
	100.0	4.6	20.1	21.5	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	53.2
Q5. 生活相談員(10)正規職員男性職員数【クラス分け】	調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
	1487	128	250	91	0	0	1	0	0	0	0	1017
	100.0	8.6	16.8	6.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	68.4
Q5. 生活相談員(11)非正規職員【クラス分け】	調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
	1487	168	116	71	1	0	0	0	0	0	0	1131
	100.0	11.3	7.8	4.8	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	76.1
Q5. 生活相談員(12)非正規職員男性職員数【クラス分け】	調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
	1487	207	33	5	0	0	0	0	0	0	0	1242
	100.0	13.9	2.2	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	83.5
Q5. PT・OT・ST等(13)正規職員【クラス分け】	調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
	1487	148	133	165	42	19	2	0	0	0	0	978
	100.0	10.0	8.9	11.1	2.8	1.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	65.8
Q5. PT・OT・ST等(14)正規職員男性職員数【クラス分け】	調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
	1487	151	118	125	16	3	0	0	0	0	0	1074
	100.0	10.2	7.9	8.4	1.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	72.2
Q5. PT・OT・ST等(15)非正規職員【クラス分け】	調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
	1487	155	154	118	13	3	1	0	0	0	0	1043
	100.0	10.4	10.4	7.9	0.9	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	70.1
Q5. PT・OT・ST等(16)非正規職員男性職員数【クラス分け】	調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
	1487	185	94	41	4	0	0	0	0	0	0	1163
	100.0	12.4	6.3	2.8	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	78.2

Q5. ケアマネジャー(17)正規職員【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
1487	162	106	92	13	0	0	0	0	0	0	1114
100.0	10.9	7.1	6.2	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	74.9
Q5. ケアマネジャー(18)正規職員男性職員数【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
1487	176	60	19	1	0	0	0	0	0	0	1231
100.0	11.8	4.0	1.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	82.8
Q5. ケアマネジャー(19)非正規職員【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
1487	189	65	29	1	0	0	0	0	0	0	1203
100.0	12.7	4.4	2.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.9
Q5. ケアマネジャー(20)非正規職員男性職員数【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
1487	188	11	2	0	0	0	0	0	0	0	1286
100.0	12.6	0.7	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	86.5
Q5. その他職員(21)正規職員【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
1487	142	231	108	32	14	1	0	0	0	0	959
100.0	9.5	15.5	7.3	2.2	0.9	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	64.5
Q5. その他職員(22)正規職員男性職員数【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
1487	184	95	49	8	1	0	0	0	0	0	1150
100.0	12.4	6.4	3.3	0.5	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	77.3
Q5. その他職員(23)非正規職員【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
1487	67	177	240	82	62	6	0	0	0	0	853
100.0	4.5	11.9	16.1	5.5	4.2	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	57.4
Q5. その他職員(24)非正規職員男性職員数【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
1487	135	99	149	49	10	0	0	0	0	0	1045
100.0	9.1	6.7	10.0	3.3	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	70.3
Q5. 職員総人数正規職員(25)市内在住【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
1487	17	155	722	218	150	23	10	7	4	0	181
100.0	1.1	10.4	48.6	14.7	10.1	1.5	0.7	0.5	0.3	0.0	12.2
Q5. 職員総人数正規職員(26)市外在住【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
1487	189	323	298	30	24	4	3	0	0	0	616
100.0	12.7	21.7	20.0	2.0	1.6	0.3	0.2	0.0	0.0	0.0	41.4
Q5. 職員総人数非正規職員(27)市内在住【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
1487	14	78	345	298	314	101	68	16	8	0	245
100.0	0.9	5.2	23.2	20.0	21.1	6.8	4.6	1.1	0.5	0.0	16.5
Q5. 職員総人数非正規職員(28)市外在住【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2～5人	6～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～69人	70～99人	100人以上	不明
1487	250	243	198	27	18	8	3	1	0	1	738
100.0	16.8	16.3	13.3	1.8	1.2	0.5	0.2	0.1	0.0	0.1	49.6

Q5-1

	インドネシア		フィリピン		ベトナム		中国		ミャンマー		カンボジア		ネパール		モンゴル		タイ		その他		
	調査数	合計人数	調査数	合計人数	調査数	合計人数	調査数	合計人数	調査数	合計人数	調査数	合計人数	調査数	合計人数	調査数	合計人数	調査数	合計人数	調査数	合計人数	
①特定活動	4	10	2	4	3	3															
②介護	2	2	24	47	2	2	17	25	2	3	1	1	3	5	0	0	2	2	14	35	
③技能実習	6	16	1	3	7	13	2	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	
④特定技能1号	6	13	1	7	9	13	5	7	1	2	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	
⑤留学	0	0	0	0	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	
⑥その他	0	0	19	23	2	2	8	8	0	0	0	0	4	7	1	1	2	2	11	35	

問6 非正規職員の賃金形態をお選びください。(あてはまるものすべてに○)

1. 時間給	3. 月給
2. 日給	4. 非正規職員はいない

問7 貴事業所では、従業員の職種別(注1)過不足の状況はいかがですか。
(それぞれの職種で○はひとつ)

「不足」とは、募集を必要としていることを指します。

注1) 資格ではなく、従事している仕事(職種)に着目してください。

注2) PT(理学療法士)、OT(作業療法士)、ST(言語聴覚士)等の機能訓練指導員

職種別(注1)	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はいない
①介護職員(訪問介護員含む)	1	2	3	4	5	6
②看護職員	1	2	3	4	5	6
③生活相談員	1	2	3	4	5	6
④PT・OT・ST等(注2)	1	2	3	4	5	6
⑤ケアマネジャー	1	2	3	4	5	6
⑥その他職員	1	2	3	4	5	6
⑦全体でみた場合(上記①～⑥について)	1	2	3	4	5	6

問7の⑦で1～3と回答した方にお伺いします。

問7-1 「⑦全体でみた場合」で、不足している理由はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 採用が困難である	3. 事業拡大によって必要人数が増大した
2. 離職率が高い(定着率が低い)	4. その他(具体的に)

問7-1で「1. 採用が困難である」を選択した方にお伺いします。

問7-2 職員の採用が困難な原因は何にあるとお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 他産業に比べて、労働要件が良くない	4. その他(具体的に)
2. 景気が良いため、介護業界へ人材が集まらない	5. わからない
3. 同業他社との人材獲得競争が厳しい	

Q6. 非正規職員の賃金形態

調査数	時間給	日給	月給	非正規職員はいない	不明
1487	1344	61	109	63	18
100.0	90.4	4.1	7.3	4.2	1.2

Q7. 従業員の種別過不足状況(1)介護職員

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はいない	不明
1487	218	331	345	310	10	92	181
100.0	14.7	22.3	23.2	20.8	0.7	6.2	12.2

Q7. 従業員の種別過不足状況(2)看護職員

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はいない	不明
1487	73	155	199	430	3	192	435
100.0	4.9	10.4	13.4	28.9	0.2	12.9	29.3

Q7. 従業員の種別過不足状況(3)生活相談員

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はいない	不明
1487	19	46	99	427	4	265	627
100.0	1.3	3.1	6.7	28.7	0.3	17.8	42.2

Q7. 従業員の種別過不足状況(4)PT・OT・ST等

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はいない	不明
1487	27	65	120	279	4	389	603
100.0	1.8	4.4	8.1	18.8	0.3	26.2	40.6

Q7. 従業員の種別過不足状況(5)ケアマネジャー

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はいない	不明
1487	21	45	61	143	1	504	712
100.0	1.4	3.0	4.1	9.6	0.1	33.9	47.9

Q7. 従業員の種別過不足状況(6)その他職員

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はいない	不明
1487	19	62	154	422	4	215	611
100.0	1.3	4.2	10.4	28.4	0.3	14.5	41.1

Q7. 従業員の種別過不足状況(7)全体でみた場合(上記全てについて)

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はいない	不明
1487	76	213	335	320	4	42	497
100.0	5.1	14.3	22.5	21.5	0.3	2.8	33.4

Q7-1. 「全体でみた場合」で、不足している理由

調査数	採用が困難である	離職率が高い(定着率が低い)	事業拡大によって必要人数が増大した	その他	不明
624	537	135	68	79	6
100.0	86.1	21.6	10.9	12.7	1.0

Q7-2. 職員の採用が困難な原因

調査数	他産業に比べて、労働要件が良くない	景気が良いため、介護業界へ人材が集まらない	同業他社との人材獲得競争が厳しい	その他	わからない
537	322	78	286	119	37
100.0	60.0	14.5	53.3	22.2	6.9

問8 人材確保の状況について、人材派遣会社または人材紹介会社の活用によって確保した人数は何名ですか。該当者がいない場合は空白で結構です。

	介護職員	看護職員	その他
① 正規職員	人	人	人
うち人材紹介会社の活用	人	人	人
② 非正規職員	人	人	人
うち人材紹介会社の活用	人	人	人
人材派遣会社の活用	人	人	人

問9 貴事業所では職員の採用に際し、どのような工夫を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. ハローワークや福祉人材センターを頻繁に訪れている	8. 新規卒卒者や若手にこだわらないようにしている
2. 求人に際し、仕事そのものの魅力や労働条件を掲載する等求人内容を工夫している	9. 近隣の事業所と連携し、採用に関し情報交換をしている
3. 職員や知人と連絡を密にとり、人材についての情報の提供を受けている	10. 福祉系教育機関への働きかけを積極的に行っている
4. 採用について、従来より多くコストをかけている	11. 採用説明会や職場体験を実施している
5. 自事業所の理念やアピールポイントをHP等を介して対外的に発信している	12. 内定後のフォローをしっかり行っている
6. 介護資格や介護経験の有無にこだわらないようにしている	13. くるみん認定など、国や地方自治体の認定等取得している
7. 福祉系の教育機関出身者にこだわらないようにしている	14. 子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)
	15. その他(具体的に)
	16. 特に行っていない

Q8. 人材確保状況①正規職員(1)介護職員【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
1487	56	76	99	15	8	2	3	0	0	0	1228
100.0	3.8	5.1	6.7	1.0	0.5	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	82.6
Q8. 人材確保状況①正規職員(2)看護職員【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
1487	52	51	71	13	7	0	0	0	0	0	1293
100.0	3.5	3.4	4.8	0.9	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	87.0
Q8. 人材確保状況①正規職員(3)その他【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
1487	55	21	35	7	4	1	1	0	0	0	1363
100.0	3.7	1.4	2.4	0.5	0.3	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	91.7
Q8. 人材確保状況①うち人材紹介会社の活用(1)介護職員【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
1487	54	65	48	5	2	1	0	0	0	0	1312
100.0	3.6	4.4	3.2	0.3	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	88.2
Q8. 人材確保状況①うち人材紹介会社の活用(2)看護職員【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
1487	55	42	46	6	3	0	0	0	0	0	1335
100.0	3.7	2.8	3.1	0.4	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	89.8
Q8. 人材確保状況①うち人材紹介会社の活用(3)その他【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
1487	54	21	19	3	1	0	0	0	0	0	1389
100.0	3.6	1.4	1.3	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	93.4
Q8. 人材確保状況②非正規職員(1)介護職員【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
1487	59	82	78	20	19	5	4	2	0	0	1218
100.0	4.0	5.5	5.2	1.3	1.3	0.3	0.3	0.1	0.0	0.0	81.9
Q8. 人材確保状況②非正規職員(2)看護職員【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
1487	43	61	58	8	6	1	0	0	0	0	1310
100.0	2.9	4.1	3.9	0.5	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	88.1
Q8. 人材確保状況②非正規職員(3)その他【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
1487	50	22	32	5	4	0	0	0	0	0	1374
100.0	3.4	1.5	2.2	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	92.4
Q8. 人材確保状況②うち人材紹介会社の活用(1)介護職員【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
1487	61	61	43	6	0	2	0	0	0	0	1314
100.0	4.1	4.1	2.9	0.4	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	88.4
Q8. 人材確保状況②うち人材紹介会社の活用(2)看護職員【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
1487	51	44	34	4	0	0	0	0	0	0	1354
100.0	3.4	3.0	2.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	91.1
Q8. 人材確保状況②うち人材紹介会社の活用(3)その他【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
1487	58	14	13	1	0	0	0	0	0	0	1401
100.0	3.9	0.9	0.9	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	94.2
Q8. 人材確保状況人材派遣会社の活用(1)介護職員【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
1487	67	43	29	4	2	0	0	0	0	0	1342
100.0	4.5	2.9	2.0	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	90.2
Q8. 人材確保状況人材派遣会社の活用(2)看護職員【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
1487	58	24	19	2	1	0	1	0	0	0	1382
100.0	3.9	1.6	1.3	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	92.9
Q8. 人材確保状況人材派遣会社の活用(3)その他【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
1487	58	6	2	0	0	0	0	0	0	0	1421
100.0	3.9	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	95.6
Q8. 合計【クラス分け】											
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
1487	47	117	218	53	66	22	8	2	2	3	949
100.0	3.2	7.9	14.7	3.6	4.4	1.5	0.5	0.1	0.1	0.2	63.8

問10 貴事業所において、過去3年間、介護職員の採用において利用した手段・媒体はどれですか。
(それぞれ○はひとつ)

	利用の有無	
	利用した	利用していない
①学校からの紹介	1	2
②ハローワーク	1	2
③広告(折込チラシ等含む)	1	2
④民間の職業紹介	1	2
⑤知人等からの紹介	1	2

問11 貴事業所において、過去3年間、介護職員の採用において利用した手段・媒体に関し、次のような課題がありましたか。(あてはまるものすべてに○)

	課題について				
	手数料等の金額	希望する人材が紹介されない	すぐに辞めてしまうことが多い(6か月程度以内)	その他	課題は特になかった
①学校からの紹介		2	3	4	5
②ハローワーク		2	3	4	5
③広告(折込チラシ等含む)	1	2	3	4	5
④民間の職業紹介	1	2	3	4	5
⑤知人等からの紹介	1	2	3	4	5

問12 人材派遣会社や人材紹介会社を活用した場合と、それ以外の方法(ハローワークや求人広告等)の場合について、人材の確保にかかる費用は、年間どのくらいですか。令和3年度の実績をご記入してください。

利用していない場合や不明の場合は、空白で結構です。

(年額)

	人材派遣会社を活用	人材紹介会社を活用	左記以外の方法
人材の確保にかかる年間の費用(令和3年度)	円	円	円

Q9. 職員採用の工夫

調査数	ハローワークや福祉人材センターを頻りに訪れている	求人に対し、仕事そのものの魅力や労働条件を掲載する等求人内容を工夫している	職員や知人と連絡を密にとり、人材についての情報の提供を受けている	採用について、従来より多くコストをかけている	自事業所の理念やアピールポイントをHP等を介して対外的に発信している	介護資格や介護経験の有無にこだわらないようにしている	福祉系の教育機関出身者にこだわらないようにしている	新規卒卒者や若手にこだわらないようにしている
1487 100.0	397 26.7	650 43.7	620 41.7	301 20.2	533 35.8	629 42.3	471 31.7	532 35.8
	近隣の事業所と連携し、採用に関し情報交換をしている	福祉系教育機関への働きかけを積極的に行っている	採用説明会や職場体験を実施している	内定後のフォローをしっかりと行っている	くるみん認定など、国や地方自治体の認定等を取っている	子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)	その他	特に行っていない
	127 8.5	81 5.4	164 11.0	379 25.5	14 0.9	92 6.2	71 4.8	105 7.1
								不明 42 2.8

Q10. 介護職員の採用において利用した手段・媒体(1)学校からの紹介

調査数	利用した	利用していない	不明
1487 100.0	127 8.5	851 57.2	509 34.2

Q10. 介護職員の採用において利用した手段・媒体(2)ハローワーク

調査数	利用した	利用していない	不明
1487 100.0	762 51.2	400 26.9	325 21.9

Q10. 介護職員の採用において利用した手段・媒体(3)広告(折込チラシ等含む)

調査数	利用した	利用していない	不明
1487 100.0	739 49.7	409 27.5	339 22.8

Q10. 介護職員の採用において利用した手段・媒体(4)民間の職業紹介

調査数	利用した	利用していない	不明
1487 100.0	579 38.9	503 33.8	405 27.2

Q10. 介護職員の採用において利用した手段・媒体(5)知人等からの紹介

調査数	利用した	利用していない	不明
1487 100.0	898 60.4	293 19.7	296 19.9

Q11. 介護職員の採用において利用した手段・媒体の課題(1)学校からの紹介

調査数	手数料等の金額	希望する人材が紹介されない	すぐに辞めてしまうことが多い(6か月程度以内)	その他	課題は特になかった	不明
1487 100.0	0 0.0	81 5.4	19 1.3	50 3.4	238 16.0	1105 74.3

Q11. 介護職員の採用において利用した手段・媒体の課題(2)ハローワーク

調査数	手数料等の金額	希望する人材が紹介されない	すぐに辞めてしまうことが多い(6か月程度以内)	その他	課題は特になかった	不明
1487 100.0	0 0.0	331 22.3	139 9.3	51 3.4	293 19.7	728 49.0

Q11. 介護職員の採用において利用した手段・媒体の課題(3)広告(折込チラシ等含む)

調査数	手数料等の金額	希望する人材が紹介されない	すぐに辞めてしまうことが多い(6か月程度以内)	その他	課題は特になかった	不明
1487 100.0	317 21.3	237 15.9	152 10.2	62 4.2	236 15.9	664 44.7

Q11. 介護職員の採用において利用した手段・媒体の課題(4)民間の職業紹介

調査数	手数料等の金額	希望する人材が紹介されない	すぐに辞めてしまうことが多い(6か月程度以内)	その他	課題は特になかった	不明
1487 100.0	430 28.9	200 13.4	178 12.0	34 2.3	174 11.7	718 48.3

Q11. 介護職員の採用において利用した手段・媒体の課題(5)知人等からの紹介

調査数	手数料等の金額	希望する人材が紹介されない	すぐに辞めてしまうことが多い(6か月程度以内)	その他	課題は特になかった	不明
1487 100.0	24 1.6	101 6.8	60 4.0	75 5.0	539 36.2	709 47.7

Q12. 人材の確保にかかる費用(1)人材派遣会社を活用【クラス分け】

調査数	0円	1~100万円未満	100~300万円未満	300~500万円未満	500~1000万円未満	1000~2000万円未満	2000万円以上	不明
1487 100.0	73 4.9	26 1.7	19 1.3	11 0.7	9 0.6	7 0.5	3 0.2	1339 90.0

調査数	平均
75 100.0	4,371,923

Q12. 人材の確保にかかる費用(2)人材紹介会社を活用【クラス分け】

調査数	0円	1~100万円未満	100~300万円未満	300~500万円未満	500~1000万円未満	1000~2000万円未満	2000万円以上	不明
1487 100.0	59 4.0	117 7.9	81 5.4	11 0.7	18 1.2	3 0.2	1 0.1	1197 80.5

調査数	平均
231 100.0	1,601,220

Q12. 人材の確保にかかる費用(3)左記以外の方法【クラス分け】

調査数	0円	1~100万円未満	100~300万円未満	300~500万円未満	500~1000万円未満	1000~2000万円未満	2000万円以上	不明
1487 100.0	60 4.0	182 12.2	22 1.5	5 0.3	0 0.0	1 0.1	0 0.0	1217 81.8

調査数	平均
210 100.0	492,271

問 13 介護職員の人材不足に対し、新たな人材の確保に向けた自治体の取組として、効果的と考えるものは次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 若い世代に向けた介護業界のイメージアップ	8. 潜在介護福祉士の（再）就職支援
2. 職場体験を実施する事業所への支援	9. ロボット・ICT 活用による職員の負担軽減への支援
3. 新たに介護業界へ就職をする者が資格取得等に関する研修参加をする際の支援	10. 子育て世代が働きやすい環境の整備への支援
4. 多様な働き方（時短、夜間のみ、週休3日）の導入支援	11. 合同就職相談会の実施
5. 元気高齢者（ボランティア等）の受入れ支援	12. 介護福祉士養成施設に対する財政的支援
6. 介護助手の受入れ支援	13. その他（ ）
7. 外国人介護職員の受入れ支援	14. 自治体からの支援がなくても人材の確保ができています

問 14 介護職員の人材不足に対し、在職している職員の定着のための自治体の取組として、効果的と考えるものは次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

1. キャリアアップに資する研修の実施、参加への支援（初任者研修、実務者研修等含む）	6. 多様な働き方（時短、夜間のみ、週休3日）の導入支援
2. 参加しやすい研修の実施（出前研修、オンライン研修）	7. ロボット・ICT 等の導入支援による職員の負担軽減
3. 介護職員に対する悩み相談窓口の設置	8. 子育て世代が働きやすい環境の整備支援
4. 介護の職場におけるハラスメント対策（啓発・研修）の実施	9. その他（ ）
5. 若手職員等の交流の推進など、横のつながりの創出	10. 自治体からの支援がなくても定着を図ることができる

Q13.人材の確保に向けた自治体の取組として、効果的と考えるもの

調査数	若い世代に向けた介護業界のイメージアップ	職場体験を実施する事業所への支援	新たに介護業界へ就職をする者が資格取得等に関する研修参加をする際の支援	多様な働き方（時短、夜間のみ、週休3日）の導入支援	元気高齢者（ボランティア等）の受入れ支援	介護助手の受入れ支援	外国人介護職員の受入れ支援	潜在介護福祉士の（再）就職支援	
1487 100.0	965 64.9	440 29.6	644 43.3	616 41.4	319 21.5	142 9.5	217 14.6	292 19.6	
			ロボット・ICT 活用による職員の負担軽減への支援	子育て世代が働きやすい環境の整備への支援	合同就職相談会の実施	介護福祉士養成施設に対する財政的支援	その他	自治体からの支援がなくても人材の確保ができています	不明
		253 17.0	706 47.5	133 8.9	287 19.3	105 7.1	31 2.1	104 7.0	

Q14.在職している職員の定着のための自治体の取組として、効果的と考えるもの

調査数	キャリアアップに資する研修の実施、参加への支援（初任者研修、実務者研修等含む）	参加しやすい研修の実施（出前研修、オンライン研修）	介護職員に対する悩み相談窓口の設置	介護の職場におけるハラスメント対策（啓発・研修）の実施	若手職員等の交流の推進など、横のつながりの創出	多様な働き方（時短、夜間のみ、週休3日）の導入支援	ロボット・ICT 等の導入支援による職員の負担軽減	子育て世代が働きやすい環境の整備支援
1487 100.0	763 51.3	685 46.1	421 28.3	311 20.9	379 25.5	605 40.7	253 17.0	702 47.2
						その他	自治体からの支援がなくても定着を図ることができる	不明
						87 5.9	41 2.8	117 7.9

問 15 今後、外国人介護職員を受け入れる予定はありますか。受け入れる予定がある場合、どの在留資格でどの国からの受入れを考えていますか。(あてはまるものすべてに○)

在留資格	インドネシア	フィリピン	ベトナム	中国	ミャンマー	カンボジア	ネパール	モンゴル	タイ	国籍にこだわらない	その他
①『特定活動』(経済連携協定(EPA))	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
②『介護』	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
③『技能実習』(介護)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
④『特定技能1号』(介護)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
⑤『留学』	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
⑥在留資格にこだわらない	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
⑦その他(具体的に)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
⑧受け入れる予定はない	12										

問 16 外国人介護職員に対し、日本語の勉強のため、貴事業所ではどのようなことを取り組んでいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 事業所や法人で、日本人の職員が教えている	8. 勤務時間内に、勉強の時間を組み入れている
2. 日本語の先生等外部に委託し、事業所や法人内で教えている	9. その他()
3. 事業所や法人が金銭的負担をし、日本語学校等に通わせている	10. 特にない
4. 横浜市が委託して実施している研修事業(訪日後日本語等研修)に参加させている	11. 外国人介護職員がいない
5. ボランティアによる日本語教室等無料の教室・横浜市以外が実施する研修に参加させている	
6. 日本語のテキストを渡し、勉強させている	
7. 事業所において、勉強の目標や計画を策定している	

Q15.在留資格で受入れる国(1)インドネシア

調査数	『特定活動』(経済連携協定(EPA))	『介護』	『技能実習』(介護)	『特定技能1号』(介護)	『留学』	在留資格にこだわらない	その他	不明
1487	6	7	9	7	0	5	1	1465
100.0	0.4	0.5	0.6	0.5	0.0	0.3	0.1	98.5

Q15.在留資格で受入れる国(2)フィリピン

調査数	『特定活動』(経済連携協定(EPA))	『介護』	『技能実習』(介護)	『特定技能1号』(介護)	『留学』	在留資格にこだわらない	その他	不明
1487	5	8	3	3	0	9	2	1468
100.0	0.3	0.5	0.2	0.2	0.0	0.6	0.1	98.7

Q15.在留資格で受入れる国(3)ベトナム

調査数	『特定活動』(経済連携協定(EPA))	『介護』	『技能実習』(介護)	『特定技能1号』(介護)	『留学』	在留資格にこだわらない	その他	不明
1487	6	9	9	8	0	6	1	1461
100.0	0.4	0.6	0.6	0.5	0.0	0.4	0.1	98.3

Q15.在留資格で受入れる国(4)中国

調査数	『特定活動』(経済連携協定(EPA))	『介護』	『技能実習』(介護)	『特定技能1号』(介護)	『留学』	在留資格にこだわらない	その他	不明
1487	1	6	2	3	1	6	0	1476
100.0	0.1	0.4	0.1	0.2	0.1	0.4	0.0	99.3

Q15.在留資格で受入れる国(5)ミャンマー

調査数	『特定活動』(経済連携協定(EPA))	『介護』	『技能実習』(介護)	『特定技能1号』(介護)	『留学』	在留資格にこだわらない	その他	不明
1487	2	5	4	4	0	6	1	1474
100.0	0.1	0.3	0.3	0.3	0.0	0.4	0.1	99.1

Q15.在留資格で受入れる国(6)カンボジア

調査数	『特定活動』(経済連携協定(EPA))	『介護』	『技能実習』(介護)	『特定技能1号』(介護)	『留学』	在留資格にこだわらない	その他	不明
1487	1	3	1	1	0	4	0	1482
100.0	0.1	0.2	0.1	0.1	0.0	0.3	0.0	99.7

Q15.在留資格で受入れる国(7)ネパール

調査数	『特定活動』(経済連携協定(EPA))	『介護』	『技能実習』(介護)	『特定技能1号』(介護)	『留学』	在留資格にこだわらない	その他	不明
1487	1	4	2	3	1	4	1	1480
100.0	0.1	0.3	0.1	0.2	0.1	0.3	0.1	99.5

Q15.在留資格で受入れる国(8)モンゴル

調査数	『特定活動』(経済連携協定(EPA))	『介護』	『技能実習』(介護)	『特定技能1号』(介護)	『留学』	在留資格にこだわらない	その他	不明
1487	1	2	1	1	0	3	0	1483
100.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.2	0.0	99.7

Q15.在留資格で受入れる国(9)タイ

調査数	『特定活動』(経済連携協定(EPA))	『介護』	『技能実習』(介護)	『特定技能1号』(介護)	『留学』	在留資格にこだわらない	その他	不明
1487	0	3	2	0	0	4	1	1479
100.0	0.0	0.2	0.1	0.0	0.0	0.3	0.1	99.5

Q15.在留資格で受入れる国(10)国籍にこだわらない

調査数	『特定活動』(経済連携協定(EPA))	『介護』	『技能実習』(介護)	『特定技能1号』(介護)	『留学』	在留資格にこだわらない	その他	不明
1487	33	78	36	32	27	50	19	1378
100.0	2.2	5.2	2.4	2.2	1.8	3.4	1.3	92.7

Q15.在留資格で受入れる国(11)その他

調査数	『特定活動』(経済連携協定(EPA))	『介護』	『技能実習』(介護)	『特定技能1号』(介護)	『留学』	在留資格にこだわらない	その他	不明
1487	4	10	4	4	4	6	3	1473
100.0	0.3	0.7	0.3	0.3	0.3	0.4	0.2	99.1

Q15.在留資格で受入れる国(12)受け入れる予定はない

調査数	受け入れる予定はない	不明
1487	870	617
100.0	58.5	41.5

問17 外国人介護職員に対し、現場における介護技能の向上のため、貴事業所ではどのようなことに取り組んでいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 事業所におけるOJTを通して、日本人の職員が教えている	9. 事業所や法人で介護福祉士試験の受験を見据えた対策講座などを行っている
2. 事業所におけるOJTを通して、外国人の職員が教えている	10. 外部で行われている、介護福祉士試験の受験を見据えた対策講座などに参加させている。(有料無料問わない)
3. 講師等を外部に委託し、事業所や法人内で教えている	11. その他()
4. 事業所や法人が金銭的負担をし、専門学校等に通わせている	12. 特にない
5. 公的な機関が実施している研修事業に参加させている	13. 外国人介護職員がいない
6. 介護技能に関するテキストを渡し、勉強させている	
7. 事業所において、勉強の目標や計画を策定している	
8. 勤務時間内に、勉強の時間を組み入れている	

問18 外国人介護職員を、貴事業所で受け入れるにあたり、自治体の取組として効果的と考えるものは次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 在留資格の違いや、受入れ手続きの流れ等を理解するための研修やセミナーの実施	6. 外国人介護職員に対する介護に関する研修や日本語研修などの支援
2. 受入れのための入管手続きなどの事務の支援(事業所向け相談窓口の設置)	7. 介護福祉士試験合格のための支援
3. 受入れにあたり事業所にかかる経費の補助等の経済的支援(住居費等) ※給与や紹介手数料は含まない	8. その他()
4. 外国人介護職員向け相談窓口等の生活支援	9. 自治体からの支援がなくても、十分受入れができる
5. 受入れ事業所の職員のための研修(教育方法や、文化等の理解、コミュニケーションの方法等)	

問19 外国人介護職員に、どのような職員となることを期待しているか、最も当てはまるものを選んでください。(○はひとつ)

1. 基本的な業務については、一人に対応できるようになってほしい	4. 外国人介護職員の採用は考えていない
2. 他の外国人職員のリーダー的存在になってほしい	
3. 日本人職員も含め、職員のリーダー的存在になってほしい	

Q16.外国人介護職員に対し、日本語の勉強のための取り組み

調査数	事業所や法人で、日本人の職員が教えている	日本語の先生等外部に委託し、事業所や法人内で教えている	事業所や法人が金銭的負担をし、日本語学校等に通わせている	横浜市が委託して実施している研修事業(訪日後日本語等研修)に参加させている	ボランティアによる日本語教室等無料の教室・横浜市以外が実施する研修に参加させている	日本語のテキストを渡し、勉強させている	事業所において、勉強の目標や計画を策定している	勤務時間内に、勉強の時間を組み入れている
1487 100.0	87 5.9	13 0.9	11 0.7	12 0.8	2 0.1	23 1.5	17 1.1	20 1.3
					その他	特にない	外国人介護職員がいない	不明
					9 0.6	159 10.7	925 62.2	291 19.6

Q17.外国人介護職員に対し、現場における介護技能の向上のための取り組み

調査数	事業所におけるOJTを通して、日本人の職員が教えている	事業所におけるOJTを通して、外国人の職員が教えている	講師等を外部に委託し、事業所や法人内で教えている	事業所や法人が金銭的負担をし、専門学校等に通わせている	公的な機関が実施している研修事業に参加させている	介護技能に関するテキストを渡し、勉強させている	事業所において、勉強の目標や計画を策定している	勤務時間内に、勉強の時間を組み入れている
1487 100.0	109 7.3	19 1.3	4 0.3	8 0.5	15 1.0	19 1.3	32 2.2	29 2.0
			事業所や法人で介護福祉士試験の受験を見据えた対策講座などを行っている	外部で行われている、介護福祉士試験の受験を見据えた対策講座などに参加させている。(有料無料問わない)	その他	特にない	外国人介護職員がいない	不明
			13 0.9	9 0.6	5 0.3	126 8.5	969 65.2	262 17.6

Q18.外国人介護職員を、受け入れるにあたり、自治体の取組として効果的と考えるもの

調査数	在留資格の違いや、受入れ手続きの流れ等を理解するための研修やセミナーの実施	受入れのための入管手続きなどの事務の支援(事業所向け相談窓口の設置)	受入れにあたり事業所にかかる経費の補助等の経済的支援(住居費等) ※給与や紹介手数料は含まない	外国人介護職員向け相談窓口等の生活支援	受入れ事業所の職員のための研修(教育方法や、文化等の理解、コミュニケーションの方法等)	外国人介護職員に対する研修や日本語研修などの支援	介護福祉士試験合格のための支援	その他
1487 100.0	375 25.2	386 26.0	472 31.7	373 25.1	498 33.5	597 40.1	307 20.6	51 3.4
							自治体からの支援がなくても、十分受入れができる	不明
							37 2.5	525 35.3

Q19.外国人介護職員に、どのような職員となることを期待しているか、最も当てはまるもの

調査数	基本的な業務については、一人に対応できるようになってほしい	他の外国人職員のリーダー的存在になってほしい	日本人職員も含め、職員のリーダー的存在になってほしい	外国人介護職員の採用は考えていない	不明
1487 100.0	458 30.8	31 2.1	81 5.4	651 43.8	266 17.9

問 20 採用した外国人介護職員の介護福祉士の資格取得についての考え方として、最も当てはまるものを選んでください。(○はひとつ)

1. 事業所・法人として介護福祉士の資格取得をしてほしいため、勉強や研修の参加の支援をしたい	4. 介護福祉士の資格取得はしてほしいが、外国人が試験合格をすることは、現実的に難しいと思う
2. 本人が介護福祉士の資格取得を希望するのであれば支援したい	5. 外国人介護職員の介護福祉士資格の取得までは考えていない
3. 事業所・法人としてはどちらでもよい	6. 外国人介護職員の採用は考えていない

Q20.採用した外国人介護職員の介護福祉士の資格取得についての考え方として、最も当てはまるもの

調査数	事業所・法人として介護福祉士の資格取得をしてほしいため、勉強や研修の参加の支援をしたい	本人が介護福祉士の資格取得を希望するのであれば支援したい	事業所・法人としてはどちらでもよい	介護福祉士の資格取得はしてほしいが、外国人が試験合格をすることは、現実的に難しいと思う	外国人介護職員の介護福祉士資格の取得までは考えていない	外国人介護職員の採用は考えていない	不明
1487	111	279	55	51	28	703	260
100.0	7.5	18.8	3.7	3.4	1.9	47.3	17.5

問 21 職員の早期離職防止や定着促進を図るために、(1)実施しているものを教えてください。
(あてはまるものすべてに○)

また、早期離職防止や定着促進に最も効果があった方策を(2)正規職員、(3)非正規職員ごとにそれぞれ1つ選んでください。(実施しているものの中から○は1つ)

	(1) 実施して いる	効果がある	
		(2) 正規職員	(3) 非正規職員
① 残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる	1	2	3
② 本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる	1	2	3
③ 賃金水準を向上させている	1	2	3
④ 能力や仕事を評価し、賃金などの処遇に反映している	1	2	3
⑤ 職員の仕事内容と必要な能力等を明示している	1	2	3
⑥ キャリアに応じた給与体系を整備している	1	2	3
⑦ 非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている	1	2	3
⑧ 新人の指導担当・アドバイザーを置いている	1	2	3
⑨ 能力開発を充実させている(社内研修実施、社外講習等の受講・支援等)	1	2	3
⑩ 管理者・リーダー層の部下育成や動機付け能力向上に向けた教育研修に力を入れている	1	2	3
⑪ 仕事内容の希望を聞いて配置している	1	2	3
⑫ 悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている(メンタルヘルス対策を含む)	1	2	3
⑬ 健康対策や健康管理に力を入れている	1	2	3
⑭ 職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている(定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等)	1	2	3
⑮ 経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている	1	2	3
⑯ 業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れている	1	2	3
⑰ 介護ロボットやICT等の導入による働きやすい職場作りに力を入れている	1	2	3
⑱ 福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている(カラオケ、ボーリングなどの同好会、親睦会等の実施を含む)	1	2	3
⑲ 職場環境を整えている(休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等)	1	2	3
⑳ 子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)	1	2	3
㉑ その他(具体的に)	1	2	3
㉒ 特に方策はとっていない	4		

Q21.職員の早期離職防止や定着促進を図るため(1)実施している

調査数	残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる	本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる	賃金水準を向上させている	能力や仕事を評価し、賃金などの処遇に反映している	職員の仕事内容と必要な能力等を明示している	キャリアに応じた給与体系を整備している	非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている	新人の指導担当・アドバイザーを置いている	
1487 100.0	1118 75.2	1032 69.4	706 47.5	686 46.1	416 28.0	570 38.3	754 50.7	426 28.6	
	能力開発を充実させている(社内研修実施、社外講習等の受講・支援等)	管理者・リーダー層の部下育成や動機付け能力向上に向けた教育研修に力を入れている	仕事内容の希望を聞いて配置している	悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている(メンタルヘルス対策を含む)	健康対策や健康管理に力を入れている	職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている(定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等)	経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている	業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れている	
	478 32.1	331 22.3	592 39.8	608 40.9	489 32.9	875 58.8	588 39.5	619 41.6	
			介護ロボットやICT等の導入による働きやすい職場作りに力を入れている	福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている(カラオケ、ボーリングなどの同好会、親睦会等の実施を含む)	職場環境を整えている(休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等)	子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)	その他	特に方策はとっていない	不明
			159 10.7	206 13.9	440 29.6	133 8.9	14 0.9	51 3.4	37 2.5

Q21.職員の早期離職防止や定着促進を図るため(2)効果がある:正規職員

調査数	残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる	本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる	賃金水準を向上させている	能力や仕事を評価し、賃金などの処遇に反映している	職員の仕事内容と必要な能力等を明示している	キャリアに応じた給与体系を整備している	非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている	新人の指導担当・アドバイザーを置いている
1487 100.0	425 28.6	127 8.5	139 9.3	59 4.0	6 0.4	29 2.0	17 1.1	14 0.9
	能力開発を充実させている(社内研修実施、社外講習等の受講・支援等)	管理者・リーダー層の部下育成や動機付け能力向上に向けた教育研修に力を入れている	仕事内容の希望を聞いて配置している	悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている(メンタルヘルス対策を含む)	健康対策や健康管理に力を入れている	職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている(定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等)	経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている	業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れている
	8 0.5	13 0.9	14 0.9	9 0.6	8 0.5	96 6.5	15 1.0	26 1.7
			介護ロボットやICT等の導入による働きやすい職場作りに力を入れている	福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている(カラオケ、ボーリングなどの同好会、親睦会等の実施を含む)	職場環境を整えている(休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等)	子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)	その他	不明
			4 0.3	8 0.5	9 0.6	6 0.4	6 0.4	449 30.2

問 22 貴事業所における介護職員処遇改善加算（現行加算）、介護職員等特定処遇改善加算（特定加算）及び介護職員等ベースアップ等支援加算（ベースアップ等加算）の届出状況について、教えてください。（〇はひとつ）

1. 現行加算・特定加算・ベースアップ等加算全ての届出をしている（届出予定を含む）
2. 現行加算と特定加算を届出している（届出予定を含む）
3. 現行加算のみ届出をしている（届出予定を含む）
4. いずれも届出をしていない → 問 22-3 へ
5. 対象外である → 問 23 へ

問 22 で「1. 現行加算・特定加算・ベースアップ等加算全ての届出をしている（届出予定を含む）」
「2. 現行加算と特定加算を届出をしている（届出予定を含む）」「3. 現行加算のみ届出をしている（届出予定を含む）」と回答した方にお伺いします。

問 22-1 貴事業所では、どのように介護職員処遇改善計画書の周知を行っていますか。（あてはまるものすべてに〇）

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. 掲示板等への掲示 | 3. 面談・会議等での説明 |
| 2. メールや回覧形式等による通知 | 4. その他（具体的に） |

問 22-2 貴事業所では、下記のような対応をしましたか。（あてはまるものすべてに〇）

- | | |
|---------------|--------------------|
| 1. 基本給の引上げ | 5. 昇進・昇格要件の明確化 |
| 2. 諸手当の導入・引上げ | 6. 非正規職員から正規職員への登用 |
| 3. 一時金の支給 | 7. その他 |
| 4. 教育研修の充実 | （具体的に） |

問 22 で「4. いずれも届出をしていない」と回答した方にお伺いします。

問 22-3 介護職員処遇改善加算（現行加算）、介護職員等特定処遇改善加算（特定加算）及び介護職員等ベースアップ等支援加算（ベースアップ等加算）の届出を行わない理由について、教えてください。（あてはまるものすべてに〇）

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 対象の制約のため困難 | 5. 非常勤職員等の処遇上の問題 |
| 2. 事務作業が煩雑 | 6. 賃金改善の必要性がない |
| 3. 追加費用負担の発生 | 7. 算定要件を達成できない |
| 4. 利用者負担の発生 | 8. その他 |
| | （具体的に） |

Q21 職員の早期離職防止や定着促進を図るため(3)効果がある:非正規職員

調査数	残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる	本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる	賃金水準を向上させている	能力や仕事ぶりを評価し、賃金などの処遇に反映している	職員の仕事内容と必要な能力等を明示している	キャリアに応じた給与体系を整備している	非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている	新人の指導担当・アドバイザーを置いている
1487 100.0	199 13.4	347 23.3	133 8.9	43 2.9	4 0.3	11 0.7	44 3.0	13 0.9
	能力開発を充実させている（社内研修実施、社外講習等の受講・支援等）	管理者・リーダー層の部下育成や動機付け能力向上に向けた教育研修に力を入れている	仕事内容の希望を聞いて配置している	悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている（メンタルヘルス対策を含む）	健康対策や健康管理に力を入れている	職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている（定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等）	経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている	業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れている
	6 0.4	2 0.1	32 2.2	17 1.1	9 0.6	81 5.4	8 0.5	26 1.7
			介護ロボットやICT等の導入による働きやすい職場作りに力を入れている	福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている（カラオケ、ボーリングなどの同好会、親睦会等の実施を含む）	職場環境を整えている（休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等）	子育て支援を行っている（子ども預かり所を設ける、保育費用支援等）	その他	不明
			1 0.1	7 0.5	10 0.7	10 0.7	3 0.2	481 32.3

Q22 介護職員処遇改善加算（現行加算）、介護職員等特定処遇改善加算（特定加算）及び介護職員等ベースアップ等支援加算（ベースアップ等加算）の届出状況について

調査数	現行加算・特定加算・ベースアップ等加算全ての届出をしている（届出予定を含む）	現行加算と特定加算を届出している（届出予定を含む）	現行加算のみ届出をしている（届出予定を含む）	いずれも届出をしていない	対象外である	不明
1487 100.0	946 63.6	62 4.2	158 10.6	72 4.8	174 11.7	75 5.0

Q22-1 介護職員処遇改善計画書の周知

調査数	掲示板等への掲示	メールや回覧形式等による通知	面談・会議等での説明	その他	不明
1166 100.0	500 42.9	465 39.9	596 51.1	40 3.4	34 2.9

Q22-2 介護職員処遇改善計画書の対応

調査数	基本給の引上げ	諸手当の導入・引上げ	一時金の支給	教育研修の充実	昇進・昇格要件の明確化	非正規職員から正規職員への登用	その他	不明
1166 100.0	531 45.5	690 59.2	585 50.2	249 21.4	188 16.1	271 23.2	12 1.0	66 5.7

Q22-3 介護職員処遇改善加算（現行加算）、介護職員等特定処遇改善加算（特定加算）及び介護職員等ベースアップ等支援加算（ベースアップ等加算）の届出を行わない理由

調査数	対象の制約のため困難	事務作業が煩雑	追加費用負担の発生	利用者負担の発生	非常勤職員等の処遇上の問題	賃金改善の必要性がない	算定要件を達成できない	その他	不明
72 100.0	6 8.3	32 44.4	3 4.2	18 25.0	4 5.6	4 5.6	15 20.8	12 16.7	12 16.7

問 23 令和3年度に離職（注1）した人数は何名ですか。

注1)「離職者」とは、令和3年度中に事業所を退職したり、解雇された者をいい、他企業への出向者・出向復帰者を
含み、同一企業内での転出入者を除く。

注2) 正規職員・非正規職員とは

正規職員(雇用している労働者で雇用期間の定めのない者)

非正規職員(正規職員以外の労働者(契約、嘱託、パートなど))

常勤労働者(1週の所定労働時間が主たる正規職員と同じ者)

短時間労働者(1週の所定労働時間が主たる正規職員に比べ短い者)

	介護職員	看護職員	その他
①正規職員（注2）	人	人	人
②非正規職員（注2）	人	人	人
常勤労働者	人	人	人
短時間労働者	人	人	人

問 24 貴事業所で、直近1年での離職者について、最も多かった離職理由を選択してください。（〇はひとつ）

1. 法人の都合	8. 法人や事業所の理念や運営のあり方に不満があったため
2. 他に良い仕事・職場があったため	9. 家族の転職・転勤、又は事業所の移転のため
3. 新しい資格を取ったから	10. 定年・雇用契約の満了のため
4. 収入が少なかったため	11. 病気・高齢のため
5. 自分（離職者）の将来の見込みが立たなかったため	12. 結婚・出産・妊娠・育児のため
6. 自分（離職者）に向かない仕事だったため	13. 家族の介護・看護のため
7. 職場の人間関係に問題があったため	14. その他 (具体的に)

Q23.離職人数別①正規職員(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明
1487	185	225	139	11	5	0	0	922
100.0	12.4	15.1	9.3	0.7	0.3	0.0	0.0	62.0

Q23.離職人数別①正規職員(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明
1487	175	93	45	2	0	0	0	1172
100.0	11.8	6.3	3.0	0.1	0.0	0.0	0.0	78.8

Q23.離職人数別①正規職員(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明
1487	137	77	26	1	2	0	0	1244
100.0	9.2	5.2	1.7	0.1	0.1	0.0	0.0	83.7

Q23.離職人数別②非正規職員(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明
1487	126	250	294	24	19	2	1	771
100.0	8.5	16.8	19.8	1.6	1.3	0.1	0.1	51.8

Q23.離職人数別②非正規職員(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明
1487	139	132	82	1	1	0	0	1132
100.0	9.3	8.9	5.5	0.1	0.1	0.0	0.0	76.1

Q23.離職人数別②非正規職員(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明
1487	120	80	57	4	1	0	0	1225
100.0	8.1	5.4	3.8	0.3	0.1	0.0	0.0	82.4

Q23.離職人数別②のうち常勤労働者(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明
1487	127	84	52	6	1	0	0	1217
100.0	8.5	5.6	3.5	0.4	0.1	0.0	0.0	81.8

Q23.離職人数別②のうち常勤労働者(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明
1487	116	32	9	0	0	0	0	1330
100.0	7.8	2.2	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	89.4

Q23.離職人数別②のうち常勤労働者(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明
1487	106	19	5	0	0	0	0	1357
100.0	7.1	1.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	91.3

Q23.離職人数別②のうち短時間労働者(1)介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明
1487	80	194	217	15	10	2	0	969
100.0	5.4	13.0	14.6	1.0	0.7	0.1	0.0	65.2

Q23.離職人数別②のうち短時間労働者(2)看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明
1487	87	93	55	1	0	0	0	1251
100.0	5.9	6.3	3.7	0.1	0.0	0.0	0.0	84.1

Q23.離職人数別②のうち短時間労働者(3)その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明
1487	86	75	47	3	1	0	0	1275
100.0	5.8	5.0	3.2	0.2	0.1	0.0	0.0	85.7

Q23.合計 介護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明
1487	127	298	396	52	25	8	1	580
100.0	8.5	20.0	26.6	3.5	1.7	0.5	0.1	39.0

Q23.合計 看護職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明
1487	145	174	129	7	2	0	0	1030
100.0	9.8	11.7	8.7	0.5	0.1	0.0	0.0	69.3

Q23.合計 その他【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	不明
1487	124	130	77	7	4	0	0	1145
100.0	8.3	8.7	5.2	0.5	0.3	0.0	0.0	77.0

Q24.直近1年での離職者について、最も多かった離職理由

調査数	法人の都合	他に良い仕事・職場があったため	新しい資格を取ったから	収入が少なかったため	自分(離職者)の将来の見込みが立たなかったため	自分(離職者)に向かない仕事だったため	職場の人間関係に問題があったため	法人や事業所の理念や運営のあり方に不満があったため
1487	5	208	9	57	32	153	92	24
100.0	0.3	14.0	0.6	3.8	2.2	10.3	6.2	1.6
		家族の転職・転勤、又は事業所の移転のため	定年・雇用契約の満了のため	病気・高齢のため	結婚・出産・妊娠・育児のため	家族の介護・看護のため	その他	不明
		66	55	181	34	123	121	327
		4.4	3.7	12.2	2.3	8.3	8.1	22.0

事業所のサービスや運営、取組状況についてお伺いします。

問 25 サービスの質の向上のために、次の取組を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|--|
| 1. 管理者が直接サービス提供の状況を確認し指導している | |
| 2. サービス提供のガイドライン、マニュアルを作成している | |
| 3. 現場のスタッフが自発的に多問題事例等に関するケース検討会などを行っている
(現場スタッフに任せている) | |
| 4. 事故防止のためにヒヤリハット事例の収集・共有を図っている | |
| 5. 利用者や家族に対し満足度調査を行っている | |
| 6. 積極的に外部評価を受けている(介護サービス情報の公表を除く) | |
| 7. その他(具体的に) | |
| 8. 特に行っていない | |

問 26 職員の研修や資格取得について、次の取組を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------------------|------------------------------|
| 1. 自事業所で研修を実施している | 4. 外部の研修への参加費(自己負担)の補助を行っている |
| 2. 外部の研修機関に委託して実施している
(費用は事業所負担) | 5. その他 |
| 3. 外部の研修への参加を奨励している
(費用は事業所負担) | 6. 特に行っていない |
| | (具体的に) |

問 27 貴事業所の運営やサービス向上のために、どのような情報や支援が必要ですか。

次のうち必要と考えられる情報・支援を3つまでお選びください。(○は3つまで)

- | | |
|------------------------------|------------------------------|
| 1. 介護保険制度・介護報酬等に関する情報 | 12. 緊急時のショートステイや入院などの受入れ先情報 |
| 2. 介護保険以外の保健・福祉サービスに関する情報 | 13. 事業者連絡会等による運営サポート、バックアップ |
| 3. 情報提供・相談等の窓口 | 14. ケアカンファレンス等の運営サポート、バックアップ |
| 4. 介護技術・方法に関する情報 | 15. サービス展開のための土地・建物に関する情報 |
| 5. 認知症ケアに関する情報 | 16. 職員研修、交流会 |
| 6. 医療処置を必要とする場合のケアに関する情報 | 17. 医療機関との連携 |
| 7. 困難事例、多問題事例に関するケースの情報提供、助言 | 18. その他 |
| 8. 介護予防に関する情報 | 19. 特に必要な情報・支援はない |
| 9. 研修・講座等に関する情報 | (具体的に) |
| 10. 周辺事業所や医療機関に関する情報 | |
| 11. 定員の空き状況、空室・空床に関する情報 | |

Q25.サービスの質の向上のための取組

調査数	管理者が直接サービス提供の状況を確認し指導している	サービス提供のガイドライン、マニュアルを作成している	現場のスタッフが自発的に多問題事例等に関するケース検討会などを行っている(現場スタッフに任せている)	事故防止のためにヒヤリハット事例の収集・共有を図っている	利用者や家族に対し満足度調査を行っている	積極的に外部評価を受けている(介護サービス情報の公表を除く)	その他	特に行っていない	不明
1487	1086	829	550	1120	571	117	32	42	26
100.0	73.0	55.7	37.0	75.3	38.4	7.9	2.2	2.8	1.7

Q26.職員の研修や資格取得についての取組

調査数	自事業所で研修を実施している	外部の研修機関に委託して実施している(費用は事業所負担)	外部の研修への参加を奨励している(費用は事業所負担)	外部の研修への参加費(自己負担)の補助を行っている	その他	特に行っていない	不明
1487	1149	213	630	369	41	70	37
100.0	77.3	14.3	42.4	24.8	2.8	4.7	2.5

Q27.運営やサービス向上のために、必要と考えられる情報・支援

調査数	介護保険制度・介護報酬等に関する情報	介護保険以外の保健・福祉サービスに関する情報	情報提供・相談等の窓口	介護技術・方法に関する情報	認知症ケアに関する情報	医療処置を必要とする場合のケアに関する情報	困難事例、多問題事例に関するケースの情報提供、助言	介護予防に関する情報
1487	776	201	199	437	345	173	419	80
100.0	52.2	13.5	13.4	29.4	23.2	11.6	28.2	5.4
	研修・講座等に関する情報	周辺事業所や医療機関に関する情報	定員の空き状況、空室・空床に関する情報	緊急時のショートステイや入院などの受入れ先情報	事業者連絡会等による運営サポート、バックアップ	ケアカンファレンス等の運営サポート、バックアップ	サービス展開のための土地・建物に関する情報	職員研修、交流会
	276	76	76	56	52	32	28	236
	18.6	5.1	5.1	3.8	3.5	2.2	1.9	15.9
					医療機関との連携	その他	特に必要な情報・支援はない	不明
					225	24	59	50
					15.1	1.6	4.0	3.4

問 28 他の介護サービス事業所等との連携について、取り組んでいることがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 勉強会、ケース検討会の共同開催
2. 事業環境などの情報交換
3. サービス事業所等との交換研修の実施 → 問 28-1 へ
4. 定員オーバーや空きがある場合の紹介・連携
5. 技術的に対応できない場合の紹介・連携
6. NPO・ボランティア等活動団体との連絡会
7. 地域包括支援センターとの連絡会などの連携
8. その他(具体的に)
9. 特にない

問 28 で「3」と回答した方におうかがいします。

問 28-1 他の介護サービス事業所等と連携しているのは、どのサービスですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 居宅介護支援	23. 福祉用具貸与
2. 介護予防支援	24. 介護予防福祉用具貸与
3. 訪問介護	25. 特定福祉用具販売
4. 横浜市訪問介護相当サービス	26. 特定介護予防福祉用具販売
5. 横浜市訪問型生活援助サービス	27. 特定施設入居者生活介護
6. 訪問入浴介護	28. 介護予防特定施設入居者生活介護
7. 介護予防訪問入浴介護	29. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
8. 訪問看護	30. 地域密着型通所介護
9. 介護予防訪問看護	31. 夜間対応型訪問介護
10. 訪問リハビリテーション	32. 認知症対応型通所介護
11. 介護予防訪問リハビリテーション	33. 介護予防認知症対応型通所介護
12. 居宅療養管理指導	34. 小規模多機能型居宅介護
13. 介護予防居宅療養管理指導	35. 介護予防小規模多機能型居宅介護
14. 通所介護	36. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
15. 横浜市通所介護相当サービス	37. 介護予防認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
16. 通所リハビリテーション	38. 地域密着型特定施設入居者生活介護
17. 介護予防通所リハビリテーション	39. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
18. 短期入所生活介護	40. 看護小規模多機能型居宅介護
19. 介護予防短期入所生活介護	41. 介護老人福祉施設
20. 短期入所療養介護	42. 介護老人保健施設
21. 介護予防短期入所療養介護	43. 介護療養型医療施設(介護医療院)
22. 住宅改修	

Q28.他の介護事業者とどのように連携していますか

調査数	勉強会、ケース検討会の共同開催	事業環境などの情報交換	サービス事業所等との交換研修の実施→問28-1へ	定員オーバーや空きがある場合の紹介・連携	技術的に対応できない場合の紹介・連携	NPO・ボランティア等活動団体との連絡会	地域包括支援センターとの連絡会などの連携	その他
1487 100.0	422 28.4	325 21.9	53 3.6	298 20.0	116 7.8	58 3.9	342 23.0	32 2.2
							特にない	不明
							468 31.5	80 5.4

Q28-1.他の介護事業者と連携しているサービス

調査数	居宅介護支援	介護予防支援	訪問介護	横浜市訪問介護相当サービス	横浜市訪問型生活援助サービス	訪問入浴介護	介護予防訪問入浴介護	訪問看護
53 100.0	37 69.8	21 39.6	23 43.4	7 13.2	3 5.7	5 9.4	2 3.8	18 34.0
	介護予防訪問看護	訪問リハビリテーション	介護予防訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	介護予防居宅療養管理指導	通所介護	横浜市通所介護相当サービス	通所リハビリテーション
	8 15.1	7 13.2	5 9.4	7 13.2	5 9.4	19 35.8	11 20.8	6 11.3
	介護予防通所リハビリテーション	短期入所生活介護	介護予防短期入所生活介護	短期入所療養介護	介護予防短期入所療養介護	住宅改修	福祉用具貸与	介護予防福祉用具貸与
	5 9.4	3 5.7	2 3.8	2 3.8	2 3.8	4 7.5	12 22.6	5 9.4
	特定福祉用具販売	特定介護予防福祉用具販売	特定施設入居者生活介護	介護予防特定施設入居者生活介護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	地域密着型通所介護	夜間対応型訪問介護	認知症対応型通所介護
	5 9.4	3 5.7	2 3.8	2 3.8	5 9.4	10 18.9	4 7.5	5 9.4
	介護予防認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護	介護予防小規模多機能型居宅介護	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	介護予防認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	地域密着型特定施設入居者生活介護	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	看護小規模多機能型居宅介護
	2 3.8	3 5.7	2 3.8	5 9.4	1 1.9	1 1.9	1 1.9	2 3.8
						介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設(介護医療院)
						2 3.8	2 3.8	2 3.8

問 29 ケアマネジャー（予防の担当職員を含む。以下同じ。）との連携で、課題がありますか。
（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---|---|
| 1. 利用者が要求するサービス内容と実際の依頼内容にずれがある | |
| 2. サービスの依頼が来ても、利用者の情報がないため、個別のサービス計画がたてられない | |
| 3. 利用者の既往症や病気などの情報がないため、不安を感じている | |
| 4. 利用者がケアマネジャーを介在せずに直接サービス提供者に予定変更を伝えてくる | |
| 5. ケアマネジャーとのやりとりが煩雑 | |
| 6. ケアマネジャーが利用者の状況を十分把握していない | |
| 7. その他（具体的に | ） |
| 8. 連携はうまくいっており、特に課題はない | |

問 30 医療機関との連携について、事業所として取り組んでいることがありますか。
（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------------------|-------------|
| 1. 医療機関から利用者の健康管理や処置について助言を受けている | 6. 職員研修 |
| 2. 在宅医療連携拠点に相談している | 7. 緊急時の対応 |
| 3. 往診をしてくれる医師・医療機関がある | 8. その他（具体的に |
| 4. 急変時の受入を依頼できる病院を確保している | 9. 連携していない |
| 5. 提携病院があり、一般的な入院を受け入れてもらっている | |

問 31 次のような ICT 機器等を活用した取組をしていますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------------------|--|
| 1. 記録から介護保険請求システムまで一貫通するシステムの利用 | 6. 情報共有システムを用いた他の事業者との連携 |
| 2. 給与計算、シフト管理、勤怠管理を一元化したシステムの利用 | 7. 他の事業者とのデータ連携によりケアプランやサービス提供票等をやりとりするシステムの利用 |
| 3. グループウェア等のシステムによる報告・連絡・相談 | 8. その他（ |
| 4. 利用者情報（ケアプラン、介護記録等）の PC による共有 | 9. いずれもしていない |
| 5. 利用者情報（ケアプラン、介護記録等）のタブレットによる共有 | |

Q29.ケアマネジャーとの連携での課題

調査数	利用者が要求するサービス内容と実際の依頼内容にずれがある	サービスの依頼が来ても、利用者の情報がないため、個別のサービス計画がたてられない	利用者の既往症や病気などの情報がないため、不安を感じている	利用者がケアマネジャーを介在せずに直接サービス提供者に予定変更を伝えてくる	ケアマネジャーとのやりとりが煩雑	ケアマネジャーが利用者の状況を十分把握していない	その他	連携はうまくいっており、特に課題はない	不明
1487	447	231	288	278	151	425	71	591	73
100.0	30.1	15.5	19.4	18.7	10.2	28.6	4.8	39.7	4.9

Q30.医療機関との連携について、事業所として取り組んでいること

調査数	医療機関から利用者の健康管理や処置について助言を受けている	在宅医療連携拠点に相談している	往診をしてくれる医師・医療機関がある	急変時の受入を依頼できる病院を確保している	提携病院があり、一般的な入院を受け入れてもらっている	職員研修	緊急時の対応	その他
1487	615	119	454	96	82	178	464	42
100.0	41.4	8.0	30.5	6.5	5.5	12.0	31.2	2.8
							連携していない	不明
							397	95
							26.7	6.4

Q31.ICT機器等を活用した取組

調査数	記録から介護保険請求システムまで一貫通するシステムの利用	給与計算、シフト管理、勤怠管理を一元化したシステムの利用	グループウェア等のシステムによる報告・連絡・相談	利用者情報（ケアプラン、介護記録等）の PC による共有	利用者情報（ケアプラン、介護記録等）のタブレットによる共有	情報共有システムを用いた他の事業者との連携	他の事業者とのデータ連携によりケアプランやサービス提供票等をやりとりするシステムの利用	その他
1487	663	302	242	576	375	172	224	26
100.0	44.6	20.3	16.3	38.7	25.2	11.6	15.1	1.7
							いずれもしていない	不明
							336	72
							22.6	4.8

問 32 介護職員の負担軽減や働き方改革を促進する介護福祉機器や ICT 機器の導入や利用についてのよ
うな課題・問題があるとお考えですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 導入する予算がない	6. 投資に見合うだけの効果がない
2. どのような介護福祉機器や ICT 機器があるかわか らない	7. 介護現場の実態に合う介護福祉機器や ICT 機器 がない
3. 技術的に使いこなせるか心配である	8. その他 (具体的に)
4. 設置や保管等に場所をとられてしまう	9. 課題・問題は特にない
5. 維持管理が大変である	

問 33 職員による利用者への虐待やハラスメントを防止するため、どのような工夫を行っていますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 研修などへの参加を促すとともに、研修内容を全職員に展開している
2. ミーティング時に虐待防止マニュアル等を全職員で確認している
3. 講師を招いて、研修を行うなど全職員への啓発活動をおこなっている
4. 他事業所での事例等を全職員間で分析し、要因について共有する研修を行っている
5. 全職員のストレス状況を把握し、未然防止に役立っている
6. 気軽に相談ができる窓口を整えている
7. その他 (具体的に)
8. 特に行っていない

問 34 利用者による職員への暴力やハラスメントを防止するため、どのような工夫を行っていますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 契約条項などにハラスメントに対する対処方法を明記・説明し、未然防止に努めている
2. 複数人対応を基本としている
3. 日々の声かけなど小さな変化をとらえ情報を共有できる環境を整えている
4. 非常通報機能を有するベルや笛等、周囲に知らせる機器等を携行している
5. 暴力やハラスメントがあった場合は、事業所として対応できる環境を整えている
6. 気軽に相談できる窓口を整えている
7. その他 (具体的に)
8. 特に行っていない

Q32.介護福祉機器やICT機器の導入や利用についての課題・問題

調査数	導入する予算 がない	どのような介護 福祉機器やIC T機器がある かわからない	技術的に使い こなせるか心 配である	設置や保管等 に場所をとら れてしまう	維持管理が大 変である	投資に見合う だけの効果が ない	介護現場の実 態に合う介護 福祉機器やIC T機器がない	その他
1487 100.0	504 33.9	274 18.4	542 36.4	146 9.8	326 21.9	164 11.0	159 10.7	69 4.6
							課題・問題は 特にない	不明
							253 17.0	165 11.1

Q33.職員による利用者への虐待やハラスメントを防止するための工夫

調査数	研修などへの 参加を促すと ともに、研修内 容を全職員に 展開している	ミーティング時 に虐待防止マ ニュアル等を 全職員で確認 している	講師を招いて、 研修を行うなど 全職員への啓 発活動をおこ なっている	他事業所での 事例等を全職 員間で分析し、 要因について 共有する研修 を行っている	全職員のスト レス状況を把 握し、未然防 止に役立って いる	気軽に相談が できる窓口を 整えている	その他	特に行ってい ない	不明
1487 100.0	961 64.6	815 54.8	93 6.3	127 8.5	479 32.2	539 36.2	31 2.1	65 4.4	31 2.1

Q34.利用者による職員への暴力やハラスメントを防止するための工夫

調査数	契約条項など にハラスメント に対する対処 方法を明記・説明し、未 然防止に努め ている	複数人対応を 基本としている	日々の声かけ など小さな変 化をとらえ情 報を共有でき る環境を整え ている	非常通報機能 を有するベル や笛等、周囲 に知らせる機 器等を携行し ている	暴力やハラス メントがあった 場合は、事業 所として対応 できる環境を 整えている	気軽に相談で きる窓口を 整えている	その他	特に行ってい ない	不明
1487 100.0	657 44.2	360 24.2	940 63.2	44 3.0	628 42.2	621 41.8	19 1.3	63 4.2	39 2.6

小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護の事業所の方にお伺いします。

問 35 令和4年10月のサービスの提供回数等についてご回答ください。

① 登録者数 (実数)	人
② サービス利用者数 (実数)	人
③ 通いの提供回数 (延数)	回
④ 泊りの提供回数 (延数)	回
⑤ 訪問の提供回数 (延数)	回

問 36 介護保険以外のサービスで、

(1) 実施または実施予定のある活動やサービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)

(※) ⑩⑪は、他の民間事業者等が実施しているサービスの活用または活用予定のあるもの

(2) 他の民間事業者で既に行っているサービスの状況も踏まえ、今後、横浜市内で充実が必要だと思う活動やサービスはありますか。(○は5つまで)

	(1) 実施または 実施予定のあるもの	(2) 今後 充実が必要なもの
①通いの場(体操・運動・趣味などの活動、食事会などの定期的な交流)	1	2
②通いの場への送迎	1	2
③医療機関・福祉事業所・役所への送迎	1	2
④医療機関・福祉事業所・役所への送迎前後の付き添い	1	2
⑤栄養改善を目的とした配食	1	2
⑥見守り・安否確認	1	2
⑦緊急時の通報システム	1	2
⑧ごみ出し	1	2
⑨生活援助(掃除・洗濯・買い物・調理など)	1	2
⑩話し相手	1	2
⑪訪問による理美容(※)	1	2
⑫歯科などの訪問診療(※)	1	2
⑬紙おむつの購入	1	2
⑭その他⇒ 具体的な記載は(1)、(2)欄へ	()	()
⑮特になし	3	

Q35.サービスの提供回数(1)登録者数(実数)【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
86	0	0	3	4	35	44	0	0	0	0
100.0	0.0	0.0	3.5	4.7	40.7	51.2	0.0	0.0	0.0	0.0

Q35.サービスの提供回数(2)サービス利用者数(実数)【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上
85	0	0	3	2	35	38	0	0	0	7
100.0	0.0	0.0	3.5	2.4	41.2	44.7	0.0	0.0	0.0	8.2

Q35.サービスの提供回数(3)通いの提供回数(延数)

調査数	平均
83	294.37
100.0	

Q35.サービスの提供回数(4)泊りの提供回数(延数)

調査数	平均
82	121.39
100.0	

Q35.サービスの提供回数(5)訪問の提供回数(延数)

調査数	平均
83	350.80
100.0	

Q36.介護保険以外のサービス(1)実施または実施予定のあるもの

調査数	通いの場(体操・運動・趣味などの活動、食事会などの定期的な交流)	通いの場への送迎	医療機関・福祉事業所・役所への送迎	医療機関・福祉事業所・役所への送迎前後の付き添い	栄養改善を目的とした配食	見守り・安否確認	緊急時の通報システム	ごみ出し
1487	140	128	191	215	73	225	87	167
100.0	9.4	8.6	12.8	14.5	4.9	15.1	5.9	11.2
	生活援助(掃除・洗濯・買い物・調理など)	話し相手	訪問による理美容	歯科などの訪問診療	紙おむつの購入	その他	特になし	不明
	235	164	110	77	142	16	496	414
	15.8	11.0	7.4	5.2	9.5	1.1	33.4	27.8

Q36.介護保険以外のサービス(2)今後充実が必要なもの

調査数	通いの場(体操・運動・趣味などの活動、食事会などの定期的な交流)	通いの場への送迎	医療機関・福祉事業所・役所への送迎	医療機関・福祉事業所・役所への送迎前後の付き添い	栄養改善を目的とした配食	見守り・安否確認	緊急時の通報システム	ごみ出し
1487	211	181	217	208	144	292	214	132
100.0	14.2	12.2	14.6	14.0	9.7	19.6	14.4	8.9
	生活援助(掃除・洗濯・買い物・調理など)	話し相手	訪問による理美容	歯科などの訪問診療	紙おむつの購入	その他	特になし	不明
	129	154	73	48	40	13	299	552
	8.7	10.4	4.9	3.2	2.7	0.9	20.1	37.1

問 37 事業を運営する上での課題は何ですか。次から、主なものを3つまでお選びください。

(○は3つまで)

1. 今の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない
2. 経営（収支）が苦しく、労働条件や労働環境改善をしたくても出来ない
3. 良質な人材の確保が難しい
4. 新規利用者の確保が難しい
5. 介護従事者の介護業務に関する知識や技術が不足している
6. 介護従事者の介護業務に臨む意欲や姿勢に問題がある
7. 管理者の指導・管理能力が不足している
8. 教育・研修の時間が十分に取れない
9. 介護従事者間のコミュニケーションが不足している
10. 経営者・管理者と職員間のコミュニケーションが不足している
11. 利用者や利用者の家族の介護サービスに対する理解が不足している
12. 介護保険の改正等についての的確な情報や説明が得られない
13. 指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われている
14. 雇用管理等についての情報や指導が不足している
15. その他（具体的に
16. 特に問題はない

総合事業や市の事業等についてお伺いします。

問 38 総合事業のうち、横浜市訪問介護相当サービス、横浜市訪問型生活援助サービス（サービスA）、横浜市通所介護相当サービスを実施していますか。（○はひとつ）

1. 実施している 問 38-1へ	2. 実施していない 最後の自由記入欄へ
-----------------------------------	--------------------------------------

問 38 で「1. 実施している」と回答した事業所にお伺いします。

問 38-1 横浜市訪問型生活援助サービス（サービスA）を提供していますか。（○はひとつ）

1. 提供している 問 38-2へ	2. 提供していない 問 38-5へ
-----------------------------------	------------------------------------

問 38-1 で「1. 提供している」と回答した事業所にお伺いします。

問 38-2 サービスAの提供に従事する一定の研修受講者及び入門的研修修了者（※）の採用人数をご記入ください。（令和4年10月1日時点）

（※）ホームヘルパー等の資格はないが、介護事業所での研修を受講すること等で、サービスAを提供できる方

() 名

Q37.施設を運営する上での問題点

調査数	今の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない	経営（収支）が苦しく、労働条件や労働環境改善をしたくても出来ない	良質な人材の確保が難しい	新規利用者の確保が難しい	介護従事者の介護業務に関する知識や技術が不足している	介護従事者の介護業務に臨む意欲や姿勢に問題がある	管理者の指導・管理能力が不足している	教育・研修の時間が十分に取れない
1487	651	384	783	375	134	61	73	322
100.0	43.8	25.8	52.7	25.2	9.0	4.1	4.9	21.7
調査数	介護従事者間のコミュニケーションが不足している	経営者・管理者と職員間のコミュニケーションが不足している	利用者や利用者の家族の介護サービスに対する理解が不足している	介護保険の改正等についての的確な情報や説明が得られない	指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われている	雇用管理等についての情報や指導が不足している	その他	特に問題はない
	46	45	123	52	347	18	35	76
	3.1	3.0	8.3	3.5	23.3	1.2	2.4	5.1
								不明
								65
								4.4

Q38.横浜市訪問介護相当サービス、横浜市訪問型生活援助サービス、横浜市通所介護相当サービスの実施

調査数	実施している	実施していない	不明
1487	687	670	130
100.0	46.2	45.1	8.7

Q38-1.横浜市訪問型生活援助サービスの提供

調査数	提供している	提供していない	不明
687	84	580	23
100.0	12.2	84.4	3.3

Q38-2.サービスAの提供に従事する一定の研修受講者及び入門的研修修了者の採用人数【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
84	32	6	8	4	5	2	1	0	0	0	26
100.0	38.1	7.1	9.5	4.8	6.0	2.4	1.2	0.0	0.0	0.0	31.0

問 38-3 事業所としてサービスAを提供している理由について該当するものをお選びください。
(あてはまるものすべてに○)

1. 利用者の状態に沿ったサービスが提供できるため
 2. ホームヘルパー等の資格がなくとも、一定の研修受講者又は入門的研修修了者が提供できるため
 3. 利用者の介護予防・自立支援に資するため
 4. その他
- (具体的に)

問 38-4 サービスAを提供するにあたっての課題について該当するものをお選びください。
(あてはまるものに○ (○は2つまで))

1. 一定の研修受講者又は入門的研修修了者を確保することが難しい
 2. 自社で一定の研修を行う人員・時間が確保できない
 3. 事業の内容・目的について把握する機会が少ない
 4. 処遇改善等の加算がない
 5. 報酬が訪問介護や訪問介護相当サービスと比べて安い
 6. 有資格者が提供しても、サービスAに従事した時間は常勤換算に算入できない
 7. その他
- (具体的に)
8. 特にない

【問 38-1で「2. 提供していない」と回答した事業所にお伺いします。

問 38-5 提供していない理由として最も適当なものをお選びください。(○はひとつ)

1. 重度介護者の支援を中心としているため
 2. ホームヘルパー等の有資格者を優先して雇用する必要があるため
 3. サービスAの利用ニーズが想定されないため
 4. その他
- (具体的に)

Q38-3.事業所としてサービスAを提供している理由

調査数	利用者の状態に沿ったサービスが提供できるため	ホームヘルパー等の資格がなくとも、一定の研修受講者又は入門的研修修了者が提供できるため	利用者の介護予防・自立支援に資するため	その他	不明
84	43	8	31	6	15
100.0	51.2	9.5	36.9	7.1	17.9

Q38-4.サービスAを提供するにあたっての課題

調査数	一定の研修受講者又は入門的研修修了者を確保することが難しい	自社で一定の研修を行う人員・時間が確保できない	事業の内容・目的について把握する機会が少ない	処遇改善等の加算がない	報酬が訪問介護や訪問介護相当サービスと比べて安い	有資格者が提供しても、サービスAに従事した時間は常勤換算に算入できない	その他	特にない	不明
84	6	7	3	24	38	16	2	12	17
100.0	7.1	8.3	3.6	28.6	45.2	19.0	2.4	14.3	20.2

Q38-5.提供していない理由

調査数	重度介護者の支援を中心としているため	ホームヘルパー等の有資格者を優先して雇用する必要があるため	サービスAの利用ニーズが想定されないため	その他	不明
580	42	103	166	57	212
100.0	7.2	17.8	28.6	9.8	36.6

居宅介護支援事業所調査

13

貴事業所の概要についてお伺いします。

問1 貴事業所のお名前、介護保険事業所番号等をご記入ください。

※ 封筒の宛名記載の事業所名をご記入ください。

事業所名		介護保険 事業所番号													
記入者名		電話番号													

問2 貴事業所のサービス提供地域をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 青葉区	6. 金沢区	11. 都筑区	16. 保土ヶ谷区
2. 旭区	7. 港南区	12. 鶴見区	17. 緑区
3. 泉区	8. 港北区	13. 戸塚区	18. 南区
4. 磯子区	9. 栄区	14. 中区	19. 横浜市外の神奈川県内
5. 神奈川区	10. 瀬谷区	15. 西区	20. 東京都内

令和4年10月1日現在のことについてお伺いします。

問3 貴事業所の要介護度別利用者数をお答えください。(委託を含む)

(市内)									(人)
区分	要支援1	要支援2	事業対象者	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
人数									
(市外)									(人)
区分	要支援1	要支援2	事業対象者	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
人数									

Q2. サービス提供地域

調査数	青葉区	旭区	泉区	磯子区	神奈川区	金沢区	港南区	港北区
533	55	67	52	67	52	47	69	60
100.0	10.3	12.6	9.8	12.6	9.8	8.8	12.9	11.3
	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区	戸塚区	中区	西区	保土ヶ谷区
	47	47	50	54	72	52	42	74
	8.8	8.8	9.4	10.1	13.5	9.8	7.9	13.9
	緑区	南区	横浜市外の神奈川県内	東京都内	不明			
	59	70	33	4	4			
	11.1	13.1	6.2	0.8	0.8			

Q3. 要介護度別利用者数: 市内 (1)要支援1【クラス分け】												
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明	
533	22	30	166	101	108	47	18	6	0	1	34	
100.0	4.1	5.6	31.1	18.9	20.3	8.8	3.4	1.1	0.0	0.2	6.4	
Q3. 要介護度別利用者数: 市内 (2)要支援2【クラス分け】												
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明	
533	13	12	86	77	146	87	48	23	8	3	30	
100.0	2.4	2.3	16.1	14.4	27.4	16.3	9.0	4.3	1.5	0.6	5.6	
Q3. 要介護度別利用者数: 市内 (3)事業対象者【クラス分け】												
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明	
533	318	14	17	7	9	4	3	1	0	2	158	
100.0	59.7	2.6	3.2	1.3	1.7	0.8	0.6	0.2	0.0	0.4	29.6	
Q3. 要介護度別利用者数: 市内 (4)要介護1【クラス分け】												
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明	
533	5	15	56	59	124	94	122	28	9	3	18	
100.0	0.9	2.8	10.5	11.1	23.3	17.6	22.9	5.3	1.7	0.6	3.4	
Q3. 要介護度別利用者数: 市内 (5)要介護2【クラス分け】												
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明	
533	3	7	32	37	116	88	125	60	32	13	20	
100.0	0.6	1.3	6.0	6.9	21.8	16.5	23.5	11.3	6.0	2.4	3.8	
Q3. 要介護度別利用者数: 市内 (6)要介護3【クラス分け】												
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明	
533	5	13	99	83	160	102	38	11	4	0	18	
100.0	0.9	2.4	18.6	15.6	30.0	19.1	7.1	2.1	0.8	0.0	3.4	
Q3. 要介護度別利用者数: 市内 (7)要介護4【クラス分け】												
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明	
533	6	32	128	111	158	57	17	2	1	0	21	
100.0	1.1	6.0	24.0	20.8	29.6	10.7	3.2	0.4	0.2	0.0	3.9	
Q3. 要介護度別利用者数: 市内 (8)要介護5【クラス分け】												
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明	
533	29	44	206	117	91	16	5	0	0	0	25	
100.0	5.4	8.3	38.6	22.0	17.1	3.0	0.9	0.0	0.0	0.0	4.7	
Q3. 要介護度別利用者数: 市外 (1)要支援1【クラス分け】												
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明	
533	239	12	13	5	0	1	0	0	0	0	263	
100.0	44.8	2.3	2.4	0.9	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	49.3	
Q3. 要介護度別利用者数: 市外 (2)要支援2【クラス分け】												
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明	
533	229	22	17	5	2	0	2	0	0	0	256	
100.0	43.0	4.1	3.2	0.9	0.4	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	48.0	
Q3. 要介護度別利用者数: 市外 (3)事業対象者【クラス分け】												
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明	
533	257	3	1	0	0	0	0	0	0	0	272	
100.0	48.2	0.6	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	51.0	
Q3. 要介護度別利用者数: 市外 (4)要介護1【クラス分け】												
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明	
533	204	51	25	9	4	3	1	1	0	0	235	
100.0	38.3	9.6	4.7	1.7	0.8	0.6	0.2	0.2	0.0	0.0	44.1	
Q3. 要介護度別利用者数: 市外 (5)要介護2【クラス分け】												
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明	
533	202	51	33	9	7	3	1	0	0	0	227	
100.0	37.9	9.6	6.2	1.7	1.3	0.6	0.2	0.0	0.0	0.0	42.6	
Q3. 要介護度別利用者数: 市外 (6)要介護3【クラス分け】												
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明	
533	211	32	25	10	5	3	0	0	0	0	247	
100.0	39.6	6.0	4.7	1.9	0.9	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	46.3	
Q3. 要介護度別利用者数: 市外 (7)要介護4【クラス分け】												
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明	
533	213	28	33	4	5	0	1	1	0	0	248	
100.0	40.0	5.3	6.2	0.8	0.9	0.0	0.2	0.2	0.0	0.0	46.5	
Q3. 要介護度別利用者数: 市外 (8)要介護5【クラス分け】												
調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明	
533	209	32	20	7	4	3	0	0	0	0	258	
100.0	39.2	6.0	3.8	1.3	0.8	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	48.4	

問4 同一の建物内又は敷地内で行っている事業は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 訪問介護	25. 特定施設入居者生活介護
2. 横浜市訪問介護相当サービス	26. 介護予防特定施設入居者生活介護
3. 横浜市訪問型生活援助サービス	27. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
4. 訪問入浴介護	28. 地域密着型通所介護
5. 介護予防訪問入浴介護	29. 夜間対応型訪問介護
6. 訪問看護	30. 認知症対応型通所介護
7. 介護予防訪問看護	31. 介護予防認知症対応型通所介護
8. 訪問リハビリテーション	32. 小規模多機能型居宅介護
9. 介護予防訪問リハビリテーション	33. 介護予防小規模多機能型居宅介護
10. 居宅療養管理指導	34. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
11. 介護予防居宅療養管理指導	35. 介護予防認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
12. 通所介護	36. 地域密着型特定施設入居者生活介護
13. 横浜市通所介護相当サービス	37. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
14. 通所リハビリテーション	38. 看護小規模多機能型居宅介護
15. 介護予防通所リハビリテーション	39. 介護老人福祉施設
16. 短期入所生活介護	40. 介護老人保健施設
17. 介護予防短期入所生活介護	41. 介護療養型医療施設(介護医療院)
18. 短期入所療養介護	42. 病院
19. 介護予防短期入所療養介護	43. 診療所
20. 福祉用具貸与	44. 薬局
21. 介護予防福祉用具貸与	45. 有料老人ホーム・軽費老人ホーム・養護老人ホームなど(介護保険外)
22. 特定福祉用具販売	46. 配食(食事)サービス
23. 特定介護予防福祉用具販売	47. 送迎(移送)サービス
24. 住宅改修	48. 介護保険外の宿泊サービス
	49. その他
	50. 上記の事業は行っていない

居宅介護支援事業の状況についてお伺いします。

問5 令和4年9月分の常勤換算したケアマネジャー一人当たりの給付管理表(予防の委託分除く)の平均提出件数をご記入ください。

_____件/常勤換算したケアマネジャー1人当たり

Q4. 同一の建物内又は敷地内で行っている事業

調査数	訪問介護	横浜市訪問介護相当サービス	横浜市訪問型生活援助サービス	訪問入浴介護	介護予防訪問入浴介護	訪問看護	介護予防訪問看護	訪問リハビリテーション
533 100.0	195 36.6	96 18.0	26 4.9	10 1.9	7 1.3	106 19.9	65 12.2	18 3.4
	介護予防訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	介護予防居宅療養管理指導	通所介護	横浜市通所介護相当サービス	通所リハビリテーション	介護予防通所リハビリテーション	短期入所生活介護
	14 2.6	17 3.2	12 2.3	117 22.0	90 16.9	25 4.7	18 3.4	30 5.6
	介護予防短期入所生活介護	短期入所療養介護	介護予防短期入所療養介護	福祉用具貸与	介護予防福祉用具貸与	特定福祉用具販売	特定介護予防福祉用具販売	住宅改修
	23 4.3	17 3.2	13 2.4	22 4.1	18 3.4	19 3.6	16 3.0	7 1.3
	特定施設入居者生活介護	介護予防特定施設入居者生活介護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	地域密着型通所介護	夜間対応型訪問介護	認知症対応型通所介護	介護予防認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護
	1 0.2	1 0.2	21 3.9	28 5.3	20 3.8	31 5.8	8 1.5	6 1.1
	介護予防小規模多機能型居宅介護	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	介護予防認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	地域密着型特定施設入居者生活介護	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	看護小規模多機能型居宅介護	介護老人福祉施設	介護老人保健施設
	1 0.2	10 1.9	6 1.1	0 0.0	1 0.2	3 0.6	26 4.9	12 2.3
	介護療養型医療施設(介護医療院)	病院	診療所	薬局	有料老人ホーム・軽費老人ホーム・養護老人ホームなど(介護保険外)	配食(食事)サービス	送迎(移送)サービス	介護保険外の宿泊サービス
	1 0.2	13 2.4	13 2.4	3 0.6	11 2.1	9 1.7	8 1.5	0 0.0
						その他	上記の事業は行っていない	不明
						36 6.8	93 17.4	15 2.8

Q5. 令和4年9月分の常勤換算したケアマネジャー一人当たりの給付管理表(予防の委託分除く)の平均提出件数

調査数	平均
516	28.43
100.0	

職員、人材確保、処遇等についてお伺いします。

問6 令和4年10月1日時点の貴事業所の職員数についてご記入ください。

職員数とは、貴事業所が実施する全ての事業に従事する者（正規・非正規職員問わず）の在籍者総数です。括弧内には男性職員数を記入してください。また、職員の市内在住状況を教えてください。ただし、派遣労働者、委託業務従事者は含みません。該当者がいない場合は空白で結構です。

注1) 資格ではなく、従事している仕事(職種)に着目して入力してください。
 なお、兼務している職員については、主として従事する仕事(職種)にのみ入力してください。
 注2) 正規職員・非正規職員とは
 正規職員(雇用している労働者で雇用期間の定めのない者)
 非正規職員(正規職員以外の労働者(契約、嘱託、パートなど))

()内は男性職員数

職種別(下記の職種のみ)(注1)	正規職員(注2)	非正規職員(注2)
①ケアマネジャー	人(人)	人(人)
②その他職員	人(人)	人(人)
職員総人数 正規職員:市内在住 ()人、市外在住 ()人 非正規職員:市内在住 ()人、市外在住 ()人		

問7 貴事業所では、ケアマネジャーの過不足の状況はいかがですか。(〇はひとつ)

「不足」とは、募集を必要としていることを指します。

	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はない
ケアマネジャー	1	2	3	4	5	6

問7で1~3と回答した方にお伺いします。

問7-1 不足している理由はどれですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 採用が困難である	3. 事業拡大によって必要人数が増大した
2. 離職率が高い(定着率が低い)	4. その他(具体的に)

問7-1で「1. 採用が困難である」を選択した方にお伺いします。

問7-2 職員の採用が困難な原因は何にあるとお考えですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 他産業に比べて、労働要件が良くない	4. その他(具体的に)
2. 景気が良いため、介護業界へ人材が集まらない	5. わからない
3. 同業他社との人材獲得競争が厳しい	

Q6. 職員数:ケアマネジャー(1)正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
533	0	1	140	329	37	13	0	0	0	0	13
100.0	0.0	0.2	26.3	61.7	6.9	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4

Q6. 職員数:ケアマネジャー(2)正規職員(男性職員数)【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
533	0	97	156	72	3	0	0	0	0	0	205
100.0	0.0	18.2	29.3	13.5	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	38.5

Q6. 職員数:ケアマネジャー(3)非正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
533	0	115	136	81	3	0	0	0	0	0	198
100.0	0.0	21.6	25.5	15.2	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37.1

Q6. 職員数:ケアマネジャー(4)非正規職員(男性職員数)【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
533	0	189	22	6	0	0	0	0	0	0	316
100.0	0.0	35.5	4.1	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	59.3

Q6. 職員数:その他職員(5)正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
533	0	160	55	28	10	18	1	2	0	1	258
100.0	0.0	30.0	10.3	5.3	1.9	3.4	0.2	0.4	0.0	0.2	48.4

Q6. 職員数:その他職員(6)正規職員(男性職員数)【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
533	0	149	14	20	4	2	2	1	0	0	341
100.0	0.0	28.0	2.6	3.8	0.8	0.4	0.4	0.2	0.0	0.0	64.0

Q6. 職員数:その他職員(7)非正規職員【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
533	0	149	44	17	6	12	7	8	2	1	287
100.0	0.0	28.0	8.3	3.2	1.1	2.3	1.3	1.5	0.4	0.2	53.8

Q6. 職員数:その他職員(8)非正規職員(男性職員数)【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
533	0	147	19	10	5	6	2	0	0	0	344
100.0	0.0	27.6	3.6	1.9	0.9	1.1	0.4	0.0	0.0	0.0	64.5

Q6. 職員数:職員総人数(9)正規職員(市内在住)【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
533	0	12	126	256	50	20	2	1	0	1	65
100.0	0.0	2.3	23.6	48.0	9.4	3.8	0.4	0.2	0.0	0.2	12.2

Q6. 職員数:職員総人数(10)正規職員(市外在住)【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
533	0	116	118	61	6	1	0	1	0	0	230
100.0	0.0	21.8	22.1	11.4	1.1	0.2	0.0	0.2	0.0	0.0	43.2

Q6. 職員数:職員総人数(11)非正規職員(市内在住)【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
533	0	94	119	82	10	9	7	10	3	1	198
100.0	0.0	17.6	22.3	15.4	1.9	1.7	1.3	1.9	0.6	0.2	37.1

Q6. 職員数:職員総人数(12)非正規職員(市外在住)【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
533	0	172	47	7	2	1	0	0	0	0	304
100.0	0.0	32.3	8.8	1.3	0.4	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	57.0

Q7. ケアマネジャー過不足状況

調査数	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はない	不明
533	66	118	87	244	8	2	8
100.0	12.4	22.1	16.3	45.8	1.5	0.4	1.5

Q7-1. ケアマネジャー不足理由

調査数	採用が困難である	離職率が高い(定着率が低い)	事業拡大によって必要人数が増大した	その他	不明
271	219	29	41	52	4
100.0	80.8	10.7	15.1	19.2	1.5

Q7-2. 職員の採用が困難な原因

調査数	他産業に比べて、労働要件が良くない	景気が良いため、介護業界へ人材が集まらない	同業他社との人材獲得競争が厳しい	その他	わからない	不明
219	147	28	106	69	8	1
100.0	67.1	12.8	48.4	31.5	3.7	0.5

居宅介護支援事業の状況についてお伺いします。

問8 下記のような連絡会等に参加していますか。また、どのくらいの頻度で参加していますか。
(それぞれについて○はひとつ)

	毎回参加	時々参加	あまり参加していない	参加したことがない	わからない
①市居宅介護支援事業者連絡会	1	2	3	4	5
②区サービス事業者連絡会	1	2	3	4	5
③市集団指導講習会	1	2	3	4	5

問9 事業者連絡会等で得た情報は、事業所内で周知・共有していますか。(○はひとつ)

1. はい(周知・共有している)	2. いいえ
------------------	--------

問10 貴事業所では、利用者からの相談や苦情についてどのように対応していますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 相談・苦情専門の担当を設けている(交代制も含む)	6. 専門対応は設けていないが、個別に迅速に対応している
2. 相談・苦情のデータベースを作成している	7. 意見箱・苦情受付箱の設置
3. 苦情対応マニュアルを作成している	8. その他
4. 利用者アンケートなどを実施している	(具体的に)
5. 法人として第三者委員等を設置している	

問11 今後、ケアマネジャー業務の質の向上を図るために、どのような取組をしようと思っていますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 介護保険制度に関する情報収集・研修の強化
2. 介護保険以外の保健・福祉事業に関する情報収集・研修の強化
3. ケアマネジメント技術に関する情報収集・研修の強化
4. サービス提供事業所に関する情報収集
5. 事業者連絡会等への積極的な参加促進
6. 事業所内での情報共有促進(定例会議、データベース作成等)
7. ケースカンファレンス等個別事例毎の検討・助言体制づくり
8. 第三者評価、外部監査等の積極的な活用
9. 地域包括支援センター(地域ケアプラザ)や区・市との連携強化
10. その他(具体的に)

Q8. 連絡会参加頻度(1)市居宅介護支援事業者連絡会

調査数	毎回参加	時々参加	あまり参加していない	参加したことがない	わからない	不明
533	131	144	120	88	24	26
100.0	24.6	27.0	22.5	16.5	4.5	4.9

Q8. 連絡会参加頻度(2)区サービス事業者連絡会

調査数	毎回参加	時々参加	あまり参加していない	参加したことがない	わからない	不明
533	213	199	67	23	15	16
100.0	40.0	37.3	12.6	4.3	2.8	3.0

Q8. 連絡会参加頻度(3)市集団指導講習会

調査数	毎回参加	時々参加	あまり参加していない	参加したことがない	わからない	不明
533	478	22	8	9	3	13
100.0	89.7	4.1	1.5	1.7	0.6	2.4

Q9. 事業者連絡会等で得た情報の周知・共有

調査数	はい(周知・共有している)	いいえ	不明
533	512	10	11
100.0	96.1	1.9	2.1

Q10. 利用者からの相談や苦情についての対応

調査数	相談・苦情専門の担当を設けている(交代制も含む)	相談・苦情のデータベースを作成している	苦情対応マニュアルを作成している	利用者アンケートなどを実施している	法人として第三者委員等を設置している	専門対応は設けていないが、個別に迅速に対応している	意見箱・苦情受付箱の設置	その他	不明
533	387	146	461	241	139	212	75	17	6
100.0	72.6	27.4	86.5	45.2	26.1	39.8	14.1	3.2	1.1

Q11. ケアマネジャー業務の質の向上を図るための取組

調査数	介護保険制度に関する情報収集・研修の強化	介護保険以外の保健・福祉事業に関する情報収集・研修の強化	ケアマネジメント技術に関する情報収集・研修の強化	サービス提供事業所に関する情報収集	事業者連絡会等への積極的な参加促進	事業所内での情報共有促進(定例会議、データベース作成等)	ケースカンファレンス等個別事例毎の検討・助言体制づくり	第三者評価、外部監査等の積極的な活用
533	469	379	415	307	293	293	282	47
100.0	88.0	71.1	77.9	57.6	55.0	55.0	52.9	8.8
						地域包括支援センター(地域ケアプラザ)や区・市との連携強化	その他	不明
						399	13	7
						74.9	2.4	1.3

問12 ケアマネジャー業務を行う上で、どのような情報が必要ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 介護保険制度・介護報酬等に関する情報	10. 地域ケア会議に関する情報
2. 介護保険以外の保健・福祉サービスに関する情報	11. 事業者連絡会等に関する情報
3. 地域のインフォーマルサービスの情報	12. 個別のケアマネジメント事例(困難事例を含む)
4. ケアマネジメント技術に関する情報	13. 多職種連携に関する情報
5. 認知症ケアに関する情報	14. 情報提供・相談等の窓口
6. 介護予防に関する情報	15. 地域の医療機関等に関する情報
7. サービス提供事業所に関する情報	16. その他
8. 定員の空き状況、空室・空床に関する情報	17. 特になし
9. ケアマネジャーを対象とした研修・講座等に関する情報	(具体的に)

問13 貴事業所の運営上の課題についてお伺いします。(あてはまるものすべてに○)

1. 今の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない
2. 経営(収支)が苦しく、労働条件や労働環境改善をしたくても出来ない
3. 新規利用者の獲得が困難
4. ケアマネジャーの教育・研修の十分な時間がとれない
5. 困難事例が多い
6. 利用者からの苦情への対応
7. 地域包括支援センター(地域ケアプラザ)との連携がうまく行っていない(予防給付の受け入れ等)
8. 区・市との連携がうまく行っていない
9. サービス事業所との連携がうまく行っていない
10. 医療機関との連携がうまく行っていない
11. 介護保険の改正等についての的確な情報や説明が速やかに得られない
12. サービス提供事業所やインフォーマルサービスに関する情報が入手できない
13. 主任ケアマネジャーが確保できない
14. その他(具体的に)
15. 特に問題はない

各種サービス利用についてお伺いします。

問14 貴事業所の利用者で、夜間の介護が必要な利用者はどのくらいいますか。(○と人数)

1. ()人	2. 全くいない → 問16へ
---------	-----------------

Q12.ケアマネジャー業務を行う上で必要な情報

調査数	介護保険制度・介護報酬等に関する情報	介護保険以外の保健・福祉サービスに関する情報	地域のインフォーマルサービスの情報	ケアマネジメント技術に関する情報	認知症ケアに関する情報	介護予防に関する情報	サービス提供事業所に関する情報	定員の空き状況、空室・空床に関する情報
533 100.0	490 91.9	466 87.4	489 91.7	391 73.4	331 62.1	287 53.8	358 67.2	252 47.3
	ケアマネジャーを対象とした研修・講座等に関する情報	地域ケア会議に関する情報	事業者連絡会等に関する情報	個別のケアマネジメント事例(困難事例を含む)	多職種連携に関する情報	情報提供・相談等の窓口	地域の医療機関等に関する情報	その他
	382 71.7	246 46.2	261 49.0	321 60.2	371 69.6	261 49.0	363 68.1	15 2.8
							特になし	不明
							0 0.0	5 0.9

Q13.運営上の課題

調査数	今の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない	経営(収支)が苦しく、労働条件や労働環境改善をしたくても出来ない	新規利用者の獲得が困難	ケアマネジャーの教育・研修の十分な時間がとれない	困難事例が多い	利用者からの苦情への対応	地域包括支援センター(地域ケアプラザ)との連携がうまく行っていない(予防給付の受け入れ等)	区・市との連携がうまく行っていない
533 100.0	274 51.4	175 32.8	102 19.1	230 43.2	214 40.2	32 6.0	28 5.3	15 2.8
	サービス事業所との連携がうまく行っていない	医療機関との連携がうまく行っていない	介護保険の改正等についての的確な情報や説明が速やかに得られない	サービス提供事業所やインフォーマルサービスに関する情報が入手できない	主任ケアマネジャーが確保できない	その他	特に問題はない	不明
	5 0.9	25 4.7	64 12.0	46 8.6	85 15.9	46 8.6	45 8.4	11 2.1

Q14.夜間の介護利用者

調査数	いる	全くいない	不明
533 100.0	413 77.5	105 19.7	15 2.8

Q14.夜間の介護利用人数【クラス分け】

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	不明
533 100.0	2 0.4	41 7.7	166 31.1	48 9.0	75 14.1	38 7.1	24 4.5	7 1.3	2 0.4	3 0.6	127 23.8

問14で「1.」の利用者数を回答した方にお伺いします。

問14-1 夜間の介護が必要な利用者は、現在どのようなサービスを利用していますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 訪問介護	
2. ショートステイ (老健・特養)	
3. 夜間対応型訪問介護	
4. 定期巡回・随時対応型訪問看護介護	
5. 介護保険外のサービス (通所介護事業所等で提供されている宿泊サービス等)	
6. その他 (具体的に)	
7. 夜間の利用者のニーズに対応できない場合がある (ニーズのあるサービス : 具体的に) (対応できない時間帯 : 具体的に)	

問15 事業所サービスにつなげる際、医療処置を理由に入所を断られたことはありますか。(○はひとつ)

1. ある	2. ない
-------	-------

問15で「1. ある」と回答した方にお伺いします。

問15-1 何の医療処置を理由に断られましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 点滴の管理	8. 疼痛の看護
2. 中心静脈栄養	9. 経管栄養
3. 透析	10. モニター測定 (血圧、心拍、酸素飽和度等)
4. ストーマ (人工肛門) の処置	11. 褥瘡 ^{じよくそう} の処置
5. 酸素療法	12. カテーテル (コンドームカテーテル、留置カテーテル、ウロストーマ等)
6. レスピレーター (人工呼吸器)	13. その他 (具体的に)
7. 気管切開の処置	

問16 介護療養型医療施設 (介護医療院) への入所を希望した際に、満床で入所できなかったことはありますか。

(○はひとつ)

1. ある	2. ない
-------	-------

Q14-1.夜間の介護が必要な利用者の利用サービス

調査数	訪問介護	ショートステイ (老健・特養)	夜間対応型訪問介護	定期巡回・随時対応型訪問看護介護	介護保険外のサービス (通所介護事業所等で提供されている宿泊サービス等)	その他	夜間の利用者のニーズに対応できない場合がある	不明
413	180	257	230	186	114	79	35	5
100.0	43.6	62.2	55.7	45.0	27.6	19.1	8.5	1.2

Q15.医療処置を理由に入所を断られたこと

調査数	ある	ない	不明
533	333	194	6
100.0	62.5	36.4	1.1

Q15-1.断られた医療処置内容

調査数	点滴の管理	中心静脈栄養	透析	ストーマ (人工肛門) の処置	酸素療法	レスピレーター (人工呼吸器)	気管切開の処置	疼痛の看護
333	100	81	108	25	83	46	62	29
100.0	30.0	24.3	32.4	7.5	24.9	13.8	18.6	8.7
			経管栄養	モニター測定 (血圧、心拍、酸素飽和度等)	褥瘡 (じよくそう) の処置	カテーテル (コンドームカテーテル、留置カテーテル、ウロストーマ等)	その他	不明
			118	14	42	35	117	3
			35.4	4.2	12.6	10.5	35.1	0.9

Q16.介護療養型医療施設へ入所できなかったこと

調査数	ある	ない	不明
533	76	421	36
100.0	14.3	79.0	6.8

最後に、介護保険制度に対する要望・ご意見など、テーマを設定いただき、ご自由にご記入ください。

[について]

ご協力ありがとうございました。

施設種別

調査数	営利法人	社会福祉法人 (社協)	社会福祉法人 (社協以外)	社団・財団	医療法人	非営利法人(N PO)	生協	その他法人
533	247	12	168	16	51	26	11	1
100.0	46.3	2.3	31.5	3.0	9.6	4.9	2.1	0.2
							非法人	その他
							0	1
							0.0	0.2

所在地

調査数	青葉区	旭区	泉区	磯子区	神奈川区	金沢区	港南区	港北区
533	37	39	25	27	27	29	39	37
100.0	6.9	7.3	4.7	5.1	5.1	5.4	7.3	6.9
	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区	戸塚区	中区	西区	保土ヶ谷区
	14	22	19	37	41	29	15	35
	2.6	4.1	3.6	6.9	7.7	5.4	2.8	6.6
							緑区	南区
							28	33
							5.3	6.2

事業継続年月

調査数	3年未満	3年以上
533	56	477
100.0	10.5	89.5

地域ケアプラザ調査

14

地域ケアプラザの概要についてお伺いします。

問1 地域ケアプラザ名等をご記入ください。

貴ケアプラザ名			
記入者名		電話番号	

問2 令和4年10月末時点の現職種（他地域ケアプラザでの勤務を含む）の職員の勤続年数はどのくらいですか。該当する各職員の「職種」、「勤続年数」を下表①にそれぞれ番号でお答えください。（複数配置している職種については、下の表②の方にお答えください）

① 勤続年数 職種 (○をお付けください)	勤続年数							
	6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年以上
社会福祉士等	1	2	3	4	5	6	7	8
保健師等	1	2	3	4	5	6	7	8
主任ケアマネジャー等	1	2	3	4	5	6	7	8
生活支援コーディネーター	1	2	3	4	5	6	7	8
地域活動交流コーディネーター	1	2	3	4	5	6	7	8

(複数配置(2人目以降)の場合は下記欄にご記入ください)

② 勤続年数 職種 (○をお付けください)	勤続年数							
	6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年以上
社会福祉士等	1	2	3	4	5	6	7	8
保健師等	1	2	3	4	5	6	7	8
主任ケアマネジャー等	1	2	3	4	5	6	7	8
生活支援コーディネーター	1	2	3	4	5	6	7	8
地域活動交流コーディネーター	1	2	3	4	5	6	7	8

Q2A.職員の勤続年数(1)社会福祉士等

調査数	6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年以上	不明
118	5	5	16	11	19	31	15	8	8
100.0	4.2	4.2	13.6	9.3	16.1	26.3	12.7	6.8	6.8

Q2A.職員の勤続年数(2)保健師等

調査数	6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年以上	不明
118	5	6	8	9	18	36	14	13	9
100.0	4.2	5.1	6.8	7.6	15.3	30.5	11.9	11.0	7.6

Q2A.職員の勤続年数(3)主任ケアマネジャー等

調査数	6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年以上	不明
118	2	11	12	10	13	24	17	21	8
100.0	1.7	9.3	10.2	8.5	11.0	20.3	14.4	17.8	6.8

Q2A.職員の勤続年数(4)生活支援コーディネーター

調査数	6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年以上	不明
118	4	13	24	14	21	27	4	1	10
100.0	3.4	11.0	20.3	11.9	17.8	22.9	3.4	0.8	8.5

Q2A.職員の勤続年数(5)地域活動交流コーディネーター

調査数	6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年以上	不明
118	6	12	16	9	16	32	10	6	11
100.0	5.1	10.2	13.6	7.6	13.6	27.1	8.5	5.1	9.3

Q2B.職員の勤続年数(2人目以降)(1)社会福祉士等

調査数	6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年以上	不明
118	3	6	8	7	9	9	0	0	76
100.0	2.5	5.1	6.8	5.9	7.6	7.6	0.0	0.0	64.4

Q2B.職員の勤続年数(2人目以降)(2)保健師等

調査数	6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年以上	不明
118	1	3	3	2	2	5	0	1	101
100.0	0.8	2.5	2.5	1.7	1.7	4.2	0.0	0.8	85.6

Q2B.職員の勤続年数(2人目以降)(3)主任ケアマネジャー等

調査数	6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年以上	不明
118	0	1	3	0	0	1	0	0	113
100.0	0.0	0.8	2.5	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	95.8

Q2B.職員の勤続年数(2人目以降)(4)生活支援コーディネーター

調査数	6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年以上	不明
118	0	0	0	1	0	1	1	0	115
100.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.8	0.8	0.0	97.5

Q2B.職員の勤続年数(2人目以降)(5)地域活動交流コーディネーター

調査数	6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年以上	不明
118	1	0	0	1	0	0	0	0	116
100.0	0.8	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	98.3

問3 過去1年間のおおよその超過勤務時間数（月平均一人あたり）を記載してください。
（各職種〇はひとつ）

職種	〇時間	〇時間超～10時間以下	10時間超～30時間以下	30時間超～45時間以下	45時間超～
①所長	1	2	3	4	5
②社会福祉士等	1	2	3	4	5
③保健師等	1	2	3	4	5
④主任ケアマネジャー等	1	2	3	4	5
⑤生活支援コーディネーター	1	2	3	4	5
⑥地域活動交流コーディネーター	1	2	3	4	5

地域包括支援センターの業務についてお伺いします。

問5 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務の課題と考えることは何ですか。（〇は3つまで）

1. 利用者に介護予防を理解してもらうのが困難
2. 委託を受ける居宅介護支援事業者が少ない/無い
3. 認定結果が出る前の暫定プランが立てにくい（作業後に要介護となった場合無報酬）
4. インフォーマルサービスが不足している
5. 介護予防プランを作成するための知識・技術を習得する機会が不足している
6. 委託先のケアマネジャーが作成したケアプランへの指導がしにくい
7. 委託先のケアマネジャーが介護予防を理解していない
8. サービス提供事業者がみつからない
9. その他（具体的に)
10. 特になし

問6 総合相談・支援業務の課題と考えることは何ですか。（〇は3つまで）

1. 地域包括支援センターの存在・役割が利用者・高齢者に十分に周知されていない
2. 三職種（社会福祉士等・保健師等・主任ケアマネジャー等）間の連携
3. 生活支援コーディネーター・地域活動交流コーディネーターとの連携
4. 制度改正が複雑・頻繁なことから、利用者への説明が追いつかない
5. 制度改正が複雑・頻繁なことから、職員の習熟度を上げるのが困難
6. 日曜日・祝日の相談件数が少ない（窓口を空ける必要性に乏しい）
7. 行政からの情報提供が少なく、伝達が体系化されていない
8. 業務が繁忙で訪問による相談・支援が思うようにできない
9. 区役所からのケース引継ぎが不十分である
10. その他（具体的に)
11. 特になし

Q3. 超過勤務時間数(1)所長

調査数	〇時間	〇時間超～10時間以下	10時間超～30時間以下	30時間超～45時間以下	45時間超～	不明
118	22	43	28	13	5	7
100.0	18.6	36.4	23.7	11.0	4.2	5.9

Q3. 超過勤務時間数(2)社会福祉士等

調査数	〇時間	〇時間超～10時間以下	10時間超～30時間以下	30時間超～45時間以下	45時間超～	不明
118	2	67	40	4	2	3
100.0	1.7	56.8	33.9	3.4	1.7	2.5

Q3. 超過勤務時間数(3)保健師等

調査数	〇時間	〇時間超～10時間以下	10時間超～30時間以下	30時間超～45時間以下	45時間超～	不明
118	4	71	39	2	0	2
100.0	3.4	60.2	33.1	1.7	0.0	1.7

Q3. 超過勤務時間数(4)主任ケアマネジャー等

調査数	〇時間	〇時間超～10時間以下	10時間超～30時間以下	30時間超～45時間以下	45時間超～	不明
118	5	65	39	4	0	5
100.0	4.2	55.1	33.1	3.4	0.0	4.2

Q3. 超過勤務時間数(5)生活支援コーディネーター

調査数	〇時間	〇時間超～10時間以下	10時間超～30時間以下	30時間超～45時間以下	45時間超～	不明
118	8	79	23	2	1	5
100.0	6.8	66.9	19.5	1.7	0.8	4.2

Q3. 超過勤務時間数(6)地域活動交流コーディネーター

調査数	〇時間	〇時間超～10時間以下	10時間超～30時間以下	30時間超～45時間以下	45時間超～	不明
118	8	78	24	1	1	6
100.0	6.8	66.1	20.3	0.8	0.8	5.1

Q5. 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務の課題

調査数	利用者に介護予防を理解してもらうのが困難	委託を受ける居宅介護支援事業者が少ない/無い	認定結果が出る前の暫定プランが立てにくい（作業後に要介護となった場合無報酬）	インフォーマルサービスが不足している	介護予防プランを作成するための知識・技術を習得する機会が不足している	委託先のケアマネジャーが作成したケアプランへの指導がしにくい	委託先のケアマネジャーが介護予防を理解していない	サービス提供事業者がみつからない
118	35	105	62	33	5	36	14	28
100.0	29.7	89.0	52.5	28.0	4.2	30.5	11.9	23.7
					その他	特になし	不明	
					7	0	1	
					5.9	0.0	0.8	

Q6. 総合相談・支援業務の課題

調査数	地域包括支援センターの存在・役割が利用者・高齢者に十分に周知されていない	三職種（社会福祉士等・保健師等・主任ケアマネジャー等）間の連携	生活支援コーディネーター・地域活動交流コーディネーターとの連携	制度改正が複雑・頻繁なことから、利用者への説明が追いつかない	制度改正が複雑・頻繁なことから、職員の習熟度を上げるのが困難	日曜日・祝日の相談件数が少ない（窓口を空ける必要性に乏しい）	行政からの情報提供が少なく、伝達が体系化されていない	業務が繁忙で訪問による相談・支援が思うようにできない
118	44	14	19	36	29	31	8	84
100.0	37.3	11.9	16.1	30.5	24.6	26.3	6.8	71.2
					区役所からのケース引継ぎが不十分である	その他	特になし	不明
					13	18	0	2
					11.0	15.3	0.0	1.7

問7 権利擁護業務について、成年後見制度の利用を促進するためにはどのようなことが必要だと思いますか。(該当するもの上位3つまで○をつけてください)

1. 講演会・出前講座等での市民への周知
2. 支援者(事業所の職員)への研修
3. 成年後見制度・高齢者や障害者虐待等に関する相談機関の充実
4. 司法・福祉・医療などの連携体制の強化
5. 本人・親族申立ての支援
6. 日常生活自立支援事業から成年後見制度への移行支援
7. 成年後見制度の利用に関する助成制度の拡充
8. 市民後見人について、市民や関係機関への周知
9. 警察や消防等の公的機関、銀行や郵便局等の金融機関、電車やタクシー等の交通機関、地域の商業施設など、身近な生活にかかわる事業者とのネットワーク構築
10. その他(具体的に)
11. 特になし

問8 包括的・継続的ケアマネジメント支援の課題と考えることは何ですか。(○は3つまで)

1. 地域連携の成功事例の蓄積、相互の情報提供が少なく、参考にできるものが少ない
2. 診療所医師との関係づくり
3. 歯科医師との関係づくり
4. 薬剤師との関係づくり
5. 病院の医療ソーシャルワーカーとの関係づくり
6. 在宅医療連携拠点との関係づくり
7. ケアマネジャーから相談を受けた際にヒントを与えられるような知識・経験が少ない
8. 地域のインフォーマルサービスの開発支援・育成支援・連携支援の知識・経験が少ない
9. 介護・福祉にとどまらない地域課題の解決に向けた知識・経験が少ない
10. 担当圏域内の要援護者情報や既存の社会資源の情報不足している
11. 三職種(社会福祉士等・保健師等・主任ケアマネジャー等)間の連携
12. 生活支援コーディネーター・地域活動交流コーディネーターとの連携
13. その他(具体的に)
14. 特になし

Q7. 成年後見制度の利用を促進するため必要なこと(1)1位

調査数	講演会・出前講座等での市民への周知	支援者(事業所の職員)への研修	成年後見制度・高齢者や障害者虐待等に関する相談機関の充実	司法・福祉・医療などの連携体制の強化	本人・親族申立ての支援	日常生活自立支援事業から成年後見制度への移行支援	成年後見制度の利用に関する助成制度の拡充	市民後見人について、市民や関係機関への周知
118 100.0	24 20.3	13 11.0	32 27.1	14 11.9	16 13.6	1 0.8	8 6.8	1 0.8
					身近な生活にかかわる事業者とのネットワーク構築	その他	特になし	不明
					4 3.4	4 3.4	0 0.0	1 0.8

Q7. 成年後見制度の利用を促進するため必要なこと(2)2位

調査数	講演会・出前講座等での市民への周知	支援者(事業所の職員)への研修	成年後見制度・高齢者や障害者虐待等に関する相談機関の充実	司法・福祉・医療などの連携体制の強化	本人・親族申立ての支援	日常生活自立支援事業から成年後見制度への移行支援	成年後見制度の利用に関する助成制度の拡充	市民後見人について、市民や関係機関への周知
118 100.0	16 13.6	15 12.7	15 12.7	25 21.2	23 19.5	2 1.7	12 10.2	2 1.7
					身近な生活にかかわる事業者とのネットワーク構築	その他	特になし	不明
					6 5.1	1 0.8	0 0.0	1 0.8

Q7. 成年後見制度の利用を促進するため必要なこと(3)3位

調査数	講演会・出前講座等での市民への周知	支援者(事業所の職員)への研修	成年後見制度・高齢者や障害者虐待等に関する相談機関の充実	司法・福祉・医療などの連携体制の強化	本人・親族申立ての支援	日常生活自立支援事業から成年後見制度への移行支援	成年後見制度の利用に関する助成制度の拡充	市民後見人について、市民や関係機関への周知
118 100.0	15 12.7	12 10.2	17 14.4	15 12.7	21 17.8	4 3.4	18 15.3	3 2.5
					身近な生活にかかわる事業者とのネットワーク構築	その他	特になし	不明
					10 8.5	2 1.7	0 0.0	1 0.8

Q8. 包括的・継続的ケアマネジメント支援の課題

調査数	地域連携の成功事例の蓄積、相互の情報提供が少なく、参考にできるものが少ない	診療所医師との関係づくり	歯科医師との関係づくり	薬剤師との関係づくり	病院の医療ソーシャルワーカーとの関係づくり	在宅医療連携拠点との関係づくり	ケアマネジャーから相談を受けた際にヒントを与えられるような知識・経験が少ない	地域のインフォーマルサービスの開発支援・育成支援・連携支援の知識・経験が少ない
118 100.0	44 37.3	34 28.8	4 3.4	5 4.2	34 28.8	17 14.4	15 12.7	53 44.9
		介護・福祉にとどまらない地域課題の解決に向けた知識・経験が少ない	担当圏域内の要援護者情報や既存の社会資源の情報不足している	三職種(社会福祉士等・保健師等・主任ケアマネジャー等)間の連携	生活支援コーディネーター・地域活動交流コーディネーターとの連携	その他	特になし	不明
		56 47.5	22 18.6	11 9.3	12 10.2	4 3.4	0 0.0	1 0.8

問9 これまでに実施した包括的・継続的ケアマネジメント支援は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 居宅介護支援事業所への訪問	9. 関係機関の意見交換会の場の設定
2. ケアマネジャーのニーズ把握	10. 関係機関との情報共有のためのルールづくり
3. 現任ケアマネジャー向け研修会等	11. ケアマネジャー同士のネットワーク構築
4. 新任・就労予定ケアマネジャー向け研修会等	12. プラン立案・振り返りの相談支援
5. 医師会・診療所医師へのアプローチ	13. 地域の社会資源マップの作成
6. 医療ソーシャルワーカーへのアプローチ	14. サービス担当者会議開催支援
7. ボランティア団体・NPO等へのアプローチ	15. 事例検討会(困難事例を含む)
8. 在宅医療連携拠点へのアプローチ	16. その他(具体的に)

問10 保険外の活動やサービスを組み合わせ作成したケアプランはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 通いの場(体操・運動・趣味などの活動、食事会などの定期的な交流)	9. 生活援助(掃除、洗濯、買い物、調理など)
2. 通いの場への送迎	10. 話し相手
3. 医療機関・福祉施設・役所への送迎	11. 訪問による理美容
4. 医療機関・福祉施設・役所への送迎前後の付き添い	12. 歯科などの訪問診療
5. 栄養改善を目的とした配食	13. 介護等が必要になった場合の住宅改造
6. 見守り・安否確認	14. 紙おむつの購入
7. 緊急時の通報システム	15. その他(具体的に)
8. ごみ出し	16. 特になし

問11 所管する圏域で、今後充実が必要だと思う活動やサービスはありますか。(○は5つまで)

1. 通いの場(体操・運動・趣味などの活動、食事会などの定期的な交流)	9. 生活援助(掃除、洗濯、買い物、調理など)
2. 通いの場への送迎	10. 話し相手
3. 医療機関・福祉施設・役所への送迎	11. 訪問による理美容
4. 医療機関・福祉施設・役所への送迎前後の付き添い	12. 歯科などの訪問診療
5. 栄養改善を目的とした配食	13. 介護等が必要になった場合の住宅改造
6. 見守り・安否確認	14. 紙おむつの購入
7. 緊急時の通報システム	15. その他(具体的に)
8. ごみ出し	16. 特になし

Q9. これまでに実施した包括的・継続的ケアマネジメント支援

調査数	居宅介護支援事業所への訪問	ケアマネジャーのニーズ把握	現任ケアマネジャー向け研修会等	新任・就労予定ケアマネジャー向け研修会等	医師会・診療所医師へのアプローチ	医療ソーシャルワーカーへのアプローチ	ボランティア団体・NPO等へのアプローチ	在宅医療連携拠点へのアプローチ
118 100.0	84 71.2	84 71.2	111 94.1	104 88.1	73 61.9	74 62.7	48 40.7	75 63.6
	関係機関の意見交換会の場の設定	関係機関との情報共有のためのルールづくり	ケアマネジャー同士のネットワーク構築	プラン立案・振り返りの相談支援	地域の社会資源マップの作成	サービス担当者会議開催支援	事例検討会(困難事例を含む)	その他
	80 67.8	30 25.4	89 75.4	59 50.0	53 44.9	83 70.3	102 86.4	4 3.4
								不明
								1
								0.8

Q10. 保険外の活動やサービスを組み合わせ作成したケアプラン

調査数	通いの場(体操・運動・趣味などの活動、食事会などの定期的な交流)	通いの場への送迎	医療機関・福祉施設・役所への送迎	医療機関・福祉施設・役所への送迎前後の付き添い	栄養改善を目的とした配食	見守り・安否確認	緊急時の通報システム	ごみ出し
118 100.0	102 86.4	9 7.6	23 19.5	18 15.3	59 50.0	84 71.2	44 37.3	86 72.9
	生活援助(掃除、洗濯、買い物、調理など)	話し相手	訪問による理美容	歯科などの訪問診療	介護等が必要になった場合の住宅改造	紙おむつの購入	その他	特になし
	63 53.4	22 18.6	46 39.0	51 43.2	53 44.9	39 33.1	1 0.8	1 0.8
								不明
								2
								1.7

Q11. 所管する圏域で、今後充実が必要だと思う活動やサービス

調査数	通いの場(体操・運動・趣味などの活動、食事会などの定期的な交流)	通いの場への送迎	医療機関・福祉施設・役所への送迎	医療機関・福祉施設・役所への送迎前後の付き添い	栄養改善を目的とした配食	見守り・安否確認	緊急時の通報システム	ごみ出し
118 100.0	65 55.1	88 74.6	65 55.1	56 47.5	13 11.0	66 55.9	25 21.2	34 28.8
	生活援助(掃除、洗濯、買い物、調理など)	話し相手	訪問による理美容	歯科などの訪問診療	介護等が必要になった場合の住宅改造	紙おむつの購入	その他	特になし
	46 39.0	41 34.7	1 0.8	2 1.7	4 3.4	1 0.8	3 2.5	1 0.8
								不明
								1
								0.8

問 12 区役所の社会福祉職・保健師に期待することは何ですか。(あてはまるものすべてに○)
また、選択した「期待すること」について、区がその役割を果たしていると思いますか。

	期待すること (あてはまるものすべてに○)	「期待すること」で○を付けた項目について、 下記にお答えください(○はひとつ)			
		十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない
①支援困難事例への対応	1 →	1	2	3	4
②ケースカンファレンス	1 →	1	2	3	4
③苦情相談への対応	1 →	1	2	3	4
④介護保険以外のサービスや制度の利用	1 →	1	2	3	4
⑤介護保険法で判断に困るとき	1 →	1	2	3	4
⑥医療・健康状態などの相談・助言	1 →	1	2	3	4
⑦虐待が認められる・虐待のおそれのあるケースへの対応	1 →	1	2	3	4
⑧精神疾患の方への対応	1 →	1	2	3	4
⑨地域課題の解決に向けた地域ケア会議の支援	1 →	1	2	3	4
⑩その他 (具体的に)	1 →	1	2	3	4

Q12.区役所の社会福祉職・保健師に期待すること

調査数	支援困難事例への対応	ケースカンファレンス	苦情相談への対応	介護保険以外のサービスや制度の利用	介護保険法で判断に困るとき	医療・健康状態などの相談・助言	虐待が認められる・虐待のおそれのあるケースへの対応	精神疾患の方への対応
118	103	68	65	40	55	43	95	84
100.0	87.3	57.6	55.1	33.9	46.6	36.4	80.5	71.2

Q12.期待すること(1)支援困難事例への対応

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	不明
103	26	59	14	0	4
100.0	25.2	57.3	13.6	0.0	3.9

Q12.期待すること(2)ケースカンファレンス

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	不明
68	18	38	9	0	3
100.0	26.5	55.9	13.2	0.0	4.4

Q12.期待すること(3)苦情相談への対応

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	不明
65	7	40	15	0	3
100.0	10.8	61.5	23.1	0.0	4.6

Q12.期待すること(4)介護保険以外のサービスや制度の利用

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	不明
40	5	19	15	0	1
100.0	12.5	47.5	37.5	0.0	2.5

Q12.期待すること(5)介護保険法で判断に困るとき

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	不明
55	8	29	16	2	2
100.0	14.5	52.7	29.1	3.6	3.6

Q12.期待すること(6)医療・健康状態などの相談・助言

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	不明
43	12	24	2	2	3
100.0	27.9	55.8	4.7	4.7	7.0

Q12.期待すること(7)虐待が認められる・虐待のおそれのあるケースへの対応

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	不明
95	25	48	20	0	2
100.0	26.3	50.5	21.1	0.0	2.1

Q12.期待すること(8)精神疾患の方への対応

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	不明
84	10	39	26	4	5
100.0	11.9	46.4	31.0	4.8	6.0

Q12.期待すること(9)地域課題の解決に向けた地域ケア会議の支援

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	不明
80	15	40	22	0	3
100.0	18.8	50.0	27.5	0.0	3.8

Q12.期待すること(10)その他

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	不明
6	1	2	1	2	2
100.0	16.7	33.3	16.7	33.3	33.3

地域課題の解決に向けた地域ケア会議の支援	その他	不明
80	6	11
67.8	5.1	9.3

問 13 所管する圏域を営業エリアとする居宅介護支援事業所のケアマネジャーは、その業務を適切に行っていると思いますか。次の各項目についてお答えください。（それぞれあてはまる番号に○はひとつ）

	十分行っている と思う	まあまあ行っ ていると思う	あまり行っ ていないと思 わない	行っている と思わない
①自立支援・重度化予防の理念の理解とケアプランへの反映	1	2	3	4
②サービス担当者会議の開催による利用者・家族等との目標の共有化及びケアプランへの反映	1	2	3	4
③地域のインフォーマルサービスを取り入れるための情報収集や利用のための調整	1	2	3	4
④介護保険以外の公的サービスについての情報収集及び必要に応じたケアプランへの反映	1	2	3	4
⑤医療との連携	1	2	3	4
⑥主治医（医療機関）と情報の共有化	1	2	3	4
⑦地域包括支援センターとの連携	1	2	3	4
⑧制度に関する情報収集や、資質向上のための研修への積極的な取組	1	2	3	4
⑨利用者が要支援認定を受けた場合に利用者に係る必要な情報を介護予防支援事業所に提供する	1	2	3	4
⑩特定の居宅介護サービスを位置付けない等利用者によるサービスの選択に資する情報提供の実施	1	2	3	4
⑪利用者からの苦情の受付及び苦情解決に向けた適切な対応	1	2	3	4

問 14 地域活動団体の担い手について、課題を把握していますか。（○はひとつ）

1. 把握している	3. あまり把握していない
2. やや把握している	4. 把握していない

問 15 問 14 の課題について、課題の解決に向けた支援を行っていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. ボランティアを行いたい人向けの講座等、新たな担い手の発掘に積極的に取り組んでいる	4. ハマボノ（mini を含む）を地域活動団体に紹介したことがある
2. ボランティアの希望者がくれば、地域活動団体につないでいる	5. 新たな参加者の募集に関する支援を行っている
3. ボランティアが必要な時は、ボランティアセンターに相談している	6. 特に支援は行っていない

Q13.居宅介護支援事業所のケアマネジャーの業務について(1)自立支援・重度化予防の理念の理解とケアプランへの反映

調査数	十分行っている と思う	まあまあ行っ ていると思う	あまり行っ ていないと思 わない	行っている と思わない
118	8	87	23	0
100.0	6.8	73.7	19.5	0.0

Q13.居宅介護支援事業所のケアマネジャーの業務について(2)サービス担当者会議の開催による利用者・家族等との目標の共有化及びケアプランへの反映

調査数	十分行っている と思う	まあまあ行っ ていると思う	あまり行っ ていないと思 わない	行っている と思わない
118	22	92	4	0
100.0	18.6	78.0	3.4	0.0

Q13.居宅介護支援事業所のケアマネジャーの業務について(3)地域のインフォーマルサービスを取り入れるための情報収集や利用のための調整

調査数	十分行っている と思う	まあまあ行っ ていると思う	あまり行っ ていないと思 わない	行っている と思わない
118	3	48	65	2
100.0	2.5	40.7	55.1	1.7

Q13.居宅介護支援事業所のケアマネジャーの業務について(4)介護保険以外の公的サービスについての情報収集及び必要に応じたケアプランへの反映

調査数	十分行っている と思う	まあまあ行っ ていると思う	あまり行っ ていないと思 わない	行っている と思わない	不明
118	6	54	55	2	1
100.0	5.1	45.8	46.6	1.7	0.8

Q13.居宅介護支援事業所のケアマネジャーの業務について(5)医療との連携

調査数	十分行っている と思う	まあまあ行っ ていると思う	あまり行っ ていないと思 わない	行っている と思わない
118	15	93	10	0
100.0	12.7	78.8	8.5	0.0

Q13.居宅介護支援事業所のケアマネジャーの業務について(6)主治医（医療機関）と情報の共有化

調査数	十分行っている と思う	まあまあ行っ ていると思う	あまり行っ ていないと思 わない	行っている と思わない
118	13	83	21	1
100.0	11.0	70.3	17.8	0.8

Q13.居宅介護支援事業所のケアマネジャーの業務について(7)地域包括支援センターとの連携

調査数	十分行っている と思う	まあまあ行っ ていると思う	あまり行っ ていないと思 わない	行っている と思わない
118	13	86	19	0
100.0	11.0	72.9	16.1	0.0

Q13.居宅介護支援事業所のケアマネジャーの業務について(8)制度に関する情報収集や、資質向上のための研修への積極的な取組

調査数	十分行っている と思う	まあまあ行っ ていると思う	あまり行っ ていないと思 わない	行っている と思わない	不明
118	16	80	21	0	1
100.0	13.6	67.8	17.8	0.0	0.8

Q13.居宅介護支援事業所のケアマネジャーの業務について(9)利用者が要支援認定を受けた場合に利用者に係る必要な情報を介護予防支援事業所に提供する

調査数	十分行っている と思う	まあまあ行っ ていると思う	あまり行っ ていないと思 わない	行っている と思わない
118	27	83	8	0
100.0	22.9	70.3	6.8	0.0

Q13.居宅介護支援事業所のケアマネジャーの業務について(10)特定の居宅介護サービスを位置付けない等利用者によるサービスの選択に資する情報提供の実施

調査数	十分行っている と思う	まあまあ行っ ていると思う	あまり行っ ていないと思 わない	行っている と思わない	不明
118	18	76	20	1	3
100.0	15.3	64.4	16.9	0.8	2.5

Q13.居宅介護支援事業所のケアマネジャーの業務について(11)利用者からの苦情の受付及び苦情解決に向けた適切な対応

調査数	十分行っている と思う	まあまあ行っ ていると思う	あまり行っ ていないと思 わない	行っている と思わない	不明
118	19	89	9	0	1
100.0	16.1	75.4	7.6	0.0	0.8

Q14.地域活動団体の担い手についての課題

調査数	把握している	やや把握して いる	あまり把握して いない	把握してい ない
118	38	76	4	0
100.0	32.2	64.4	3.4	0.0

地域包括ケアシステムについてお伺いします。

問 16 今後の高齢社会の進展を踏まえ、地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいます。
地域包括ケアシステムの構築に向けて優先度の高いと思う課題は何ですか。(〇は2つまで)

1. 多様な在宅介護サービスを提供できる事業所の整備
2. 介護従事者の人材確保
3. 医療・介護の連携を含む在宅医療体制の構築
4. 在宅医療人材の確保・育成
5. 介護予防に取り組む市民意識の醸成
6. 介護予防人材の育成及び支援
7. 多様な生活支援・サービスの提供
8. 高齢者のニーズに応じた施設や住まいの提供
9. 認知症への地域の理解
10. 高齢者の社会参加の機会の創出
11. 高齢者本人・家族の主体的な意思決定の支援
12. その他(具体的に)
13. 特になし

地域ケア会議についてお伺いします。

問 17 地域ケア会議を開催して得られる効果は何ですか。
(個別ケース、包括レベルそれぞれ、〇は3つまで)

	個別ケース	包括レベル
①個別課題の解決やそのための気づき	1	2
②ケースの自立支援に資するケアマネジメントの検討ができる	1	2
③医療と介護のネットワーク構築	1	2
④地域住民、団体とのネットワーク構築	1	2
⑤地域課題の把握、明確化	1	2
⑥社会資源の開発	1	2
⑦他の専門的な職種から意見がきける	1	2
⑧地域住民から意見が聞ける	1	2
⑨個別ケースその他(具体的に)	1	
⑩包括レベルその他(具体的に)		2

Q15.問14の課題について、課題の解決に向けた支援

調査数	ボランティアを行いたい人向けの講座等、新たな担い手の発掘に積極的に取り組んでいる	ボランティアの希望者がくれば、地域活動団体につないでいる	ボランティアが必要な時は、ボランティアセンターに相談している	ハマボノ(miniを含む)を地域活動団体に紹介したことがある	新たな参加者の募集に関する支援を行っている	特に支援は行っていない
118	84	102	51	32	78	3
100.0	71.2	86.4	43.2	27.1	66.1	2.5

Q16.地域包括ケアシステムの構築に向けて優先度の高いと思う課題

調査数	多様な在宅介護サービスを提供できる事業所の整備	介護従事者の人材確保	医療・介護の連携を含む在宅医療体制の構築	在宅医療人材の確保・育成	介護予防に取り組む市民意識の醸成	介護予防人材の育成及び支援	多様な生活支援・サービスの提供	高齢者のニーズに応じた施設や住まいの提供
118	25	44	13	7	22	13	31	4
100.0	21.2	37.3	11.0	5.9	18.6	11.0	26.3	3.4
			認知症への地域の理解	高齢者の社会参加の機会の創出	高齢者本人・家族の主体的な意思決定の支援	その他	特になし	不明
			34	23	12	4	0	1
			28.8	19.5	10.2	3.4	0.0	0.8

Q17.地域ケア会議を開催して得られる効果(1)個別ケース

調査数	個別課題の解決やそのための気づき	ケースの自立支援に資するケアマネジメントの検討ができる	医療と介護のネットワーク構築	地域住民、団体とのネットワーク構築	地域課題の把握、明確化	社会資源の開発	他の専門的な職種から意見がきける	地域住民から意見が聞ける
118	106	38	15	48	32	7	40	40
100.0	89.8	32.2	12.7	40.7	27.1	5.9	33.9	33.9
							個別ケースその他	包括レベルその他
							1	0
							0.8	0.0

Q17.地域ケア会議を開催して得られる効果(2)包括レベル

調査数	個別課題の解決やそのための気づき	ケースの自立支援に資するケアマネジメントの検討ができる	医療と介護のネットワーク構築	地域住民、団体とのネットワーク構築	地域課題の把握、明確化	社会資源の開発	他の専門的な職種から意見がきける	地域住民から意見が聞ける
118	8	6	35	77	78	43	31	36
100.0	6.8	5.1	29.7	65.3	66.1	36.4	26.3	30.5
							個別ケースその他	包括レベルその他
							0	0
							0.0	0.0
								不明
								4
								3.4

問 18 現時点で、地域ケア会議（個別ケース、包括レベル）で課題に思うことは何ですか。
（個別ケース、包括レベルそれぞれ、〇は3つまで）

	個別ケース	包括レベル
①テーマの選定が難しい	1	2
②会議の事前準備の調整（出席者への依頼、出席者への説明等）が難しい	1	2
③会議の運営・進行為が難しい	1	2
④課題の共有までで終わってしまい解決策の提案に至らない	1	2
⑤会議後の役割をどう分担してよいかわからない	1	2
⑥会議後の課題解決策の実践について評価ができていない	1	2
⑦個別ケース検討結果で得た課題を蓄積、分析し、地域課題として抽出することが難しい	1	2
⑧参加者のケア会議に対する理解が不足している	1	2
⑨ケア会議の開催目的が共有できていない	1	2
⑩事例検討会との違いがわからない（見いだせない）	1	2
⑪必要な専門職の参加が不足している	1	2
⑫自立支援に資するケアマネジメントの検討ができていない	1	2
⑬個別ケースその他 （具体的に）	1	
⑭包括レベルその他 （具体的に）		2

Q18.地域ケア会議での課題(1)個別ケース

調査数	テーマの選定が難しい	会議の事前準備の調整(出席者への依頼、出席者への説明等)が難しい	会議の運営・進行為が難しい	課題の共有までで終わってしまい解決策の提案に至らない	会議後の役割をどう分担してよいかわからない	会議後の課題解決策の実践について評価ができていない	個別ケース検討結果で得た課題を蓄積、分析し、地域課題として抽出することが難しい	参加者のケア会議に対する理解が不足している
118 100.0	43 36.4	57 48.3	20 16.9	37 31.4	13 11.0	30 25.4	38 32.2	24 20.3
		ケア会議の開催目的が共有できていない	事例検討会との違いがわからない(見いだせない)	必要な専門職の参加が不足している	自立支援に資するケアマネジメントの検討ができていない	個別ケースその他	包括レベルその他	不明
		6 5.1	13 11.0	10 8.5	9 7.6	4 3.4	0 0.0	2 1.7

Q18.地域ケア会議での課題(2)包括レベル

調査数	テーマの選定が難しい	会議の事前準備の調整(出席者への依頼、出席者への説明等)が難しい	会議の運営・進行為が難しい	課題の共有までで終わってしまい解決策の提案に至らない	会議後の役割をどう分担してよいかわからない	会議後の課題解決策の実践について評価ができていない	個別ケース検討結果で得た課題を蓄積、分析し、地域課題として抽出することが難しい	参加者のケア会議に対する理解が不足している
118 100.0	54 45.8	50 42.4	26 22.0	36 30.5	16 13.6	41 34.7	29 24.6	19 16.1
		ケア会議の開催目的が共有できていない	事例検討会との違いがわからない(見いだせない)	必要な専門職の参加が不足している	自立支援に資するケアマネジメントの検討ができていない	個別ケースその他	包括レベルその他	不明
		5 4.2	1 0.8	13 11.0	4 3.4	0 0.0	4 3.4	3 2.5

生活支援体制整備事業についてお伺いします。

問 19 地域ケアプラザにおいて生活支援体制整備を進めていく上で困難と感じている点は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------------|--|
| 1. 地域ケアプラザ内の5職種連携 | |
| 2. 区役所・区社会福祉協議会との連携 | |
| 3. 高齢者の生活支援ニーズの把握、分析 | |
| 4. 地域資源情報の把握、分析 (Ayamuの活用を含む) | |
| 5. 地域住民等との情報共有及び信頼関係の構築 | |
| 6. 支援者間のネットワーク (協力関係) の構築 | |
| 7. 自治会町内会や地区社協等 (地縁団体) の活動支援 | |
| 8. ボランティア団体・NPO等 (テーマ系団体) の活動支援 | |
| 9. 新たな活動・団体の立ち上げ支援 | |
| 10. 担い手 (ボランティア) の育成 | |
| 11. 地域資源情報の周知 (広報) | |
| 12. 生活支援コーディネーターの活動の評価 | |
| 13. 助成金等、支援制度の活用 | |
| 14. 民間事業者との連携 | |
| 15. その他 (具体的に) | |
| 16. 特になし | |

Q19.地域ケアプラザにおいて生活支援体制整備を進めていく上で困難と感じている点

調査数	地域ケアプラザ内の5職種連携	区役所・区社会福祉協議会との連携	高齢者の生活支援ニーズの把握、分析	地域資源情報の把握、分析 (Ayamuの活用を含む)	地域住民等との情報共有及び信頼関係の構築	支援者間のネットワーク (協力関係) の構築	自治会町内会や地区社協等 (地縁団体) の活動支援	ボランティア団体・NPO等 (テーマ系団体) の活動支援
118 100.0	22 18.6	23 19.5	45 38.1	47 39.8	33 28.0	30 25.4	31 26.3	30 25.4
	新たな活動・団体の立ち上げ支援	担い手 (ボランティア) の育成	地域資源情報の周知 (広報)	生活支援コーディネーターの活動の評価	助成金等、支援制度の活用	民間事業者との連携	その他	特になし
	73 61.9	79 66.9	21 17.8	44 37.3	25 21.2	54 45.8	6 5.1	1 0.8

認知症事業についてお伺いします。

問 20 認知症に関してどのような取組を行なっていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 認知症予防の講座の開催	7. 成年後見制度や権利擁護に関する講演会等の開催
2. 認知症に関する相談会等の開催 (総合相談以外)	8. 介護者のつどい・家族の会等の介護者に対する支援
3. 認知症サポーター養成講座の開催	9. 認知症の人や家族等のための交流の場や居場所づくり
4. 認知症キャラバン・メイトの支援	10. 若年性認知症の人への支援
5. 包括エリアネットワーク構築のための 連絡会の開催	11. その他 (具体的に)
6. 地域のネットワーク構築のための事業 への参加	12. 特になし

問 21 横浜市の認知症施策について、今後充実が必要と思うものは何ですか。(○は3つまで)

1. 認知症予防	9. 家族が認知症の理解を深めるための支援
2. 早期発見のための取組	10. 介護者のつどい・家族の会等
3. 相談窓口	11. 認知症の人や家族等のための交流の場や居場所づくり
4. 認知症を専門に行う医療機関情報	12. 見守りや話し相手等のインフォーマルサービス
5. 専門医の訪問診療	13. 若年性認知症の人への支援
6. 認知症症状悪化時の緊急入院対応	14. その他 (具体的に)
7. 合併症がある認知症の人の入院対応	15. 特になし
8. 地域住民の認知症に対する正しい理解の普及	

Q20.認知症に関して行っている取組

調査数	認知症予防の 講座の開催	認知症に関する 相談会等の 開催(総合相 談以外)	認知症サポ ーター養成講座 の開催	認知症キャラ バン・メイトの 支援	包括エリアネッ トワーク構築 のための連絡 会の開催	地域のネット ワーク構築の ための事業へ の参加	成年後見制度 や権利擁護に 関する講演会 等の開催	介護者のつど い・家族の会 等の介護者に 対する支援
118 100.0	96 81.4	48 40.7	108 91.5	83 70.3	26 22.0	51 43.2	87 73.7	105 89.0
					認知症の人や 家族等のため の交流の場や 居場所づくり	若年性認知症 の人への支援	その他	特になし
					70 59.3	16 13.6	0 0.0	0 0.0

Q21.横浜市の認知症施策について、今後充実が必要と思うもの

調査数	認知症予防	早期発見のた めの取組	相談窓口	認知症を専門 に行う医療機 関情報	専門医の訪問 診療	認知症症状悪 化時の緊急入 院対応	合併症がある 認知症の人の 入院対応	地域住民の認 知症に対する 正しい理解の 普及
118 100.0	20 16.9	33 28.0	14 11.9	13 11.0	44 37.3	70 59.3	34 28.8	35 29.7
		家族が認知症 の理解を深め るための支援	介護者のつど い・家族の会 等	認知症の人や 家族等のため の交流の場や 居場所づくり	見守りや話し 相手等のイン フォーマル サービス	若年性認知症 の人への支援	その他	特になし
		19 16.1	7 5.9	22 18.6	18 15.3	16 13.6	4 3.4	0 0.0

ICT等の新技術の導入状況についてお伺いします。

問22 働き方改革等に効果があると思われるものについて(1)欄に○をしてください。
また、導入している機器について(2)欄に○をしてください。
(あてはまるものすべてに○)

	(1) 従業員に とって 効果がある	(2) 導入して いる
①タブレット導入等による現場における記録支援技術	1	2
②報告や引継ぎなどの文書作成支援技術	1	2
③医療介護連携システム等を用いた連携技術 (多職種・法人を超えた情報共有を実現するためのクラウドシステムの利用など)	1	2
④その他 (具体的に)	1	2

業務の達成状況についてお伺いします。

問23 各業務の項目ごとに達成度を回答してください。
また、達成度を選択した理由についても回答してください。
【達成度】は1つに○。【理由】はあてはまるものすべてに○。

【理由】は達成度に合わせて右から当てはまるものすべてに○をつけてください。	達成度1, 2 を選択した場合	ア 経験のある職員がいる イ もともと業務手法が確立されている ウアウトリーチが進んでいる エ 地域支援の意識が進んでいる
	達成度3, 4, 5 を選択した場合	オ 職員に欠員がある カ 職員の経験が不足している キ 引継ぎが十分にされていない ク 担当圏域人口が多い ケ 他の業務に比較して優先順位が後になる コ 業務を進める手法が確立していない、試行錯誤している サ 業務が量的に増加している シ 業務内容が質的に複雑化している ス 感染症拡大防止への配慮や対策のため

次ページの各達成度の理由欄に上記のア～スであてはまるものすべてに○をつけてください

Q22.働き方改革等に効果があると思われるもの(1)従業員にとって効果がある

調査数	タブレット導入等による現場における記録支援技術	報告や引継ぎなどの文書作成支援技術	医療介護連携システム等を用いた連携技術(多職種・法人を超えた情報共有を実現するためのクラウドシステムの利用など)	その他	不明
118	83	82	87	9	5
100.0	70.3	69.5	73.7	7.6	4.2

Q22.働き方改革等に効果があると思われるもの(2)導入している

調査数	タブレット導入等による現場における記録支援技術	報告や引継ぎなどの文書作成支援技術	医療介護連携システム等を用いた連携技術(多職種・法人を超えた情報共有を実現するためのクラウドシステムの利用など)	その他	不明
118	15	9	8	2	87
100.0	12.7	7.6	6.8	1.7	73.7

Q23.達成度(1)地域のアセスメント

調査数	よく出来ている	ほぼ出来ている	十分に出来ていない	一部しか出来ていない	ほとんど出来ていない
118	10	65	38	5	0
100.0	8.5	55.1	32.2	4.2	0.0

Q23.達成度(2)インフォーマルサービスの支援(圏域内にある個々の活動支援)

調査数	よく出来ている	ほぼ出来ている	十分に出来ていない	一部しか出来ていない	ほとんど出来ていない	無回答
118	3	59	46	6	1	3
100.0	2.5	50.0	39.0	5.1	0.8	2.5

Q23.達成度(3)NPOや企業との連携・活動支援

調査数	よく出来ている	ほぼ出来ている	十分に出来ていない	一部しか出来ていない	ほとんど出来ていない
118	3	26	57	22	10
100.0	2.5	22.0	48.3	18.6	8.5

Q23.達成度(4)地域の会合・行事等への参加

調査数	よく出来ている	ほぼ出来ている	十分に出来ていない	一部しか出来ていない	ほとんど出来ていない	無回答
118	42	59	13	1	0	3
100.0	35.6	50.0	11.0	0.8	0.0	2.5

Q23.達成度(5)相談に結びついていない人へのアウトリーチ

調査数	よく出来ている	ほぼ出来ている	十分に出来ていない	一部しか出来ていない	ほとんど出来ていない	無回答
118	3	24	72	17	1	1
100.0	2.5	20.3	61.0	14.4	0.8	0.8

Q23.達成度(6)地域包括ケア(地域ケア会議含む)

調査数	よく出来ている	ほぼ出来ている	十分に出来ていない	一部しか出来ていない	ほとんど出来ていない	無回答
118	5	53	50	6	1	3
100.0	4.2	44.9	42.4	5.1	0.8	2.5

		よく出来ている	ほぼ出来ている	十分に出来ていない	一部しか出来ていない	ほとんど出来ていない
①地域のアセスメント	達成度	1	2	3	4	5
	理由	アイウエ		オカキクケコサシス		
②インフォーマルサービスの支援 (圏域内にある個々の活動支援)	達成度	1	2	3	4	5
	理由	アイウエ		オカキクケコサシス		
③NPOや企業との連携・活動支援	達成度	1	2	3	4	5
	理由	アイウエ		オカキクケコサシス		
④地域の会合・行事等への参加	達成度	1	2	3	4	5
	理由	アイウエ		オカキクケコサシス		
⑤相談に結びついていない人へのアウトリーチ	達成度	1	2	3	4	5
	理由	アイウエ		オカキクケコサシス		
⑥地域包括ケア(地域ケア会議含む)	達成度	1	2	3	4	5
	理由	アイウエ		オカキクケコサシス		
⑦権利擁護	達成度	1	2	3	4	5
	理由	アイウエ		オカキクケコサシス		
⑧介護予防	達成度	1	2	3	4	5
	理由	アイウエ		オカキクケコサシス		
⑨介護予防支援	達成度	1	2	3	4	5
	理由	アイウエ		オカキクケコサシス		
⑩介護予防支援(委託指導)	達成度	1	2	3	4	5
	理由	アイウエ		オカキクケコサシス		
⑪自主事業	達成度	1	2	3	4	5
	理由	アイウエ		オカキクケコサシス		

Q23.達成度(7)権利擁護

調査数	よく出来ている	ほぼ出来ている	十分に出来ていない	一部しか出来ていない	ほとんど出来ていない
118	11	70	35	2	0
100.0	9.3	59.3	29.7	1.7	0.0

Q23.達成度(8)介護予防

調査数	よく出来ている	ほぼ出来ている	十分に出来ていない	一部しか出来ていない	ほとんど出来ていない
118	17	83	18	0	0
100.0	14.4	70.3	15.3	0.0	0.0

Q23.達成度(9)介護予防支援

調査数	よく出来ている	ほぼ出来ている	十分に出来ていない	一部しか出来ていない	ほとんど出来ていない	無回答
118	16	81	18	2	0	1
100.0	13.6	68.6	15.3	1.7	0.0	0.8

Q23.達成度(10)介護予防支援(委託指導)

調査数	よく出来ている	ほぼ出来ている	十分に出来ていない	一部しか出来ていない	ほとんど出来ていない	無回答
118	13	56	43	5	0	1
100.0	11.0	47.5	36.4	4.2	0.0	0.8

Q23.達成度(11)自主事業

調査数	よく出来ている	ほぼ出来ている	十分に出来ていない	一部しか出来ていない	ほとんど出来ていない	無回答
118	27	73	17	0	0	1
100.0	22.9	61.9	14.4	0.0	0.0	0.8

Q23.達成度出来ていると選択した理由(1)地域のアセスメント

調査数	経験のある職員がいる	もともと業務手法が確立されている	アウトリーチが進んでいる	地域支援の意識が進んでいる	無回答
75	47	18	18	35	
100.0	62.7	24.0	24.0	46.7	

Q23.達成度出来ていると選択した理由(2)インフォーマルサービスの支援(圏域内にある個々の活動支援)

調査数	経験のある職員がいる	もともと業務手法が確立されている	アウトリーチが進んでいる	地域支援の意識が進んでいる	無回答
62	30	11	16	36	2
100.0	48.4	17.7	25.8	58.1	3.2

Q23.達成度出来ていると選択した理由(3)NPOや企業との連携・活動支援

調査数	経験のある職員がいる	もともと業務手法が確立されている	アウトリーチが進んでいる	地域支援の意識が進んでいる	無回答
29	17	5	8	19	
100.0	58.6	17.2	27.6	65.5	

Q23.達成度出来ていると選択した理由(4)地域の会合・行事等への参加

調査数	経験のある職員がいる	もともと業務手法が確立されている	アウトリーチが進んでいる	地域支援の意識が進んでいる	無回答
101	56	41	23	54	3
100.0	55.4	40.6	22.8	53.5	3.0

Q23.達成度出来ていると選択した理由(5)相談に結びついていない人へのアウトリーチ

調査数	経験のある職員がいる	もともと業務手法が確立されている	アウトリーチが進んでいる	地域支援の意識が進んでいる	無回答
27	11	2	10	13	2
100.0	40.7	7.4	37.0	48.1	7.4

Q23.達成度出来ていると選択した理由(6)地域包括ケア(地域ケア会議含む)

調査数	経験のある職員がいる	もともと業務手法が確立されている	アウトリーチが進んでいる	地域支援の意識が進んでいる	無回答
58	34	26	8	20	2
100.0	58.6	44.8	13.8	34.5	3.4

Q23.達成度出来ていると選択した理由(7)権利擁護

調査数	経験のある職員がいる	もともと業務手法が確立されている	アウトリーチが進んでいる	地域支援の意識が進んでいる	無回答
81	58	31	6	15	3
100.0	71.6	38.3	7.4	18.5	3.7

Q23.達成度出来ていると選択した理由(8)介護予防

調査数	経験のある職員がいる	もともと業務手法が確立されている	アウトリーチが進んでいる	地域支援の意識が進んでいる	無回答
100	68	48	12	25	3
100.0	68.0	48.0	12.0	25.0	3.0

Q23.達成度出来ていると選択した理由(9)介護予防支援

調査数	経験のある職員がいる	もともと業務手法が確立されている	アウトリーチが進んでいる	地域支援の意識が進んでいる	無回答
97	70	51	8	14	3
100.0	72.2	52.6	8.2	14.4	3.1

Q23.達成度出来ていると選択した理由(10)介護予防支援(委託指導)

調査数	経験のある職員がいる	もともと業務手法が確立されている	アウトリーチが進んでいる	地域支援の意識が進んでいる	無回答
69	52	36	4	9	3
100.0	75.4	52.2	5.8	13.0	4.3

Q23.達成度出来ていると選択した理由(11)自主事業

調査数	経験のある職員がいる	もともと業務手法が確立されている	アウトリーチが進んでいる	地域支援の意識が進んでいる	無回答
100	71	50	12	34	4
100.0	71.0	50.0	12.0	34.0	4.0

最後に、介護保険制度をはじめ、福祉制度や各種サービス等に関するご要望、ご意見など、自由にお書きください。

【 について】

ご協力ありがとうございました。

Q23 達成度出来ていないと選択した理由(1)地域のアセスメント

調査数	職員に欠員がある	職員の経験が不足している	引継ぎが十分にされていない	担当圏域人口が多い	他の業務に比較して優先順位が後になる	業務を進める手法が確立していない、試行錯誤している	業務が量的に増加している	業務内容が質的に複雑化している	感染症拡大防止への配慮や対策のため
43	3	11	5	7	22	8	22	11	10
100.0	7.0	25.6	11.6	16.3	51.2	18.6	51.2	25.6	23.3

Q23 達成度出来ていないと選択した理由(2)インフォーマルサービスの支援(圏域内にある個々の活動支援)

調査数	職員に欠員がある	職員の経験が不足している	引継ぎが十分にされていない	担当圏域人口が多い	他の業務に比較して優先順位が後になる	業務を進める手法が確立していない、試行錯誤している	業務が量的に増加している	業務内容が質的に複雑化している	感染症拡大防止への配慮や対策のため	無回答
53	3	12	4	3	24	10	19	8	12	3
100.0	5.7	22.6	7.5	5.7	45.3	18.9	35.8	15.1	22.6	5.7

Q23 達成度出来ていないと選択した理由(3)NPOや企業との連携・活動支援

調査数	職員に欠員がある	職員の経験が不足している	引継ぎが十分にされていない	担当圏域人口が多い	他の業務に比較して優先順位が後になる	業務を進める手法が確立していない、試行錯誤している	業務が量的に増加している	業務内容が質的に複雑化している	感染症拡大防止への配慮や対策のため
89	4	20	7	4	44	39	22	10	14
100.0	4.5	22.5	7.9	4.5	49.4	43.8	24.7	11.2	15.7

Q23 達成度出来ていないと選択した理由(4)地域の会合・行事等への参加

調査数	職員に欠員がある	職員の経験が不足している	引継ぎが十分にされていない	担当圏域人口が多い	他の業務に比較して優先順位が後になる	業務を進める手法が確立していない、試行錯誤している	業務が量的に増加している	業務内容が質的に複雑化している	感染症拡大防止への配慮や対策のため
14	1	1	2	0	4	1	9	3	4
100.0	7.1	7.1	14.3	0.0	28.6	7.1	64.3	21.4	28.6

Q23 達成度出来ていないと選択した理由(5)相談に結びついていない人へのアウトリーチ

調査数	職員に欠員がある	職員の経験が不足している	引継ぎが十分にされていない	担当圏域人口が多い	他の業務に比較して優先順位が後になる	業務を進める手法が確立していない、試行錯誤している	業務が量的に増加している	業務内容が質的に複雑化している	感染症拡大防止への配慮や対策のため	無回答
90	5	10	5	12	29	22	50	22	16	2
100.0	5.6	11.1	5.6	13.3	32.2	24.4	55.6	24.4	17.8	2.2

Q23 達成度出来ていないと選択した理由(6)地域包括ケア(地域ケア会議含む)

調査数	職員に欠員がある	職員の経験が不足している	引継ぎが十分にされていない	担当圏域人口が多い	他の業務に比較して優先順位が後になる	業務を進める手法が確立していない、試行錯誤している	業務が量的に増加している	業務内容が質的に複雑化している	感染症拡大防止への配慮や対策のため
57	3	17	1	6	9	12	32	15	11
100.0	5.3	29.8	1.8	10.5	15.8	21.1	56.1	26.3	19.3

Q23 達成度出来ていないと選択した理由(7)権利擁護

調査数	職員に欠員がある	職員の経験が不足している	引継ぎが十分にされていない	担当圏域人口が多い	他の業務に比較して優先順位が後になる	業務を進める手法が確立していない、試行錯誤している	業務が量的に増加している	業務内容が質的に複雑化している	感染症拡大防止への配慮や対策のため	無回答
37	5	16	0	3	2	8	18	7	2	4
100.0	13.5	43.2	0.0	8.1	5.4	21.6	48.6	18.9	5.4	10.8

Q23 達成度出来ていないと選択した理由(8)介護予防

調査数	職員に欠員がある	職員の経験が不足している	引継ぎが十分にされていない	担当圏域人口が多い	他の業務に比較して優先順位が後になる	業務を進める手法が確立していない、試行錯誤している	業務が量的に増加している	業務内容が質的に複雑化している	感染症拡大防止への配慮や対策のため	無回答
18	2	3	0	3	1	1	12	2	3	1
100.0	11.1	16.7	0.0	16.7	5.6	5.6	66.7	11.1	16.7	5.6

Q23 達成度出来ていないと選択した理由(9)介護予防支援

調査数	職員に欠員がある	職員の経験が不足している	引継ぎが十分にされていない	担当圏域人口が多い	他の業務に比較して優先順位が後になる	業務を進める手法が確立していない、試行錯誤している	業務が量的に増加している	業務内容が質的に複雑化している	感染症拡大防止への配慮や対策のため	無回答
20	3	2	0	4	5	1	12	2	2	1
100.0	15.0	10.0	0.0	20.0	25.0	5.0	60.0	10.0	10.0	5.0

Q23 達成度出来ていないと選択した理由(10)介護予防支援(委託指導)

調査数	職員に欠員がある	職員の経験が不足している	引継ぎが十分にされていない	担当圏域人口が多い	他の業務に比較して優先順位が後になる	業務を進める手法が確立していない、試行錯誤している	業務が量的に増加している	業務内容が質的に複雑化している	感染症拡大防止への配慮や対策のため	無回答
48	2	8	1	6	15	9	20	7	1	4
100.0	4.2	16.7	2.1	12.5	31.3	18.8	41.7	14.6	2.1	8.3

Q23 達成度出来ていないと選択した理由(11)自主事業

調査数	職員に欠員がある	職員の経験が不足している	引継ぎが十分にされていない	担当圏域人口が多い	他の業務に比較して優先順位が後になる	業務を進める手法が確立していない、試行錯誤している	業務が量的に増加している	業務内容が質的に複雑化している	感染症拡大防止への配慮や対策のため
17	1	5	0	1	5	0	7	2	6
100.0	5.9	29.4	0.0	5.9	29.4	0.0	41.2	11.8	35.3

所在地

調査数	青葉区	旭区	泉区	磯子区	神奈川区	金沢区	港南区	港北区
118	8	11	6	7	6	7	5	7
100.0	6.8	9.3	5.1	5.9	5.1	5.9	4.2	5.9
	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区	戸塚区	中区	西区	保土ヶ谷区
	5	5	5	8	9	4	4	7
	4.2	4.2	4.2	6.8	7.6	3.4	3.4	5.9

事業継続年月

調査数	3年未満	3年以上
118	4	114
100.0	3.4	96.6

調査数	緑区	南区
	7	7
	5.9	5.9

問4 認知症に関する困りごとについて

(1) 認知症に関する困りごとはありますか。

1. ある → 問4-(2)へ
2. ない → 問5へ

(2) 認知症の医療的問題についてどの関係機関と連携していますか。(複数回答可)

1. 認知症疾患医療センター
2. 専門病院
3. 認知症専門医
4. 認知症サポート医
5. 在宅医療連携拠点
6. その他(具体的に)
7. 特に相談していない

(3) 医療的問題以外の対応についてどの関係機関と連携していますか。(複数回答可)

1. 認知症疾患医療センター
2. 専門病院
3. 認知症専門医
4. 認知症サポート医
5. 在宅医療連携拠点
6. 若年性認知症支援コーディネーター
7. 区役所高齢・障害支援課
8. 地域包括支援センター(地域ケアプラザ等)
9. その他(具体的に)
10. 特に相談していない

問5 認知症疾患医療センターとの連携で期待することは何ですか。(複数回答可)

1. 鑑別診断とそれに基づく初期対応
2. 周辺症状と身体合併症への急性期対応
3. 専門医療相談
4. 地域連携拠点機能
5. 研修会の開催
6. その他(具体的に)
7. 特になし

Q4.(1)認知症に関する困りごと

調査数	ある	ない	無回答
	725	484	234
	100.0	66.8	32.3
			7
			1.0

Q4.(2)医療的問題について連携関係機関

調査数	認知症疾患医療センター	専門病院	認知症専門医	認知症サポート医	在宅医療連携拠点	その他	特に相談していない	無回答
	484	138	225	146	37	75	26	101
	100.0	28.5	46.5	30.2	7.6	15.5	5.4	20.9
								2
								0.4

Q4.(3)医療的問題以外について連携関係機関

調査数	認知症疾患医療センター	専門病院	認知症専門医	認知症サポート医	在宅医療連携拠点	若年性認知症支援コーディネーター	区役所高齢・障害支援課	地域包括支援センター(地域ケアプラザ等)	
	484	45	69	51	23	48	10	162	
	100.0	9.3	14.3	10.5	4.8	9.9	2.1	33.5	
								248	
								51.2	
							その他	特に相談していない	無回答
							19	121	5
							3.9	25.0	1.0

Q5. 認知症疾患医療センターとの連携で期待すること

調査数	鑑別診断とそれに基づく初期対応	周辺症状と身体合併症への急性期対応	専門医療相談	地域連携拠点機能	研修会の開催	その他	特になし	無回答
	725	453	353	285	209	86	14	96
	100.0	62.5	48.7	39.3	28.8	11.9	1.9	13.2
								14
								1.9

問6 新型コロナウイルス感染症拡大による認知症に関する診療へどのような影響がありましたか。
(複数回答可)

1. 認知症患者の受診控えがあった
2. 認知症の症状が悪化した患者が増えた
3. 関係機関との連携がとりにくかった
4. 認知症に関する診療を行っていない
5. その他（具体的に)
6. 特になし

Q6. 新型コロナウイルス感染症拡大による診療への影響

調査数	認知症患者の 受診控えが あった	認知症の症状 が悪化した患 者が増えた	関係機関との 連携がとりに くかった	認知症に関す る診療を行っ ていない	その他	特になし	無回答
937	166	140	105	118	15	373	149
100.0	17.7	14.9	11.2	12.6	1.6	39.8	15.9

3 横浜市の認知症に関する取組全般について

問7 以下の中から、横浜市の取組として、(1)知っているもの、(2)連携・活用したことがあるものを選んでください。

それぞれ〇はひとつ

	(1) 知っているか	(2) 連携・活用したことがあるかどうか
①認知症疾患医療センター	はい・いいえ	はい・いいえ
②認知症初期集中支援チーム	はい・いいえ	はい・いいえ
③もの忘れ検診	はい・いいえ	はい・いいえ
④認知症サポート医	はい・いいえ	はい・いいえ
⑤かかりつけ医研修(認知症対応力向上研修)	はい・いいえ	はい・いいえ
⑥認知症カフェ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑦介護者のつどい	はい・いいえ	はい・いいえ
⑧認知症高齢者等 SOS ネットワーク(見守りシール事業含む)	はい・いいえ	はい・いいえ
⑨オレンジガイド(横浜市版認知症ケアパスガイド)	はい・いいえ	はい・いいえ
⑩若年性認知症支援コーディネーター	はい・いいえ	はい・いいえ

問8 今後の横浜市の取組としてどのようなことを期待しますか。(複数回答可)

1. 市民への普及啓発
2. 専門医療機関と地域医療機関との医療連携の強化
3. 認知症専門医療機関についての情報提供
4. 認知症診療についての研修会の開催の充実
5. 医療機関と介護事業所の連携強化
6. その他(具体的に)
7. 特になし

Q7(1)知っているもの 1.認知症疾患医療センター

調査数	はい	いいえ	無回答
937	403	427	107
100.0	43.0	45.6	11.4

Q7(2)連携・活用したことがあるもの 1.認知症疾患医療センター

調査数	はい	いいえ	無回答
403	175	213	15
100.0	43.4	52.9	3.7

Q7(1)知っているもの 2.認知症初期集中支援チーム

調査数	はい	いいえ	無回答
937	191	608	138
100.0	20.4	64.9	14.7

Q7(2)連携・活用したことがあるもの 2.認知症初期集中支援チーム

調査数	はい	いいえ	無回答
191	46	138	7
100.0	24.1	72.3	3.7

Q7(1)知っているもの 3.もの忘れ検診

調査数	はい	いいえ	無回答
937	382	440	115
100.0	40.8	47.0	12.3

Q7(2)連携・活用したことがあるもの 3.もの忘れ検診

調査数	はい	いいえ	無回答
382	142	222	18
100.0	37.2	58.1	4.7

Q7(1)知っているもの 4.認知症サポート医

調査数	はい	いいえ	無回答
937	406	403	128
100.0	43.3	43.0	13.7

Q7(2)連携・活用したことがあるもの 4.認知症サポート医

調査数	はい	いいえ	無回答
406	109	278	19
100.0	26.8	68.5	4.7

Q7(1)知っているもの 5.かかりつけ医研修(認知症対応力向上研修)

調査数	はい	いいえ	無回答
937	492	329	116
100.0	52.5	35.1	12.4

Q7(2)連携・活用したことがあるもの 5.かかりつけ医研修(認知症対応力向上研修)

調査数	はい	いいえ	無回答
492	179	281	32
100.0	36.4	57.1	6.5

Q8. 今後の横浜市の取り組みとして期待すること

調査数	市民への普及啓発	専門医療機関と地域医療機関との医療連携の強化	認知症専門医療機関についての情報提供	認知症診療についての研修会の開催の充実	医療機関と介護事業所の連携強化	その他	特になし	無回答
937	460	512	476	157	363	26	115	20
100.0	49.1	54.6	50.8	16.8	38.7	2.8	12.3	2.1

Q7(1)知っているもの 6.認知症カフェ

調査数	はい	いいえ	無回答
937	277	525	135
100.0	29.6	56.0	14.4

Q7(2)連携・活用したことがあるもの 6.認知症カフェ

調査数	はい	いいえ	無回答
277	41	222	14
100.0	14.8	80.1	5.1

Q7(1)知っているもの 7.介護者のつどい

調査数	はい	いいえ	無回答
937	200	596	141
100.0	21.3	63.6	15.0

Q7(2)連携・活用したことがあるもの 7.介護者のつどい

調査数	はい	いいえ	無回答
200	32	159	9
100.0	16.0	79.5	4.5

Q7(1)知っているもの 8.認知症高齢者等SOSネットワーク(見守りシール事業含む)

調査数	はい	いいえ	無回答
937	188	608	141
100.0	20.1	64.9	15.0

Q7(2)連携・活用したことがあるもの 8.認知症高齢者等SOSネットワーク(見守りシール事業含む)

調査数	はい	いいえ	無回答
188	41	139	8
100.0	21.8	73.9	4.3

Q7(1)知っているもの 9.オレンジガイド(横浜市版認知症ケアパスガイド)

調査数	はい	いいえ	無回答
937	188	610	139
100.0	20.1	65.1	14.8

Q7(2)連携・活用したことがあるもの 9.オレンジガイド(横浜市版認知症ケアパスガイド)

調査数	はい	いいえ	無回答
188	34	144	10
100.0	18.1	76.6	5.3

Q7(1)知っているもの 10.若年性認知症支援コーディネーター

調査数	はい	いいえ	無回答
937	155	641	141
100.0	16.5	68.4	15.0

Q7(2)連携・活用したことがあるもの 10.若年性認知症支援コーディネーター

調査数	はい	いいえ	無回答
155	20	127	8
100.0	12.9	81.9	5.2

最後に、認知症関連の取組に対する要望・ご意見など、テーマを設定いただき、ご自由にご記入ください。

[について]

ご協力ありがとうございました。

所在地

調査数	青葉区	旭区	泉区	磯子区	神奈川区	金沢区	港南区	港北区
937	85	51	27	33	61	49	62	110
100.0	9.1	5.4	2.9	3.5	6.5	5.2	6.6	11.7
	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区	戸塚区	中区	西区	保土ヶ谷区
	27	26	52	58	58	70	43	41
	2.9	2.8	5.5	6.2	6.2	7.5	4.6	4.4
	緑区	南区						
	44	40						
	4.7	4.3						

事業継続年月

調査数	3年未満	3年以上
937	150	787
100.0	16.0	84.0

ケアマネジャー調査

16

あなたご自身のことについて、お伺いします。

問1 あなたの性別・年齢をお選びください。

〔性別〕（〇はひとつ）※選択することに違和感がある場合は回答不要です。

1. 男性	2. 女性
-------	-------

〔年齢〕 あなたの年齢（令和4年10月1日現在）をお選びください。（〇はひとつ）

1. 20歳未満	4. 30～34歳	7. 45～49歳	10. 60～64歳
2. 20～24歳	5. 35～39歳	8. 50～54歳	11. 65～69歳
3. 25～29歳	6. 40～44歳	9. 55～59歳	12. 70歳以上

問2 あなたが所属している事業所の法人種類をお選びください。（〇はひとつ）

1. 社会福祉協議会・福祉サービス協会	5. 生協・農協等
2. 社会福祉法人（1.を除く）	6. 株式会社・有限会社等（営利法人）
3. 医療法人	7. NPO法人
4. 上記以外の社団法人・財団法人	8. その他

問3 あなたの所属する事業所には、サービス提供事業所を併設していますか。（〇はひとつ）

1. 併設している	2. 併設していない	3. わからない
-----------	------------	----------

問4 あなたの現在の勤め先（事業所の所在地）はどちらですか。（〇はひとつ）

1. 青葉区	5. 神奈川区	9. 栄区	13. 戸塚区	17. 緑区
2. 旭区	6. 金沢区	10. 瀬谷区	14. 中区	18. 南区
3. 泉区	7. 港南区	11. 都筑区	15. 西区	
4. 磯子区	8. 港北区	12. 鶴見区	16. 保土ヶ谷区	

問5 あなたのお住まいは横浜市内ですか。（〇はひとつ）

1. 横浜市内	2. 横浜市外
---------	---------

問6 あなたのお住まいから勤め先（事業所）までの通勤時間は、どのくらいですか。（〇はひとつ）

1. 30分未満	3. 45分～1時間未満	5. 1時間30分～2時間未満
2. 30分～45分未満	4. 1時間～1時間30分未満	6. 2時間以上

Q1-1. 性別

調査数	男性	女性	無回答
1286	265	1000	21
100.0	20.6	77.8	1.6

Q1-2. 年齢

調査数	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳
1286	0	0	1	14	57	119	211	268
100.0	0.0	0.0	0.1	1.1	4.4	9.3	16.4	20.8
	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	無回答			
	212	221	118	57	8			
	16.5	17.2	9.2	4.4	0.6			

Q2. 法人種類

調査数	社会福祉協議会・福祉サービス協会	社会福祉法人（「社会福祉協議会・福祉サービス協会」を除く）	医療法人	上記以外の社団法人・財団法人	生協・農協等	株式会社・有限会社等（営利法人）	NPO法人	その他	無回答
1286	133	365	103	43	33	524	63	21	1
100.0	10.3	28.4	8.0	3.3	2.6	40.7	4.9	1.6	0.1

Q3. サービス提供事業所を併設有無

調査数	併設している	併設していない	わからない	無回答
1286	1054	223	6	3
100.0	82.0	17.3	0.5	0.2

Q4. 勤務地

調査数	青葉区	旭区	泉区	磯子区	神奈川区	金沢区	港南区	港北区
1286	68	106	67	58	57	75	103	114
100.0	5.3	8.2	5.2	4.5	4.4	5.8	8.0	8.9
	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区	戸塚区	中区	西区	保土ヶ谷区
	33	43	46	87	86	62	40	100
	2.6	3.3	3.6	6.8	6.7	4.8	3.1	7.8
	緑区	南区						
	57	84						
	4.4	6.5						

Q5. 居住地

調査数	横浜市内	横浜市外	無回答
1286	1077	206	3
100.0	83.7	16.0	0.2

Q6. 通勤時間

調査数	30分未満	30分～45分未満	45分～1時間未満	1時間～1時間30分未満	1時間30分～2時間未満	2時間以上	無回答
1286	607	294	256	110	17	0	2
100.0	47.2	22.9	19.9	8.6	1.3	0.0	0.2

問7 主な通勤手段は何ですか。(〇はひとつ)

1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク	4. バス	5. 自家用車	6. 鉄道
-------	--------	--------	-------	---------	-------

問8 あなたは、令和4年10月1日現在、ケアマネジャー業務に従事してどのくらいの経験がありますか。(〇はひとつ)

1. 1年未満	3. 2～3年未満	5. 5～7年未満	7. 10年以上20年未満
2. 1～2年未満	4. 3～5年未満	6. 7～10年未満	8. 20年以上

問9 現在の職場※でケアマネジャーとして従事している経験年数は、どのくらいですか。(〇はひとつ)

※同一法人にて異動により事業所が変わった場合、新たに異動した事業所での経験年数をお答えください。

1. 1年未満	3. 2～3年未満	5. 5～7年未満	7. 10年以上20年未満
2. 1～2年未満	4. 3～5年未満	6. 7～10年未満	8. 20年以上

問10 あなたが現在の職場に就職した主なきっかけは何ですか。(〇はひとつ)

1. ハローワーク（公共職業安定所）	6. 知人の紹介
2. 新聞広告等の求人募集に応募	7. 職場からの募集の案内・ポスター
3. インターネット	8. 職場（職員）などからの勧誘
4. 就職相談会・説明会に参加	9. 資格取得の実習先だった
5. 母校の進路指導	10. 紹介会社による紹介
	11. その他（具体的に）

問11 あなたが現在の職場を選んだ理由は何ですか。（あてはまるものすべてに〇）

1. 働きがいのある仕事だと思ったから	9. 自分や家族の都合のよい時間（日）に働けるから
2. この仕事はこれからの時代にますます必要になると考えたから	10. 利用者の家族の生活等を援助することは大切なことだと考えたから
3. 生活を維持するため	11. 親族が福祉の仕事についている（いた）から
4. 家計の足しにするため	12. 他によい仕事なかったから
5. 資格・技能をいかすため	13. その他（具体的に）
6. 生きがい・社会参加のため	14. 特に理由はない
7. 福祉の仕事に興味・関心があったから	
8. 知識や技能を身につけたかったから	

問12 あなたの所属する事業所のケアマネジャー数、及び、ケアマネジャー以外で居宅介護支援関連業務の補助（介護報酬請求事務、給付管理票入力など）に従事している職員数（常勤・非常勤職員問わず）を選択してください。（令和4年10月1日現在）

1. 5人未満	3. 10人以上15人未満	5. 20人以上
2. 5人以上10人未満	4. 15人以上20人未満	6. わからない

Q7. 通勤手段

調査数	徒歩	自転車	バイク	バス	自家用車	鉄道	無回答
1286	128	169	136	122	253	474	4
100.0	10.0	13.1	10.6	9.5	19.7	36.9	0.3

Q8. ケアマネジャー業務従事年数

調査数	1年未満	1～2年未満	2～3年未満	3～5年未満	5～7年未満	7～10年未満	10年以上20年未満	20年以上	無回答
1286	52	42	42	161	197	212	487	92	1
100.0	4.0	3.3	3.3	12.5	15.3	16.5	37.9	7.2	0.1

Q9. 現在の職場でのケアマネジャーとして従事経験年数

調査数	1年未満	1～2年未満	2～3年未満	3～5年未満	5～7年未満	7～10年未満	10年以上20年未満	20年以上	無回答
1286	154	130	132	231	201	163	233	35	7
100.0	12.0	10.1	10.3	18.0	15.6	12.7	18.1	2.7	0.5

Q10. 現在の職場に就職した主なきっかけ

調査数	ハローワーク（公共職業安定所）	新聞広告等の求人募集に応募	インターネット	就職相談会・説明会に参加	母校の進路指導	知人の紹介	職場からの募集の案内・ポスター	職場（職員）などからの勧誘
1286	158	101	202	13	9	267	63	164
100.0	12.3	7.9	15.7	1.0	0.7	20.8	4.9	12.8
					資格取得の実習先だった	紹介会社による紹介	その他	無回答
					27	82	197	3
					2.1	6.4	15.3	0.2

Q11. 現在の職場を選んだ理由

調査数	働きがいのある仕事だと思ったから	この仕事はこれからの時代にますます必要になると考えたから	生活を維持するため	家計の足しにするため	資格・技能をいかすため	生きがい・社会参加のため	福祉の仕事に興味・関心があったから	知識や技能を身につけたかったから
1286	529	279	459	151	777	214	311	274
100.0	41.1	21.7	35.7	11.7	60.4	16.6	24.2	21.3
		自分や家族の都合のよい時間（日）に働けるから	利用者の家族の生活等を援助することは大切なことだと考えたから	親族が福祉の仕事についている（いた）から	他によい仕事なかったから	その他	特に理由はない	無回答
		176	128	24	33	125	21	4
		13.7	10.0	1.9	2.6	9.7	1.6	0.3

Q12. 職員数

調査数	5人未満	5人以上10人未満	10人以上15人未満	15人以上20人未満	20人以上	わからない	無回答
1286	647	496	101	19	19	2	2
100.0	50.3	38.6	7.9	1.5	1.5	0.2	0.2

すべての方にお伺いします。

問 15 あなたは、今後、他の職場へ転職することを考えていますか。(〇はひとつ)

1. 考えている	2. 考えていない	3. わからない
----------	-----------	----------

問 15-1 へ

問 16 へ

問 15 で「1. 考えている」と回答した方にお伺いします。

問 15-1 今後どのような分野への転職を考えていますか。(〇はひとつ)

1. 福祉系(介護関係)	2. 福祉系(介護以外)	3. それ以外	4. 未定
--------------	--------------	---------	-------

問 15-2 他の職場へ転職することを考えている理由は何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 人員整理・勸奨退職・法人解散・事業不振等のため	8. 法人や事業所の理念や運営のあり方に不満があったため
2. 他に良い仕事・職場があったため	9. 家族の転職・転勤、又は事業所の移転のため
3. 新しい資格を取ったから	10. 定年・雇用契約の満了のため
4. 収入が少なかったため	11. 病気・高齢のため
5. 自分の将来の見込みが立たなかったため	12. 結婚・出産・妊娠・育児のため
6. 自分に向かない仕事だったため	13. 家族の介護・看護のため
7. 職場の人間関係に問題があったため	14. その他 (具体的に)

すべての方にお伺いします。

問 16 あなたは、ケアマネジャー以外にどのような保健医療福祉関係の資格をお持ちですか。
(あてはまるものすべてに〇)

1. 医師	6. 理学療法士	11. 介護福祉士
2. 歯科医師	7. 作業療法士	12. 精神保健福祉士
3. 薬剤師	8. 歯科衛生士	13. 社会福祉主事
4. 保健師	9. 管理栄養士	14. ホームヘルパー
5. 看護師、准看護師	10. 社会福祉士	15. その他(具体的に)
		16. 他に資格はない

Q15 転職意向

調査数	考えている	考えていない	わからない	無回答
1286	189	680	413	4
100.0	14.7	52.9	32.1	0.3

Q15-1 転職意向分野

調査数	福祉系(介護関係)	福祉系(介護以外)	それ以外	未定	無回答
189	95	17	28	45	4
100.0	50.3	9.0	14.8	23.8	2.1

Q15-2 転職することを考えている理由

調査数	人員整理・勸奨退職・法人解散・事業不振等のため	他に良い仕事・職場があったため	新しい資格を取ったから	収入が少なかったため	自分の将来の見込みが立たなかったため	自分に向かない仕事だったため	職場の人間関係に問題があったため	法人や事業所の理念や運営のあり方に不満があったため
189	7	18	13	60	48	18	32	50
100.0	3.7	9.5	6.9	31.7	25.4	9.5	16.9	26.5
	家族の転職・転勤、又は事業所の移転のため	定年・雇用契約の満了のため	病気・高齢のため	結婚・出産・妊娠・育児のため	家族の介護・看護のため	その他	無回答	
	9	14	7	6	13	29	5	
	4.8	7.4	3.7	3.2	6.9	15.3	2.6	

Q16、所持している保健医療福祉関係の資格

調査数	医師	歯科医師	薬剤師	保健師	看護師、准看護師	理学療法士	作業療法士	歯科衛生士
1286	0	0	3	4	62	4	5	41
100.0	0.0	0.0	0.2	0.3	4.8	0.3	0.4	3.2
	管理栄養士	社会福祉士	介護福祉士	精神保健福祉士	社会福祉主事	ホームヘルパー	その他	他に資格はない
	24	210	957	36	146	549	120	11
	1.9	16.3	74.4	2.8	11.4	42.7	9.3	0.9
								無回答
								3
								0.2

ケアマネジャー業務の担当状況（令和4年10月現在）についてお伺いします。

問17 あなたの勤務形態は、次のうちどれですか。（○はひとつ）

1. 常勤・専従	2. 常勤・兼務	3. 非常勤・専従	4. 非常勤・兼務
問18へ	問17-1へ	問18へ	問17-1へ

問17で「2. 常勤・兼務」または「4. 非常勤・兼務」と答えた方にお伺いします。

問17-1 どのような業務を兼務していますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 管理業務	2. 医療系サービス	3. 介護サービス	4. 相談業務
---------	------------	-----------	---------

すべての方にお伺いします。

問18 週あたりの居宅介護支援に従事する時間は平均するとどのくらいですか。

_____時間

問19 あなたが担当している利用者数について伺います。担当する利用者や件数がない場合は「0」と記入してください。

	要支援者・事業対象者	要介護者
担当利用者数 (令和4年9月末時点)	人	人

問20 問19の担当利用者数（予防含む）について、最も利用者数の多い区の番号に○をつけてください。（○はひとつ）

1. 青葉区	5. 神奈川区	9. 栄区	13. 戸塚区	17. 緑区
2. 旭区	6. 金沢区	10. 瀬谷区	14. 中区	18. 南区
3. 泉区	7. 港南区	11. 都筑区	15. 西区	
4. 磯子区	8. 港北区	12. 鶴見区	16. 保土ヶ谷区	

問21 あなたは、利用者に対して、どのような基準を重視してサービス事業所を紹介していますか。主なものを2つまでお選びください。（○は2つまで）

1. 利用者の自宅から近いかどうか
2. 利用者・家族が望むサービス内容・プログラムであるかどうか
3. ケアマネジャーの目から見て、サービスの質が高い事業所であるかどうか
4. 自分が勤務している居宅介護支援事業所の併設事業所であるかどうか
5. 介護サービス評価センターの認証を受けているかどうか
6. 利用者・家族が知っている、又は希望する事業所であるかどうか
7. その他（具体的に _____）
8. 特になし

Q17.勤務形態

調査数	常勤・専従	常勤・兼務	非常勤・専従	非常勤・兼務	無回答
1286	755	336	156	35	4
100.0	58.7	26.1	12.1	2.7	0.3

Q17-1.兼務業務

調査数	管理業務	医療系サービス	介護サービス	相談業務	無回答
371	308	26	44	50	2
100.0	83.0	7.0	11.9	13.5	0.5

Q18.従事時間

調査数	平均
1269	33.76
100.0	

Q19-1.担当利用者数—要支援者・事業対象者

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
1286	46	47	308	311	452	58	35	1	0	0	28
100.0	3.6	3.7	24.0	24.2	35.1	4.5	2.7	0.1	0.0	0.0	2.2

Q19-2.担当利用者数—要介護者

調査数	0人	1人	2~5人	6~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~69人	70~99人	100人以上	無回答
1286	13	12	51	52	159	340	645	9	1	0	4
100.0	1.0	0.9	4.0	4.0	12.4	26.4	50.2	0.7	0.1	0.0	0.3

Q20.最も利用者数の多い区

調査数	青葉区	旭区	泉区	磯子区	神奈川区	金沢区	港南区	港北区
1286	72	103	63	58	58	69	103	114
100.0	5.6	8.0	4.9	4.5	4.5	5.4	8.0	8.9
	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区	戸塚区	中区	西区	保土ヶ谷区
	38	49	47	87	79	65	30	101
	3.0	3.8	3.7	6.8	6.1	5.1	2.3	7.9
						緑区	南区	無回答
						52	84	14
						4.0	6.5	1.1

Q21.どのような基準を重視してサービス事業所を紹介しているか

調査数	利用者の自宅から近いかどうか	利用者・家族が望むサービス内容・プログラムであるかどうか	ケアマネジャーの目から見て、サービスの質が高い事業所であるかどうか	自分が勤務している居宅介護支援事業所の併設事業所であるかどうか	介護サービス評価センターの認証を受けているかどうか	利用者・家族が知っている、又は希望する事業所であるかどうか	その他	特になし	無回答
1286	135	1162	721	25	5	372	17	4	3
100.0	10.5	90.4	56.1	1.9	0.4	28.9	1.3	0.3	0.2

担当地域におけるサービスの状況についてお伺いします。

問 22 「担当している利用者が最も多い区」で、事業所数もしくは定員など、量的に不足していると感じるサービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 訪問介護	22. 特定福祉用具販売
2. 横浜市訪問介護相当サービス	23. 特定介護予防福祉用具販売
3. 横浜市訪問型生活援助サービス	24. 住宅改修
4. 訪問入浴介護	25. 特定施設入居者生活介護
5. 介護予防訪問入浴介護	26. 介護予防特定施設入居者生活介護
6. 訪問看護	27. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
7. 介護予防訪問看護	28. 夜間対応型訪問介護
8. 訪問リハビリテーション	29. 認知症対応型通所介護
9. 介護予防訪問リハビリテーション	30. 介護予防認知症対応型通所介護
10. 居宅療養管理指導	31. 小規模多機能型居宅介護
11. 介護予防居宅療養管理指導	32. 介護予防小規模多機能型居宅介護
12. 通所介護	33. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
13. 横浜市通所介護相当サービス	34. 介護予防認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
14. 通所リハビリテーション	35. 地域密着型特定施設入居者生活介護
15. 介護予防通所リハビリテーション	36. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
16. 短期入所生活介護	37. 看護小規模多機能型居宅介護
17. 介護予防短期入所生活介護	38. 介護老人福祉施設
18. 短期入所療養介護	39. 介護老人保健施設
19. 介護予防短期入所療養介護	40. 介護療養型医療施設(介護医療院)
20. 福祉用具貸与	41. 特になし
21. 介護予防福祉用具貸与	

問 23 サービス提供事業所に関する情報収集や連絡・調整はどのようにしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. サービス提供事業所のパンフレット等の収集	8. ケアプラン作成に必要な部分のみ、近隣にある特定の事業所に対し電話・面談等で直接問合せ・連絡・調整
2. サービス提供事業所のホームページを閲覧	9. サービス提供は原則同一法人内で行うため、その他の事業所との連絡をとる機会はない
3. 地域単位の事業所情報誌等を閲覧	10. ケアマネジャー同士の情報交換・ロコミ
4. 「WAM ネット」の事業所情報を閲覧	11. 事業所が営業に来るとき
5. 「かながわ福祉情報コミュニティ」の事業所情報を閲覧	12. 利用者からの情報や意見・要望
6. 地域包括支援センター(地域ケアプラザ等)からの情報収集	13. その他
7. 同一区のサービス事業所との定期的な連絡会などに参加	(具体的に)

Q22.事業所数もしくは定員など、量的に不足していると感じるサービス

調査数	訪問介護	横浜市訪問介護相当サービス	横浜市訪問型生活援助サービス	訪問入浴介護	介護予防訪問入浴介護	訪問看護	介護予防訪問看護	訪問リハビリテーション
1286 100.0	462 35.9	230 17.9	190 14.8	234 18.2	29 2.3	28 2.2	11 0.9	134 10.4
	介護予防訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	介護予防居宅療養管理指導	通所介護	横浜市通所介護相当サービス	通所リハビリテーション	介護予防通所リハビリテーション	短期入所生活介護
	54 4.2	27 2.1	6 0.5	54 4.2	48 3.7	231 18.0	92 7.2	128 10.0
	介護予防短期入所生活介護	短期入所療養介護	介護予防短期入所療養介護	福祉用具貸与	介護予防福祉用具貸与	特定福祉用具販売	特定介護予防福祉用具販売	住宅改修
	35 2.7	97 7.5	38 3.0	6 0.5	0 0.0	1 0.1	0 0.0	3 0.2
	特定施設入居者生活介護	介護予防特定施設入居者生活介護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	夜間対応型訪問介護	認知症対応型通所介護	介護予防認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護	介護予防小規模多機能型居宅介護
	7 0.5	5 0.4	422 32.8	374 29.1	103 8.0	29 2.3	128 10.0	53 4.1
	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	介護予防認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	地域密着型特定施設入居者生活介護	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	看護小規模多機能型居宅介護	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設(介護医療院)
	74 5.8	32 2.5	16 1.2	13 1.0	187 14.5	81 6.3	164 12.8	139 10.8
							特になし	無回答
							152 11.8	26 2.0

Q23.サービス提供事業所に関する情報収集や連絡・調整方法

調査数	サービス提供事業所のパンフレット等の収集	サービス提供事業所のホームページを閲覧	地域単位の事業所情報誌等を閲覧	「WAMネット」の事業所情報を閲覧	「かながわ福祉情報コミュニティ」の事業所情報を閲覧	地域包括支援センター(地域ケアプラザ等)からの情報収集	同一区のサービス事業所との定期的な連絡会などに参加	ケアプラン作成に必要な部分のみ、近隣にある特定の事業所に対し電話・面談等で直接問合せ・連絡・調整
1286 100.0	1063 82.7	882 68.6	160 12.4	131 10.2	711 55.3	344 26.7	184 14.3	265 20.6
			サービス提供は原則同一法人内で行うため、その他の事業所との連絡をとる機会はない	ケアマネジャー同士の情報交換・ロコミ	事業所が営業に来るとき	利用者からの情報や意見・要望	その他	無回答
			6 0.5	897 69.8	719 55.9	462 35.9	30 2.3	1 0.1

小規模多機能型サービス（地域密着型サービス）についてお伺いします。

問 24 あなたは、小規模多機能型居宅介護（以下、単に「サービス」と言います。）には、どのように対応していますか。もっとも近いものをお選びください。（○はひとつ）

- | |
|--|
| 1. サービス内容を概ね理解しており、適している利用者がいれば積極的に紹介している |
| 2. サービス内容を概ね理解しており、紹介したいと考えているが、近隣にサービス事業所がない |
| 3. サービス内容は概ね理解しているが、特に紹介等はしていない → 問 24-1 へ |
| 4. サービス内容はよく分からない点もあるが、適すると思われる利用者がいれば、紹介している |
| 5. サービス内容がよく分からないので、特別な対応はしていない |
| 6. その他（具体的に _____） |

問 24 で「3. サービス内容は概ね理解しているが、特に紹介等はしていない」と回答した方にお伺いします。

問 24-1 小規模多機能型サービスの利用に至らない理由としてあてはまるものをお選びください。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|---------------------------|
| 1. サービス内容に適した利用者がいない |
| 2. 月額定額報酬なので、利用者負担が重くなる |
| 3. 他の介護保険サービスとの併用がしづらい |
| 4. 利用者が使っているサービスを切り替えたくない |
| 5. その他（具体的に _____） |

Q24.小規模多機能型居宅介護対応方法

調査数	サービス内容を概ね理解しており、適している利用者がいれば積極的に紹介している	サービス内容を概ね理解しており、紹介したいと考えているが、近隣にサービス事業所がない	サービス内容は概ね理解しているが、特に紹介等はしていない	サービス内容はよく分からない点もあるが、適すると思われる利用者がいれば、紹介している	サービス内容はよく分からないので、特別な対応はしていない	その他	無回答
1286	633	64	364	138	28	42	17
100.0	49.2	5.0	28.3	10.7	2.2	3.3	1.3

Q24-1.小規模多機能型サービスの利用に至らない理由

調査数	サービス内容に適した利用者がいない	月額定額報酬なので、利用者負担が重くなる	他の介護保険サービスとの併用がしづらい	利用者が使っているサービスを切り替えたくない	その他	無回答
364	272	79	127	63	19	4
100.0	74.7	21.7	34.9	17.3	5.2	1.1

定期巡回・随時対応型訪問介護看護（地域密着型サービス）についてお伺いします。

すべての方にお伺いします。

問 25 あなたは、定期巡回・随時対応型訪問介護看護（以下、単に「サービス」と言います。）には、どのように対応していますか。もっとも近いものをお選びください。（○はひとつ）

1. サービス内容を概ね理解しており、適している利用者があれば積極的に紹介している
2. サービス内容を概ね理解しているが、特に紹介等はしていない → [問 25-1](#)へ
3. サービス内容はよく分からない点もあるが、適すると思われる利用者がいれば、紹介している
4. サービス内容がよく分からないので、特別な対応はしていない
5. その他（具体的に)

問 25 で「2. サービス内容を概ね理解しているが、特に紹介等はしていない」と回答した方にお伺いします。

問 25-1 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用に至らない理由としてあてはまるものをお選びください。（あてはまるものすべてに○）

1. サービス内容に適した利用者がいない
2. 月額定額報酬なので、利用者負担が重くなる
3. 他の介護保険サービスとの併用がしづらい
4. 利用者が使っているサービスを切り替えたくない
5. その他（具体的に)

すべての方にお伺いします。

問 26 保険外の活動やサービスを組み合わせて作成したケアプランはありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------------------------------|-------------------------|
| 1. 通いの場（体操・運動・趣味などの活動、食事会などの定期的な交流） | 9. 生活援助（掃除、洗濯、買い物、調理など） |
| 2. 通いの場への送迎 | 10. 話し相手 |
| 3. 医療機関・福祉施設・役所への送迎 | 11. 訪問による理美容 |
| 4. 医療機関・福祉施設・役所への送迎前後の付き添い | 12. 歯科などの訪問診療 |
| 5. 栄養改善を目的とした配食 | 13. 介護等が必要になった場合の住宅改造 |
| 6. 見守り・安否確認 | 14. 紙おむつの購入 |
| 7. 緊急時の通報システム | 15. その他
(具体的に) |
| 8. ごみ出し | 16. 特になし |

Q25.定期巡回・随時対応型訪問介護看護対応方法

調査数	サービス内容を概ね理解しており、適している利用者があれば積極的に紹介している	サービス内容を概ね理解しているが、特に紹介等はしていない	サービス内容はよく分からない点もあるが、適すると思われる利用者がいれば、紹介している	サービス内容はよく分からないので、特別な対応はしていない	その他	無回答
1286	743	286	188	34	25	10
100.0	57.8	22.2	14.6	2.6	1.9	0.8

Q25-1.定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用に至らない理由

調査数	サービス内容に適した利用者がいない	月額定額報酬なので、利用者負担が重くなる	他の介護保険サービスとの併用がしづらい	利用者が使っているサービスを切り替えたくない	その他	無回答
286	220	73	87	33	18	2
100.0	76.9	25.5	30.4	11.5	6.3	0.7

Q26.保険外の活動やサービスを組み合わせて作成したケアプラン

調査数	通いの場（体操・運動・趣味などの活動、食事会などの定期的な交流）	通いの場への送迎	医療機関・福祉施設・役所への送迎	医療機関・福祉施設・役所への送迎前後の付き添い	栄養改善を目的とした配食	見守り・安否確認	緊急時の通報システム	ごみ出し
1286	582	66	321	212	649	377	352	983
100.0	45.3	5.1	25.0	16.5	50.5	29.3	27.4	76.4
	生活援助（掃除、洗濯、買い物、調理など）	話し相手	訪問による理美容	歯科などの訪問診療	介護等が必要になった場合の住宅改造	紙おむつの購入	その他	特になし
	256	75	771	970	403	589	43	29
	19.9	5.8	60.0	75.4	31.3	45.8	3.3	2.3
								無回答
								5
								0.4

問 27 「担当している利用者が最も多い区」で、今後充実が必要だと思う活動やサービスはありますか。
(それぞれ○はひとつ)

	さらなる充実が必要	充実が必要	あまり必要ない	必要ない
① 通いの場（体操・運動・趣味などの活動、食事会などの定期的な交流）	1	2	3	4
② 通いの場への送迎	1	2	3	4
③ 医療機関・福祉施設・役所への送迎	1	2	3	4
④ 医療機関・福祉施設・役所への送迎前後の付き添い	1	2	3	4
⑤ 栄養改善を目的とした配食	1	2	3	4
⑥ 見守り・安否確認	1	2	3	4
⑦ 緊急時の通報システム	1	2	3	4
⑧ ごみ出し	1	2	3	4
⑨ 生活援助（掃除、洗濯、買い物、調理など）	1	2	3	4
⑩ 話し相手	1	2	3	4
⑪ 訪問による理美容	1	2	3	4
⑫ 歯科などの訪問診療	1	2	3	4
⑬ 介護等が必要になった場合の住宅改造	1	2	3	4
⑭ 紙おむつの購入	1	2	3	4
⑮ その他（具体的に_____）	1	2	3	4

問 28 公平で適切なケアプラン作成の観点から、居宅介護支援事業所は、サービス提供事業者から独立している方がいいと思いますか。（○はひとつ）

1. そう思う	3. どちらとも言えない	5. そう思わない
2. ややそう思う	4. あまりそう思わない	

調査数	さらなる充実が必要	充実が必要	あまり必要ない	必要ない	無回答
1286 100.0	400 31.1	681 53.0	85 6.6	17 1.3	103 8.0
1286 100.0	570 44.3	554 43.1	59 4.6	18 1.4	85 6.6
1286 100.0	500 38.9	601 46.7	61 4.7	16 1.2	108 8.4
1286 100.0	524 40.7	583 45.3	59 4.6	11 0.9	109 8.5
1286 100.0	241 18.7	638 49.6	229 17.8	25 1.9	153 11.9
1286 100.0	396 30.8	668 51.9	93 7.2	12 0.9	117 9.1
1286 100.0	325 25.3	672 52.3	127 9.9	17 1.3	145 11.3
1286 100.0	228 17.7	659 51.2	190 14.8	38 3.0	171 13.3
1286 100.0	306 23.8	657 51.1	162 12.6	23 1.8	138 10.7
1286 100.0	364 28.3	656 51.0	145 11.3	14 1.1	107 8.3

Q28. サービス提供事業者から独立している方がいいと思うか

調査数	そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
1286 100.0	333 25.9	234 18.2	503 39.1	127 9.9	85 6.6	4 0.3

調査数	さらなる充実が必要	充実が必要	あまり必要ない	必要ない	無回答
1286 100.0	133 10.3	680 52.9	267 20.8	39 3.0	167 13.0
1286 100.0	80 6.2	597 46.4	358 27.8	72 5.6	179 13.9
1286 100.0	103 8.0	608 47.3	333 25.9	55 4.3	187 14.5
1286 100.0	136 10.6	632 49.1	285 22.2	47 3.7	186 14.5
1286 100.0	22 1.7	27 2.1	26 2.0	42 3.3	1169 90.9

問 29 保険外の活動やサービスに関する情報収集はどのようにしていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 区役所や地域包括支援センター(地域ケアプラザ等)からの情報収集	6. ケアマネジャー同士の情報交換・ロコミ
2. 団体のパンフレット等の収集	7. 利用者からの情報や意見・要望
3. 団体のホームページを閲覧	8. その他(具体的に)
4. 地域単位の情報誌等を閲覧	9. 特に行ってない
5. 団体との定期的な連絡会などに参加	

問 30 医療連携について伺います。医療依存度が高い利用者への支援の経験がありますか(対応したことがある項目すべて選択してください)。(あてはまるものすべてに○)

1. 人工呼吸器	6. 腹膜透析	11. 末梢点滴
2. 在宅酸素	7. 褥瘡	12. 吸引
3. 自己導尿	8. インスリン	13. 胃ろう・食道ろう・腸ろう
4. 膀胱留置カテーテル	9. 創傷処置	14. 経鼻経管栄養
5. ストーマ	10. 中心静脈栄養	15. がん末期の疼痛管理
		16. 1~15の経験はない

問 31 現在、あなたが担当する利用者のうち、訪問診療を利用している利用者数を教えてください。

(○はひとつ)

1. 0人	3. 6~10人	5. 16人~20人	7. 26人~30人
2. 1~5人	4. 11人~15人	6. 21人~25人	8. 31人以上

問 32 かかりつけ医(主治医)との連携状況について教えてください。(○はひとつ)

1. 常に連携している	3. ほとんど連携していない
2. 必要な時に連携している	4. 連携する必要性を感じたことがない

問 32-1へ

問 33へ

問 32で「1. 常に連携している」「2. 必要な時に連携している」と回答した方にお伺いします。

問 32-1 かかりつけ医(主治医)と具体的にどのような連携をしていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 医療情報(身体状況、疾患、内服情報等)の提供を受けている
2. 認知症の症状や治療等について相談している
3. 介護支援に関する医療面でのアドバイスを受けている
4. 本人の自宅での様子など、日常生活に関する情報提供をしている
5. ケアプランを提供している
6. サービス担当者会議への出席や会議内容を提供している
7. その他(具体的に)

Q29.保険外の活動やサービスに関する情報収集方法

調査数	区役所や地域包括支援センター(地域ケアプラザ等)からの情報収集	団体のパンフレット等の収集	団体のホームページを閲覧	地域単位の情報誌等を閲覧	団体との定期的な連絡会などに参加	ケアマネジャー同士の情報交換・ロコミ	利用者からの情報や意見・要望	その他
1286	1143	527	436	265	145	1027	543	16
100.0	88.9	41.0	33.9	20.6	11.3	79.9	42.2	1.2
							特に行ってない	無回答
							3	2
							0.2	0.2

Q30.医療依存度が高い利用者への支援の経験

調査数	人工呼吸器	在宅酸素	自己導尿	膀胱留置カテーテル	ストーマ	腹膜透析	褥瘡	インスリン
1286	231	1143	583	993	891	217	1054	1019
100.0	18.0	88.9	45.3	77.2	69.3	16.9	82.0	79.2
	創傷処置	中心静脈栄養	末梢点滴	吸引	胃ろう・食道ろう・腸ろう	経鼻経管栄養	がん末期の疼痛管理	上記の経験はない
	481	503	319	820	847	445	957	33
	37.4	39.1	24.8	63.8	65.9	34.6	74.4	2.6
								無回答
								1
								0.1

Q31.訪問診療利用者数

調査数	0人	1~5人	6~10人	11人~15人	16人~20人	21人~25人	26人~30人	31人以上	無回答
1286	48	603	433	133	34	11	5	16	3
100.0	3.7	46.9	33.7	10.3	2.6	0.9	0.4	1.2	0.2

Q32.かかりつけ医(主治医)との連携状況

調査数	常に連携している	必要な時に連携している	ほとんど連携していない	連携する必要性を感じたことがない	無回答
1286	177	1057	43	1	8
100.0	13.8	82.2	3.3	0.1	0.6

Q32-1.かかりつけ医(主治医)との連携内容

調査数	医療情報(身体状況、疾患、内服情報等)の提供を受けている	認知症の症状や治療等について相談している	介護支援に関する医療面でのアドバイスを受けている	本人の自宅での様子など、日常生活に関する情報提供をしている	ケアプランを提供している	サービス担当者会議への出席や会議内容を提供している	その他	無回答
1234	1089	439	629	621	992	504	18	4
100.0	88.2	35.6	51.0	50.3	80.4	40.8	1.5	0.3

すべての方にお伺いします。

問 33 ケアプランの作成にあたって、医療機関等からの情報収集などを行っていますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | | | | | | | | | |
|---------------|--|---|---|--------------------|----------------------|-------------------|------------|----------------|--------------|
| 1. 主治医の意見書を入手 | 2. 意見書を記載した主治医に対して電話・面談等で直接問合せ・連絡・情報収集 | 3. 意見書を記載した主治医以外のかかりつけ医に対して電話・面談等で直接問合せ・連絡・情報収集 | 4. 入院歴のある人の場合は入院していた医療機関に対して問合せ・連絡・情報収集 | 5. 往診・受診・通院・入院時に同行 | 6. 医療相談室MSWを通じた情報収集等 | 7. 家族を通じて医師に指示を確認 | 8. カンファレンス | 9. その他 (具体的に) | 10. 特に行っていない |
|---------------|--|---|---|--------------------|----------------------|-------------------|------------|----------------|--------------|

問 34 医療連携を円滑に進めるために工夫していることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | | | | |
|------------------|-------------------------|--------------------|--------------------|----------------|---------|
| 1. 連絡ノート等を活用している | 2. 電話やメール等でこまめに連絡をとっている | 3. 定期的な会議等の場を設けている | 4. 在宅医療連携拠点に相談している | 5. その他 (具体的に) | 6. 特になし |
|------------------|-------------------------|--------------------|--------------------|----------------|---------|

問 35 医療機関との連携で困ることがあれば教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | | | | | | | | | | | |
|------------------------|-----------------|-----------------|---------------------|-----------------|---|-----------------------|--------------------|-----------------------|-------------------------|-----------------|--------------|
| 1. 医師といつ連絡を取ればよいか分からない | 2. 専門用語が多く理解が困難 | 3. 退院までの準備期間が短い | 4. 医療機関側の介護保険の説明が遅い | 5. 主治医意見書の到着が遅い | 6. 医療側からの一方的な意見で支援方法が決定され、介護側の意見が考慮されない | 7. サービス担当者会議の日程調整が難しい | 8. 退院してからの連絡が取りにくい | 9. 書類を頼んでも対応が遅い、嫌がられる | 10. 個人情報保護で医療的な情報が取りにくい | 11. その他 (具体的に) | 12. 困ったことはない |
|------------------------|-----------------|-----------------|---------------------|-----------------|---|-----------------------|--------------------|-----------------------|-------------------------|-----------------|--------------|

問 36 在宅医療・介護の相談窓口として各区に設置する在宅医療連携拠点(在宅医療相談室)をご存知ですか。(○はひとつ)

- | | |
|----------|------------------|
| 1. 知っている | 2. 知らない → 問 37 へ |
|----------|------------------|

問 36-1 へ

問 36 で「1. 知っている」と回答されている方に伺います。

問 36-1 利用したことはありますか。(○はひとつ)

- | | |
|-----------------------|--------------|
| 1. 利用したことがある → 問 37 へ | 2. 利用したことはない |
|-----------------------|--------------|

11 / 18

問 36-2 へ

Q33. ケアプランの作成にあたって、医療機関等からの情報収集内容

調査数	主治医の意見書を入手	意見書を記載した主治医に対して電話・面談等で直接問合せ・連絡・情報収集	意見書を記載した主治医以外のかかりつけ医に対して電話・面談等で直接問合せ・連絡・情報収集	入院歴のある人の場合は入院していた医療機関に対して問合せ・連絡・情報収集	往診・受診・通院・入院時に同行	医療相談室MSWを通じた情報収集等	家族を通じて医師に指示を確認	カンファレンス
1286	1229	387	223	588	861	969	712	672
100.0	95.6	30.1	17.3	45.7	67.0	75.3	55.4	52.3
						その他	特に行っていない	無回答
						23	7	3
						1.8	0.5	0.2

Q34. 医療連携を円滑に進めるために工夫していること

調査数	連絡ノート等を活用している	電話やメール等でこまめに連絡をとっている	定期的な会議等の場を設けている	在宅医療連携拠点に相談している	その他	特になし	無回答
1286	295	704	113	166	104	293	26
100.0	22.9	54.7	8.8	12.9	8.1	22.8	2.0

Q35. 医療機関との連携で困ること

調査数	医師といつ連絡を取ればよいか分からない	専門用語が多く理解が困難	退院までの準備期間が短い	医療機関側の介護保険の説明が遅い	主治医意見書の到着が遅い	医療側からの一方的な意見で支援方法が決定され、介護側の意見が考慮されない	サービス担当者会議の日程調整が難しい	退院してからの連絡が取りにくい
1286	638	224	444	130	421	215	600	237
100.0	49.6	17.4	34.5	10.1	32.7	16.7	46.7	18.4
						書類を頼んでも対応が遅い、嫌がられる	個人情報保護で医療的な情報が取りにくい	その他
						258	232	65
						20.1	18.0	5.1
								困ったことはない
								91
								7.1
								20
								1.6

Q36. 在宅医療連携拠点認知

調査数	知っている	知らない	無回答
1286	1095	189	2
100.0	85.1	14.7	0.2

Q36-1. 在宅医療連携拠点利用経験

調査数	利用したことがある	利用したことはない	無回答
1095	681	407	7
100.0	62.2	37.2	0.6

問 36-1 で「2. 利用したことはない」と回答されている方に伺います。

問 36-2 利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 必要性を感じたことがない	3. 地域包括支援センターとの違いが分からない
2. 利用の仕方が分からない	4. その他(具体的に)

すべての方にお伺いします。

問 37 認知症の人の医療連携を進める上で必要なことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 医師から身体健康管理等について助言が受けられること	4. 認知症の行動心理症状(BPSD)が悪化したときに、入院できる病院があること
2. 医師から認知症の行動心理症状(BPSD)について助言が受けられること	5. 受診時、医師が認知症の人への対応をしてくれること
3. 身体の病状が急変したときに、入院できる病院の相談ができること	6. 受診につながらない人に対する医師の訪問
	7. その他(具体的に)

サービス担当者会議についてお伺いします。

問 38 サービス担当者会議開催(令和4年7月~9月)にあたり「参加を呼びかけた人」、「実際に参加した人」それぞれをお答えください。(それぞれについて、あてはまる番号に○)

	参加を呼びかけた人	実際に参加した人
①利用者	1	2
②家族	1	2
③主治医	1	2
④主治医以外の医療機関関係者(医師・看護師・MSW等)	1	2
⑤薬剤師	1	2
⑥サービス提供事業者(リハビリ専門職以外)	1	2
⑦サービス提供事業者等(リハビリ専門職)	1	2
⑧地域包括支援センター職員	1	2
⑨区役所の保健師	1	2
⑩区役所のケースワーカー	1	2
⑪民生委員・児童委員	1	2
⑫その他(具体的に)	1	2

地域ケア会議についてお伺いします。

問 39 横浜市の地域ケア会議(個別ケース、包括レベル)に出席したことはありますか。(○はひとつ)

1. 出席したことがある	2. 出席したことはない
--------------	--------------

Q36-2.在宅医療連携拠点非利用理由

調査数	必要性を感じたことがない	利用の仕方が分からない	地域包括支援センターとの違いが分からない	その他	無回答
407	244	106	42	33	16
100.0	60.0	26.0	10.3	8.1	3.9

Q37.認知症の人の医療連携を進める上で必要なこと

調査数	医師から身体健康管理等について助言が受けられること	医師から認知症の行動心理症状(BPSD)について助言が受けられること	身体の病状が急変したときに、入院できる病院の相談ができること	認知症の行動心理症状(BPSD)が悪化したときに、入院できる病院があること	受診時、医師が認知症の人への対応をしてくれること	受診につながらない人に対する医師の訪問	その他	無回答
1286	757	806	878	912	597	711	19	9
100.0	58.9	62.7	68.3	70.9	46.4	55.3	1.5	0.7

Q38.サービス担当者会議開催について 1.参加を呼びかけた人

調査数	利用者	家族	主治医	主治医以外の医療機関関係者(医師・看護師・MSW等)	薬剤師	サービス提供事業者(リハビリ専門職以外)	サービス提供事業者等(リハビリ専門職)	地域包括支援センター職員
1286	1181	1174	573	692	404	1060	1029	660
100.0	91.8	91.3	44.6	53.8	31.4	82.4	80.0	51.3
				区役所の保健師	区役所のケースワーカー	民生委員・児童委員	その他	無回答
				133	234	86	15	52
				10.3	18.2	6.7	1.2	4.0

Q38.サービス担当者会議開催について 2.実際に参加した人

調査数	利用者	家族	主治医	主治医以外の医療機関関係者(医師・看護師・MSW等)	薬剤師	サービス提供事業者(リハビリ専門職以外)	サービス提供事業者等(リハビリ専門職)	地域包括支援センター職員
1286	1154	1129	283	542	262	992	924	471
100.0	89.7	87.8	22.0	42.1	20.4	77.1	71.9	36.6
				区役所の保健師	区役所のケースワーカー	民生委員・児童委員	その他	無回答
				85	150	62	12	111
				6.6	11.7	4.8	0.9	8.6

Q39.横浜市の地域ケア会議出席経験

調査数	出席したことがある	出席したことはない	無回答
1286	741	538	7
100.0	57.6	41.8	0.5

問 40 地域ケア会議に期待することは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 多様な職種・立場の人たちから意見が聴ける(つながりができる)こと → [問 40-1 へ](#)
2. よりよい支援につなげられること
3. 自らの知識・見識を広げるきっかけとなること
4. 自立支援に資するケアマネジメントにつなげられること
5. その他(具体的に)

問 40 で「1. 多様な職種・立場の人たちから意見が聴ける(つながりができる)こと」に○をつけられた方にお伺いします。

問 40-1 特にそう思う職種・立場の方はどちらですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|--------------------------------|---------------|------------------|
| 1. 医師 | 7. 栄養士 | 13. NPO、ボランティア団体 |
| 2. 看護師 | 8. 薬剤師 | 14. 社会福祉協議会 |
| 3. 保健師 | 9. サービス提供事業者 | 15. 地域包括支援センター |
| 4. リハビリ専門職(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等) | 10. 法律関係者 | 16. 行政職員 |
| 5. 歯科医師 | 11. 民生委員・児童委員 | 17. その他(具体的に) |
| 6. 歯科衛生士(自治会、老人クラブ等) | | |

すべての方にお伺いします。

問 41 現時点で、地域ケア会議で課題に思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 参加する機会がない(参加依頼がない)
2. 参加する時間がない(参加依頼はあるが、自身の時間がとれない)
3. 形式的に開催されているだけと感じる
4. 自らのケアプランの不足点を指摘されるだけになってしまう
5. サービス担当者会議との違いが分からない
6. その他(具体的に)
7. 特にない

Q40.地域ケア会議に期待することは

調査数	多様な職種・立場の人たちから意見が聴ける(つながりができる)こと	よりよい支援につなげられること	自らの知識・見識を広げるきっかけとなること	自立支援に資するケアマネジメントにつなげられること	その他	無回答
1286	1077	839	733	486	40	35
100.0	83.7	65.2	57.0	37.8	3.1	2.7

Q40-1.多様な職種・立場の人たちから意見が聴けると思う職種・立場の方

調査数	医師	看護師	保健師	リハビリ専門職(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等)	歯科医師	歯科衛生士	栄養士	薬剤師
1077	738	633	402	581	245	119	252	362
100.0	68.5	58.8	37.3	53.9	22.7	11.0	23.4	33.6
	サービス提供事業者	法律関係者	民生委員・児童委員	地縁団体(自治会、老人クラブ等)	NPO、ボランティア団体	社会福祉協議会	地域包括支援センター	行政職員
	538	423	561	296	230	182	583	496
	50.0	39.3	52.1	27.5	21.4	16.9	54.1	46.1
							その他	無回答
							23	24
							2.1	2.2

Q41.現時点で、地域ケア会議で課題に思うこと

調査数	参加する機会がない(参加依頼がない)	参加する時間がない(参加依頼はあるが、自身の時間がとれない)	形式的に開催されているだけと感じる	自らのケアプランの不足点を指摘されるだけになってしまう	サービス担当者会議との違いが分からない	その他	特にない	無回答
1286	619	288	358	96	71	63	167	34
100.0	48.1	22.4	27.8	7.5	5.5	4.9	13.0	2.6

ケアマネジャー業務全般に関するお考えについてお伺いします。

問 42 ケアマネジャー業務を行う上で、課題として考えているのはどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. サービス事業者に関する情報が少ない	9. 相談する人が身近にいない
2. 介護保険の目的である自立支援に向けたプランを作成しても、利用者・家族に理解されない	10. 所属事業所の関連事業者からのサービスに偏る
3. 忙しくて利用者の意見・要望を聞き調整する時間が十分とれない	11. 記録など書類の量が多く負担となっている
4. 支援困難事例のケアマネジメントの方法がわからない	12. 介護保険サービスを利用せず(組み込まない)、インフォーマルサービスや民間サービスだけのケアプラン調整だと、介護報酬で算定できない
5. 認知症のある人に対する支援の手段がわからない	13. インフォーマルサービスや民間サービスの利用を提案しても利用者や家族に受け入れられない
6. 医療機関との連携がうまくとれない	14. 要介護認定が出る前のいわゆる「暫定ケアプラン」調整の労力について、「要支援」の認定が出た際には介護報酬で評価されない
7. 地域包括支援センター(地域ケアプラザ等)との連携がうまくいかない	15. ケアマネジャー業務以外の相談や頼まれごと
8. 区や市との連携がうまくいかない	16. その他(具体的に)
	17. 課題はない

問 43 ケアマネジャー業務の中で、どのようなことに負担感を感じますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 利用者や家族に対する業務内容の説明と同意	10. 介護報酬請求事務
2. 課題分析のための居宅訪問・面接	11. 夜間や休日の相談対応
3. サービス担当者会議の開催・調整	12. ケアマネジャー業務以外の相談や頼まれごと
4. ケアプラン原案に対する利用者・家族の同意	13. 利用者本人と家族の意向が異なる場合の調整
5. ケアプランの交付(書類の作成など)	14. 利用者の経済的問題等の相談
6. 状況確認のための毎月の居宅訪問・面接	15. 認知症等の利用者にかかわる成年後見手続等の手配
7. 主治医や医療機関と連絡調整	16. その他(具体的に)
8. 利用者や事業所の苦情対応	17. 特に負担に感じることはない
9. 要介護認定などの申請代行	

問 44 ケアプランを作成する上で、わからないことや困ったことがあったとき、誰に相談していますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 同一法人のケアマネジャー	8. 国民健康保険団体連合会
2. 他法人のケアマネジャー	9. かながわ福祉サービス振興会
3. 地域のケアマネジャー連絡会	10. サービス事業者
4. 地域包括支援センター(地域ケアプラザ等)	11. 医師
5. 区役所(高齢・障害支援課)	12. その他(具体的に)
6. 横浜市健康福祉局	13. 相談できる相手がいない
7. 神奈川県	14. 困ったりすることはない

Q42.ケアマネジャー業務を行う上で、課題として考えていること

調査数	サービス事業者に関する情報が少ない	介護保険の目的である自立支援に向けたプランを作成しても、利用者・家族に理解されない	忙しくて利用者の意見・要望を聞き調整する時間が十分とれない	支援困難事例のケアマネジメントの方法がわからない	認知症のある人に対する支援の手段がわからない	医療機関との連携がうまくとれない	地域包括支援センター(地域ケアプラザ等)との連携がうまくいかない	区や市との連携がうまくいかない
1286	134	404	207	226	94	208	77	127
100.0	10.4	31.4	16.1	17.6	7.3	16.2	6.0	9.9
	相談する人が身近にいない	所属事業所の関連事業者からのサービスに偏る	記録など書類の量が多く負担となっている	介護保険サービスを利用せず(組み込まない)、インフォーマルサービスや民間サービスだけのケアプラン調整だと、介護報酬で算定できない	インフォーマルサービスや民間サービスの利用を提案しても利用者や家族に受け入れられない	要介護認定が出る前のいわゆる「暫定ケアプラン」調整の労力について、「要支援」の認定が出た際には介護報酬で評価されない	ケアマネジャー業務以外の相談や頼まれごと	その他
	48	43	1020	561	207	748	739	92
	3.7	3.3	79.3	43.6	16.1	58.2	57.5	7.2
							課題はない	無回答
							8	15
							0.6	1.2

Q43.ケアマネジャー業務負担内容

調査数	利用者や家族に対する業務内容の説明と同意	課題分析のための居宅訪問・面接	サービス担当者会議の開催・調整	ケアプラン原案に対する利用者・家族の同意	ケアプランの交付(書類の作成など)	状況確認のための毎月の居宅訪問・面接	主治医や医療機関と連絡調整	利用者や事業所の苦情対応
1286	184	149	401	91	261	240	287	410
100.0	14.3	11.6	31.2	7.1	20.3	18.7	22.3	31.9
	要介護認定などの申請代行	介護報酬請求事務	夜間や休日の相談対応	ケアマネジャー業務以外の相談や頼まれごと	利用者本人と家族の意向が異なる場合の調整	利用者の経済的問題等の相談	認知症等の利用者にかかわる成年後見手続等の手配	その他
	75	175	542	784	725	709	387	101
	5.8	13.6	42.1	61.0	56.4	55.1	30.1	7.9
							特に負担に感じることはない	無回答
							26	8
							2.0	0.6

Q44.ケアプランを作成する上での相談先

調査数	同一法人のケアマネジャー	他法人のケアマネジャー	地域のケアマネジャー連絡会	地域包括支援センター(地域ケアプラザ等)	区役所(高齢・障害支援課)	横浜市健康福祉局	神奈川県	国民健康保険団体連合会
1286	1151	272	121	725	307	117	7	30
100.0	89.5	21.2	9.4	56.4	23.9	9.1	0.5	2.3
	かながわ福祉サービス振興会	サービス事業者	医師	その他	相談できる相手がいない	困ったりすることはない	無回答	
	5	270	115	25	9	10	6	
	0.4	21.0	8.9	1.9	0.7	0.8	0.5	

問45 問44について、どのようなことを相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 複雑多様化した問題を抱える事例への対応に関すること	6. 医療知識に関すること
2. 利用者・家族間の意見調整に関すること	7. 介護報酬請求事務に関すること
3. 居宅サービスの適否判断の解釈に関すること(運営基準等を含む)	8. その他(具体的に)
4. 3. 以外のケアマネジャー業務に関すること	9. 特に相談することはない
5. 介護保険外のサービスの利用に関すること	

問46 自分自身の「ケアマネジャー業務のレベルアップ」のために、現在、どのような取組を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自主的な勉強会を行っている	6. 外部研修に積極的に参加している
2. 事業者連絡会等に積極的に参加している	7. 参考書などを読んでいる
3. ケースカンファレンス等で具体的な検討をし、助言を受けている	8. インターネット等による情報収集を行っている
4. 法人内の研修に積極的に参加している	9. その他(具体的に)
5. 地域包括支援センターが主催する研修、事例検討会に参加する	10. 特にない

問47 自分自身の「ケアマネジャー業務のレベルアップ」のために、現在は行っていないが、今後始めたいと思っている取組はありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自主的な勉強会を行いたい	6. 参考書などを読んで知識などを増やしたい
2. 事業者連絡会等に積極的に参加したい	7. ネットワークによる情報収集
3. 具体的な検討・助言を得られるケースカンファレンス等を行いたい	8. 関連資格の取得や勉強
4. 法人内の研修に積極的に参加したい	9. その他(具体的に)
5. 外部研修に積極的に参加したい	10. 特にない

Q45. ケアプランを作成する上での相談内容

調査数	複雑多様化した問題を抱える事例への対応に関すること	利用者・家族間の意見調整に関すること	居宅サービスの適否判断の解釈に関すること(運営基準等を含む)	「居宅サービスの適否判断の解釈に関すること(運営基準等を含む)」以外のケアマネジャー業務に関すること	介護保険外のサービスの利用に関すること	医療知識に関すること	介護報酬請求事務に関すること	その他
1286	989	555	561	364	594	453	347	9
100.0	76.9	43.2	43.6	28.3	46.2	35.2	27.0	0.7
							特に相談することはない	無回答
							18	22
							1.4	1.7

Q46. 「ケアマネジャー業務のレベルアップ」のために行っている取組

調査数	自主的な勉強会を行っている	事業者連絡会等に積極的に参加している	ケースカンファレンス等で具体的な検討をし、助言を受けている	法人内の研修に積極的に参加している	地域包括支援センターが主催する研修、事例検討会に参加する	外部研修に積極的に参加している	参考書などを読んでいる	インターネット等による情報収集を行っている
1286	259	454	331	545	792	585	272	641
100.0	20.1	35.3	25.7	42.4	61.6	45.5	21.2	49.8
						その他	特にない	無回答
						19	39	11
						1.5	3.0	0.9

Q47. 「ケアマネジャー業務のレベルアップ」のための取組意向

調査数	自主的な勉強会を行いたい	事業者連絡会等に積極的に参加したい	具体的な検討・助言を得られるケースカンファレンス等を行いたい	法人内の研修に積極的に参加したい	外部研修に積極的に参加したい	参考書などを読んで知識などを増やしたい	ネットワークによる情報収集	関連資格の取得や勉強
1286	187	329	356	159	566	256	324	296
100.0	14.5	25.6	27.7	12.4	44.0	19.9	25.2	23.0
						その他	特にない	無回答
						8	113	38
						0.6	8.8	3.0

地域包括支援センターの役割についてお伺いします。

問 48 地域包括支援センターはその役割を果たしていると思いますか。次の各項目それぞれについてお答えください。（それぞれについて、あてはまる番号に○をひとつ）

	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない
①介護予防ケアマネジメントを通じた介護予防の推進	1	2	3	4
②高齢者の健康づくりや介護予防の推進	1	2	3	4
③医療と介護の連携推進	1	2	3	4
④ケアマネジャーに対する日常的な個別指導・相談の役割	1	2	3	4
⑤支援困難事例への個別指導・相談の役割	1	2	3	4
⑥地域におけるケアマネジャーのネットワークづくりの役割	1	2	3	4
⑦多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築	1	2	3	4
⑧地域の総合相談窓口としての役割	1	2	3	4
⑨実態把握等による要援護高齢者の早期発見と対応の役割	1	2	3	4
⑩高齢者虐待防止・権利擁護の役割	1	2	3	4
⑪その他（具体的に)	1	2	3	4

Q48.地域包括支援センターの役割について 1.介護予防ケアマネジメントを通じた介護予防の推進

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
1286	226	752	221	53	34
100.0	17.6	58.5	17.2	4.1	2.6

Q48.地域包括支援センターの役割について 2.高齢者の健康づくりや介護予防の推進

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
1286	235	792	180	25	54
100.0	18.3	61.6	14.0	1.9	4.2

Q48.地域包括支援センターの役割について 3.医療と介護の連携推進

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
1286	142	674	360	59	51
100.0	11.0	52.4	28.0	4.6	4.0

Q48.地域包括支援センターの役割について 4.ケアマネジャーに対する日常的な個別指導・相談の役割

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
1286	179	587	370	104	46
100.0	13.9	45.6	28.8	8.1	3.6

Q48.地域包括支援センターの役割について 5.支援困難事例への個別指導・相談の役割

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
1286	189	625	329	102	41
100.0	14.7	48.6	25.6	7.9	3.2

Q48.地域包括支援センターの役割について 6.地域におけるケアマネジャーのネットワークづくりの役割

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
1286	187	703	269	86	41
100.0	14.5	54.7	20.9	6.7	3.2

Q48.地域包括支援センターの役割について 7.多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
1286	158	696	309	76	47
100.0	12.3	54.1	24.0	5.9	3.7

Q48.地域包括支援センターの役割について 8.地域の総合相談窓口としての役割

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
1286	347	723	134	41	41
100.0	27.0	56.2	10.4	3.2	3.2

Q48.地域包括支援センターの役割について 9.実態把握等による要援護高齢者の早期発見と対応の役割

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
1286	181	722	290	52	41
100.0	14.1	56.1	22.6	4.0	3.2

Q48.地域包括支援センターの役割について 10.高齢者虐待防止・権利擁護の役割

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
1286	209	734	231	51	61
100.0	16.3	57.1	18.0	4.0	4.7

Q48.地域包括支援センターの役割について 11.その他

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
1286	7	38	11	7	1223
100.0	0.5	3.0	0.9	0.5	95.1

問 49 区役所に期待することは何ですか。(あてはまるものすべてに○) また、選択した「期待すること」について、区がその役割を果たしていると思いますか。

	期待すること (あてはまるものすべてに○)	区が役割を果たしているか (○はひとつ)			
		十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない
①支援困難事例への対応	1	⇒ 1	2	3	4
②ケースカンファレンス	1	⇒ 1	2	3	4
③苦情相談への対応	1	⇒ 1	2	3	4
④介護保険のサービスや制度の利用	1	⇒ 1	2	3	4
⑤介護保険法で判断に困るとき	1	⇒ 1	2	3	4
⑥医療・健康状態などの相談・助言	1	⇒ 1	2	3	4
⑦虐待が認められる・虐待のおそれのあるケースへの対応	1	⇒ 1	2	3	4
⑧精神疾患の方への対応	1	⇒ 1	2	3	4
⑨その他(具体的に)	1	⇒ 1	2	3	4

介護予防ケアマネジメントを担当したことがある方にお伺いします。

問 50 介護予防ケアマネジメントが利用者の状態の改善や生活機能の向上に効果的であったと思いますか。(○はひとつ)

1. 効果があった	2. 効果が得られなかった → 問 51 へ
-----------	--

[問 50-1](#)へ

問 50 で「1. 効果があった」と回答した方にお伺いします。

問 50-1 どのような効果がありましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 要介護度が改善または維持した
2. 目標達成により生活の質が改善した
3. 自立に向けてより意欲的に日常生活を送れるようになった
4. 自分の生きがいを見つけ生活できるようになった
5. その他(具体的に)

Q49-1.区役所に期待すること

調査数	支援困難事例への対応	ケースカンファレンス	苦情相談への対応	介護保険のサービスや制度の利用	介護保険法で判断に困るとき	医療・健康状態などの相談・助言	虐待が認められる・虐待のおそれのあるケースへの対応	精神疾患の方への対応
1286	774	297	504	276	506	228	657	650
100.0	60.2	23.1	39.2	21.5	39.3	17.7	51.1	50.5
							その他	無回答
							23	426
							1.8	33.1

Q49-2.区が役割を果たしているか 1.支援困難事例への対応

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
774	47	336	284	64	43
100.0	6.1	43.4	36.7	8.3	5.6

Q49-2.区が役割を果たしているか 2.ケースカンファレンス

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
297	19	124	98	30	26
100.0	6.4	41.8	33.0	10.1	8.8

Q49-2.区が役割を果たしているか 3.苦情相談への対応

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
504	37	225	157	38	47
100.0	7.3	44.6	31.2	7.5	9.3

Q49-2.区が役割を果たしているか 4.介護保険のサービスや制度の利用

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
276	34	147	51	22	22
100.0	12.3	53.3	18.5	8.0	8.0

Q49-2.区が役割を果たしているか 5.介護保険法で判断に困るとき

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
506	37	257	126	45	41
100.0	7.3	50.8	24.9	8.9	8.1

Q49-2.区が役割を果たしているか 6.医療・健康状態などの相談・助言

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
228	17	109	57	24	21
100.0	7.5	47.8	25.0	10.5	9.2

Q49-2.区が役割を果たしているか 7.虐待が認められる・虐待のおそれのあるケースへの対応

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
657	69	327	171	53	37
100.0	10.5	49.8	26.0	8.1	5.6

Q49-2.区が役割を果たしているか 8.精神疾患の方への対応

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
650	30	272	232	69	47
100.0	4.6	41.8	35.7	10.6	7.2

Q49-2.区が役割を果たしているか 9.その他

調査数	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
23	1	6	7	5	4
100.0	4.3	26.1	30.4	21.7	17.4

Q50.介護予防ケアマネジメント効果

調査数	効果があった	効果が得られなかった	無回答
1286	936	289	61
100.0	72.8	22.5	4.7

Q50-1.介護予防ケアマネジメント効果があった内容

調査数	要介護度が改善または維持した	目標達成により生活の質が改善した	自立に向けてより意欲的に日常生活を送れるようになった
936	433	432	576
100.0	46.3	46.2	61.5
	自分の生きがいを見つけ生活できるようになった	その他	無回答
	280	17	3
	29.9	1.8	0.3

訪問介護員（ホームヘルパー）調査

17

あなたご自身のことについて、お伺いします。

問1 あなたの性別・年齢をお選びください。

〔性別〕（〇はひとつ）※選択することに違和感がある場合は回答不要です。

1. 男性 2. 女性

〔年齢〕 あなたの年齢（令和4年10月1日現在）をお選びください。（〇はひとつ）

1. 20歳未満	4. 30～34歳	7. 45～49歳	10. 60～64歳
2. 20～24歳	5. 35～39歳	8. 50～54歳	11. 65～69歳
3. 25～29歳	6. 40～44歳	9. 55～59歳	12. 70歳以上

問2 あなたの就業形態、勤務形態についてお伺いします。あなたの就業形態は次のうちどれですか。

（〇はひとつ）

1. 正社員（正規職員） → 問3へ

2. 非正（規）社員
（パート、アルバイト、派遣職員、非常勤職員、嘱託職員、契約社員、登録ヘルパー等）
（注）登録ヘルパーとは本人が所属先に登録しておき、本人の都合のよい時に働く方です。

問2-1へ

問2で「2. 非正（規）社員」と回答した方にお伺いします。

問2-1 あなたの勤務形態はどのように定められていますか。

右欄の説明をご参照いただき、あてはまるものをお選びください。（〇はひとつ）

1. 常勤	事業所の定める正社員の所定労働時間と同じ時間を勤務する
2. 非常勤（定型的）	1日の所定労働時間又は1週間の労働日数が常勤労働者より少ないが、労働日及び労働日の労働時間が定型的・固定的に決まっている
3. 非常勤（非定型的）	月、週、又は日の労働時間が、一定期間毎に作成される勤務表により、非定型的に特定される（登録ヘルパー等）
4. その他	急な仕事のために臨時に雇用されて勤務している

すべての方にお伺いします。

問3 あなたの現在の勤め先（事業所の所在地）はどちらですか。（〇はひとつ）

1. 青葉区	5. 神奈川区	9. 栄区	13. 戸塚区	17. 緑区
2. 旭区	6. 金沢区	10. 瀬谷区	14. 中区	18. 南区
3. 泉区	7. 港南区	11. 都筑区	15. 西区	
4. 磯子区	8. 港北区	12. 鶴見区	16. 保土ヶ谷区	

Q1-1. 性別

調査数	男性	女性	無回答
1288	211	1058	19
100.0	16.4	82.1	1.5

Q1-2. 年齢

調査数	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳
1288	0	26	48	64	70	123	148	217
100.0	0.0	2.0	3.7	5.0	5.4	9.5	11.5	16.8
				55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	無回答
				211	174	104	87	16
				16.4	13.5	8.1	6.8	1.2

Q2. 就業形態

調査数	正社員（正規職員）	非正（規）社員 （パート、アルバイト、派遣職員、非常勤職員、嘱託職員、契約社員、登録ヘルパー等）	無回答
1288	723	556	9
100.0	56.1	43.2	0.7

Q2-1. 勤務形態

調査数	常勤	非常勤（定型的）	非常勤（非定型的）	その他	無回答
556	62	270	220	2	2
100.0	11.2	48.6	39.6	0.4	0.4

Q3. 勤務地

調査数	青葉区	旭区	泉区	磯子区	神奈川区	金沢区	港南区	港北区
1288	63	89	40	52	75	70	83	110
100.0	4.9	6.9	3.1	4.0	5.8	5.4	6.4	8.5
	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区	戸塚区	中区	西区	保土ヶ谷区
	29	61	49	100	67	105	37	73
	2.3	4.7	3.8	7.8	5.2	8.2	2.9	5.7
						緑区	南区	無回答
						95	85	5
						7.4	6.6	0.4

問4 あなたのお住まいは横浜市内ですか。(〇はひとつ)

1. 横浜市内	2. 横浜市外
---------	---------

問5 あなたのお住まいから勤め先(事業所)までの通勤時間は、どのくらいですか。(〇はひとつ)

1. 30分未満	3. 45分～1時間未満	5. 1時間30分～2時間未満
2. 30分～45分未満	4. 1時間～1時間30分未満	6. 2時間以上

問6 主な通勤手段は何ですか。(〇はひとつ)

1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク	4. バス	5. 自家用車	6. 鉄道
-------	--------	--------	-------	---------	-------

問7 介護サービスの仕事に携わってからの通算の経験年数は、どのくらいですか。(〇はひとつ)

1. 1年未満	3. 2～3年未満	5. 5～7年未満	7. 10～20年未満
2. 1～2年未満	4. 3～5年未満	6. 7～10年未満	8. 20年以上

問8 現在の職場※での経験年数は、どのくらいですか。(〇はひとつ)

※同一法人にて異動により事業所が変わった場合、新たに異動した事業所での経験年数をお答えください。

1. 1年未満	3. 2～3年未満	5. 5～7年未満	7. 10～20年未満
2. 1～2年未満	4. 3～5年未満	6. 7～10年未満	8. 20年以上

問9 あなたが介護職への就職を考えた時期はいつですか。(〇はひとつ)

1. ～10代	5. 50代
2. 20代	6. 60代
3. 30代	7. 70代以降
4. 40代	

問10 あなたが現在の職場に就職した主なきっかけは何ですか。(〇はひとつ)

1. ハローワーク(公共職業安定所)	6. 知人の紹介
2. 新聞広告等の求人募集に応募	7. 職場からの募集の案内・ポスター
3. インターネット	8. 職場(職員)などからの勧誘
4. 就職相談会・説明会に参加	9. 資格取得の実習先だった
5. 母校の進路指導	10. 紹介会社による紹介
	11. その他(具体的に)

Q4.居住地

調査数	横浜市内	横浜市外	無回答
1288	1116	169	3
100.0	86.6	13.1	0.2

Q5.通勤時間

調査数	30分未満	30分～45分未満	45分～1時間未満	1時間～1時間30分未満	1時間30分～2時間未満	2時間以上	無回答
1288	771	263	154	86	9	3	2
100.0	59.9	20.4	12.0	6.7	0.7	0.2	0.2

Q6.通勤手段

調査数	徒歩	自転車	バイク	バス	自家用車	鉄道	無回答
1288	122	344	189	101	240	285	7
100.0	9.5	26.7	14.7	7.8	18.6	22.1	0.5

Q7.介護サービス経験年数

調査数	1年未満	1～2年未満	2～3年未満	3～5年未満	5～7年未満	7～10年未満	10～20年未満	20年以上	無回答
1288	46	50	54	114	113	198	548	163	2
100.0	3.6	3.9	4.2	8.9	8.8	15.4	42.5	12.7	0.2

Q8.現在の職場の経験年数

調査数	1年未満	1～2年未満	2～3年未満	3～5年未満	5～7年未満	7～10年未満	10～20年未満	20年以上	無回答
1288	189	151	114	169	145	155	296	63	6
100.0	14.7	11.7	8.9	13.1	11.3	12.0	23.0	4.9	0.5

Q9.介護職への就職を考えた時期

調査数	～10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以降	無回答
1288	94	211	332	410	187	44	6	4
100.0	7.3	16.4	25.8	31.8	14.5	3.4	0.5	0.3

Q10現在の職場に就職した主なきっかけ

調査数	ハローワーク(公共職業安定所)	新聞広告等の求人募集に応募	インターネット	就職相談会・説明会に参加	母校の進路指導	知人の紹介	職場からの募集の案内・ポスター	職場(職員)などからの勧誘
1288	108	113	169	24	14	424	73	129
100.0	8.4	8.8	13.1	1.9	1.1	32.9	5.7	10.0
					資格取得の実習先だった	紹介会社による紹介	その他	無回答
					55	55	117	7
					4.3	4.3	9.1	0.5

問 11 あなたが現在の職場を選んだ理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 働きがいのある仕事だと思ったから	9. 自分や家族の都合のよい時間(日)に働けるから
2. この仕事はこれからの時代にますます必要になると考えたから	10. 利用者の家族の生活を援助することは大切なことだと考えたから
3. 生活を維持するため	11. 親族が福祉の仕事についている(いた)から
4. 家計の足しにするため	12. 他により仕事がなかったから
5. 資格・技能をいかすため	13. その他 (具体的に)
6. 生きがい・社会参加のため	14. 特に理由はない
7. 福祉の仕事に興味・関心があったから	
8. 知識や技能を身につけたかったから	

問 12 あなたの現在の職場(事業所)の従業員数についてお伺いします。事業所の従業員は何人ですか。(○はひとつ)(正規職員以外のパート・登録職員等を含みますが、臨時職員(急な仕事のために臨時に雇用されている人)は除きます。)

1. 5人未満	4. 20人以上30人未満	7. 50人以上
2. 5人以上10人未満	5. 30人以上40人未満	8. わからない
3. 10人以上20人未満	6. 40人以上50人未満	

問 13 あなたは、現在の職場(事業所)の労働条件や労働環境に対して、悩みや不満を感じていますか。(○はひとつ)

1. 感じている	2. 感じていない → 問 14へ
----------	-------------------

問 13-1へ

問 13で「1. 感じている」と回答した方にお伺いします。

問 13-1 労働条件や労働環境のどこに悩みや不満を感じていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 職場での人間関係がよくない	12. 労働時間が長い
2. 人手が足りない	13. 福祉機器の不足、機器操作の不慣れ、事業所の構造に不安がある
3. 仕事内容のわりに賃金が低い	14. 雇用が不安定である
4. 有給休暇が取りにくい	15. 不払い残業がある・多い
5. 身体的負担が大きい(腰痛や体力に不安がある)	16. 職務として行う医療的な行為に不安がある
6. 業務に対する社会的評価が低い	17. 仕事上の怪我などへの補償がない
7. 精神的にきつい	18. 正規職員になれない
8. 休憩が取りにくい	19. トラブル時に組織として対応してくれるかどうか不安がある
9. 夜間や深夜時間帯に何か起こるのではないかと不安がある	20. その他 (具体的に)
10. 健康面(感染症や怪我)の不安がある	
11. 労働時間が不規則である	

Q11現在の職場を選んだ理由

調査数	働きがいのある仕事だと思ったから	この仕事はこれからの時代にますます必要になると考えたから	生活を維持するため	家計の足しにするため	資格・技能をいかすため	生きがい・社会参加のため	福祉の仕事に興味・関心があったから	知識や技能を身につけたかったから
1288 100.0	523 40.6	394 30.6	396 30.7	290 22.5	478 37.1	208 16.1	430 33.4	254 19.7
	自分や家族の都合のよい時間(日)に働けるから	利用者や家族の生活を援助することは大切なことだと考えたから	親族が福祉の仕事についている(いた)から	他により仕事がなかったから	その他	特に理由はない	無回答	
	318 24.7	125 9.7	68 5.3	47 3.6	91 7.1	31 2.4	2 0.2	

Q12現在の職場(事業所)の従業員数

調査数	5人未満	5人以上10人未満	10人以上20人未満	20人以上30人未満	30人以上40人未満	40人以上50人未満	50人以上	わからない	無回答
1288 100.0	55 4.3	245 19.0	387 30.0	190 14.8	131 10.2	65 5.0	152 11.8	54 4.2	9 0.7

Q13労働条件や労働環境に対しての悩みや不満

調査数	感じている	感じていない	無回答
1288 100.0	565 43.9	713 55.4	10 0.8

Q13-1労働条件や労働環境不満点

調査数	職場での人間関係がよくない	人手が足りない	仕事内容のわりに賃金が低い	有給休暇が取りにくい	身体的負担が大きい(腰痛や体力に不安がある)	業務に対する社会的評価が低い	精神的にきつい	休憩が取りにくい
565 100.0	91 16.1	337 59.6	259 45.8	178 31.5	173 30.6	177 31.3	145 25.7	111 19.6
	夜間や深夜時間帯に何か起こるのではないかと不安がある	健康面(感染症や怪我)の不安がある	労働時間が不規則である	労働時間が長い	福祉機器の不足、機器操作の不慣れ、事業所の構造に不安がある	雇用が不安定である	不払い残業がある・多い	職務として行う医療的な行為に不安がある
	43 7.6	129 22.8	55 9.7	63 11.2	27 4.8	21 3.7	25 4.4	19 3.4
	仕事上の怪我などへの補償がない	正規職員になれない	トラブル時に組織として対応してくれるかどうか不安がある	その他	無回答			
	10 1.8	4 0.7	63 11.2	49 8.7	7 1.2			

すべての方にお伺いします。

問 14 あなたは、転職された経験がありますか。(〇はひとつ)

1. 他の福祉職場から転職した 2. 福祉以外の職場から転職した 3. 転職の経験はない

問 14-1 へ

問 15 へ

問 14 で「1. 他の福祉職場から転職した」と回答した方にお伺いします。

問 14-1 転職された理由は何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

- | | |
|----------------------------|------------------------------|
| 1. 人員整理・勸奨退職・法人解散・事業不振等のため | 8. 法人や事業所の理念や運営のあり方に不満があったため |
| 2. 他に良い仕事・職場があったため | 9. 家族の転職・転勤、又は事業所の移転のため |
| 3. 新しい資格を取ったから | 10. 定年・雇用契約の満了のため |
| 4. 収入が少なかったため | 11. 病気・高齢のため |
| 5. 自分の将来の見込みが立たなかったため | 12. 結婚・出産・妊娠・育児のため |
| 6. 自分に向かない仕事だったため | 13. 家族の介護・看護のため |
| 7. 職場の人間関係に問題があったため | 14. その他 |
- (具体的に)

すべての方にお伺いします。

問 15 あなたは、今後、他の職場へ転職することを考えていますか。(〇はひとつ)

1. 考えている 2. 考えていない 3. わからない

問 15-1 へ

問 16 へ

問 15 で「1. 考えている」と回答した方にお伺いします。

問 15-1 今後どのような分野への転職を考えていますか。(〇はひとつ)

1. 福祉系(介護関係) 2. 福祉系(介護以外) 3. 福祉系以外 4. 未定

問 15 で「1. 考えている」と回答した方にお伺いします。

問 15-2 他の職場へ転職することを考えている理由は何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

- | | |
|----------------------------|------------------------------|
| 1. 人員整理・勸奨退職・法人解散・事業不振等のため | 8. 法人や事業所の理念や運営のあり方に不満があったため |
| 2. 他に良い仕事・職場があったため | 9. 家族の転職・転勤、又は事業所の移転のため |
| 3. 新しい資格を取ったから | 10. 定年・雇用契約の満了のため |
| 4. 収入が少なかったため | 11. 病気・高齢のため |
| 5. 自分の将来の見込みが立たなかったため | 12. 結婚・出産・妊娠・育児のため |
| 6. 自分に向かない仕事だったため | 13. 家族の介護・看護のため |
| 7. 職場の人間関係に問題があったため | 14. その他 |
- (具体的に)

Q14 転職経験

調査数	他の福祉職場から転職した	福祉以外の職場から転職した	転職の経験はない	無回答
1288	547	462	268	11
100.0	42.5	35.9	20.8	0.9

Q14-1 転職理由

調査数	人員整理・勸奨退職・法人解散・事業不振等のため	他に良い仕事・職場があったため	新しい資格を取ったから	収入が少なかったため	自分の将来の見込みが立たなかったため	自分に向かない仕事だったため	職場の人間関係に問題があったため	法人や事業所の理念や運営のあり方に不満があったため
547	41	144	44	90	61	29	130	94
100.0	7.5	26.3	8.0	16.5	11.2	5.3	23.8	17.2
		家族の転職・転勤、又は事業所の移転のため	定年・雇用契約の満了のため	病気・高齢のため	結婚・出産・妊娠・育児のため	家族の介護・看護のため	その他	無回答
		17	9	13	44	21	86	9
		3.1	1.6	2.4	8.0	3.8	15.7	1.6

Q15 転職意向

調査数	考えている	考えていない	わからない	無回答
1288	146	708	429	5
100.0	11.3	55.0	33.3	0.4

Q15-1 転職意向分野

調査数	福祉系(介護関係)	福祉系(介護以外)	福祉系以外	未定	無回答
146	77	13	25	30	1
100.0	52.7	8.9	17.1	20.5	0.7

Q15-2 転職することを考えている理由

調査数	人員整理・勸奨退職・法人解散・事業不振等のため	他に良い仕事・職場があったため	新しい資格を取ったから	収入が少なかったため	自分の将来の見込みが立たなかったため	自分に向かない仕事だったため	職場の人間関係に問題があったため	法人や事業所の理念や運営のあり方に不満があったため
146	4	14	9	37	36	16	22	30
100.0	2.7	9.6	6.2	25.3	24.7	11.0	15.1	20.5
		家族の転職・転勤、又は事業所の移転のため	定年・雇用契約の満了のため	病気・高齢のため	結婚・出産・妊娠・育児のため	家族の介護・看護のため	その他	無回答
		7	4	5	4	11	37	7
		4.8	2.7	3.4	2.7	7.5	25.3	4.8

すべての方にお伺いします。

問 16 介護の仕事始めてみて、今の介護職に対するイメージとしてあてはまるものを選択してください。
(あてはまるものすべてに○)

1. 社会的に意義がある	7. 体力的・精神的にきつい
2. やりがいがある	8. 感染症等の不安がある
3. 自分自身が成長できる	9. 給与水準が低い
4. 資格をいかすことができる	10. 将来に不安がある
5. 不況であっても安定している	11. その他 ()
6. 介護ロボットの活用や技術の進展で年齢を重ねても働き続けられる	

問 17 あなたが現在持っている資格は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 訪問介護員1級	11. 精神保健福祉士	17. 栄養士
2. 訪問介護員2級	12. 言語聴覚士	18. 管理栄養士
3. 介護に関する入門的研修課程修了	13. 看護師	19. 保健師
4. 生活援助従事者研修課程修了	14. 准看護師	20. 保育士
5. 介護職員初任者研修課程修了	15. 介護支援専門員	21. 調理師
6. 介護福祉士実務者研修課程修了	16. 福祉住環境コーディネーター(2級以上)	22. その他の資格
7. 社会福祉士	23. 資格は持っていない	
8. 介護福祉士		
9. 作業療法士		
10. 理学療法士		

問 18 あなたが今後、取得したい資格は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 介護に関する入門的研修課程修了	9. 精神保健福祉士	15. 栄養士
2. 生活援助従事者研修課程修了	10. 言語聴覚士	16. 管理栄養士
3. 介護職員初任者研修課程修了	11. 看護師	17. 保健師
4. 介護福祉士実務者研修課程修了	12. 准看護師	18. 保育士
5. 社会福祉士	13. 介護支援専門員	19. 調理師
6. 介護福祉士	14. 福祉住環境コーディネーター(2級以上)	20. その他の資格
7. 作業療法士	21. 取得したい資格はない	
8. 理学療法士		

Q16.介護職に対するイメージ

調査数	社会的に意義がある	やりがいがある	自分自身が成長できる	資格をいかすことができる	不況であっても安定している	介護ロボットの活用や技術の進展で年齢を重ねても働き続けられる	体力的・精神的にきつい	感染症等の不安がある
1288	542	642	535	621	369	62	512	440
100.0	42.1	49.8	41.5	48.2	28.6	4.8	39.8	34.2
					給与水準が低い	将来に不安がある	その他	無回答
					645	153	38	7
					50.1	11.9	3.0	0.5

Q17.所持資格

調査数	訪問介護員1級	訪問介護員2級	介護に関する入門的研修課程修了	生活援助従事者研修課程修了	介護職員初任者研修課程修了	介護福祉士実務者研修課程修了	社会福祉士	介護福祉士
1288	59	413	11	2	268	215	24	824
100.0	4.6	32.1	0.9	0.2	20.8	16.7	1.9	64.0
	作業療法士	理学療法士	精神保健福祉士	言語聴覚士	看護師	准看護師	介護支援専門員	福祉住環境コーディネーター(2級以上)
	2	0	5	0	4	4	87	22
	0.2	0.0	0.4	0.0	0.3	0.3	6.8	1.7
	栄養士	管理栄養士	保健師	保育士	調理師	その他の資格	資格は持っていない	無回答
	9	1	1	25	24	146	4	2
	0.7	0.1	0.1	1.9	1.9	11.3	0.3	0.2

Q18.取得したい資格

調査数	介護に関する入門的研修課程修了	生活援助従事者研修課程修了	介護職員初任者研修課程修了	介護福祉士実務者研修課程修了	社会福祉士	介護福祉士	作業療法士	理学療法士
1288	6	0	6	71	95	176	11	13
100.0	0.5	0.0	0.5	5.5	7.4	13.7	0.9	1.0
	精神保健福祉士	言語聴覚士	看護師	准看護師	介護支援専門員	福祉住環境コーディネーター(2級以上)	栄養士	管理栄養士
	26	6	13	3	168	62	11	8
	2.0	0.5	1.0	0.2	13.0	4.8	0.9	0.6
			保健師	保育士	調理師	その他の資格	取得したい資格はない	無回答
			1	11	19	139	574	107
			0.1	0.9	1.5	10.8	44.6	8.3

問 19 あなたは、ご自身のキャリアアップのためには、何が必要と考えますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 介護に関するノウハウやスキルの向上のための研修への参加
2. 給与や処遇面の向上
3. 現場での職員同士の相互研鑽（ミーティングや情報交換など含む）
4. スーパーバイザーになる、スーパーバイザーとしての職務をこなす経験を積む
5. 事業所の運営やマネジメントの知識・スキルを身につける
6. 他職種との連携・協働の機会を多く持つ
7. 様々な現場での経験を積む
8. 他事業所、他分野の専門職とのネットワークづくりや自主的サークル活動に取り組む
9. 研究レポートを取りまとめ、学会等で発表する
10. その他（具体的に)
11. 必要なものはない

問 20 あなたは、介護に関する情報をどこから入手していますか。（あてはまるものすべてに○）

1. テレビ・新聞	5. 書籍・雑誌
2. 職場内の配布物・回覧物	6. 関係者や友人等とのメールなどによる情報交換
3. 関係機関（他事業所、市・区役所）	7. その他（具体的に)
4. インターネットのホームページ	8. 特に入手していない

問 21 あなたは、1日平均何件くらい利用者を訪問していますか。（○はひとつ）

1. 1～2件	2. 3～4件	3. 5件以上
---------	---------	---------

問 22 1回当たりの訪問時間はどのくらいの長さの場合が多いですか。（○はひとつ）

1. 30分未満	3. 1時間以上1時間30分未満	5. 2時間以上3時間未満
2. 30分以上1時間未満	4. 1時間30分以上2時間未満	6. 3時間以上

問 23 あなたが従事する「身体介護」と「生活援助（家事援助）」の割合は大体どのくらいですか。（○はひとつ）

1. 身体介護のみ	3. 概ね半々	5. 生活援助のみ
2. 身体介護の方が多い	4. 生活援助の方が多い	

Q19.キャリアアップのため必要な事

調査数	介護に関するノウハウやスキルの向上のための研修への参加	給与や処遇面の向上	現場での職員同士の相互研鑽（ミーティングや情報交換など含む）	スーパーバイザーになる、スーパーバイザーとしての職務をこなす経験を積む	事業所の運営やマネジメントの知識・スキルを身につける	他職種との連携・協働の機会を多く持つ	様々な現場での経験を積む	他事業所、他分野の専門職とのネットワークづくりや自主的サークル活動に取り組む
1288	687	437	410	95	225	289	453	102
100.0	53.3	33.9	31.8	7.4	17.5	22.4	35.2	7.9
					研究レポートを取りまとめ、学会等で発表する	その他	必要なものはない	無回答
					8	20	99	42
					0.6	1.6	7.7	3.3

Q20.介護に関する情報入手経路

調査数	テレビ・新聞	職場内の配布物・回覧物	関係機関（他事業所、市・区役所）	インターネットのホームページ	書籍・雑誌	関係者や友人等とのメールなどによる情報交換	その他	特に入手していない	無回答
1288	522	633	309	644	235	322	28	76	14
100.0	40.5	49.1	24.0	50.0	18.2	25.0	2.2	5.9	1.1

Q21.訪問件数

調査数	1～2件	3～4件	5件以上	無回答
1288	324	487	457	20
100.0	25.2	37.8	35.5	1.6

Q22.1回当たりの訪問時間

調査数	30分未満	30分以上1時間未満	1時間以上1時間30分未満	1時間30分以上2時間未満	2時間以上3時間未満	3時間以上	無回答
1288	184	623	376	55	16	18	16
100.0	14.3	48.4	29.2	4.3	1.2	1.4	1.2

Q23.「身体介護」と「生活援助(家事援助)」の割合

調査数	身体介護のみ	身体介護の方が多い	概ね半々	生活援助の方が多い	生活援助のみ	無回答
1288	77	440	483	248	20	20
100.0	6.0	34.2	37.5	19.3	1.6	1.6

勤務時間についてお伺いします。

すべての方にお伺いします。

問 24 業務開始及び業務終了の状況についてお伺いします。

現在、あなたは①業務の開始及び②業務の終了に際し、事業所への出退勤はどのようにしていますか。

①【業務開始時】について、該当する番号を○で囲んでください。(○はひとつ)

1. ほぼ毎回事業所に行きながら利用者宅を訪問	2. ほとんど事業所には行かないで直接利用者宅を訪問	3. その他 (具体的に)
-------------------------	----------------------------	----------------

②【業務終了時】について、該当する番号を○で囲んでください。(○はひとつ)

1. ほぼ毎回事業所に行きながら自宅へ帰る	2. ほとんど事業所には行かないで直接自宅へ帰る	3. その他 (具体的に)
-----------------------	--------------------------	----------------

問 24 の①で「1. ほぼ毎回事業所に行きながら利用者宅を訪問」もしくは②で「1. ほぼ毎回事業所に行きながら自宅へ帰る」と回答した方にお伺いします。

問 24-1 事業所に行った時は何をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 事務作業・書類整理等をする	3. 研修を受ける	5. その他 (具体的に)
2. 情報交換をする	4. 業務報告を行う・業務指示を受ける	

現在の待遇についてお伺いします。

すべての方にお伺いします。

問 25～問 26 は、このアンケートを受けとった職場での収入についてお答えください。

問 25 あなたの賃金は、どのように決められていますか。

賃金の支払形態を選択してください。(○はひとつ) また、() 内に金額をご記入ください。

(注) 従事する仕事の内容や時間帯によって賃金額が異なる場合は、基本となる賃金額の平均値を記入してください。

1. 時給 1時間約 () 円	3. 月給 1か月 () 円
2. 日給 1日 約 () 円	

問 26 あなたが支給されている諸手当の種類をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

また、直近3か月の平均月額をご記入ください。

1. 職能(資格)手当	→ () 円
2. 夜勤手当	→ () 円
3. 残業手当	→ () 円
4. 通勤手当	→ () 円
5. 家族手当	→ () 円
6. 住宅手当	→ () 円
7. その他(具体的に)	→ () 円

Q24.①【業務開始時】について

調査数	ほぼ毎回事業所に行きながら利用者宅を訪問	ほとんど事業所には行かないで直接利用者宅を訪問	その他	無回答
1288	719	466	75	28
100.0	55.8	36.2	5.8	2.2

Q24.②【業務終了時】について

調査数	ほぼ毎回事業所に行きながら自宅へ帰る	ほとんど事業所には行かないで直接自宅へ帰る	その他	無回答
1288	704	448	70	66
100.0	54.7	34.8	5.4	5.1

Q24-1.事業所に行った時の行動

調査数	事務作業・書類整理等をする	情報交換をする	研修を受ける	業務報告を行う・業務指示を受ける	その他	無回答
788	678	490	146	495	29	7
100.0	86.0	62.2	18.5	62.8	3.7	0.9

Q25.賃金の支払形態

調査数	時給	日給	月給	無回答
1288	455	16	756	61
100.0	35.3	1.2	58.7	4.7

Q25-1.賃金額【時給】

調査数	平均
405	1,429
100.0	

Q25-2.賃金額【日給】

調査数	平均
13	9,277
100.0	

Q25-3.賃金額【月給】

調査数	平均
625	230,295
100.0	

Q26.諸手当の種類

調査数	職能(資格)手当	夜勤手当	残業手当	通勤手当	家族手当	住宅手当	その他	無回答
1288	649	102	256	466	64	95	176	374
100.0	50.4	7.9	19.9	36.2	5.0	7.4	13.7	29.0

Q26-1.平均月額【職能(資格)手当】

調査数	平均
479	18,423
100.0	

Q26-2.平均月額【夜勤手当】

調査数	平均
65	17,186
100.0	

Q26-3.平均月額【残業手当】

調査数	平均
146	16,773
100.0	

Q26-4.平均月額【通勤手当】

調査数	平均
329	10,320
100.0	

Q26-5.平均月額【家族手当】

調査数	平均
32	8,994
100.0	

Q26-6.平均月額【住宅手当】

調査数	平均
54	14,810
100.0	

Q26-7.平均月額【その他】

調査数	平均
135	31,603
100.0	

問 27 あなたには、介護職員処遇改善加算等が支給されていますか。(〇はひとつ)

1. 支給されている	2. 支給されていない	3. わからない
------------	-------------	----------

問 27-1 へ

問 28 へ

問 27 で「1. 支給されている」と回答した方にお伺いします。

問 27-1 あなたの職場では、どのように介護職員処遇改善計画書の周知が行われていますか。
該当する番号に〇をつけてください。(あてはまるものすべてに〇)

1. 掲示版等への掲示	3. 面談・会議等での説明
2. メールや回覧形式等による通知	4. その他(具体的に)

問 27-2 介護職員処遇改善加算等による賃金改善について、(1)あなたの職場で行っているもの、
(2)行ってほしいものは何ですか。(それぞれあてはまるものすべてに〇)

	(1) 職場で行っている	(2) 行ってほしい
①基本給の引上げ	1	2
②諸手当の導入・引上げ	1	2
③一時金の支給	1	2
④教育研修の充実	1	2
⑤昇進・昇格要件の明確化	1	2
⑥非正規職員から正規職員への登用	1	2
⑦その他(それぞれ、具体的に)	1 ()	2 ()

Q27.介護職員処遇改善加算等の支給有無

調査数	支給されている	支給されていない	わからない	無回答
1288	1089	78	105	16
100.0	84.5	6.1	8.2	1.2

Q27-1.介護職員処遇改善計画書の周知状況

調査数	掲示版等への掲示	メールや回覧形式等による通知	面談・会議等での説明	その他	無回答
1089	302	413	483	97	72
100.0	27.7	37.9	44.4	8.9	6.6

Q27-2.賃金改善について 1.職場で行っている

調査数	基本給の引上げ	諸手当の導入・引上げ	一時金の支給	教育研修の充実	昇進・昇格要件の明確化	非正規職員から正規職員への登用	その他	無回答
1089	420	480	482	364	232	300	10	253
100.0	38.6	44.1	44.3	33.4	21.3	27.5	0.9	23.2

Q27-2.賃金改善について 2.行ってほしい

調査数	基本給の引上げ	諸手当の導入・引上げ	一時金の支給	教育研修の充実	昇進・昇格要件の明確化	非正規職員から正規職員への登用	その他	無回答
1089	459	314	264	166	218	84	25	481
100.0	42.1	28.8	24.2	15.2	20.0	7.7	2.3	44.2

問31 法人や事業所に待遇面で取り組んでほしいことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 労働時間(時間帯・総労働時間)の希望を聞いてほしい
2. 職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図ってほしい
3. 賃金、労働時間等の労働条件を改善してほしい
4. 非正規職員から正規職員への転換の機会を設けてほしい
5. 能力や仕事を評価し、配置や処遇に反映してほしい
6. 能力開発(社内研修実施、社外講習等の受講・支援等)を充実してほしい
7. 仕事内容の希望(持ち場の移動など)を聞いてほしい
8. 業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れてほしい
9. 経営者・管理者と従業員が経営方針・ケア方針を共有する機会を設けてほしい
10. キャリアに応じた給与体系を整備してほしい
11. 悩み、不安、不満などの相談窓口を設けてほしい
12. ハラスメント等のトラブルに対して組織で対応してほしい
13. 健康対策や健康管理に力を入れてほしい
14. 福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めてほしい
15. 職場環境を整えてほしい(休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等)
16. 新人の指導担当・アドバイザーを置いてほしい
17. 職員の仕事内容と必要な能力等を明示してほしい
18. 管理者・リーダー層の部下育成や動機付け能力向上に向けた教育研修に力を入れてほしい
19. 子育て支援を行ってほしい(子ども預り所を設ける、保育費用支援等)
20. その他(具体的に)
21. 特にない

問32 賃金や労働時間について、あなたはどのように考えていますか。下記の各項目について、該当する番号をお選びください。(それぞれ○はひとつ)

①『収入が少なくても、自分の都合のよい時間に働ける方がよい』

1. 大いにあてはまる	2. ややあてはまる	3. あまりあてはまらない	4. 全くあてはまらない
-------------	------------	---------------	--------------

②『毎月決まった収入があれば、自分の希望する曜日や時間帯にこだわらない』

1. 大いにあてはまる	2. ややあてはまる	3. あまりあてはまらない	4. 全くあてはまらない
-------------	------------	---------------	--------------

Q31.法人や事業所に待遇面で取り組んでほしいこと

調査数	労働時間(時間帯・総労働時間)の希望を聞いてほしい	職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図ってほしい	賃金、労働時間等の労働条件を改善してほしい	非正規職員から正規職員への転換の機会を設けてほしい	能力や仕事を評価し、配置や処遇に反映してほしい	能力開発(社内研修実施、社外講習等の受講・支援等)を充実してほしい	仕事内容の希望(持ち場の移動など)を聞いてほしい	業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れてほしい
1288	168	226	412	44	293	166	139	239
100.0	13.0	17.5	32.0	3.4	22.7	12.9	10.8	18.6
	経営者・管理者と従業員が経営方針・ケア方針を共有する機会を設けてほしい	キャリアに応じた給与体系を整備してほしい	悩み、不安、不満などの相談窓口を設けてほしい	ハラスメント等のトラブルに対して組織で対応してほしい	健康対策や健康管理に力を入れてほしい	福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めてほしい	職場環境を整えてほしい(休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等)	新人の指導担当・アドバイザーを置いてほしい
	116	187	122	84	129	184	170	121
	9.0	14.5	9.5	6.5	10.0	14.3	13.2	9.4
			職員の仕事内容と必要な能力等を明示してほしい	管理者・リーダー層の部下育成や動機付け能力向上に向けた教育研修に力を入れてほしい	子育て支援を行ってほしい(子ども預り所を設ける、保育費用支援等)	その他	特にない	無回答
			88	116	75	22	284	84
			6.8	9.0	5.8	1.7	22.0	6.5

Q32.賃金や労働時間について ①『収入が少なくても、自分の都合のよい時間に働ける方がよい』

調査数	大いにあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	無回答
1288	206	526	370	163	23
100.0	16.0	40.8	28.7	12.7	1.8

Q32.賃金や労働時間について ②『毎月決まった収入があれば、自分の希望する曜日や時間帯にこだわらない』

調査数	大いにあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	無回答
1288	116	392	532	192	56
100.0	9.0	30.4	41.3	14.9	4.3

研修等についてお伺いします。

問 33 あなたは、現在の職場で過去1年間に外部研修に参加したことはありますか。

①『事業所指定の研修』への参加回数（○はひとつ）

1. 一度もない	2. 1回	3. 2～3回	4. 4～5回	5. 6回以上
----------	-------	---------	---------	---------

②『自主参加の研修』への参加回数（○はひとつ）

1. 一度もない	2. 1回	3. 2～3回	4. 4～5回	5. 6回以上
----------	-------	---------	---------	---------

研修参加の経験のある方にお伺いします。

問 33-1 研修参加の間の代替職員の確保はなされていますか。（○はひとつ）

1. 確保されている	2. おおむね確保されている	3. 確保されていないことが多い
------------	----------------	------------------

問 33-2 研修参加の経験のある方にお伺いします。研修参加の際、事業所の費用負担はどのようになっていますか。（○はひとつ）

1. 全額負担	2. 定められたもののみ全額負担	3. 一定額まで負担	4. 負担（助成）制度なし
---------	------------------	------------	---------------

問 33-3 現在の職場で受けた過去1年間の業務指導、研修等についてお伺いします。

（A）下記の8つの各項目の受講状況について、お答えください。

（B）また、「受けた」項目については、「役立ちの程度」についてあてはまるものをお選びください。

	(A) 受講状況		(B) 役立ちの程度（それぞれ○はひとつ）			
	受けなかった	受けた	役立っている	まあ役立っている	あまり役立っていない	役立っていない
①介護事例検討会	1	2	1	2	3	4
②ロールプレイ研修	1	2	1	2	3	4
③調理実習	1	2	1	2	3	4
④身体介護技術指導・研修	1	2	1	2	3	4
⑤同行指導	1	2	1	2	3	4
⑥ヒヤリ・ハットの事例報告会	1	2	1	2	3	4
⑦改正介護保険法の研修	1	2	1	2	3	4
⑧その他 （具体的に）	1	2	1	2	3	4

Q33.研修等について ①『事業所指定の研修』への参加回数

調査数	一度もない	1回	2～3回	4～5回	6回以上	無回答
1288	524	255	223	71	173	42
100.0	40.7	19.8	17.3	5.5	13.4	3.3

Q33.研修等について ②『自主参加の研修』への参加回数

調査数	一度もない	1回	2～3回	4～5回	6回以上	無回答
1288	732	222	162	32	63	77
100.0	56.8	17.2	12.6	2.5	4.9	6.0

Q33-1.研修参加の間の代替職員の確保状況

調査数	確保されている	おおむね確保されている	確保されていないことが多い	無回答
795	318	291	142	44
100.0	40.0	36.6	17.9	5.5

Q33-2.研修参加の際、事業所の費用負担状況

調査数	全額負担	定められたもののみ全額負担	一定額まで負担	負担（助成）制度なし	無回答
795	404	164	65	74	88
100.0	50.8	20.6	8.2	9.3	11.1

Q33-3.(A)受講状況 1.介護事例検討会

調査数	受けなかった	受けた	無回答
795	184	358	253
100.0	23.1	45.0	31.8

Q33-3.(B)役立ちの程度 1.介護事例検討会

調査数	役立っている	まあ役立っている	あまり役立っていない	役立っていない	無回答
358	188	116	11	1	42
100.0	52.5	32.4	3.1	0.3	11.7

Q33-3.(A)受講状況 2.ロールプレイ研修

調査数	受けなかった	受けた	無回答
795	290	143	362
100.0	36.5	18.0	45.5

Q33-3.(B)役立ちの程度 2.ロールプレイ研修

調査数	役立っている	まあ役立っている	あまり役立っていない	役立っていない	無回答
143	61	49	9	0	24
100.0	42.7	34.3	6.3	0.0	16.8

Q33-3.(A)受講状況 3.調理実習

調査数	受けなかった	受けた	無回答
795	362	58	375
100.0	45.5	7.3	47.2

Q33-3.(B)役立ちの程度 3.調理実習

調査数	役立っている	まあ役立っている	あまり役立っていない	役立っていない	無回答
58	25	19	1	0	13
100.0	43.1	32.8	1.7	0.0	22.4

Q33-3.(A)受講状況 4.身体介護技術指導・研修

調査数	受けなかった	受けた	無回答
795	159	351	285
100.0	20.0	44.2	35.8

Q33-3.(B)役立ちの程度 4.身体介護技術指導・研修

調査数	役立っている	まあ役立っている	あまり役立っていない	役立っていない	無回答
351	209	82	15	1	44
100.0	59.5	23.4	4.3	0.3	12.5

Q33-3.(A)受講状況 5.同行指導

調査数	受けなかった	受けた	無回答
795	168	322	305
100.0	21.1	40.5	38.4

Q33-3.(B)役立ちの程度 5.同行指導

調査数	役立っている	まあ役立っている	あまり役立っていない	役立っていない	無回答
322	196	75	3	1	47
100.0	60.9	23.3	0.9	0.3	14.6

Q33-3.(A)受講状況 6.ヒヤリ・ハットの事例報告会

調査数	受けなかった	受けた	無回答
795	163	368	264
100.0	20.5	46.3	33.2

Q33-3.(B)役立ちの程度 6.ヒヤリ・ハットの事例報告会

調査数	役立っている	まあ役立っている	あまり役立っていない	役立っていない	無回答
368	201	108	5	1	53
100.0	54.6	29.3	1.4	0.3	14.4

Q33-3.(A)受講状況 7.改正介護保険法の研修

調査数	受けなかった	受けた	無回答
795	240	206	349
100.0	30.2	25.9	43.9

Q33-3.(B)役立ちの程度 7.改正介護保険法の研修

調査数	役立っている	まあ役立っている	あまり役立っていない	役立っていない	無回答
206	95	68	7	3	33
100.0	46.1	33.0	3.4	1.5	16.0

Q33-3.(A)受講状況 8.その他

調査数	受けなかった	受けた	無回答
795	20	28	747
100.0	2.5	3.5	94.0

Q33-3.(B)役立ちの程度 8.その他

調査数	役立っている	まあ役立っている	あまり役立っていない	役立っていない	無回答
28	16	7	2	1	2
100.0	57.1	25.0	7.1	3.6	7.1

介護福祉機器についてお伺いします。

すべての方にお伺いします。

問 34 介護職員の働き方改革等に効果があると思われるものについて（1）欄に○をしてください。また、現在の職場で導入している介護福祉機器について（2）欄に○をしてください。（あてはまるものすべてに○）

介護福祉機器	(1) 介護職員 にとって効 果がある	(2) 導入して いる
①タブレット導入等による現場における記録支援技術	1	2
②報告や引継ぎなどの文書作成支援技術	1	2
③請求業務等の事務効率化技術	1	2
④医療介護連携システム等を用いた連携技術 (多職種・法人を超えた情報共有を実現するためのクラウドシステムの利用など)	1	2
⑤その他(具体的に)	1	2

働きがいなどについてお伺いします。

問 35 あなたは、現在の職場で就業してやりがいい(働きがい)を感じるのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 持っている資格がいかせること	
2. 経験・勤続年数をいかした働き方ができること	
3. 利用者とのコミュニケーションがスムーズに図られること	
4. 利用者や家族から感謝されること	
5. 能力に見合った賃金が支払われること	
6. 先輩からノウハウやスキルを学べること	
7. 研修や勉強会に参加して新たな知識やネットワークを広げられること	
8. 専門技術・ノウハウをいかせること	
9. スタッフの自主性を尊重してくれること	
10. その他(具体的に)	
11. 特にない	

Q34.(1)介護職員にとって効果がある

調査数	タブレット導入等による現場における記録支援技術	報告や引継ぎなどの文書作成支援技術	請求業務等の事務効率化技術	医療介護連携システム等を用いた連携技術(多職種・法人を超えた情報共有を実現するためのクラウドシステムの利用など)	その他	無回答
1288	607	576	434	387	11	432
100.0	47.1	44.7	33.7	30.0	0.9	33.5

Q34.(2)導入している

調査数	タブレット導入等による現場における記録支援技術	報告や引継ぎなどの文書作成支援技術	請求業務等の事務効率化技術	医療介護連携システム等を用いた連携技術(多職種・法人を超えた情報共有を実現するためのクラウドシステムの利用など)	その他	無回答
1288	353	221	220	92	5	774
100.0	27.4	17.2	17.1	7.1	0.4	60.1

Q35.職場で就業してやりがいい(働きがい)を感じる内容

調査数	持っている資格がいかせること	経験・勤続年数をいかした働き方ができること	利用者とのコミュニケーションがスムーズに図られること	利用者や家族から感謝されること	能力に見合った賃金が支払われること	先輩からノウハウやスキルを学べること	研修や勉強会に参加して新たな知識やネットワークを広げられること	専門技術・ノウハウをいかせること
1288	691	457	692	800	205	254	209	222
100.0	53.6	35.5	53.7	62.1	15.9	19.7	16.2	17.2
					スタッフの自主性を尊重してくれること	その他	特にない	無回答
					268	13	71	27
					20.8	1.0	5.5	2.1

問 36 あなたが利用者及び利用者の家族について、悩み、不安・不満等を感じていることは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 利用者に適切なケアができていないか不安がある
2. 利用者は何をやらせてもらっても当然と思っている
3. 利用者の行動が理解できずに対処方法が分からない
4. 利用者と家族の希望が一致しない
5. 利用者や、その家族との人間関係がうまくいかない
6. 禁じられている医療行為を求められる
7. (医療行為以外で) 定められたサービス以外の仕事を要求される
8. 利用者の家族が必要なサポートやヘルパーの仕事に対する理解をしてくれない
9. 良いと思ってやったことが利用者に理解されない
10. 介護事故(転倒、誤嚥その他)で利用者に怪我をおわせてしまう不安がある
11. ハラスメント行為に利用者及び家族が気づいていない
12. その他(具体的に)
13. 利用者及びその他家族について、特に悩み、不安・不満等は感じていない

あなたが訪問介護員としてお感じになっている課題や悩み・不安に感じることなどについて、差し支えない範囲でご自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

Q36.利用者及び利用者の家族について、悩み、不安・不満点

調査数	利用者に適切なケアができていないか不安がある	利用者は何をやらせてもらっても当然と思っている	利用者の行動が理解できずに対処方法が分からない	利用者や家族の希望が一致しない	利用者や、その家族との人間関係がうまくいかない	禁じられている医療行為を求められる	(医療行為以外で)定められたサービス以外の仕事を要求される	利用者の家族が必要なサポートやヘルパーの仕事に対する理解をしてくれない
1288	483	353	129	368	88	54	255	218
100.0	37.5	27.4	10.0	28.6	6.8	4.2	19.8	16.9
			良いと思ってやったことが利用者に理解されない	介護事故(転倒、誤嚥その他)で利用者に怪我をおわせてしまう不安がある	ハラスメント行為に利用者及び家族が気づいていない	その他	利用者及びその他家族について、特に悩み、不安・不満等は感じていない	無回答
			150	179	115	22	220	97
			11.6	13.9	8.9	1.7	17.1	7.5

あなたご自身のことについて、お伺いします。

問1 あなたの性別・年齢をお選びください。

〔性別〕 (〇はひとつ) ※選択することに違和感がある場合は回答不要です。

1. 男性	2. 女性
-------	-------

〔年齢〕 あなたの年齢 (令和4年10月1日現在)をお選びください。(〇はひとつ)

1. 20歳未満	4. 30～34歳	7. 45～49歳	10. 60～64歳
2. 20～24歳	5. 35～39歳	8. 50～54歳	11. 65～69歳
3. 25～29歳	6. 40～44歳	9. 55～59歳	12. 70歳以上

問2 あなたの就業形態、勤務形態についてお伺いします。あなたの就業形態は次のうちどれですか。

(〇はひとつ)

1. 正社員 (正規職員)	→ 問3へ
2. 非正 (規) 社員	
(パート、アルバイト、派遣職員、非常勤職員、嘱託職員、契約社員等)	

[問2-1へ](#)

問2で「2. 非正 (規) 社員」と回答した方にお伺いします。

問2-1 あなたの勤務形態はどのように定められていますか。

右欄の説明をご参照いただき、あてはまるものをお選びください。(〇はひとつ)

1. 常勤	施設の定める正社員の所定労働時間と同じ時間を勤務する
2. 非常勤 (定型的)	1日の所定労働時間又は1週間の労働日数が常勤労働者より少ないが、労働日及び労働日の労働時間が定型的・固定的に決まっている
3. 非常勤 (非定型的)	月、週、又は日の労働時間が、一定期間毎に作成される勤務表により、非定型的に特定される
4. その他	急な仕事のために臨時に雇用されて勤務している

Q1-1. 性別

調査数	男性	女性	無回答
1895	664	1207	24
100.0	35.0	63.7	1.3

Q1-2. 年齢

調査数	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳
1895	6	50	116	148	234	206	299	289
100.0	0.3	2.6	6.1	7.8	12.3	10.9	15.8	15.3
				55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	無回答
				204	156	103	61	23
				10.8	8.2	5.4	3.2	1.2

Q2. 就業形態

調査数	正社員 (正規職員)	非正 (規) 社員 (パート、アルバイト、派遣職員、非常勤職員、嘱託職員、契約社員等)	無回答
1895	1151	736	8
100.0	60.7	38.8	0.4

Q2-1. 勤務形態

調査数	常勤	非常勤 (定型的)	非常勤 (非定型的)	その他	無回答
736	98	377	255	3	3
100.0	13.3	51.2	34.6	0.4	0.4

すべての方にお伺いします。

問3 現在のお住まいの種類をお答えください。(〇はひとつ)

1. 親元の家
2. 持ち家(一戸建て・アパート・マンション)
3. 施設の社員寮・借り上げ住宅(一戸建て・アパート・マンション)
4. 賃貸のアパート・マンション
5. その他(具体的に)

問3で「3. 施設の社員寮・借り上げ住宅」とお答えの方にうかがいます。

問3-1 1か月に負担している金額はどのくらいですか。⇒

月	円
---	---

問3で「4. 賃貸のアパート・マンション」とお答えの方にうかがいます。

問3-2 1か月の家賃はどのくらいですか。⇒

月	円
---	---

家賃のうち、施設からの補助(住宅手当など)は
いくらですか。⇒

月	円
---	---

すべての方にお伺いします。

問4 あなたの現在の勤め先(施設の所在地)はどちらですか。(〇はひとつ)

- | | | | | |
|--------|---------|---------|-----------|--------|
| 1. 青葉区 | 5. 神奈川区 | 9. 栄区 | 13. 戸塚区 | 17. 緑区 |
| 2. 旭区 | 6. 金沢区 | 10. 瀬谷区 | 14. 中区 | 18. 南区 |
| 3. 泉区 | 7. 港南区 | 11. 都筑区 | 15. 西区 | |
| 4. 磯子区 | 8. 港北区 | 12. 鶴見区 | 16. 保土ヶ谷区 | |

問5 あなたのお住まいは横浜市内ですか。(〇はひとつ)

- | | |
|---------|---------|
| 1. 横浜市内 | 2. 横浜市外 |
|---------|---------|

問6 あなたのお住まいから勤め先までの通勤時間は、どのくらいですか。(〇はひとつ)

- | | | |
|--------------|-----------------|-----------------|
| 1. 30分未満 | 3. 45分～1時間未満 | 5. 1時間30分～2時間未満 |
| 2. 30分～45分未満 | 4. 1時間～1時間30分未満 | 6. 2時間以上 |

問7 主な通勤手段は何ですか。(〇はひとつ)

- | | | | | | |
|-------|--------|--------|-------|---------|-------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. バイク | 4. バス | 5. 自家用車 | 6. 鉄道 |
|-------|--------|--------|-------|---------|-------|

Q3. 住まいの種類

調査数	親元の家	持ち家(一戸建て・アパート・マンション)	施設の社員寮・借り上げ住宅(一戸建て・アパート・マンション)	賃貸のアパート・マンション	その他	無回答
1895	291	926	31	595	44	8
100.0	15.4	48.9	1.6	31.4	2.3	0.4

Q3-1. 1か月に負担している金額

調査数	0円	0～1万円	1～3万円	3～5万円	5～10万円	10万円以上	無回答
31	3	0	7	9	4	1	7
100.0	9.7	0.0	22.6	29.0	12.9	3.2	22.6

Q3-1. 1か月に負担している金額

調査数	平均
21	46,219
100.0	

Q3-2-1. 1か月の家賃

調査数	0円	0～1万円	1～3万円	3～5万円	5～10万円	10万円以上	無回答
595	2	8	7	42	395	93	48
100.0	0.3	1.3	1.2	7.1	66.4	15.6	8.1

Q3-2-1. 1か月の家賃

調査数	平均
545	80,201
100.0	

Q3-2-2. 家賃のうち、施設からの補助

調査数	0円	0～1万円	1～3万円	3～5万円	5～10万円	10万円以上	無回答
595	327	42	97	4	5	0	120
100.0	55.0	7.1	16.3	0.7	0.8	0.0	20.2

Q3-2-2. 家賃のうち、施設からの補助

調査数	平均
148	14,788
100.0	

Q4. 勤務地

調査数	青葉区	旭区	泉区	磯子区	神奈川区	金沢区	港南区	港北区
1895	166	195	144	93	78	63	169	87
100.0	8.8	10.3	7.6	4.9	4.1	3.3	8.9	4.6
調査数	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区	戸塚区	中区	西区	保土ヶ谷区
	61	107	131	84	193	34	19	99
	3.2	5.6	6.9	4.4	10.2	1.8	1.0	5.2

Q5. 居住地

調査数	横浜市内	横浜市外	無回答	緑区	南区	無回答
1895	1529	357	9	96	68	8
100.0	80.7	18.8	0.5	5.1	3.6	0.4

Q6. 通勤時間

調査数	30分未満	30分～45分未満	45分～1時間未満	1時間～1時間30分未満	1時間30分～2時間未満	2時間以上	無回答
1895	986	364	306	193	38	6	2
100.0	52.0	19.2	16.1	10.2	2.0	0.3	0.1

Q7. 通勤手段

調査数	徒歩	自転車	バイク	バス	自家用車	鉄道	無回答
1895	245	254	201	205	492	491	7
100.0	12.9	13.4	10.6	10.8	26.0	25.9	0.4

問8 介護サービスの仕事に携わってからの通算の経験年数は、どのくらいですか。(〇はひとつ)

1. 1年未満	3. 2～3年未満	5. 5～7年未満	7. 10～20年未満
2. 1～2年未満	4. 3～5年未満	6. 7～10年未満	8. 20年以上

問9 現在の職場での経験年数は、どのくらいですか。(〇はひとつ)

※同一法人にて異動により事業所が変わった場合、新たに異動した事業所での経験年数をお答えください。

1. 1年未満	3. 2～3年未満	5. 5～7年未満	7. 10～20年未満
2. 1～2年未満	4. 3～5年未満	6. 7～10年未満	8. 20年以上

問10 あなたが介護職への就職を考えた時期はいつですか。(〇はひとつ)

1. ～10代	5. 50代
2. 20代	6. 60代
3. 30代	7. 70代以降
4. 40代	

問11 あなたが現在の職場に就職した主なきっかけは何ですか。(〇はひとつ)

1. ハローワーク (公共職業安定所)	6. 知人の紹介
2. 新聞広告等の求人募集に応募	7. 職場からの募集の案内・ポスター
3. インターネット	8. 職場(職員)などからの勧誘
4. 就職相談会・説明会に参加	9. 資格取得の実習先だった
5. 母校の進路指導	10. 紹介会社による紹介
	11. その他(具体的に)

問12 あなたが現在の職場を選んだ理由は何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 働きがいのある仕事だと思ったから	9. 自分や家族の都合のよい時間(日)に働けるから
2. この仕事はこれからの時代にますます必要になると考えたから	10. 利用者の家族の生活を援助することは大切なことだと考えたから
3. 生活を維持するため	11. 親族が福祉の仕事についている(いた)から
4. 家計の足しにするため	12. 他によい仕事なかったから
5. 資格・技能をいかすため	13. その他
6. 生きがい・社会参加のため	(具体的に)
7. 福祉の仕事に興味・関心があったから	14. 特に理由はない
8. 知識や技能を身につけたかったから	

Q8. 仕事に携わってからの通算の経験年数

調査数	1年未満	1～2年未満	2～3年未満	3～5年未満	5～7年未満	7～10年未満	10～20年未満	20年以上	無回答
1895	69	69	88	158	172	322	797	216	4
100.0	3.6	3.6	4.6	8.3	9.1	17.0	42.1	11.4	0.2

Q9. 現在の職場での経験年数

調査数	1年未満	1～2年未満	2～3年未満	3～5年未満	5～7年未満	7～10年未満	10～20年未満	20年以上	無回答
1895	221	205	182	291	229	246	474	39	8
100.0	11.7	10.8	9.6	15.4	12.1	13.0	25.0	2.1	0.4

Q10. 介護職への就職を考えた時期

調査数	～10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以降	無回答
1895	276	534	409	409	202	49	5	11
100.0	14.6	28.2	21.6	21.6	10.7	2.6	0.3	0.6

Q11. 現在の職場に就職した主なきっかけ

調査数	ハローワーク(公共職業安定所)	新聞広告等の求人募集に応募	インターネット	就職相談会・説明会に参加	母校の進路指導	知人の紹介	職場からの募集の案内・ポスター	職場(職員)などからの勧誘
1895	225	243	300	71	95	343	121	84
100.0	11.9	12.8	15.8	3.7	5.0	18.1	6.4	4.4
					資格取得の実習先だった	紹介会社による紹介	その他	無回答
					60	188	154	11
					3.2	9.9	8.1	0.6

Q12. 現在の職場を選んだ理由

調査数	働きがいのある仕事だと思ったから	この仕事はこれからの時代にますます必要になると考えたから	生活を維持するため	家計の足しにするため	資格・技能をいかすため	生きがい・社会参加のため	福祉の仕事に興味・関心があったから	知識や技能を身につけたかったから
1895	691	569	691	326	587	192	660	333
100.0	36.5	30.0	36.5	17.2	31.0	10.1	34.8	17.6
		自分や家族の都合のよい時間(日)に働けるから	利用者の家族の生活を援助することは大切なことだと考えたから	親族が福祉の仕事についている(いた)から	他によい仕事なかったから	その他	特に理由はない	無回答
		290	117	101	117	177	61	5
		15.3	6.2	5.3	6.2	9.3	3.2	0.3

問13 あなたの現在の職場（施設）の従業員数についてお伺いします。施設の従業員は何人ですか。
（○はひとつ）（正規職員以外のパート・登録職員等を含みますが、臨時職員（急な仕事のために臨時に雇用されている人）は除きます。）

1. 20人未満	4. 60人以上80人未満	7. わからない
2. 20人以上40人未満	5. 80人以上100人未満	
3. 40人以上60人未満	6. 100人以上	

問14 あなたは、現在の職場（施設）の労働条件や労働環境に対して、悩みや不満を感じていますか。（○はひとつ）

1. 感じている	2. 感じていない → 問15へ
----------	----------------------------------

[問14-1へ](#)

問14で「1. 感じている」と回答した方にお伺いします。

問14-1 労働条件や労働環境のどこに悩みや不満を感じていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 職場での人間関係がよくない	12. 労働時間が長い
2. 人手が足りない	13. 福祉機器の不足、機器操作の不慣れ、施設の構造に不安がある
3. 仕事内容のわりに賃金が低い	14. 雇用が不安定である
4. 有給休暇が取りにくい	15. 不払い残業がある・多い
5. 身体的負担が大きい（腰痛や体力に不安がある）	16. 職務として行う医療的な行為に不安がある
6. 業務に対する社会的評価が低い	17. 仕事上の怪我などへの補償がない
7. 精神的にきつい	18. 正規職員になれない
8. 休憩が取りにくい	19. トラブル時に組織として対応してくれるかどうか不安がある
9. 夜間や深夜時間帯に何か起こるのではないかと不安がある	20. その他
10. 健康面（感染症や怪我）の不安がある	(具体的に)
11. 労働時間が不規則である	

すべての方にお伺いします。

問15 あなたは、他の職場から転職された経験がありますか。（○はひとつ）

1. 他の福祉職場から転職した	2. 福祉以外の職場から転職した	3. 転職の経験はない
-----------------	------------------	-------------

[問15-1へ](#)

[問16へ](#)

Q13 従業員数

調査数	20人未満	20人以上40人未満	40人以上60人未満	60人以上80人未満	80人以上100人未満	100人以上	わからない	無回答
1895	407	545	237	182	153	225	130	16
100.0	21.5	28.8	12.5	9.6	8.1	11.9	6.9	0.8

Q14 労働条件や労働環境に対する悩みや不満

調査数	感じている	感じていない	無回答
1895	1190	688	17
100.0	62.8	36.3	0.9

Q14-1 労働条件や労働環境の不満点

調査数	職場での人間関係がよくない	人手が足りない	仕事内容のわりに賃金が低い	有給休暇が取りにくい	身体的負担が大きい（腰痛や体力に不安がある）	業務に対する社会的評価が低い	精神的にきつい	休憩が取りにくい
1190	253	884	635	289	506	361	349	239
100.0	21.3	74.3	53.4	24.3	42.5	30.3	29.3	20.1
	夜間や深夜時間帯に何か起こるのではないかと不安がある	健康面（感染症や怪我）の不安がある	労働時間が不規則である	労働時間が長い	福祉機器の不足、機器操作の不慣れ、施設の構造に不安がある	雇用が不安定である	不払い残業がある・多い	職務として行う医療的な行為に不安がある
	297	270	186	130	181	56	54	48
	25.0	22.7	15.6	10.9	15.2	4.7	4.5	4.0
				仕事上の怪我などへの補償がない	正規職員になれない	トラブル時に組織として対応してくれるかどうか不安がある	その他	無回答
				35	14	161	75	7
				2.9	1.2	13.5	6.3	0.6

Q15 転職経験

調査数	他の福祉職場から転職した	福祉以外の職場から転職した	転職の経験はない	無回答
1895	813	670	387	25
100.0	42.9	35.4	20.4	1.3

問 15で「1. 他の福祉職場から転職した」と回答した方にお伺いします。

問 15-1 その仕事をやめた理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 人員整理・勸奨退職・法人解散・事業不振等のため	8. 法人や施設・施設の理念や運営のあり方に不満があったため
2. 他に良い仕事・職場があったため	9. 家族の転職・転勤、又は施設の移転のため
3. 新しい資格を取ったから	10. 定年・雇用契約の満了のため
4. 収入が少なかったため	11. 病気・高齢のため
5. 自分の将来の見込みが立たなかったため	12. 結婚・出産・妊娠・育児のため
6. 自分に向かない仕事だったため	13. 家族の介護・看護のため
7. 職場の人間関係に問題があったため	14. その他 (具体的に)

すべての方にお伺いします。

問 16 あなたは、今後、他の職場へ転職することを考えていますか。(○はひとつ)

1. 考えている	2. 考えていない	3. わからない
↓	↓	
問 16-1へ	問 17へ	

問 16で「1. 考えている」と回答した方にお伺いします。

問 16-1 今後どのような分野への転職を考えていますか。(○はひとつ)

1. 福祉系(介護関係)	2. 福祉系(介護以外)	3. 福祉系以外	4. 未定
--------------	--------------	----------	-------

問 16で「1. 考えている」と回答した方にお伺いします。

問 16-2 他の職場へ転職することを考えている理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 人員整理・勸奨退職・法人解散・事業不振等のため	8. 法人や施設・施設の理念や運営のあり方に不満があったため
2. 他に良い仕事・職場があったため	9. 家族の転職・転勤、又は施設の移転のため
3. 新しい資格を取ったから	10. 定年・雇用契約の満了のため
4. 収入が少なかったため	11. 病気・高齢のため
5. 自分の将来の見込みが立たなかったため	12. 結婚・出産・妊娠・育児のため
6. 自分に向かない仕事だったため	13. 家族の介護・看護のため
7. 職場の人間関係に問題があったため	14. その他 (具体的に)

Q15-1.仕事をやめた理由

調査数	人員整理・勸奨退職・法人解散・事業不振等のため	他に良い仕事・職場があったため	新しい資格を取ったから	収入が少なかったため	自分の将来の見込みが立たなかったため	自分に向かない仕事だったため	職場の人間関係に問題があったため	法人や施設・施設の理念や運営のあり方に不満があったため
813 100.0	44 5.4	189 23.2	40 4.9	179 22.0	103 12.7	37 4.6	203 25.0	188 23.1
		家族の転職・転勤、又は施設の移転のため	定年・雇用契約の満了のため	病気・高齢のため	結婚・出産・妊娠・育児のため	家族の介護・看護のため	その他	無回答
		26 3.2	18 2.2	22 2.7	71 8.7	31 3.8	122 15.0	12 1.5

Q16.転職意向

調査数	考えている	考えていない	わからない	無回答
1895 100.0	363 19.2	765 40.4	753 39.7	14 0.7

Q16-1.転職意向分野

調査数	福祉系(介護関係)	福祉系(介護以外)	福祉系以外	未定	無回答
363 100.0	198 54.5	26 7.2	53 14.6	85 23.4	1 0.3

Q16-2.転職することを考えている理由

調査数	人員整理・勸奨退職・法人解散・事業不振等のため	他に良い仕事・職場があったため	新しい資格を取ったから	収入が少なかったため	自分の将来の見込みが立たなかったため	自分に向かない仕事だったため	職場の人間関係に問題があったため	法人や施設・施設の理念や運営のあり方に不満があったため
363 100.0	13 3.6	44 12.1	20 5.5	118 32.5	91 25.1	27 7.4	82 22.6	77 21.2
		家族の転職・転勤、又は施設の移転のため	定年・雇用契約の満了のため	病気・高齢のため	結婚・出産・妊娠・育児のため	家族の介護・看護のため	その他	無回答
		12 3.3	10 2.8	14 3.9	19 5.2	20 5.5	85 23.4	10 2.8

すべての方にお伺いします。

問 17 介護の仕事始めてみて、今の介護職に対するイメージとしてあてはまるものを選択してください。
(あてはまるものすべてに○)

1. 社会的に意義がある	7. 体力的・精神的にきつい
2. やりがいがある	8. 感染症等の不安がある
3. 自分自身が成長できる	9. 給与水準が低い
4. 資格をいかすことができる	10. 将来に不安がある
5. 不況であっても安定している	11. その他 ()
6. 介護ロボットの活用や技術の進展で年齢を重ねても働き続けられる	

問 18 あなたは福祉以外の職場での従事経験がありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 一般企業事務職	4. サービス業	7. 教員
2. 一般企業営業職	5. 公務員	8. 福祉以外の職場での従事経験はない
3. 一般企業技術職	6. 病院・診療所勤務	9. その他 (具体的に)

問 19 あなたの職場での役割・職層は何ですか。(○はひとつ)

1. 一般職員	4. ユニットリーダー
2. 係長または主任	5. その他 (具体的に)
3. フロア長	

問 20 あなたが現在持っている資格は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 訪問介護員1級	11. 理学療法士	18. 栄養士
2. 訪問介護員2級	12. 精神保健福祉士	19. 管理栄養士
3. 介護に関する入門的研修課程修了	13. 言語聴覚士	20. 保健師
4. 生活援助従事者研修課程修了	14. 看護師	21. 保育士
5. 介護職員初任者研修課程修了	15. 准看護師	22. 調理師
6. 介護福祉士実務者研修課程修了	16. 介護支援専門員	23. その他の資格
7. 社会福祉士	17. 福祉住環境コーディネーター(2級以上)	24. 資格は持っていない
8. 介護福祉士		
9. 作業療法士		
10. 歯科衛生士		

Q17.介護職に対するイメージ

調査数	社会的に意義がある	やりがいがある	自分自身が成長できる	資格をいかすことができる	不況であっても安定している	介護ロボットの活用や技術の進展で年齢を重ねても働き続けられる	体力的・精神的にきつい	感染症等の不安がある
1895	709	874	679	708	675	92	979	609
100.0	37.4	46.1	35.8	37.4	35.6	4.9	51.7	32.1
					給与水準が低い	将来に不安がある	その他	無回答
					1148	386	32	16
					60.6	20.4	1.7	0.8

Q18.福祉以外の職場での従事経験

調査数	一般企業事務職	一般企業営業職	一般企業技術職	サービス業	公務員	病院・診療所勤務	教員	福祉以外の職場での従事経験はない
1895	431	190	184	794	17	182	20	260
100.0	22.7	10.0	9.7	41.9	0.9	9.6	1.1	13.7
							その他	無回答
							130	174
							6.9	9.2

Q19.役割・職層

調査数	一般職員	係長または主任	フロア長	ユニットリーダー	その他	無回答
1895	1216	195	89	187	173	35
100.0	64.2	10.3	4.7	9.9	9.1	1.8

Q20.所持資格

調査数	訪問介護員1級	訪問介護員2級	介護に関する入門的研修課程修了	生活援助従事者研修課程修了	介護職員初任者研修課程修了	介護福祉士実務者研修課程修了	社会福祉士	介護福祉士
1895	39	263	27	4	481	346	44	1236
100.0	2.1	13.9	1.4	0.2	25.4	18.3	2.3	65.2
	作業療法士	歯科衛生士	理学療法士	精神保健福祉士	言語聴覚士	看護師	准看護師	介護支援専門員
	2	4	3	2	0	10	5	174
	0.1	0.2	0.2	0.1	0.0	0.5	0.3	9.2
	福祉住環境コーディネーター(2級以上)	栄養士	管理栄養士	保健師	保育士	調理師	その他の資格	資格は持っていない
	40	14	0	0	37	43	255	86
	2.1	0.7	0.0	0.0	2.0	2.3	13.5	4.5
								無回答
								7
								0.4

問21 あなたが今後、取得したい資格は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 介護に関する入門的研修課程修了	11. 言語聴覚士	18. 保健師
2. 生活援助従事者研修課程修了	12. 看護師	19. 保育士
3. 介護職員初任者研修課程修了	13. 准看護師	20. 調理師
4. 介護福祉士実務者研修課程修了	14. 介護支援専門員	21. その他の資格
5. 社会福祉士	15. 福祉住環境コーディネーター(2級以上)	22. 取得したい資格はない
6. 介護福祉士	16. 栄養士	
7. 作業療法士	17. 管理栄養士	
8. 歯科衛生士		
9. 理学療法士		
10. 精神保健福祉士		

問22 あなたは、ご自身のキャリアアップのためには、何が必要と考えますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 介護に関するノウハウやスキルの向上のための研修への参加
2. 給与や処遇面の向上
3. 現場での職員同士の相互研鑽(ミーティングや情報交換など含む)
4. スーパーバイザーになる、スーパーバイザーとしての職務をこなす経験を積む
5. 施設の運営やマネジメントの知識・スキルを身につける
6. 他職種との連携・協働の機会を多く持つ
7. 様々な現場での経験を積む
8. 他施設、他分野の専門職とのネットワークづくりや自主的サークル活動に取り組む
9. 研究レポートを取りまとめ、学会等で発表する
10. その他(具体的に)
11. 必要なものはない

問23 あなたは、介護に関する情報をどこから入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. テレビ・新聞	5. 書籍・雑誌
2. 職場内の配布物・回覧物	6. 関係者や友人等とのメールなどによる情報交換
3. 関係機関(他施設、市・区役所)	7. その他(具体的に)
4. インターネットのホームページ	

Q21 取得したい資格

調査数	介護に関する入門的研修課程修了	生活援助従事者研修課程修了	介護職員初任者研修課程修了	介護福祉士実務者研修課程修了	社会福祉士	介護福祉士	作業療法士	歯科衛生士
1895 100.0	17 0.9	13 0.7	35 1.8	131 6.9	175 9.2	274 14.5	7 0.4	1 0.1
	理学療法士	精神保健福祉士	言語聴覚士	看護師	准看護師	介護支援専門員	福祉住環境コーディネーター(2級以上)	栄養士
	23 1.2	37 2.0	10 0.5	33 1.7	8 0.4	305 16.1	84 4.4	15 0.8
		管理栄養士	保健師	保育士	調理師	その他の資格	取得したい資格はない	無回答
		11 0.6	1 0.1	16 0.8	18 0.9	266 14.0	698 36.8	141 7.4

Q22 キャリアアップのため必要な事

調査数	介護に関するノウハウやスキルの向上のための研修への参加	給与や処遇面の向上	現場での職員同士の相互研鑽(ミーティングや情報交換など含む)	スーパーバイザーになる、スーパーバイザーとしての職務をこなす経験を積む	施設の運営やマネジメントの知識・スキルを身につける	他職種との連携・協働の機会を多く持つ	様々な現場での経験を積む	他施設、他分野の専門職とのネットワークづくりや自主的サークル活動に取り組む
1895 100.0	1067 56.3	783 41.3	634 33.5	145 7.7	368 19.4	555 29.3	576 30.4	164 8.7
					研究レポートを取りまとめ、学会等で発表する	その他	必要なものはない	無回答
					30 1.6	34 1.8	119 6.3	58 3.1

Q23 介護に関する情報入手経路

調査数	テレビ・新聞	職場内の配布物・回覧物	関係機関(他施設、市・区役所)	インターネットのホームページ	書籍・雑誌	関係者や友人等とのメールなどによる情報交換	その他	無回答
1895 100.0	858 45.3	916 48.3	320 16.9	1092 57.6	384 20.3	434 22.9	60 3.2	42 2.2

現在の待遇についてお伺いします。

問 24～問 25 は、このアンケートを記入されている職場での収入についてお答えください。

問 24 あなたの賃金は、どのように決められていますか。

賃金の支払形態を選択してください。(○はひとつ) また、() 内に金額をご記入ください。

(注) 従事する仕事の内容や時間帯によって賃金額が異なる場合は、基本となる賃金額の平均値を記入してください。

1. 時給 1時間約 () 円	3. 月給 1か月 () 円
2. 日給 1日 約 () 円	

問 25 あなたが支給されている諸手当の種類をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

また、直近3か月の平均月額をご記入ください。

1. 職能(資格)手当	→ () 円
2. 夜勤手当	→ () 円
3. 残業手当	→ () 円
4. 通勤手当	→ () 円
5. 家族手当	→ () 円
6. 住宅手当	→ () 円
7. その他(具体的に)	→ () 円

問 26 あなたには、介護職員処遇改善加算等が支給されていますか。(○はひとつ)

1. 支給されている	2. 支給されていない	3. わからない
------------	-------------	----------

問 27 へ

【問 26 で「1. 支給されている」と回答した方にお伺いします。

問 26-1 あなたの職場では、どのように介護職員処遇改善計画書の周知が行われていますか。

該当する番号に○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 掲示板等への掲示	3. 面談・会議等での説明
2. メールや回覧形式等による通知	4. その他(具体的に)

Q24.賃金の支払形態

調査数	時給	日給	月給	無回答
1895	634	41	1115	105
100.0	33.5	2.2	58.8	5.5

Q24-1.賃金額【時給】

調査数	平均
573	1,217
100.0	

Q24-2.賃金額【日給】

調査数	平均
37	17,225
100.0	

Q24-3.賃金額【月給】

調査数	平均
955	246,200
100.0	

Q25.諸手当の種類

調査数	職能(資格)手当	夜勤手当	残業手当	通勤手当	家族手当	住宅手当	その他	無回答
1895	946	938	642	948	160	307	259	441
100.0	49.9	49.5	33.9	50.0	8.4	16.2	13.7	23.3

Q25-1.平均月額【職能(資格)手当】

調査数	平均
765	20,399
100.0	

Q25-2.平均月額【夜勤手当】

調査数	平均
807	21,089
100.0	

Q25-3.平均月額【残業手当】

調査数	平均
455	16,772
100.0	

Q25-4.平均月額【通勤手当】

調査数	平均
748	11,581
100.0	

Q25-5.平均月額【家族手当】

調査数	平均
108	12,377
100.0	

Q25-6.平均月額【住宅手当】

調査数	平均
257	12,748
100.0	

Q25-7.平均月額【その他】

調査数	平均
235	29,497
100.0	

Q26.介護職員処遇改善加算等支給有無

調査数	支給されている	支給されていない	わからない	無回答
1895	1600	79	188	28
100.0	84.4	4.2	9.9	1.5

Q26-1.介護職員処遇改善計画書の周知状況

調査数	掲示板等への掲示	メールや回覧形式等による通知	面談・会議等での説明	その他	無回答
1600	798	516	539	98	104
100.0	49.9	32.3	33.7	6.1	6.5

問 26-2 介護職員処遇改善加算等による対応について、(1) あなたの職場で行っているもの、
(2) 行ってほしいものは何ですか。(それぞれあてはまるものすべてに○)

	(1) 職場で行っている	(2) 行ってほしい
①基本給の引上げ	1	2
②諸手当の導入・引上げ	1	2
③一時金の支給	1	2
④教育研修の充実	1	2
⑤昇進・昇格要件の明確化	1	2
⑥非正規職員から正規職員への登用	1	2
⑦その他(それぞれ、具体的に)	1 ()	2 ()

すべての方にお伺いします。

問 27 昨年1年間(令和3年1月1日~12月31日)の収入をおうかがいします。
年間収入(賞与及び残業代金等を全て含みます。)について、あてはまるものをお選びください。
(○はひとつ)

1. 昨年は働いていなかった	5. 150~200万円未満
2. 103万円以下 (課税対象とならない、配偶者控除が受けられる)	6. 200~300万円未満
3. 103超~130万円未満	7. 300~400万円未満
4. 130~150万円未満	8. 400~500万円未満
	9. 500万円以上

Q26-2.介護職員処遇改善加算等による対応について 1.職場で行っている

調査数	基本給の引上げ	諸手当の導入・引上げ	一時金の支給	教育研修の充実	昇進・昇格要件の明確化	非正規職員から正規職員への登用	その他	無回答
1600	600	583	632	499	345	525	15	428
100.0	37.5	36.4	39.5	31.2	21.6	32.8	0.9	26.8

Q26-2.介護職員処遇改善加算等による対応について 2.行ってほしい

調査数	基本給の引上げ	諸手当の導入・引上げ	一時金の支給	教育研修の充実	昇進・昇格要件の明確化	非正規職員から正規職員への登用	その他	無回答
1600	774	606	442	331	454	118	35	574
100.0	48.4	37.9	27.6	20.7	28.4	7.4	2.2	35.9

Q27.昨年1年間の収入

調査数	昨年は働いていなかった	103万円以下 (課税対象とならない、配偶者控除が受けられる)	103超~130万円未満	130~150万円未満	150~200万円未満	200~300万円未満	300~400万円未満	400~500万円未満
1895	50	105	125	58	164	422	473	328
100.0	2.6	5.5	6.6	3.1	8.7	22.3	25.0	17.3
							500万円以上	無回答
							113	57
							6.0	3.0

問28 あなたの職場では、定例の会議・ミーティングはどのように持たれていますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 同じ職種間	5. ノートや掲示板などに書き込む
2. 他の職種と合同	6. 施設長と現場職員、職場全体
3. 常勤・非常勤ともに参加	7. その他
4. フロア・ユニット単位のミーティング	(具体的に)

問29 あなたの職場では下記に掲げる取組が十分行われていますか。
また、その取組は働く上での悩み、不安、不満等を解消する上で、役立つと思いますか。
(それぞれあてはまるものすべてに○)

	(1) 十分行われている	(2) 役立つと思う
①キャリアアップの仕組みの整備	1	2
②働き方や仕事内容、キャリアについて上司と相談する 機会の設定	1	2
③勤務体制を決める際の職員の要望を聞く機会の設定	1	2
④採用時における賃金・勤務時間の説明	1	2
⑤介護能力を適切に評価する仕組み	1	2
⑥介護能力に見合った仕事への配置	1	2
⑦介護能力の向上に向けた研修	1	2
⑧実務の中で、上司や先輩から指導や助言を受ける機会の設定	1	2
⑨介護に関する事例検討会の開催	1	2
⑩定期的な健康診断の実施	1	2
⑪介助しやすい施設づくりや福祉機器の導入	1	2
⑫事故やトラブルへの対応マニュアル作成等の体制づくり	1	2
⑬施設の相談援助体制の設定	1	2
⑭その他 (具体的に)	1	2
⑮役立つと考えられることはない		3

Q28.定例の会議・ミーティング状況

調査数	同じ職種間	他の職種と合同	常勤・非常勤ともに参加	フロア・ユニット単位のミーティング	ノートや掲示板などに書き込む	施設長と現場職員、職場全体	その他	無回答
1895	895	762	930	788	664	751	45	58
100.0	47.2	40.2	49.1	41.6	35.0	39.6	2.4	3.1

Q29.職場での取り組み (1)十分行われている

調査数	キャリアアップの仕組みの整備	働き方や仕事内容、キャリアについて上司と相談する機会の設定	勤務体制を決める際の職員の要望を聞く機会の設定	採用時における賃金・勤務時間の説明	介護能力を適切に評価する仕組み	介護能力に見合った仕事への配置	介護能力の向上に向けた研修	実務の中で、上司や先輩から指導や助言を受ける機会の設定
1895	509	636	690	956	450	495	688	730
100.0	26.9	33.6	36.4	50.4	23.7	26.1	36.3	38.5
	介護に関する事例検討会の開催	定期的な健康診断の実施	介助しやすい施設づくりや福祉機器の導入	事故やトラブルへの対応マニュアル作成等の体制づくり	施設の相談援助体制の設定	その他	役立つと考えられることはない	無回答
	539	1317	394	819	379	15	0	337
	28.4	69.5	20.8	43.2	20.0	0.8	0.0	17.8

Q29.職場での取り組み (2)役立つと思う

調査数	キャリアアップの仕組みの整備	働き方や仕事内容、キャリアについて上司と相談する機会の設定	勤務体制を決める際の職員の要望を聞く機会の設定	採用時における賃金・勤務時間の説明	介護能力を適切に評価する仕組み	介護能力に見合った仕事への配置	介護能力の向上に向けた研修	実務の中で、上司や先輩から指導や助言を受ける機会の設定
1895	711	668	614	484	658	613	655	558
100.0	37.5	35.3	32.4	25.5	34.7	32.3	34.6	29.4
	介護に関する事例検討会の開催	定期的な健康診断の実施	介助しやすい施設づくりや福祉機器の導入	事故やトラブルへの対応マニュアル作成等の体制づくり	施設の相談援助体制の設定	その他	役立つと考えられることはない	無回答
	585	468	664	579	485	30	33	610
	30.9	24.7	35.0	30.6	25.6	1.6	1.7	32.2

問30 法人や施設に待遇面で取り組んでほしいことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 労働時間(時間帯・総労働時間)の希望を聞いてほしい
2. 職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図ってほしい
3. 賃金、労働時間等の労働条件を改善してほしい
4. 非正規職員から正規職員への転換の機会を設けてほしい
5. 能力や仕事を評価し、配置や処遇に反映してほしい
6. 能力開発(社内研修実施、社外講習等の受講・支援等)を充実してほしい
7. 仕事内容の希望(持ち場の移動など)を聞いてほしい
8. 業務改善や効率化等による働きやすい職場作りを力を入れてほしい
9. 経営者・管理者と従業員が経営方針・ケア方針を共有する機会を設けてほしい
10. キャリアに応じた給与体系を整備してほしい
11. 悩み、不安、不満などの相談窓口を設けてほしい
12. ハラスメント等のトラブルに対して組織で対応してほしい
13. 健康対策や健康管理に力を入れてほしい
14. 福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めてほしい
15. 職場環境を整えてほしい(休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等)
16. 新人の指導担当・アドバイザーを置いてほしい
17. 職員の仕事内容と必要な能力等を明示してほしい
18. 管理者・リーダー層の部下育成や動機付け能力向上に向けた教育研修に力を入れてほしい
19. 子育て支援を行ってほしい(子ども預り所を設ける、保育費用支援等)
20. その他(具体的に)
21. 特にない

問31 賃金や労働時間について、あなたはどのように考えていますか。
下記の各項目について、該当する番号をお選びください。(それぞれ○はひとつ)

①『収入が少なくても、自分の都合のよい時間に働ける方がよい』

1. 大いにあてはまる	2. ややあてはまる	3. あまりあてはまらない	4. 全くあてはまらない
-------------	------------	---------------	--------------

②『毎月決まった収入があれば、自分の希望する曜日や時間帯にこだわらない』

1. 大いにあてはまる	2. ややあてはまる	3. あまりあてはまらない	4. 全くあてはまらない
-------------	------------	---------------	--------------

Q30.法人や施設に待遇面で取り組んでほしいこと

調査数	労働時間(時間帯・総労働時間)の希望を聞いてほしい	職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図ってほしい	賃金、労働時間等の労働条件を改善してほしい	非正規職員から正規職員への転換の機会を設けてほしい	能力や仕事を評価し、配置や処遇に反映してほしい	能力開発(社内研修実施、社外講習等の受講・支援等)を充実してほしい	仕事内容の希望(持ち場の移動など)を聞いてほしい	業務改善や効率化等による働きやすい職場作りを力を入れてほしい
1895 100.0	266 14.0	483 25.5	929 49.0	73 3.9	691 36.5	327 17.3	180 9.5	545 28.8
	経営者・管理者と従業員が経営方針・ケア方針を共有する機会を設けてほしい	キャリアに応じた給与体系を整備してほしい	悩み、不安、不満などの相談窓口を設けてほしい	ハラスメント等のトラブルに対して組織で対応してほしい	健康対策や健康管理に力を入れてほしい	福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めてほしい	職場環境を整えてほしい(休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等)	新人の指導担当・アドバイザーを置いてほしい
	264 13.9	432 22.8	303 16.0	198 10.4	183 9.7	361 19.1	475 25.1	308 16.3
			職員の仕事内容と必要な能力等を明示してほしい	管理者・リーダー層の部下育成や動機付け能力向上に向けた教育研修に力を入れてほしい	子育て支援を行ってほしい(子ども預り所を設ける、保育費用支援等)	その他	特にない	無回答
			215 11.3	337 17.8	199 10.5	41 2.2	220 11.6	85 4.5

Q31.賃金や労働時間について ①『収入が少なくても、自分の都合のよい時間に働ける方がよい』

調査数	大いにあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	無回答
1895 100.0	204 10.8	752 39.7	623 32.9	284 15.0	32 1.7

Q31.賃金や労働時間について ②『毎月決まった収入があれば、自分の希望する曜日や時間帯にこだわらない』

調査数	大いにあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	無回答
1895 100.0	247 13.0	707 37.3	614 32.4	238 12.6	89 4.7

研修等についてお伺いします。

問 32 あなたは、現在の職場で過去1年間に外部研修に参加したことはありますか。

①『施設指定の研修』への参加回数 (〇はひとつ)

1. 一度もない	2. 1回	3. 2~3回	4. 4~5回	5. 6回以上
----------	-------	---------	---------	---------

②『自主参加の研修』への参加回数 (〇はひとつ)

1. 一度もない	2. 1回	3. 2~3回	4. 4~5回	5. 6回以上
----------	-------	---------	---------	---------

研修参加の経験のある方にお伺いします。

問 32-1 研修参加の間の代替職員の確保はなされていますか。(〇はひとつ)

1. 確保されている	2. おおむね確保されている	3. 確保されていないことが多い
------------	----------------	------------------

問 32-2 研修参加の経験のある方にお伺いします。研修参加の際、施設の費用負担はどのようになっていますか。(〇はひとつ)

1. 全額負担	2. 定められたもののみ全額負担	3. 一定額まで負担	4. 負担(助成)制度なし
---------	------------------	------------	---------------

問 32-3 現在の職場で受けた過去1年間の業務指導、研修等についてお伺いします。

(A) 下記の8つの各項目の受講状況について、お答えください。

(B) また、「受けた」項目については、「役立ちの程度」についてあてはまるものをお選びください。

	(A) 受講状況		(B) 役立ちの程度 (それぞれ〇はひとつ)			
	受けなかった	受けた	役立っている	まあ役立っている	あまり役立っていない	役立っていない
①介護事例検討会	1	2	1	2	3	4
②ロールプレイ研修	1	2	1	2	3	4
③調理実習	1	2	1	2	3	4
④身体介護技術指導・研修	1	2	1	2	3	4
⑤同行指導	1	2	1	2	3	4
⑥ヒヤリ・ハットの事例報告会	1	2	1	2	3	4
⑦改正介護保険法の研修	1	2	1	2	3	4
⑧その他(具体的に)	1	2	1	2	3	4

Q32.研修について ①『施設指定の研修』への参加回数

調査数	一度もない	1回	2~3回	4~5回	6回以上	無回答
1895	967	331	292	82	167	56
100.0	51.0	17.5	15.4	4.3	8.8	3.0

Q32.研修について ②『自主参加の研修』への参加回数

調査数	一度もない	1回	2~3回	4~5回	6回以上	無回答
1895	1249	227	180	41	84	114
100.0	65.9	12.0	9.5	2.2	4.4	6.0

Q32-1.研修参加の間の代替職員の確保状況

調査数	確保されている	おおむね確保されている	確保されていないことが多い	無回答
998	330	401	220	47
100.0	33.1	40.2	22.0	4.7

Q32-2.研修参加の際、施設の費用負担状況

調査数	全額負担	定められたもののみ全額負担	一定額まで負担	負担(助成)制度なし	無回答
998	476	247	56	96	123
100.0	47.7	24.7	5.6	9.6	12.3

Q32-3.(A)受講状況 1.介護事例検討会

調査数	受けなかった	受けた	無回答
998	334	336	328
100.0	33.5	33.7	32.9

Q32-3.(B)役立ちの程度 1.介護事例検討会

調査数	役立っている	まあ役立っている	あまり役立っていない	役立っていない	無回答
336	154	131	10	0	41
100.0	45.8	39.0	3.0	0.0	12.2

Q32-3.(A)受講状況 2.ロールプレイ研修

調査数	受けなかった	受けた	無回答
998	385	213	400
100.0	38.6	21.3	40.1

Q32-3.(B)役立ちの程度 2.ロールプレイ研修

調査数	役立っている	まあ役立っている	あまり役立っていない	役立っていない	無回答
213	97	83	10	0	23
100.0	45.5	39.0	4.7	0.0	10.8

Q32-3.(A)受講状況 3.調理実習

調査数	受けなかった	受けた	無回答
998	498	34	466
100.0	49.9	3.4	46.7

Q32-3.(B)役立ちの程度 3.調理実習

調査数	役立っている	まあ役立っている	あまり役立っていない	役立っていない	無回答
34	15	11	2	0	6
100.0	44.1	32.4	5.9	0.0	17.6

Q32-3.(A)受講状況 4.身体介護技術指導・研修

調査数	受けなかった	受けた	無回答
998	280	384	334
100.0	28.1	38.5	33.5

Q32-3.(B)役立ちの程度 4.身体介護技術指導・研修

調査数	役立っている	まあ役立っている	あまり役立っていない	役立っていない	無回答
384	186	128	15	1	54
100.0	48.4	33.3	3.9	0.3	14.1

Q32-3.(A)受講状況 5.同行指導

調査数	受けなかった	受けた	無回答
998	440	96	462
100.0	44.1	9.6	46.3

Q32-3.(B)役立ちの程度 5.同行指導

調査数	役立っている	まあ役立っている	あまり役立っていない	役立っていない	無回答
96	55	24	1	1	15
100.0	57.3	25.0	1.0	1.0	15.6

Q32-3.(A)受講状況 6.ヒヤリ・ハットの事例報告会

調査数	受けなかった	受けた	無回答
998	301	369	328
100.0	30.2	37.0	32.9

Q32-3.(B)役立ちの程度 6.ヒヤリ・ハットの事例報告会

調査数	役立っている	まあ役立っている	あまり役立っていない	役立っていない	無回答
369	197	105	13	1	53
100.0	53.4	28.5	3.5	0.3	14.4

Q32-3.(A)受講状況 7.改正介護保険法の研修

調査数	受けなかった	受けた	無回答
998	440	134	424
100.0	44.1	13.4	42.5

Q32-3.(B)役立ちの程度 7.改正介護保険法の研修

調査数	役立っている	まあ役立っている	あまり役立っていない	役立っていない	無回答
134	65	37	15	1	16
100.0	48.5	27.6	11.2	0.7	11.9

Q32-3.(A)受講状況 8.その他

調査数	受けなかった	受けた	無回答
998	31	42	925
100.0	3.1	4.2	92.7

Q32-3.(B)役立ちの程度 8.その他

調査数	役立っている	まあ役立っている	あまり役立っていない	役立っていない	無回答
42	15	17	4	1	5
100.0	35.7	40.5	9.5	2.4	11.9

介護福祉機器についてお伺いします。

すべての方にお伺いします。

問33 介護職員の身体的負担軽減や腰痛の予防、緩和等に効果があると思われるものについて(1)欄に○をしてください。また、現在の職場で導入している介護福祉機器について(2)欄に○をしてください。
(あてはまるものすべてに○)

介護福祉機器	(1) 介護職員 にとって効 果がある	(2) 導入して いる
①移動用リフト(立位補助機(スタンディングマシン)を含む)	1	2
②自動車用車いすリフト(福祉車両の場合は、車両本体を除いたリフト部分のみ)	1	2
③ベッド(傾斜角度、高さが調整できるもの。マットレスは除く)	1	2
④座面昇降機能付車いす	1	2
⑤特殊浴槽(移動用リフトと共に稼動するもの、側面が開閉可能なもの)	1	2
⑥ストレッチャー(入浴用に使用するものを含む)	1	2
⑦シャワーキャリー	1	2
⑧昇降装置(人の移動に使用するものに限る)	1	2
⑨車いす体重計	1	2
⑩見守りセンサー	1	2
⑪その他介護福祉機器(具体的名称:)	1	2
⑫いずれも導入していない	1	2

働きがいなどについてお伺いします。

問34 あなたは、現在の職場で就業していてやりがい(働きがい)を感じるのどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 持っている資格がいかせること	
2. 経験・勤続年数をいかした働き方ができること	
3. 利用者とのコミュニケーションがスムーズに図られること	
4. 利用者や家族から感謝されること	
5. 能力に見合った賃金が支払われること	
6. 先輩からノウハウやスキルを学べること	
7. 研修や勉強会に参加して新たな知識やネットワークを広げられること	
8. 専門技術・ノウハウをいかせること	
9. スタッフの自主性を尊重してくれること	
10. その他(具体的に)	
11. 特にない	

Q33.(1)介護職員にとって効果がある

調査数	移動用リフト(立位補助機(スタンディングマシン)を含む)	自動車用車いすリフト(福祉車両の場合は、車両本体を除いたリフト部分のみ)	ベッド(傾斜角度、高さが調整できるもの。マットレスは除く)	座面昇降機能付車いす	特殊浴槽(移動用リフトと共に稼動するもの、側面が開閉可能なもの)	ストレッチャー(入浴用に使用するものを含む)	シャワーキャリー	昇降装置(人の移動に使用するものに限る)
1895	770	650	953	611	765	716	639	530
100.0	40.6	34.3	50.3	32.2	40.4	37.8	33.7	28.0
				車いす体重計	見守りセンサー	その他介護福祉機器	いずれも導入していない	無回答
				813	848	64	0	422
				42.9	44.7	3.4	0.0	22.3

Q33.(2)導入している

調査数	移動用リフト(立位補助機(スタンディングマシン)を含む)	自動車用車いすリフト(福祉車両の場合は、車両本体を除いたリフト部分のみ)	ベッド(傾斜角度、高さが調整できるもの。マットレスは除く)	座面昇降機能付車いす	特殊浴槽(移動用リフトと共に稼動するもの、側面が開閉可能なもの)	ストレッチャー(入浴用に使用するものを含む)	シャワーキャリー	昇降装置(人の移動に使用するものに限る)
1895	225	560	1345	119	695	860	722	202
100.0	11.9	29.6	71.0	6.3	36.7	45.4	38.1	10.7
				車いす体重計	見守りセンサー	その他介護福祉機器	いずれも導入していない	無回答
				1016	1042	41	44	304
				53.6	55.0	2.2	2.3	16.0

Q34職場で就業してやりがい(働きがい)を感じる内容

調査数	持っている資格がいかせること	経験・勤続年数をいかした働き方ができること	利用者とのコミュニケーションがスムーズに図られること	利用者や家族から感謝されること	能力に見合った賃金が支払われること	先輩からノウハウやスキルを学べること	研修や勉強会に参加して新たな知識やネットワークを広げられること	専門技術・ノウハウをいかせること
1895	814	696	960	875	202	333	272	260
100.0	43.0	36.7	50.7	46.2	10.7	17.6	14.4	13.7
					スタッフの自主性を尊重してくれること	その他	特にない	無回答
					396	20	163	41
					20.9	1.1	8.6	2.2

問 35 あなたが利用者及び利用者の家族について、悩み、不安・不満等を感じていることは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 利用者に適切なケアができていないか不安がある
2. 利用者は何をやってももらっても当然と思っている
3. 利用者の行動が理解できずに対処方法が分からない
4. 利用者や家族の希望が一致しない
5. 利用者や、その家族との人間関係がうまくいかない
6. 禁じられている医療行為を求められる
7. (医療行為以外で) 定められたサービス以外の仕事を要求される
8. 利用者の家族が必要なサポートやヘルパーの仕事に対する理解をしてくれない
9. 良いと思ってやったことが利用者に理解されない
10. 介護事故(転倒、誤嚥その他)で利用者に怪我をおわせてしまう不安がある
11. ハラスメント行為に利用者及び家族が気づいていない
12. その他(具体的に)
13. 利用者及びその他家族について、特に悩み、不安・不満等は感じていない

あなたが介護職員としてお感じになっている課題や悩み・不安に感じることなどについて、差支えない範囲でご自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました

Q35.利用者及び利用者の家族について、悩み、不安・不満点

調査数	利用者に適切なケアができていないか不安がある	利用者は何をやってももらっても当然と思っている	利用者の行動が理解できずに対処方法が分からない	利用者や家族の希望が一致しない	利用者や、その家族との人間関係がうまくいかない	禁じられている医療行為を求められる	(医療行為以外で)定められたサービス以外の仕事を要求される	利用者の家族が必要なサポートやヘルパーの仕事に対する理解をしてくれない
1895 100.0	885 46.7	391 20.6	337 17.8	500 26.4	144 7.6	41 2.2	106 5.6	231 12.2
			良いと思ってやったことが利用者に理解されない	介護事故(転倒、誤嚥その他)で利用者に怪我をおわせてしまう不安がある	ハラスメント行為に利用者及び家族が気づいていない	その他	利用者及びその他家族について、特に悩み、不安・不満等は感じていない	無回答
			332 17.5	669 35.3	176 9.3	22 1.2	259 13.7	125 6.6

施設介護職員調査(海外から来日された介護職員向け)

あなたのことについて、教えてください。

問1 あなたの性別・年齢を教えてください。

【性別】(〇はひとつ) ※選択することに違和感がある場合は回答不要です。

1. 男性	2. 女性
-------	-------

【年齢】あなたの年齢を教えてください。(〇はひとつ)

1. 20歳未満	4. 30～34歳	7. 45～49歳	10. 60～64歳
2. 20～24歳	5. 35～39歳	8. 50～54歳	11. 65～69歳
3. 25～29歳	6. 40～44歳	9. 55～59歳	12. 70歳以上

問2 あなたは正社員(正規職員)ですか。

(〇はひとつ)

1. 正社員(正規職員) → 問3へ
2. わからない → 問3へ
3. 非正(規)社員 (パート、アルバイト、派遣職員、非常勤職員、嘱託職員、契約社員等)

問2-1へ

問2-1 あなたは常勤職員ですか。(〇はひとつ)

1. 常勤	
2. 非常勤	
3. わからない	

問3 あなたが住んでいる家について、教えてください。(〇はひとつ)

1. 施設が借りている家に住んでいる
2. 自分で借りた家に住んでいる(自分でお金を払って借りている)
3. 自分で買った家に住んでいる(一戸建て・アパート・マンション)
4. その他(具体的に)

Q1-1. 性別

調査数	男性	女性	無回答
221	56	159	6
100.0	25.3	71.9	2.7

Q1-2. 年齢

調査数	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳
221	3	40	69	60	22	9	4	6
100.0	1.4	18.1	31.2	27.1	10.0	4.1	1.8	2.7
				55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	無回答
				3	1	0	0	4
				1.4	0.5	0.0	0.0	1.8

Q2. 正社員(正規職員)

調査数	正社員(正規職員)	わからない	非正(規)社員(パート、アルバイト、派遣職員、非常勤職員、嘱託職員、契約社員等)	無回答
221	162	6	47	6
100.0	73.3	2.7	21.3	2.7

Q2-1. 常勤職員

調査数	常勤	非常勤	わからない
47	24	17	6
100.0	51.1	36.2	12.8

Q3. 住居形態

調査数	施設が借りている家に住んでいる	自分で借りた家に住んでいる(自分でお金を払って借りている)	自分で買った家に住んでいる(一戸建て・アパート・マンション)	その他	無回答
221	114	79	11	14	3
100.0	51.6	35.7	5.0	6.3	1.4

問3-1 1か月に支払う金額はどのくらいですか。施設が全て支払い、自分は払っていない場合は、0円としてください。⇒

月	円
---	---

問3-2 1か月の家賃はどのくらいですか。⇒

月	円
---	---

家賃のうち、施設が払っている金額（住宅手当など）は
いくらですか。⇒

月	円
---	---

問4 あなたの勤め先（施設の場所）はどちらですか。（○はひとつ）

1. 青葉区	5. 神奈川区	9. 栄区	13. 戸塚区	17. 緑区
2. 旭区	6. 金沢区	10. 瀬谷区	14. 中区	18. 南区
3. 泉区	7. 港南区	11. 都筑区	15. 西区	
4. 磯子区	8. 港北区	12. 鶴見区	16. 保土ヶ谷区	

問5 あなたの住んでいる家は横浜市内ですか。（○はひとつ）

1. 横浜市内	2. 横浜市外
---------	---------

問6 あなたの住んでいる家から勤め先（施設の場所）までの時間は、どのくらいですか。（○はひとつ）

1. 30分未満	3. 45分～1時間未満	5. 1時間30分～2時間未満
2. 30分～45分未満	4. 1時間～1時間30分未満	6. 2時間以上

問7 あなたは勤め先（施設の場所）までどのように通っていますか。（○はひとつ）

1. 歩いて	2. 自転車	3. バイク	4. バス	5. 自分の車	6. 電車
--------	--------	--------	-------	---------	-------

問8 日本で介護の仕事を始めてからどのくらいですか。（○はひとつ）

1. 1年未満	3. 2～3年未満	5. 5～7年未満	7. 10～20年未満
2. 1～2年未満	4. 3～5年未満	6. 7～10年未満	8. 20年以上

問9 現在の施設では何年間働いていますか。（○はひとつ）

1. 1年未満	3. 2～3年未満	5. 5～7年未満	7. 10～20年未満
2. 1～2年未満	4. 3～5年未満	6. 7～10年未満	8. 20年以上

Q3-1.1か月に支払う金額

調査数	0円	0～1万円	1～3万円	3～5万円	5～10万円	10万円以上	無回答
221	59	2	46	27	43	18	26
100.0	26.7	0.9	20.8	12.2	19.5	8.1	11.8

Q3-1.1か月に支払う金額

調査数	平均
136	65,445
100.0	

Q3-2-1.1か月の家賃

調査数	0円	0～1万円	1～3万円	3～5万円	5～10万円	10万円以上	無回答
221	21	1	27	35	74	7	56
100.0	9.5	0.5	12.2	15.8	33.5	3.2	25.3

Q3-2-1.1か月の家賃

調査数	平均
144	53,395
100.0	

Q3-2-2.家賃のうち、施設が払っている金額

調査数	0円	0～1万円	1～3万円	3～5万円	5～10万円	10万円以上	無回答
221	56	6	52	28	14	2	63
100.0	25.3	2.7	23.5	12.7	6.3	0.9	28.5

Q3-2-2.家賃のうち、施設が払っている金額

調査数	平均
102	33,775
100.0	

Q4.勤務地

調査数	青葉区	旭区	泉区	磯子区	神奈川区	金沢区	港南区	港北区	
221	22	24	9	16	25	13	19	11	
100.0	10.0	10.9	4.1	7.2	11.3	5.9	8.6	5.0	
	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区	戸塚区	中区	西区	保土ヶ谷区	
	2	11	22	1	13	2	2	8	
	0.9	5.0	10.0	0.5	5.9	0.9	0.9	3.6	
	緑区	南区	無回答						
	9	10	2						
	4.1	4.5	0.9						

Q5.居住地

調査数	横浜市内	横浜市外	無回答
221	200	19	2
100.0	90.5	8.6	0.9

Q6.通勤時間

調査数	30分未満	30分～45分未満	45分～1時間未満	1時間～1時間30分未満	1時間30分～2時間未満	2時間以上	無回答
221	149	29	27	11	2	1	2
100.0	67.4	13.1	12.2	5.0	0.9	0.5	0.9

Q7.通勤手段

調査数	歩いて	自転車	バイク	バス	自分の車	電車	無回答
221	80	47	4	39	6	43	2
100.0	36.2	21.3	1.8	17.6	2.7	19.5	0.9

Q8.日本で介護の仕事を始めてからの年数

調査数	1年未満	1～2年未満	2～3年未満	3～5年未満	5～7年未満	7～10年未満	10～20年未満	20年以上	無回答
221	52	47	38	34	23	12	13	0	2
100.0	23.5	21.3	17.2	15.4	10.4	5.4	5.9	0.0	0.9

Q9.現在の施設での就業年数

調査数	1年未満	1～2年未満	2～3年未満	3～5年未満	5～7年未満	7～10年未満	10～20年未満	20年以上	無回答
221	75	52	33	29	18	7	2	0	5
100.0	33.9	23.5	14.9	13.1	8.1	3.2	0.9	0.0	2.3

問10 どの国・地域から来ましたか。(〇はひとつ)

1. インドネシア	5. ミャンマー	9. タイ
2. フィリピン	6. カンボジア	10. その他 ()
3. ベトナム	7. ネパール	
4. 中国	8. モンゴル	

問11 あなたの在留資格を教えてください。(〇はひとつ)

1. 『特定活動』(経済連携協定(EPA))	4. 『特定技能(1号)』(介護)
2. 『介護』	5. 『留学』
3. 『技能実習』(介護)	6. その他 ()

問12 あなたの日本語レベルを教えてください。(〇はひとつ)

1. N1程度	2. N2程度	3. N3程度	4. N4程度	5. N5程度
---------	---------	---------	---------	---------

Q10.出身国・地域

調査数	インドネシア	フィリピン	ベトナム	中国	ミャンマー	カンボジア	ネパール	モンゴル
221	49	38	67	16	29	2	7	3
100.0	22.2	17.2	30.3	7.2	13.1	0.9	3.2	1.4
						タイ	その他	無回答
						2	7	1
						0.9	3.2	0.5

Q11.在留資格

調査数	『特定活動』 (経済連携協定(EPA))	『介護』	『技能実習』 (介護)	『特定技能(1号1)』(介護)	『留学』	その他	無回答
221	35	43	44	72	3	21	3
100.0	15.8	19.5	19.9	32.6	1.4	9.5	1.4

Q12.日本語レベル

調査数	N1程度	N2程度	N3程度	N4程度	N5程度	無回答
221	21	71	90	21	6	12
100.0	9.5	32.1	40.7	9.5	2.7	5.4

問13 つぎの場面^{ばめん}で、日本語^{にほんご}はどのくらいわかりますか。

(それぞれあてはまるものに○はひとつ)

	(1) よくわかる	(2) だいたいわかる	(3) あまりわからない	(4) まったくわからない	(5) やっていない
① 普段の生活 ^{ふだん} (買い物 ^{かいもの} や銀行 ^{ぎんこう} など)	1	2	3	4	
② 利用者 ^{りようしゃ} や、利用者 ^{りようしゃ} の家族 ^{かぞく} と話す ^{はな} とき	1	2	3	4	
③ 施設 ^{しせつ} での引き継ぎ ^{ひきつぎ} や申し送り ^{もうしおく}	1	2	3	4	5
④ 介護 ^{かいご} 記録 ^{きらく} を読む ^よ むとき	1	2	3	4	5
⑤ 介護 ^{かいご} 記録 ^{きらく} を書く ^か くとき	1	2	3	4	5
⑥ 介護 ^{かいご} の勉強 ^{べんきょう} をしている ^{して} いるとき	1	2	3	4	5

問14 日本^{にほん}に来る^{くる}前^{まえ}、自分^{じぶん}の国^{くに}・地域^{ちいき}で、最後^{さいご}に行^いった学校^{がっこう}はどこですか。(○はひとつ)

1. 高等学校 ^{こうとうがっこう} (高校 ^{こうこう})	4. 大学 ^{だいがく} ・大学院 ^{だいがくいん}
2. 専門学校 ^{せんもんがっこう}	5. その他 ^た ()
3. 短期大学 ^{たんきだいがく} (短大 ^{たんたい})	

問15 日本^{にほん}に来る^{くる}前^{まえ}、自分^{じぶん}の国^{くに}・地域^{ちいき}で看護^{かんご}や介護^{かいご}の資格^{しかく}を取^とりましたか。(○はひとつ)

1. 看護 ^{かんご} も介護 ^{かいご} もどちらも取 ^と った	3. 介護 ^{かいご} の資格 ^{しかく} だけ取 ^と った
2. 看護 ^{かんご} の資格 ^{しかく} だけ取 ^と った	4. どちらも取 ^と っていない

Q13.日本語理解度 1.普段の生活(買い物や銀行など)

調査数	よくわかる	だいたいわかる	あまりわからない	まったくわからない	やっていない	無回答
221	99	105	11	1	0	5
100.0	44.8	47.5	5.0	0.5	0.0	2.3

Q13.日本語理解度 2.利用者や、利用者の家族と話するとき

調査数	よくわかる	だいたいわかる	あまりわからない	まったくわからない	やっていない	無回答
221	33	154	18	2	0	14
100.0	14.9	69.7	8.1	0.9	0.0	6.3

Q13.日本語理解度 3.施設での引き継ぎや申し送り

調査数	よくわかる	だいたいわかる	あまりわからない	まったくわからない	やっていない	無回答
221	40	140	26	0	9	6
100.0	18.1	63.3	11.8	0.0	4.1	2.7

Q13.日本語理解度 4.介護記録を読むとき

調査数	よくわかる	だいたいわかる	あまりわからない	まったくわからない	やっていない	無回答
221	46	136	26	2	5	6
100.0	20.8	61.5	11.8	0.9	2.3	2.7

Q13.日本語理解度 5.介護記録を書くとき

調査数	よくわかる	だいたいわかる	あまりわからない	まったくわからない	やっていない	無回答
221	33	131	39	0	10	8
100.0	14.9	59.3	17.6	0.0	4.5	3.6

Q13.日本語理解度 6.介護の勉強をしているとき

調査数	よくわかる	だいたいわかる	あまりわからない	まったくわからない	やっていない	無回答
221	36	154	18	0	4	9
100.0	16.3	69.7	8.1	0.0	1.8	4.1

Q14.自分の国・地域で、最後に行^いった学校

調査数	高等学校(高校)	専門学校	短期大学(短大)	大学・大学院	その他	無回答
221	46	38	23	98	12	4
100.0	20.8	17.2	10.4	44.3	5.4	1.8

Q15.自分の国・地域で看護や介護の資格取得状況

調査数	看護も介護もどちらも取った	看護の資格だけ取った	介護の資格だけ取った	どちらも取っていない	無回答
221	10	72	36	95	8
100.0	4.5	32.6	16.3	43.0	3.6

問16 日本に来る前、自分の国・地域で働いていましたか。(〇はひとつ)

1. 看護の仕事をしていました	3. ほかの仕事をしていました
2. 介護の仕事をしていました	4. 働いていなかった

問17 自分が今住んでいる地域の「日本人」と、どのくらい関わりがありますか。

(〇はひとつ)

1. よく話をする人がいる	4. ほとんど話をしない
2. ときどき話をする人がいる	5. まったく話をしない
3. あいさつをする人がいる	

問18 最近1年間、日本でどんなことに困りましたか。

(あてはまるものすべてに〇)

1. お金	9. 偏見・差別
2. 仕事	10. 宗教
3. 日本語の勉強	11. 食べ物
4. 介護の勉強	12. 日本の社会制度(年金など)
5. 住むところ	13. 役所での手続き
6. けが・病気	14. その他()
7. 災害(地震や台風)	15. 特にない
8. 日本人との関わり	

問19 日本で困ったときに、だれ(どこ)に相談しますか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 市役所	9. 職場の外国人の職員(先輩・同僚)
2. 監理団体	10. 日本人の友達・知り合い
3. 外国人技能実習機構(OTIT)	11. 外国人の友達・知り合い
4. 登録支援機関	12. 日本語の先生
5. JICWELS	13. SNS(Twitter, Facebook)
6. 国際交流協会	14. その他()
7. 大使館・領事館	15. 相談の必要がない
8. 職場の日本人職員(上司・同僚)	16. 相談相手がない

Q16.自分の国・地域での仕事経験

調査数	看護の仕事をしていました	介護の仕事をしていました	ほかの仕事をしていました	働いていなかった	無回答
221	54	16	83	62	6
100.0	24.4	7.2	37.6	28.1	2.7

Q17.「日本人」との関わり状況

調査数	よく話をする人がいる	ときどき話をする人がいる	あいさつをする人がいる	ほとんど話をしない	まったく話をしない	無回答
221	38	52	67	33	24	7
100.0	17.2	23.5	30.3	14.9	10.9	3.2

Q18.日本で困ったこと

調査数	お金	仕事	日本語の勉強	介護の勉強	住むところ	けが・病気	災害(地震や台風)	日本人との関わり
221	54	27	73	56	8	17	14	15
100.0	24.4	12.2	33.0	25.3	3.6	7.7	6.3	6.8
	偏見・差別	宗教	食べ物	日本の社会制度(年金など)	役所での手続き	その他	特にない	無回答
	11	9	18	28	31	5	60	6
	5.0	4.1	8.1	12.7	14.0	2.3	27.1	2.7

Q19.日本で困ったときの相談先

調査数	市役所	監理団体	外国人技能実習機構(OTIT)	登録支援機関	JICWELS	国際交流協会	大使館・領事館	職場の日本人職員(上司・同僚)
221	22	15	20	10	7	2	12	135
100.0	10.0	6.8	9.0	4.5	3.2	0.9	5.4	61.1
	職場の外国人の職員(先輩・同僚)	日本人の友達・知り合い	外国人の友達・知り合い	日本語の先生	SNS(Twitter, Facebook)	その他	相談の必要がない	相談相手がない
	54	43	69	21	16	13	15	4
	24.4	19.5	31.2	9.5	7.2	5.9	6.8	1.8
								無回答
								5
								2.3

問20 あなたはなぜ日本で介護の仕事をしたと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 日本の介護を学びたいから	7. 自分の国・地域の家族、友達などにすすめられたから
2. 日本語を学びたいから	
3. 日本の介護福祉士の資格を取りたいから	8. 日本にいる家族、友達などにすすめられたから
4. 給料が高いから	
5. 家族に送金したいから(家族のため)	9. 自分の住んでいた国・地域との距離が近いから
6. 日本の文化に興味があるから	10. その他 ()

問21 あなたはなぜ働く場所を横浜にしようと思いましたか。(○はひとつ)

1. 外国人が多いから	4. 人に勧められたから
2. 治安がよい(安全)と思ったから	5. 日本で人気の都市だから
3. 選んだ施設が横浜にあったから	6. 自分の国・地域で人気の都市だから
	7. 東京に近いから
	8. その他 ()

問22 あなたが今の職場(施設)を選んだ理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 外国人が多いから	8. 上司や同僚などの人間関係がよいから
2. 同じ国の人から来たから	9. 人に勧められたから
3. 勉強時間への配慮があるから	10. 他に選択肢がなかったから
4. 宿舎(寮、アパート)があるから	11. その他 ()
5. 通勤がしやすいから	12. 特に理由はない
6. 給料がよいから	
7. 職場の環境がよいから	

Q20.日本で介護の仕事をした理由

調査数	日本の介護を学びたいから	日本語を学びたいから	日本の介護福祉士の資格を取りたいから	給料が高いから	家族に送金したいから(家族のため)	日本の文化に興味があるから	自分の国・地域の家族、友達などにすすめられたから	日本にいる家族、友達などにすすめられたから
221	100	78	109	66	115	76	23	23
100.0	45.2	35.3	49.3	29.9	52.0	34.4	10.4	10.4
						自分の住んでいた国・地域との距離が近いから	その他	無回答
						8	7	6
						3.6	3.2	2.7

Q21.働く場所を横浜にしようと思った理由

調査数	外国人が多いから	治安がよい(安全)と思ったから	選んだ施設が横浜にあったから	人に勧められたから	日本で人気の都市だから	自分の国・地域で人気の都市としか	東京に近いから	その他	無回答
221	13	15	99	40	12	2	18	15	7
100.0	5.9	6.8	44.8	18.1	5.4	0.9	8.1	6.8	3.2

Q22.職場(施設)を選んだ理由

調査数	外国人が多いから	同じ国の人から来たから	勉強時間への配慮があるから	宿舎(寮、アパート)があるから	通勤がしやすいから	給料がよいから	職場の環境がよいから	上司や同僚などの人間関係がよいから
221	10	40	22	25	37	37	56	54
100.0	4.5	18.1	10.0	11.3	16.7	16.7	25.3	24.4
				人に勧められたから	他に選択肢がなかったから	その他	特に理由はない	無回答
				50	9	9	39	8
				22.6	4.1	4.1	17.6	3.6

問23 あなたは日本で介護の仕事を続けたいですか。(〇はひとつ)

1. 続けたい	2. 続けたくない	3. どちらとも言えない
---------	-----------	--------------

問23-1へ

問23-3へ

【問23で「1. 続けたい」と答えた方に聞きます】

問23-1 なぜ続けたいですか。(〇はひとつ)

1. 介護の仕事が好きだから	4. 日本に住み続けたいから
2. 給料がよいから	5. 今の職場が好きだから
3. 介護を学びたいから	6. その他 ()

問23-2 日本でどのくらい介護の仕事を続けたいですか。(〇はひとつ)

1. できる限り長く働きたい	4. 1年以上から3年未満
2. 5年以上	5. 1年未満
3. 3年以上から5年未満	

【問23で「2. 続けたくない」と答えた方に聞きます】

問23-3 なぜ続けたくないですか。(〇はひとつ)

1. 介護の仕事はきついから	5. 利用者とのコミュニケーションがとれないから
2. 他にやりたいことがあるから	6. 母国に帰りたいから
3. 今の職場が好きではないから	7. 帰ってくるように言われているから
4. 上司や他の職員とのコミュニケーションがとれないから	8. その他 ()

Q23.日本で介護の仕事継続意向

調査数	続けたい	続けたくない	どちらとも言えない	無回答
221	177	8	30	6
100.0	80.1	3.6	13.6	2.7

Q23-1.日本で介護の仕事継続意向理由

調査数	介護の仕事が好きだから	給料がよいから	介護を学びたいから	日本に住み続けたいから	今の職場が好きだから	その他	無回答
177	53	13	31	59	13	4	4
100.0	29.9	7.3	17.5	33.3	7.3	2.3	2.3

Q23-2.日本で介護の仕事継続希望期間

調査数	できる限り長く働きたい	5年以上	3年以上から5年未満	1年以上から3年未満	1年未満	無回答
177	120	30	16	7	1	3
100.0	67.8	16.9	9.0	4.0	0.6	1.7

Q23-3.日本で介護の仕事を継続したくない理由

調査数	介護の仕事はきついから	他にやりたいことがあるから	今の職場が好きではないから	上司や他の職員とのコミュニケーションがとれないから	利用者とのコミュニケーションがとれないから	母国に帰りたいから	帰ってくるように言われているから	その他
8	0	4	0	0	0	0	1	3
100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	37.5

問24 日本の介護福祉士国家資格について、知っていますか。(〇はひとつ)

1. くわしく知っている
2. 聞いたことがある
3. 知らない

問25 日本の介護福祉士試験を受けたことがありますか。(〇はひとつ)

1. 受けて、合格した
2. 受けたが、不合格だった
3. 受けていない

【問25で「2. 受けたが、不合格だった」「3. 受けていない」と答えた方に聞きます】

問26 これから、日本の介護福祉士試験を受けたいですか。(〇はひとつ)

1. 受けたい
2. 受けたくない
3. わからない

問27 あなたは、行きたい研修に参加できますか。(〇はひとつ)

1. 上司と相談すれば参加できる	4. 研修に参加してはいけないと言われる
2. 仕事があるときは参加できない	5. 行きたい研修がなかった
3. 忙しくて研修に参加できない	

問28 あなたが今の職場で介護の仕事をしていくためには、何が大事ですか。

(あてはまるものすべてに〇)

1. 介護を学ぶ時間や場所	5. 職場の中で相談できる人がいること
2. 日本語を学ぶ時間や場所	6. 職場以外で相談できる人がいること
3. 住むところの支援	7. 同じ国出身の人がいること
4. 信頼できる上司や同僚がいること	8. 住んでいるところの日本人との交流
	9. その他 ()
	10. 特になし

Q24.日本の介護福祉士国家資格認知

調査数	くわしく知っている	聞いたことがある	知らない	無回答
221	121	92	3	5
100.0	54.8	41.6	1.4	2.3

Q25.日本の介護福祉士試験受験経験

調査数	受けて、合格した	受けたが、不合格だった	受けていない	無回答
221	57	15	142	7
100.0	25.8	6.8	64.3	3.2

Q26.日本の介護福祉士試験受験意向

調査数	受けたい	受けたくない	わからない	無回答
157	110	6	31	10
100.0	70.1	3.8	19.7	6.4

Q27.研修参加状況

調査数	上司と相談すれば参加できる	仕事があるときは参加できない	忙しくて研修に参加できない	研修に参加してはいけないと言われる	行きたい研修がなかった	無回答
221	143	19	18	1	29	11
100.0	64.7	8.6	8.1	0.5	13.1	5.0

Q28.職場で介護の仕事をしていくために大事な事

調査数	介護を学ぶ時間や場所	日本語を学ぶ時間や場所	住むところの支援	信頼できる上司や同僚がいること	職場の中で相談できる人がいること	職場以外で相談できる人がいること	同じ国出身の人がいること	住んでいるところの日本人との交流
221	107	93	43	88	98	35	44	12
100.0	48.4	42.1	19.5	39.8	44.3	15.8	19.9	5.4
						その他	特になし	無回答
						7	23	6
						3.2	10.4	2.7

そのほか、^{なや}悩み・^{ふあん}不安に^{かん}感じるなどについて、^{じゆう}自由に^か書いてください。

ご^{きようりよく}協力ありがとうございました